

MUTOH

創造、大切にします

取扱説明書

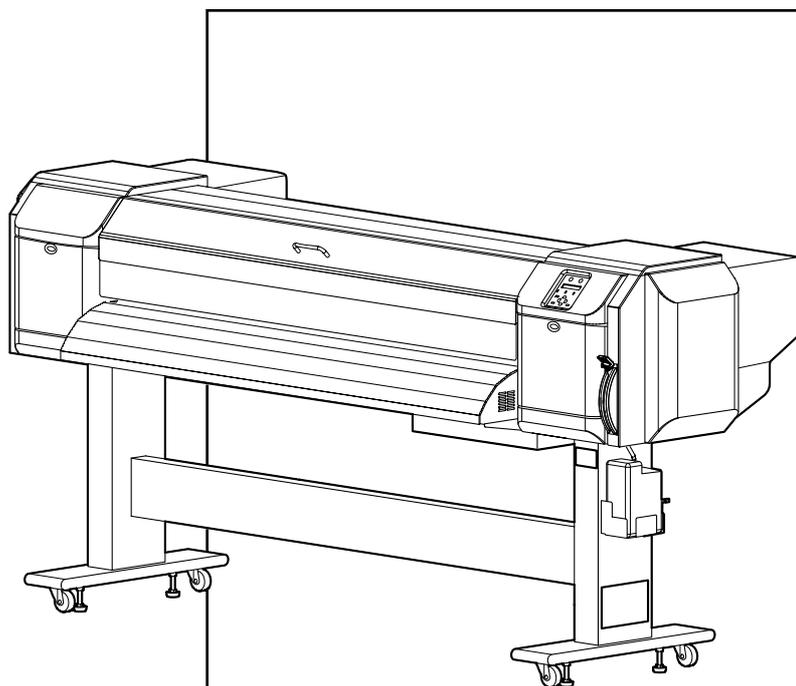
OPERATION MANUAL

Full-Color Inkjet Printer

ValueJet

フルカラー・インクジェットプリンタ

VJ-1608HS



ご使用前に必ずお読みください

管理 No. VJ-1608HSJ-A-03

重要なお知らせ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

1. 受信障害について

この製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もしもこの製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダの方向を変えてみる
- この製品の使用方向を変えてみる
- 受信機とこの製品の距離を変えてみる
- この製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

2. 本書記載の商標

- MUTOH、ValueJet、VJ-1608HS、MH-RTL は、武藤工業株式会社の商標および商品名です。
- Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、MS-DOS は、米国マイクロソフト社の商標もしくは商品名です。
- 各社名、各機種名は、各社の商標もしくは商品名です。

注 記

- 本製品および本書の内容の全部または一部を個人で使用する他は、著作権者である弊社の承諾を得ずに複写・複製・転載することを禁止します。
- 本製品や本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 本製品および本書を運用した結果につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

保証の限定

1. 武藤工業株式会社は、当社が製造した製品においてシステム、または部品に製造上の欠陥があると認めた場合に限り、その部分についての修理または交換を唯一の保証手段とします。
ただし、不具合の原因が不明確な場合は、双方で協議の上、処置を決定します。
保証内容について、詳しくは、装置に添付された保証書に記載しております。
2. 当社は、納入した装置の予見できない誤用、乱用および無断改造等が原因で発生した直接または間接の損害および損失利益の補償については、責任はないものとします。
3. 保証期間は、保証書に記載しております。

本書について

1. 本製品のマニュアル構成

本製品のマニュアルは、次の3部構成となっています。

設置要領書

本製品の開梱、設置、使用前の準備までの作業手順について説明しています。

取扱説明書（本書）

2. 本書の目的と対象者

本書は、武藤工業株式会社のフルカラー・インクジェットプリンタ（VJ-1608HS）の使用前の準備、日常の使用方法等について説明しています。

本書は、本製品を所有する人、使用するユーザーを対象として作成しています。

本製品を使用する場合は、本書の内容および指示を理解した上で、作業を行ってください。

3. 本書の構成

セクション	内容
1 安全に関する事項	この章では、本製品の設置、操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。
2 製品の概要	この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。
3 使用前の準備	この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。
4 操作方法	この章では、本製品の操作方法について説明します。
5 パネル設定メニュー	この章では、製品の各設定メニューについて説明します。
6 保守	この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。
7 トラブルシューティング	この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。
8 付録	この章では、本製品の各仕様、オプション・サブライ用品、ユーザサポートについて説明します。

注 記

- 「1 安全に関する事項」～「4 操作方法」については、本製品の使用前に必ずお読みください。
- 「5 パネル設定メニュー」～「8 付録」については、必要に応じて各項目をお読みください。

4. 本書の表記について

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告用語	意味
 警 告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注 意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。
注 記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。
参 考	操作を行うときあるいは、装置に対する理解を深める上で参考になる事柄を示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	操作を行うときに参照する本文中の箇所を示します。

目次

1	安全に関する事項	
1.1	警告用語の種類と意味	1-8
1.2	安全遵守事項	1-9
1.3	警告ラベル	1-13
1.3.1	警告ラベルの取扱い上の注意	1-13
1.3.2	警告ラベルの貼付位置と種類	1-14
2	製品の概要	
2.1	特長	2-2
2.2	各部の名称と機能	2-3
2.2.1	正面部	2-3
2.2.2	背面部	2-5
2.2.3	操作パネル	2-6
2.2.4	分光光度計 (SPECTROVUE VM-10)	2-9
2.3	動作の概要	2-11
2.3.1	通常状態	2-11
2.3.2	設定メニュー表示状態	2-11
2.3.3	動作状態の切替え方法	2-11
3	使用前の準備	
3.1	電源ケーブルの接続	3-2
3.2	電源を ON/OFF する方法	3-7
3.2.1	電源を ON する方法	3-7
3.2.2	電源を OFF する方法	3-7
3.3	インクパックの取付け	3-11
3.4	用紙の取付け	3-24
3.4.1	厚物メディアのセット	3-25
3.4.2	搬送台 (オプション) の取外し	3-32
3.4.3	ロール紙の取付け	3-36
3.4.4	ロール紙のセット方法	3-41
3.4.5	用紙種類の設定手順	3-47
3.4.6	用紙種類メニューからの用紙種類の変更手順	3-51
3.4.6.1	メディア検出が、メディア厚さを検出する設定の場合	3-51
3.4.6.2	メディア検出が、メディア厚さを検出しない設定の場合	3-54
3.5	テスト作画	3-62
3.5.1	ノズルチェック	3-65

3.5.2	モードプリント	3-66
3.5.3	設定内容作画	3-67
3.5.4	パレット作画	3-69
3.5.5	カラーベリファイ	3-70
3.6	画質微調整	3-84
3.7	コンピュータとの接続	3-92
3.7.1	システム条件の確認	3-92
3.7.2	接続ケーブルの準備	3-92
3.7.3	ネットワーク・インターフェースケーブルの接続	3-93
3.7.4	IPアドレスの設定	3-94
3.7.5	サブネットマスクの設定	3-96
3.7.6	ゲートウェイの設定	3-99
4	操作方法	
4.1	作画までの流れ	4-2
4.2	用紙について	4-4
4.2.1	用紙種類	4-4
4.2.2	用紙の取扱上の注意	4-5
4.2.3	用紙の保管時の注意	4-5
4.2.4	作画領域	4-6
4.2.5	ヘッド高さ調整	4-6
4.2.6	各種ヒーターの設定	4-9
4.2.6.1	プリヒーター温度の設定	4-10
4.2.6.2	プラテンヒーター温度の設定	4-13
4.2.6.3	アフターヒーター温度の設定	4-16
4.2.6.4	エアーヒーター温度の設定	4-19
4.2.7	用紙送り補正	4-23
4.2.7.1	用紙加圧力の調整手順	4-23
4.2.7.2	用紙送り補正值の調整手順	4-25
4.2.8	用紙押さえプレートの使用方法	4-30
4.2.9	エアーヒーターの使用方法	4-33
4.3	操作パネルのメニュー設定	4-38
4.3.1	パネル設定メニューの概要	4-38
4.3.2	メニュー設定手順	4-38
4.4	操作パネルからの各種操作	4-41
4.4.1	用紙送り	4-41
4.4.2	作画の中断	4-42
4.4.3	用紙のカット	4-43
4.4.4	作画中の設定値変更・確認	4-45
4.4.4.1	作画中の設定値変更・確認手順	4-45
4.4.4.2	作画中に変更・確認できる設定値	4-46
4.4.5	作画の一時停止	4-47
4.5	分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方	4-48

5 パネル設定メニュー

5.1	設定メニュー	5-2
5.1.1	用紙種類メニュー	5-4
5.1.1.1	ユーザ用紙メニュー	5-5
5.1.1.1.1	作画モードメニュー	5-7
5.1.1.1.2	用紙送り補正メニュー	5-8
5.1.1.1.3	プリヒーターメニュー	5-10
5.1.1.1.4	プラテンヒーターメニュー	5-11
5.1.1.1.5	アフターヒーターメニュー	5-12
5.1.1.1.6	待機ヒートメニュー	5-12
5.1.1.1.7	エアーヒーターメニュー	5-13
5.1.1.1.8	吸着ファンメニュー	5-13
5.1.1.1.9	メディア厚補正メニュー	5-14
5.1.2	エフェクトメニュー	5-14
5.1.3	フラッシングメニュー	5-16
5.1.3.1	フラッシングリターン回数メニュー	5-16
5.1.4	サイドマージンメニュー	5-17
5.1.5	メディア検出メニュー	5-17
5.1.6	メディア幅・幅確認メニュー	5-19
5.1.7	巻取り装置メニュー	5-20
5.1.8	原点設定メニュー	5-21
5.1.9	貼付き防止メニュー	5-22
5.1.10	メディアヒートメニュー	5-22
5.1.10.1	メディアプリヒートメニュー	5-23
5.1.10.2	メディアアフターヒートメニュー	5-23
5.1.11	CR 作画移動幅メニュー	5-23
5.1.12	重ね描き回数メニュー	5-24
5.1.13	重ね描きウェイトメニュー	5-24
5.1.14	斜行チェックメニュー	5-25
5.1.15	オートクリーニングメニュー	5-25
5.1.15.1	待機オートクリーニング	5-26
5.1.15.2	作画中オートクリーニング	5-26
5.1.15.3	作画開始前オートクリーニング	5-27
5.1.15.4	作画後オートクリーニングメニュー	5-27
5.1.16	インクステータスメニュー	5-28
5.1.17	ロール紙長さ設定メニュー	5-28
5.1.17.1	ロール紙長さメニュー	5-29
5.1.18	ヘッド洗浄メニュー	5-30
5.1.19	CR メンテナンスメニュー	5-31
5.1.20	初期化メニュー	5-31
5.1.21	寿命確認メニュー	5-32
5.1.22	IP アドレスメニュー	5-32
5.1.23	サブネットマスクメニュー	5-33
5.1.24	ゲートウェイメニュー	5-33
5.1.25	後端処理メニュー	5-34
5.1.26	パワーオンクリーニングメニュー	5-34
5.1.27	パワーオフクリーニングメニュー	5-35
5.1.28	先端処理メニュー	5-35
5.2	テスト作画メニュー	5-36

5.3	調整作画メニュー	5-37
5.4	クリーニングメニュー	5-38
5.5	簡易選択メニュー	5-39
5.6	バージョンメニュー	5-41
5.7	スリープモードメニュー	5-42
5.7.1	タイマーセットメニュー	5-43
5.7.2	スリープモードスタートメニュー	5-44
6	保守	
6.1	消耗品の交換	6-2
6.1.1	インクパックの交換	6-2
6.1.2	ロール紙の交換	6-8
6.1.3	フラッシングボックス用吸収材の交換	6-11
6.2	清掃	6-22
6.2.1	製品外装の清掃	6-22
6.2.2	製品内部の清掃	6-23
6.2.3	ヘッドクリーニング	6-25
6.2.4	クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃	6-26
6.2.4.1	クリーニングワイパユニットの清掃	6-29
6.2.4.2	プリントヘッド外周の清掃	6-33
6.3	廃液の処理	6-37
6.4	輸送・移動	6-39
6.4.1	移動の方法	6-39
6.4.2	輸送の方法	6-41
7	トラブルシューティング	
7.1	製品の異常・故障	7-2
7.1.1	設置・導入時のトラブル	7-2
7.1.2	全く作画しない場合	7-3
7.1.3	用紙に関するトラブル	7-4
7.1.4	作画に関するトラブル	7-7
7.2	表示の詳細	7-10
7.2.1	動作状態表示	7-10
7.2.2	メッセージ型エラー表示と対処方法	7-13
7.2.3	データエラー表示と対処方法	7-16
7.2.4	コマンドエラー表示と対処方法	7-17
7.2.5	再起動が必要なエラー	7-17
7.3	メディアが詰まった場合	7-19
7.3.1	厚物メディアを取除く方法	7-19
7.3.2	ロール紙を取除く方法	7-19
7.4	フラッシングボックス高さエラー復帰手順	7-22

8 付録

8.1	製品仕様	8-2
8.1.1	本体仕様	8-2
8.2	インターフェイス仕様	8-4
8.2.1	ネットワーク・インターフェース仕様	8-4
8.3	オプション・サプライ用品リスト	8-5
8.3.1	オプション	8-5
8.3.2	サプライ用品	8-5
8.4	ユーザサポート	8-7
8.4.1	製品に関するお問い合わせ窓口	8-7
8.4.2	テクニカルサポート連絡窓口	8-7
8.4.3	保守・修理に関するお問い合わせ窓口	8-8

1 安全に関する事項

この章では、本製品の設置、操作を行う人が知っておかなければならない警告用語の使い分け、守るべき注意事項、製品本体に貼ってある警告ラベルについて説明します。



- 本製品の設置および操作を行う場合は、必ず本書の指示・警告に従ってください。

1.1 警告用語の種類と意味

取扱説明書に記載している警告表示、および製品本体に貼付けてある警告ラベルの内容を危険度の高さ（または事故の大きさ）に応じて、次の3段階に分類しています。

以下の、警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意味
 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。
注記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。

1.2 安全遵守事項

本製品を安全に使用するために、守らなければならない一般的な注意事項について説明します。

警告

-  本装置を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
 - ぐらついた台の上
 - 傾いている場所
 - 他の機械等の振動が伝わる場所
-  本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本体内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  ヒーターの動作中は、プラテンおよび用紙ガイド上に可燃物を置かないでください。
火災の恐れがあります。
-  プラテンおよび用紙ガイドに可燃性の液体をかけないでください。
火災の原因となります。
-  通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。
-  各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。
-  必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。
同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

-  必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
-  電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。
蛸足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
-  電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
-  プリンタから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
産業廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。
-  製品に接続する乾燥空気の種類は、JIS B 8392-1 1.1.2 ~ 1.6.2 : 2003 に準拠した流体を使用してください。
品質等級を満たさない流体を使用した場合は、正しい印刷結果が得られないばかりでなく、部品の劣化や破損、火災の原因となります。

注意

-  電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - 電源ケーブルを加工しないこと。
 - 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。
-  電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
 - 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む
-  インクパックを取扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
-  硬質樹脂板、アルミ板（複合板含む）、鉄板、ガラスなどのような、表面の硬い厚物メディアに作画する場合は、搬送台に直接載せないでください。
 - 作画が乱れる原因となります。
 - グリッドローラが磨耗してメディアを搬送できなくなります。
-  インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。
-  製品の初期動作中および作画中は、用紙セットレバーを操作しないでください。
プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。
-  作画中は用紙ガイドに触れないでください。
用紙ガイドは高温になっており、やけどする恐れがあります。
-  ヒーターの動作中は給紙スロット、プラテンおよび用紙ガイドに触れないでください。
給紙スロット、プラテンおよび用紙ガイドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。
-  シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷める原因となります。

-  製品内部に水気が入らないように注意してください。
製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
-  ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。
-  フラッシングボックス用吸収材を交換する場合、廃液がこぼれないように十分注意してください。
廃液がグリッドローラに付着するとグリッドローラ表面を侵して、用紙搬送に影響を及ぼす恐れがあります。
-  クリーニングワイパを清掃するときは、
 - クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。
油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
 - 必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭取ってください。
専用の洗浄液以外で拭取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
 - クリーンスティックの使用目安は1週間です。
1週間経過後または付着したインク塊が取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。
-  プrintヘッド外周を清掃するときは、
 - プrintヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
Printヘッドを破損させる恐れがあります。
 - クリーンスティックの先端には手を触れないでください。
油脂が付着してPrintヘッドを破損させる恐れがあります。
 - 必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭取ってください。
専用の洗浄液以外で拭取ると、Printヘッドが目詰まりする原因となります。
 - クリーンスティックの使用目安は1週間です。
1週間経過後または付着したインク塊が取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。
-  製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
製品内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。
-  作画終了直後は、エアーヒーター付近に触れないでください。
エアーヒーター付近は高温になっており、やけどする恐れがあります。
-  本製品（SPECTROVUE VM-10）はクラス 1M LED 製品です。
クラス 1M LED 製品は、通常の使用では目や皮膚に危険はありませんが、光学機器やレンズなどで集中させた光をのぞき込むと、目や皮膚を傷つけるおそれがあります。
-  本製品を開梱または移動させる場合は、必ず次の人数で作業してください。
 - VJ-1608HS : 4人以上
-  本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子
-  ご使用前に、必ず製品安全データシート（MSDS）をお読みの上、作業を行ってください。
-  作業場所は換気をしてください。
臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。
-  搬送台を取外す場合は、必ず2人以上で作業を行ってください。

-  作画終了直後は、用紙ガイドは高温になっています。
用紙ガイドが十分に冷めてから作業を行ってください。
-  ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。
取扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。
 - 用紙を押える場合は、用紙カット溝の上に指を乗せない
 - カッターは用紙カット溝に沿ってゆっくり動かす
-  プリントヘッド部およびワイパ部以外の清掃を行う時は、必ず電源を OFF して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
-  製品に接続するエアコンプレッサーは、下記の仕様を満たすものを使用してください。
下記の仕様を満たさない場合は、正しい印刷結果が得られないばかりでなく、製品を破損させる原因となります。
 - コンプレッサー仕様：
 - 流量：100L/min 以上
 - 圧力：0.35Mpa 以上
-  クリーニングワイパの清掃およびプリントヘッド外周の清掃は、プリントヘッドキャップを外した状態で作業を行うため、プリントヘッドが乾かないうちに作業を終了させる必要があります。
作業時間の目安は5分以内です。
作業時間が5分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。
-  本製品は化学薬品、腐食性の蒸気、強い振動や機械的な衝撃から保護する必要があります。
-  本製品を分解しないでください。分解するとすべての保証が無効となります。
-  長時間印刷を行った直後はプリントヘッド部が熱くなっており、すぐに本作業を行うと、やけどのおそれがあります。十分プリントヘッド部を冷ましてから作業をおこなってください。

1.3 警告ラベル

警告ラベルの取扱い、貼付位置、種類について説明します。
本製品には、特に注意を要する個所に警告ラベルが使用されています。
これらの正確な位置および危険の内容について、十分に理解をしたうえで作業を行ってください。

1.3.1 警告ラベルの取扱い上の注意

警告ラベルを取扱うときは、以下の点に注意してください。

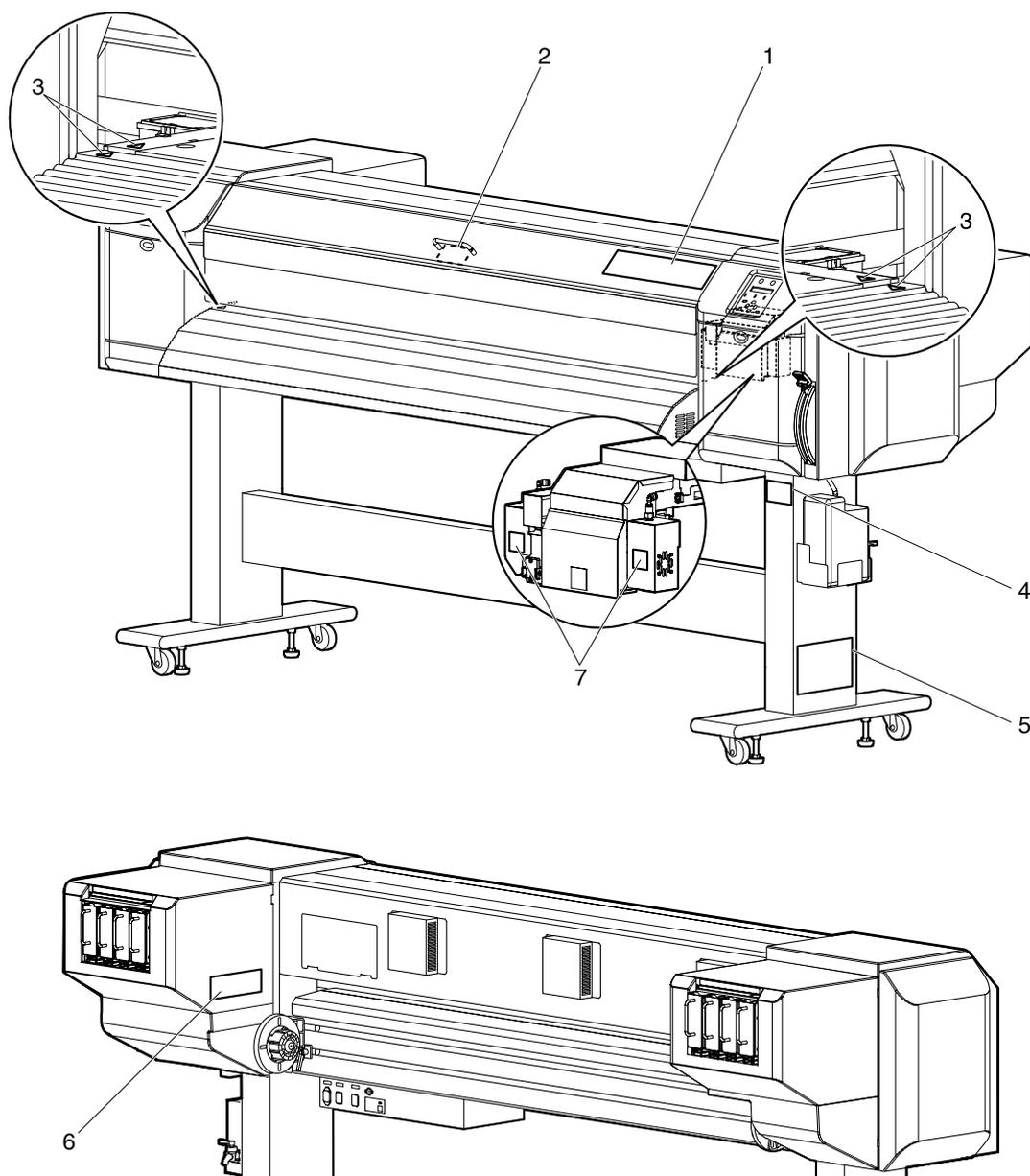
注 記

- 警告ラベルが全て読めるか確認してください。
文字やイラストが見えない場合は、ラベルの汚れを落としてください。
- 警告ラベルの汚れ落としには、布、水、中性洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどは使用しないでください。
- 警告ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、ラベルを交換する必要があります。
警告ラベルの交換が必要な場合は、「8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口」にご連絡ください。

1.3.2 警告ラベルの貼付位置と種類

警告ラベルの貼付位置を次図に示します。

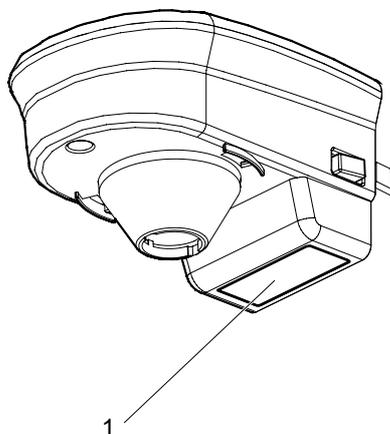
(1) 本体側



番号	警告ラベルの種類				
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION 注意</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>◆直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。 ※風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印字結果が得られないことがあります。</p> <p>◆長期間プリンタを使用しない場合は、週に一度ノーマルクリーニングを行ってください。 ※クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>◆作中はフロントカバーを開けないでください。 また、作中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。 思わぬケガをしたり、良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>※長時間作面を行わない時は、用紙を外しホールドレバーをアップ状態にしてください。 良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>◆ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>◆Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine. ※A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results.</p> <p>◆Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period. ※If the printer is left without cleaning, the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble.</p> </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> <p>◆Do not open the front cover while printing. Moreover, Do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained.</p> <p>※Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result.</p> <p>◆Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned.</p> </td> </tr> </table> </div>	<p>◆直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。 ※風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印字結果が得られないことがあります。</p> <p>◆長期間プリンタを使用しない場合は、週に一度ノーマルクリーニングを行ってください。 ※クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。</p>	<p>◆作中はフロントカバーを開けないでください。 また、作中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。 思わぬケガをしたり、良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>※長時間作面を行わない時は、用紙を外しホールドレバーをアップ状態にしてください。 良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>◆ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。</p>	<p>◆Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine. ※A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results.</p> <p>◆Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period. ※If the printer is left without cleaning, the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble.</p>	<p>◆Do not open the front cover while printing. Moreover, Do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained.</p> <p>※Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result.</p> <p>◆Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned.</p>
<p>◆直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。 ※風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印字結果が得られないことがあります。</p> <p>◆長期間プリンタを使用しない場合は、週に一度ノーマルクリーニングを行ってください。 ※クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。</p>	<p>◆作中はフロントカバーを開けないでください。 また、作中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。 思わぬケガをしたり、良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>※長時間作面を行わない時は、用紙を外しホールドレバーをアップ状態にしてください。 良好な作面結果が得られないことがあります。</p> <p>◆ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。</p>	<p>◆Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine. ※A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results.</p> <p>◆Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period. ※If the printer is left without cleaning, the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble.</p>	<p>◆Do not open the front cover while printing. Moreover, Do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained.</p> <p>※Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result.</p> <p>◆Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned.</p>		
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION 注意</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>◆Sharp Edges Do not touch steel belt. ※You may be injured.</p> <p>◆スチールベルトは端が鋭く尖っていますので触らないでください。 ※けがをする恐れがあります。</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">Steel belt スチールベルト</p> </div>				
3					
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION 注意</p> <p>◆Do not bend or pull the waste ink drain tube. The ink may be leaked and damages the printer.</p> <p>◆廃液チューブを折り曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。インクが漏れて製品が故障する恐れがあります。</p> </div>				

番号	警告ラベルの種類
5	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Before using this product, please be sure to read the Material Safety Data Sheet (MSDS). ● The workplace should be free from open flame and well ventilated. ● Please handle the ink with care to avoid the ink touch to your skin, eyes and clothing, also to avoid accidental ingestion. Be careful not to inhale the steam. ● Please wear a protective mask, eyewear, gloves, long sleeves and long trousers to avoid contact with the ink during the operation. ● Work clothes that soiled with the ink should be thoroughly cleaned. ● Please wash your hands and gargle well after using. ● Do not bring food near. ● Please store out of reach of children. ● Do not use for anything other than VJ. <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に、必ず製品安全データシート (MSDS) をお読みください。 ● 取扱いは作業場所は火気の無い所で行い、換気を十分に行ってください。 ● インクを皮膚、目、衣服に接触させたり、誤飲しないよう十分に注意して取扱ってください。 ● また、蒸気を吸込まないよう注意してください。 ● 取扱中はなるべくインクとの接触を避けるため、保護マスク、保護メガネ、保護手袋、長袖、長ズボン等を着用してください。 ● 作業衣等に付着した場合は、その汚れをよく落としてください。 ● 取扱後は、手洗い及びうがいを行ってください。 ● 食品に近づけないでください。 ● 子供の手の届かないところへ保管してください。 ● VJ以外には使用しないでください。 </div> </div> <div style="width: 48%;"> <h3>Emergency Measures</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● If it sticks to your skin, wash well with plenty of soapy water. Consult your doctor if your skin feels irritated or is discolored. ● If it gets in your eyes, wash well with plenty of tap water and see your doctor as soon as possible. ● If accidentally swallowed, do not vomit. Consult your doctor as soon as possible. ● If you inhaled the steam, move to clean air and consult your doctor if you feel giddy or nauseous. ● If breathing has stopped, apply artificial respiration immediately, and get an emergency medication. ● If spilled from the container, remove heat sources, sparks and flame first, then wipe up with cloth. Used cloths containing ink should be soaked in water until disposal. <h3>応急処置</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い流し、皮膚に刺激を感じたり変化がある場合は医師の診断を受けてください。 ● 目に入った場合は多量の水道水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 誤って飲み込んだ場合は吐き出さないでください。その後できるだけ早く医師の診断を受けてください。 ● 蒸気を吸入した場合は空気の清浄な場所へ移動し、めまいや吐き気を感じる場合は医師の診断を受けてください。 ● 呼吸が止まった場合はただちに人工呼吸を行い、救急医療を受けてください。 ● 容器からこぼれた場合は、熱源、火花、炎からまず離し、布等で拭き取ってください。インクが付着した布等は廃棄するまで必ず水につけておいてください。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> </div> </div>
6	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">MUTOH</p> <p>MODEL 型式 VJ-1608HS</p> <p>SERIAL NO. 製造番号 GN6X XXXXXX</p> <p style="text-align: center;">Complies With UL 60950-1 CSA C22.2 No. 60950-1 E112544</p> <p style="text-align: center;">CE</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>MAIN</p> <p>VOLTAGE AC 100-240V</p> <p>FREQUENCY 50 / 60 Hz</p> <p>CURRENT 9A - 5A</p> <p>HEATER 1 / HEATER 2</p> <p>VOLTAGE AC 100-240V</p> <p>FREQUENCY 50 / 60 Hz</p> <p>CURRENT 10A - 5A</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p> <p>This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.</p> <p style="text-align: right;">MUTOH INDUSTRIES LTD. MADE IN JAPAN</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A</p> <p style="text-align: right;">武藤工業株式会社 MADE IN JAPAN</p> </div> </div> <div style="width: 48%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION</p> <p>◆ This device has three power systems. There is a risk of electric shock unless the three power cables are unplugged during the maintenance.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">注意</p> <p>◆ この機器は3系統の電源を持っています。保守の時には3本の電源ケーブルを抜かないと感電の危険があります。</p> </div> </div> </div>
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="font-size: 1.2em;">CAUTION 注意</p> <p>◆ Hot surface, be careful not to burn your fingers! </p> <p>◆ この面は大変熱くなっています。火傷をしないよう注意してください。</p> </div>

(2) 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) 側



番号	警告ラベルの種類
1	<div data-bbox="596 931 1091 1144" style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>LED放射</p><p>光学測定装置で直接観察してはならない クラス1M LED製品</p><p>LED RADIATION</p><p>DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS CLASS 1M LED PRODUCT</p></div>

2 製品の概要

この章では、本製品の特長、各部の名称および機能について説明します。

2.1 特長

本製品の主な特長について説明します。

(1) 高速出力

新型プリントヘッドを採用し、高速化を実現。
また、VJ-1608HS では 1615mm までの作画幅を可能にしています。

(2) 豊富な対応メディア

メディアの厚さを自動検出するので、厚さ 0.08mm の用紙から、厚さ 10.0mm の厚物メディアまでの様々なメディアに対応できます。

(3) 鮮やかな色再現

鮮明で鮮やかな色を再現するために 4 色での作画に対応。
専用 S/C カード付き 880ml の大容量のバイオインクパックを採用。
インク使用量の管理ができるようになり、生産性が大きく向上しました。
また、バリアブルドットの採用により、色の表現力を向上させました。

(4) マルチヒーターを採用

ラミレスシリーズで構築した用紙ヒートシステムを、バイオインク用にアレンジしました。
プリ・プラテン・アフターの 3 個所にヒーターを搭載し、バイオインクの用紙定着性と乾燥性を向上させました。
また、エアーヒーターの搭載により、厚物メディアのインク定着性と乾燥性を向上させました。

(5) メディアの有効活用

任意に印刷開始位置を設定する事ができる JOG 機能を搭載。
すでに印刷されているメディアに再度印刷することができるため、余白部分を有効に利用する事ができます。

(6) 小型・軽量の分光光度計が付属

400nm から 700nm までの可視光線を測定する小型・軽量の分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) が付属。カラーキャリブレーションやカラープロファイリングのための測色器として利用できます。(カラーキャリブレーションやカラープロファイリングはお使いの RIP ソフトウェアの機能によります。)
分光光度計をプリントヘッド部に取付けることによって、カラーターゲットの自動測定が可能です。

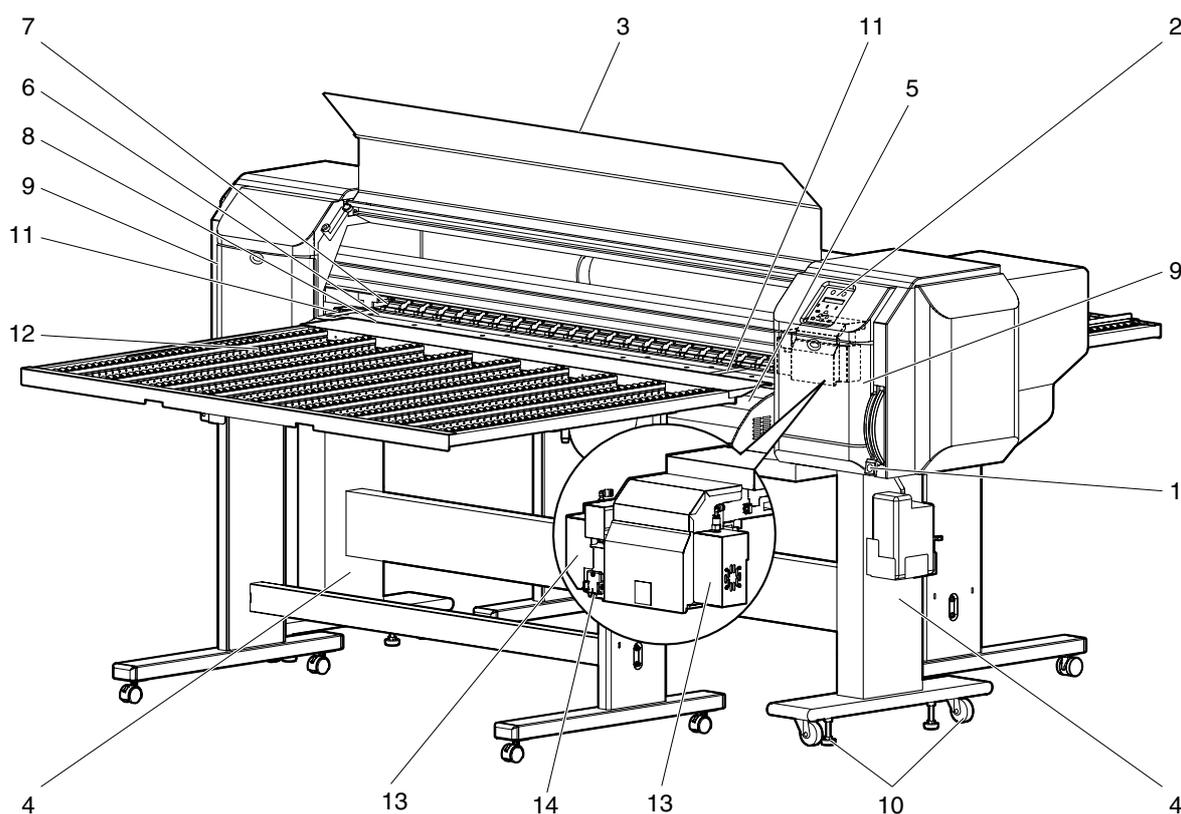
(7) RIP

専用ソフトウェア RIP をオプションで販売します。

2.2 各部の名称と機能

各部の名称とその機能について説明します。

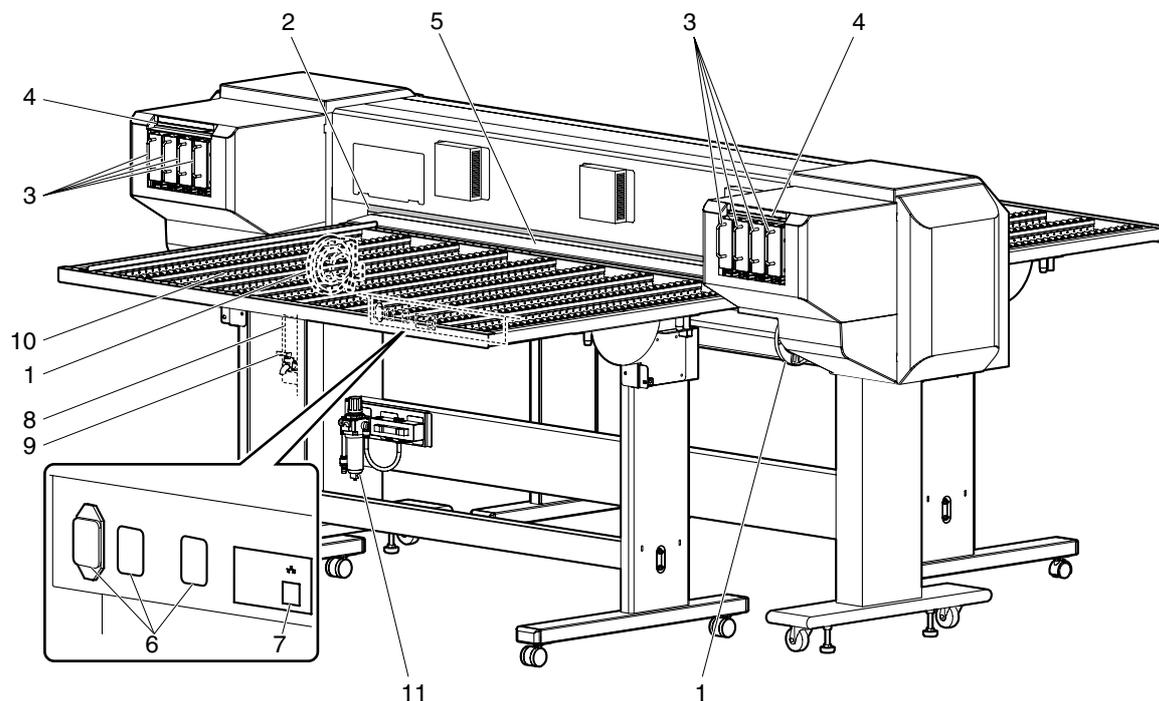
2.2.1 正面部



番号	名称	機能
1	用紙セットレバー	用紙を固定または解除するレバーです。 <ul style="list-style-type: none"> レバーを下げると、用紙を固定します。 レバーを上げると、用紙の固定を解除します。
2	操作パネル	動作条件の設定、プリンタの状態表示、各種機能の設定を行います。 ▶▶ 2.2.3 操作パネル
3	フロントカバー	本製品の動作中に、使用者を駆動部から保護するためのカバーです。 用紙セット時や紙詰まり時に開閉します。 通常は閉じておきます。
4	専用スタンド	本製品を水平な床の上に設置する場合に使用します。
5	用紙ガイド	用紙セット・作画等を行う場合に、用紙をスムーズに搬送するために使用します。 内部にインクを乾燥させるヒーター（アフターヒーター）が取り付けられています。

番号	名称	機能
6	プラテン	フロントカバー内にあります。 内部にインクを乾燥させるヒーター（プラテンヒーター）が取付けられています。
7	加圧ローラ	フロントカバー内にあります。 作画時に、用紙幅全体を上から押さえて保持します。
8	用紙カット溝	フロントカバー内にあります。 用紙をまっすぐにカットするために使用します。
9	メンテナンスカバー	使用者を製品内部の機構部から保護するためのカバーです。 次の場合に開閉します。 • クリーニングワイパユニットを清掃する場合 • プリントヘッド外周を清掃する場合 通常は閉じておきます。
10	アジャスタ	製品を水平に設置するために使用します。
11	用紙押さえプレート	フロントカバー内にあります。 用紙の両端に取り付けることで、用紙の反りをある程度抑えることができます。
12	搬送台 F (オプション)	厚物メディアをスムーズに搬送するために使用します。 ロール紙を使用する場合は取外します。
13	エアーヒーター	温風を噴出してメディアの乾燥を促進させます。
14	コネクター	分光光度計（SPECTROVUE VM-10）を取付けるためのコネクターです。

2.2.2 背面部



番号	名称	機能
1	ロール紙受け	ロール紙をセットします。 ロール紙をはめ込むフランジと、ロール紙受けを固定する固定レバーが付いています。
2	給紙スロット	用紙セット時に、用紙を差込むための給紙口です。
3	インクパックスロット	インクパックを装着します。
4	S/C カードスロット	S/C カードを挿入します。
5	用紙ガイド	用紙セット・作画等を行う場合に、用紙をスムーズに搬送するために使用します。 内部に用紙を緩めるヒーター（プリヒーター）が取り付けられています。
6	AC インレット	電源ケーブルのプラグを差込みます。
7	ネットワーク・インターフェイスコネクタ	ネットワーク・インターフェイスケーブルを接続するコネクタです。
8	廃液タンク	製品から排出された廃インクを貯めておくためのタンクです。
9	廃液コック	廃液タンクから廃液を排出する場合に開閉します。 通常は閉じておきます。
10	搬送台 R（オプション）	厚物メディアをスムーズに搬送するために使用します。 ロール紙を使用する場合は取外します。
11	電磁弁ユニット	作画したメディアを乾燥させるための、エアーヒーターへ供給する空気を制御します。 エアーコンプレッサーからのチューブを接続して使用します。

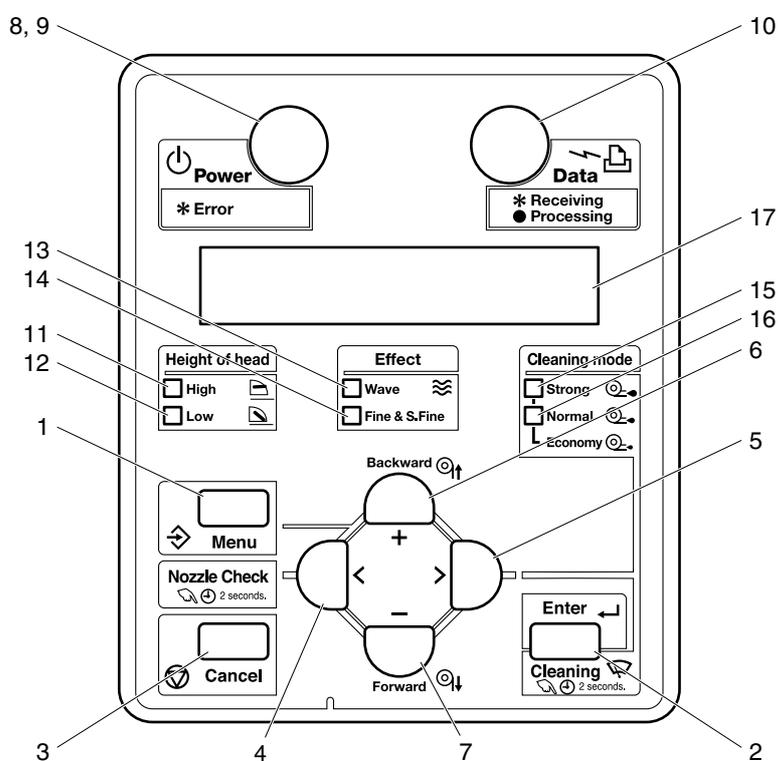
2.2.3 操作パネル

操作パネルは、動作条件の設定、製品の状態表示、各種機能の設定を行う場合に使用します。

操作キー部および状態表示部の各名称、機能について説明します。

参考

- 操作パネルの操作方法の詳細については、以下を参照してください。
 - 操作パネルからメニュー設定を行う場合 : [4.3 操作パネルのメニュー設定](#)
 - 操作パネルでの各種操作を行う場合 : [4.4 操作パネルからの各種操作](#)



(1) 操作キ一部

注 記

- 操作キ一部には、動作状態（通常状態または設定メニュー表示状態）によって異なる機能・名称が割り当てられています。
動作状態の詳細については、「2.3 動作の概要」を参照してください。

番号	名称	通常状態	設定メニュー表示状態
1	[Menu] キー	設定メニュー状態に切替えます。	設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
2	[Enter] キー	作画の一時停止中に押すと、作画を再開します。	<ul style="list-style-type: none"> 設定するメニューを選択し、次階層に移行します。 設定値を確定して保存します。
	[Cleaning] キー	2秒以上押し続けると、プリントヘッドのクリーニングを行います。	—
3	[Cancel] キー	<ul style="list-style-type: none"> 作画中： 作画を強制終了して、残ったデータを1ファイル削除します。 受信・解析中： すでに受信、解析したデータを削除して、以降のデータを1ファイル削除します。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとつ前のメニュー階層に戻ります。設定値変更は無効となります。 設定メニュー表示状態から通常状態に移行します。
4	[<] キー	—	以下のメニューで設定値を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 原点設定メニュー
	[Nozzle Check] キー	2秒以上押し続けると、ノズルチェック作画を行います。	—
5	[>] キー	クリーニングモードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定したクリーニングモードのランプが点灯（緑色）します。 	メニューを下階層に移行させます。
6	[Backward↑] キー	用紙を逆方向に送ります。	—
	[+] キー	—	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を順方向に変更します。 設定値を順方向に変更します。 数値入力時には値を増加させます。
7	[Forward↓] キー	用紙を順方向に送ります。	—
	[-] キー	作画中に押すと、作画を一時停止します。	<ul style="list-style-type: none"> メニュー表示を逆方向に変更します。 設定値を逆方向に変更します。 数値入力時には値を減少させます。
8	[Power] キー	製品の電源を ON/OFF します。	製品の電源を ON/OFF します。

(2) 状態表示部

番号	名称	色	状態	内容
9	Power ランプ	緑色	点灯	電源が ON になっています。
			点滅	エラーが発生しています。 エラー内容は液晶表示部に表示されます。
			消灯	電源が OFF になっています。
10	Data ランプ	橙色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> 受信したデータを解析しています。 作画中です。
			点滅	データを受信しています。
			消灯	データを受信・解析していません。
11	High ランプ	—	—	本製品では使用しません。
12	Low ランプ	—	—	本製品では使用しません。
13	Wave ランプ	緑色	点灯	<p>エフェクトメニューが Wave または Fuzz に設定されています。 Fine & S.Fine ランプも点灯している場合は、エフェクトメニューが以下のように設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> Wow Fine&Wave Fine&Fuzz A-S. Fine&Wave B-S. Fine&Wave
			消灯	エフェクトメニューが None に設定されています。
14	Fine & S.Fine ランプ	緑色	点灯	<p>エフェクトメニューが以下のように設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> Wow Fine&Wave Fine&Fuzz A-S. Fine&Wave B-S. Fine&Wave
			消灯	<ul style="list-style-type: none"> Wave ランプが点灯している場合は、エフェクトメニューが Wave または Fuzz に設定されています。 Wave ランプも消灯している場合は、エフェクトメニューが None に設定されています。
15	Strong ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングモードが Strong に設定されています。 Normal ランプも点灯している場合は、クリーニングモードが Economy に設定されています。
			消灯	クリーニングモードが Normal に設定されています。
16	Normal ランプ	緑色	点灯	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングモードが Normal に設定されています。 Strong ランプも点灯している場合は、クリーニングモードが Economy に設定されています。
			消灯	クリーニングモードが Strong に設定されています。
17	液晶表示部	—	—	製品の動作状態やエラーメッセージを表示します。

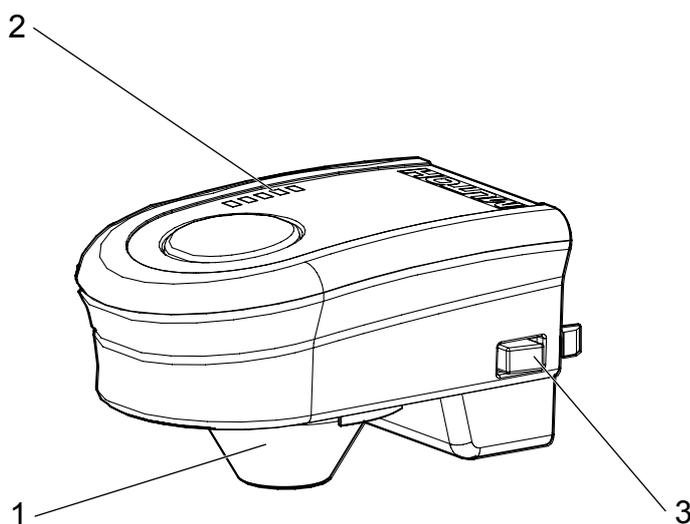
参 考

- 再起動が必要なエラー（本製品が動作する上で致命的な障害）が発生した場合は、警告音とともに全てのランプが点滅します。
 7.2.5 再起動が必要なエラー
 障害を取除いても再起動が必要なエラーが再発する場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。
 8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口

2.2.4 分光光度計（SPECTROVUE VM-10）

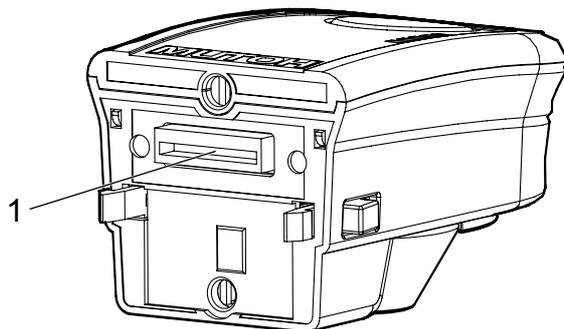
付属の分光光度計（SPECTROVUE VM-10）は、カラーターゲットの印刷と測定を行う場合に使用します。各部の名称とその機能について説明します。

(1) 正面部



番号	名称	機能
1	アパーチャコーン	カラーターゲットの測定を行う開口部です。
2	ステータス LED	発光して状態を表示する LED ランプです。
3	リリースボタン	分光光度計をプリンタから着脱する際に押すボタンです。

(2) 背面部



番号	名称	機能
1	コネクター	分光光度計をプリンタへ接続するコネクターです。

(3) ステータス LED の状態表示

名称	色	状態	内容
ステータス LED	緑色	点灯	電源が ON になっています。
		点滅	測定中です。
		消灯	電源が OFF になっています。

2.3 動作の概要

本製品の動作状態について説明します。

2.3.1 通常状態

製品に用紙がセットされている場合に、作画することができる状態です。操作パネルで作画に関する各種操作を行うことができます。

2.3.2 設定メニュー表示状態

本製品の作画に関する各種設定を、操作パネルから行うことができる状態です。操作パネルで作画に関する各種操作を行うことができます。操作パネルの液晶表示部の表示内容は以下のとおりです。

2.3.3 動作状態の切替え方法

以下の手順に従って、動作状態の切替えを行ってください。

(1) 通常状態 → 設定メニュー表示状態

製品が通常状態の時に、操作パネルの [Menu] キーを押します。

- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示され、設定メニュー表示状態に移行します。

注 記

- 設定メニューの詳細については、「4.3 操作パネルのメニュー設定」を参照してください。

3 使用前の準備

この章では、本製品の使用前に必要な作業手順について説明します。

3.1 電源ケーブルの接続

電源ケーブルの接続手順について説明します。

警告

- 必ず同梱品の電源ケーブルを使用してください。
同梱品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
- 破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

注意

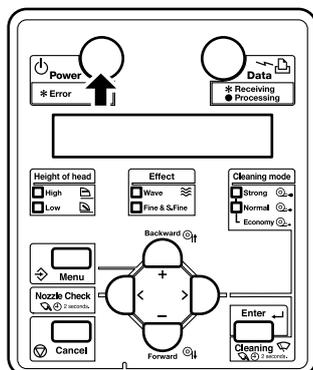
- 電源ケーブルを取扱う場合は、以下の点に注意してください。
 - 電源ケーブルを加工しないこと。
 - 電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
 - 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
 - 電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。

注記

- 電源ケーブルが破損した場合は、以下のいずれかに相談してください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
☎ 8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

以下の手順に従って、電源ケーブルを取付けてください。

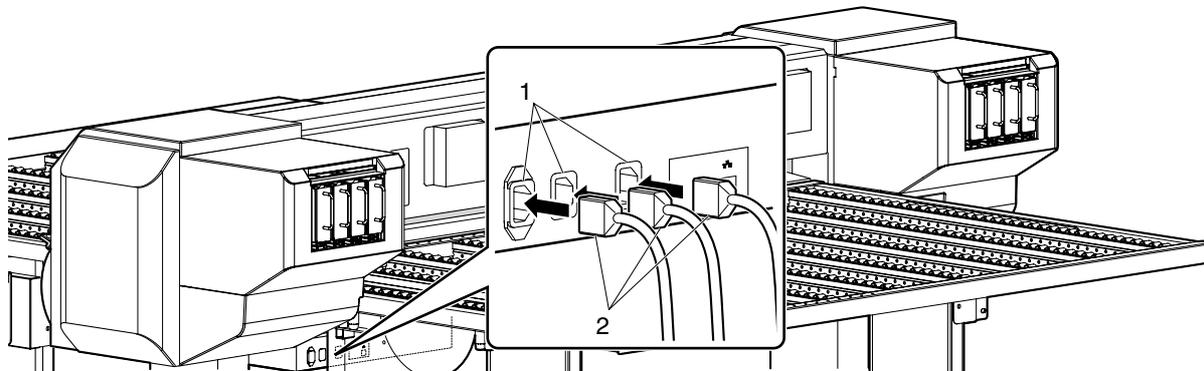
1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。



注 記

- 操作パネルの [Power] キーが奥に押し込まれているときは、電源が ON になっています。もう一度キーを押して、電源を OFF にしてください。

2. 製品背面の AC インレット（3 箇所）に、電源ケーブル（3 本）を接続します。



番号	名称
1	AC インレット
2	電源ケーブル

3. 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差込みます。

警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- 必ず指定の電源（AC 100V）を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
- 電源コンセント（AC 100V）から直接電源を取ってください。
蛸足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
- 電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
- 以下の場所には、アース線を接続しないでください。
 - ガス管
引火や爆発する恐れがあります。
 - 電話線用アース線および避雷針
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
 - 水道管および蛇口
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

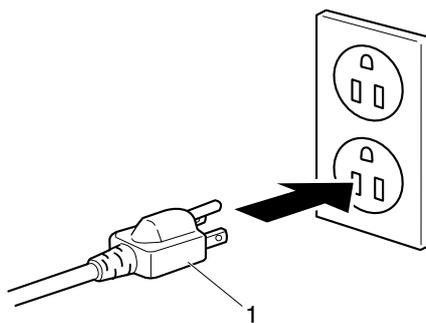
注意

- 電源プラグを取扱う場合は、以下の事項に注意してください。
取扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
 - 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差込まない
 - 電源プラグは刃の根元まで確実に差込む
- 本製品を長期間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片を深さ 650mm 以上の地中に埋めたアース線
 - D 種接地工事を行っている接地端子

注 記

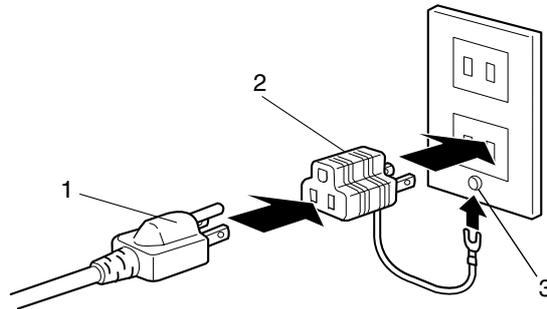
- コンセントに3芯プラグを差込めない場合は、同梱の3芯2芯変換コネクタを使用してください。
- アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品の電源がONになっている場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから引抜かないでください。
もしプラグがコンセントから外れた場合は、1分以上放置してから再びプラグをコンセントに差込んでください。
- 3本の電源ケーブルをコンセントに差込む場合、合計29Aの容量が必要です。
29Aの容量が確保できない場合は、3本の電源ケーブルをそれぞれ別系統のコンセントに差込んでください。

a. 3芯プラグを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ

b. 3 芯 2 芯変換コネクタを使用する場合



番号	名称
1	電源プラグ
2	3 芯 2 芯変換コネクタ
3	アース端子

3.2 電源を ON/OFF する方法

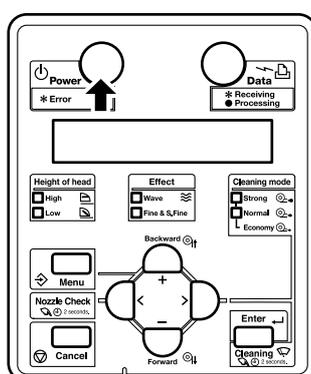
製品の電源を ON/OFF する方法について説明します。

3.2.1 電源を ON する方法

以下の手順に従って、製品の電源を ON にしてください。

1. 操作パネルの [Power] キーを押して、製品の電源を ON します。

- 操作パネルの Power ランプが点灯（緑色）します。



- 製品は初期動作を開始します。
- 初期動作が終了後、製品は通常状態に移行します。

注 記

- 初期動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合は、「7トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

3.2.2 電源を OFF する方法

以下の手順に従って、製品の電源を OFF にしてください。

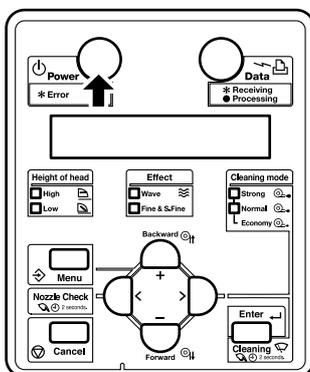
1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。

- 作画等の動作を行っていないこと
- 操作パネルが通常状態であること

2. 操作パネルの [Power] キーを押して、製品の電源を OFF します。

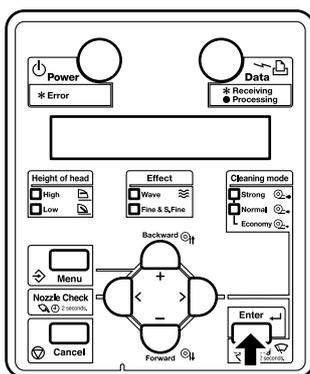
注 記

- 操作パネルが以下の場合は、電源が ON になっています。
 - [Power] キーが奥に押し込まれている
 - Power ランプが点灯（緑色）している
 もう一度キーを押して、電源を OFF してください。
- プリントヘッドが高温の場合は、操作パネルに「H レイキャクチュウ ** : ** ** °C」と表示されることがあります。** : **には冷却開始からの経過時間を分と秒で表示します。** °Cには、現在のヘッド温度を表示します。ヘッド温度が一定の温度まで下がると、次の画面に進みます。



- 操作パネルに「CR メンテナンス : S t a r t」と表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- メンテナンス処理を開始します。
- プリントヘッド部が製品左側に移動します。
- クリーニングワイパが上側に移動します。
- 操作パネルに「CR メンテナンス : E n d」と表示されます。

4. クリーニングワイパユニットの清掃を行います。

☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃

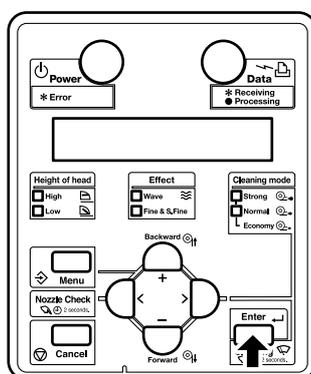
5. プリントヘッド外周の清掃を行います。

☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃

参 考

- ・ クリーニングワイパユニットおよびプリントヘッド外周の清掃を行わない場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押してください。

6. 清掃が終了したら、操作パネルの [Enter] キーを押します。

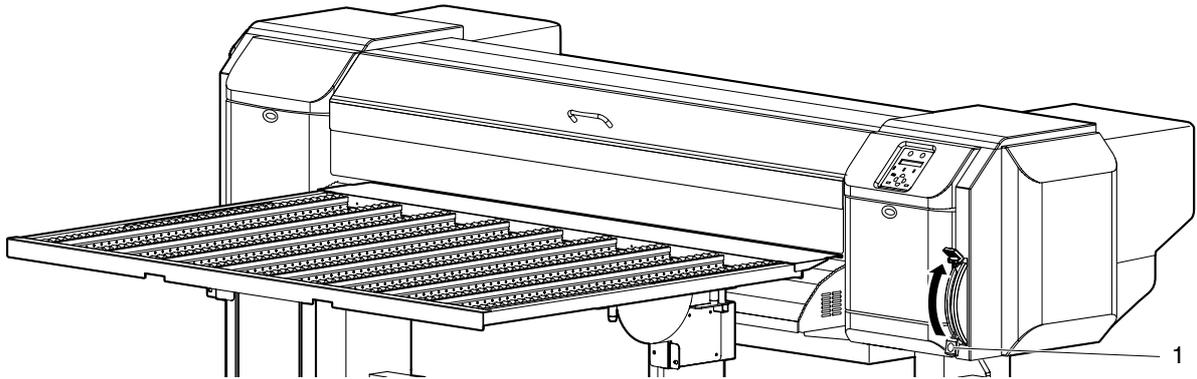


- ・ クリーニングワイパが元の位置に戻ります。
- ・ プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- ・ 製品は電源 OFF 動作を開始します。
- ・ 操作パネルに「デ`ンゲ`ンシャタ`ンチュウ」と表示されます。
- ・ 操作パネルの全てのランプおよび液晶表示部が消灯します。
- ・ 製品は自動的に電源を OFF します。

注 記

- ・ 電源 OFF 動作中に何らかのトラブルが発生した場合は、製品は操作パネルにメッセージを表示し、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合は、「7 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。
- ・ 電源 OFF 後、再度電源を ON する場合は、10 秒以上放置してから電源を ON してください。

7. 製品を長時間使用しない場合は、用紙セットレバーを上げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

3.3 インクパックの取付け

インクパックの取付手順について説明します。

注意

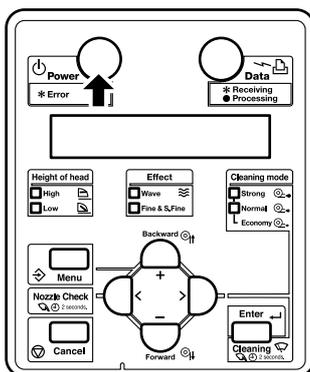
- ご使用前に、必ず製品安全データシート（MSDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- 作業場所は換気をしてください。
臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。
- インクパックを取扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。
- 溶剤インクを使用する場合は、専用の洗浄液で洗浄後にインク充填を行ってください。
洗浄せずに溶剤インクを充填してしまった場合は、プリントヘッドおよびインク経路が損傷します。

注 記

- インクを充填する場合は、純正品のインクパックをご使用ください。
本製品は純正品のインクパックの使用を前提に調整されています。
純正品以外を使用すると、
 - 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出されなくなる恐れがあります。
 - 故障しても保証対象外（有償修理）となります。
- インクパックの種類および詳細については、以下を参照してください。
8.3 オプション・サプライ用品リスト
- インクパックは強く振らないでください。
インクが漏れることがあります。
- インクパックを分解しないでください。
分解したインクパックは使用できません。
- 必ず専用の洗浄液を使用してください。
- インクパック取付け前に、インクパックを軽く振って製品に取付けてください。
最良の作画結果が得られなくなる場合があります。
- インクパックを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に3時間以上放置してから使用してください。
- 本製品のインクパックには専用 S/C カードが付いています。
次の場合にインクパックの抜き差しを行うと、S/C カード内の情報が破壊され、使用できなくなる場合があります。
 - 作画中
 - S/C カード挿入後の数秒間

以下の手順に従って、インクパックを取付けてください。

1. 製品の電源を ON します。

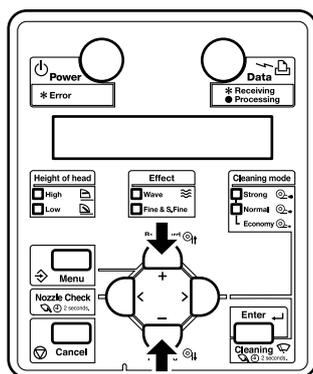


- 製品が初期動作を開始します。
- 操作パネルに「センシ ョウ シマスカ? イイエ」と表示されます。

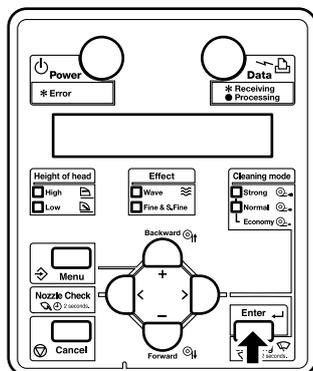
⚠ 注意

- 溶剤インクを使用する場合は、専用の洗浄液で洗浄後にインク充填を行ってください。
洗浄せずに溶剤インクを充填してしまった場合は、プリントヘッドおよびインク経路が損傷します。

- 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「センジョウ シマスカ? ハイ」を選択します。



- 操作パネルの [Enter] キーを押します。

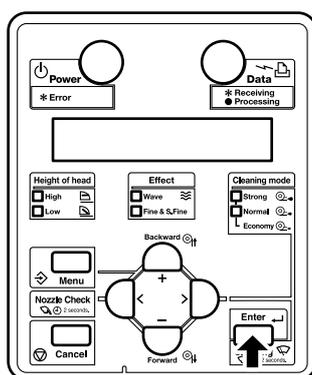


- 操作パネルに「ハイエキラ カラニシテクタ`サイ」と表示されます。

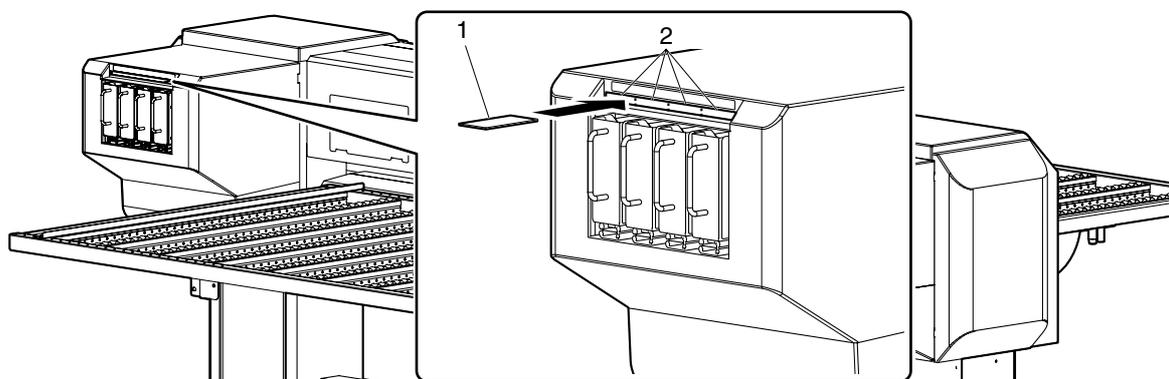
注記

- 作業中、このメッセージが表示されたら廃液タンクを確認し、タンク内に廃液がある場合は空にしてください。廃液が残ったままだと、洗浄液を浪費します。

4. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

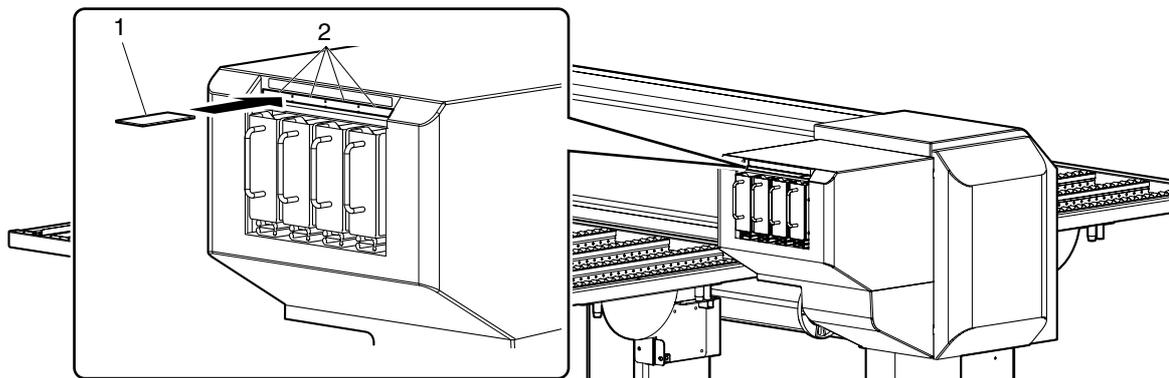


- 操作パネルに「Insert センジ ョウカートリッジ」と表示されます。
5. 洗浄液用 S/C カードおよび洗浄液パック（各 8 個）を袋から取出します。
6. 洗浄液用 S/C カード（8 個）を S/C カードスロット（8 箇所）へ 1 個ずつ挿入します。
- S/C カードスロットは、製品背面の左側・右側に各 4 箇所あります。
 - S/C カードはスロットの奥までしっかり挿入してください。
- a. 製品背面左側



番号	名称
1	洗浄液用 S/C カード
2	S/C カードスロット

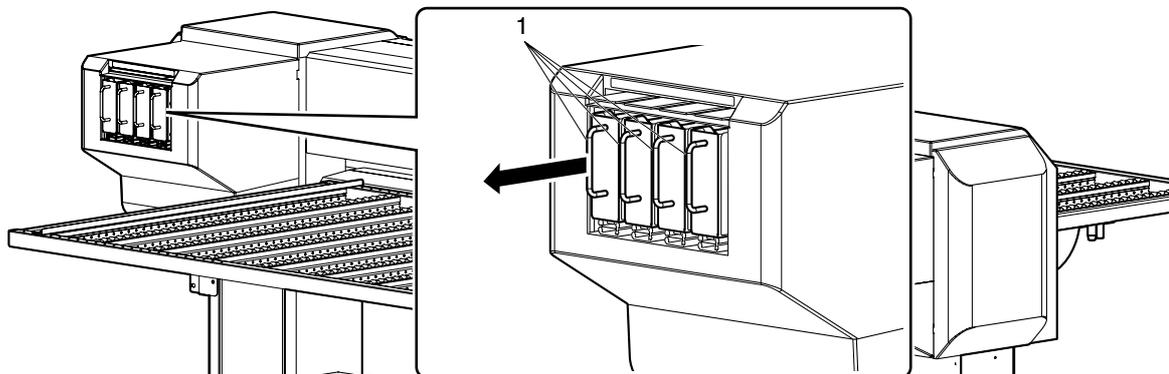
b. 製品背面右側



番号	名称
1	洗浄液用 S/C カード
2	S/C カードスロット

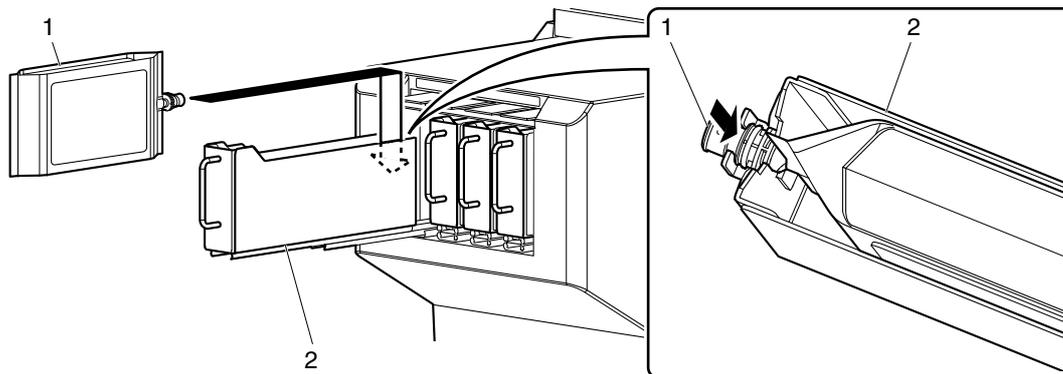
7. 洗浄液パック（4 個）を、製品背面左側のインクパックスロット（4 箇所）に 1 個ずつ取付けます。

a. インクパックスロットを引出します。



番号	名称
1	インクパックスロット

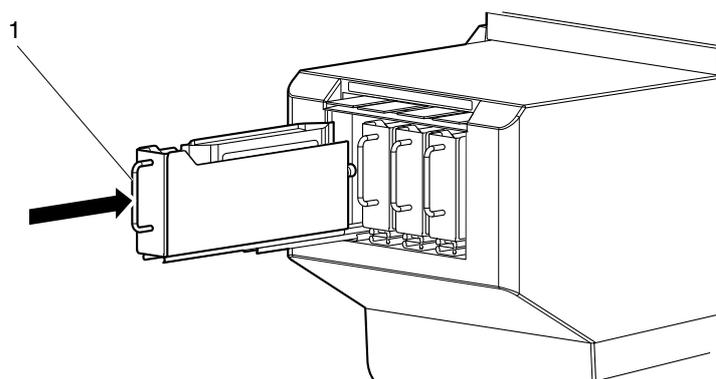
- b. 洗浄液パックを2～3回軽く振ってから、インクパックスロットに取付けます。



番号	名称
1	洗浄液パック
2	インクパックスロット

- c. インクパックスロットを挿入します。

- インクパックスロットは、奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インクパックスロット

8. 手順7と同様に、洗浄液パック（4個）を、製品背面右側のインクパックスロット（4箇所）に1個ずつ取付けます。

- 全ての洗浄液パックを取付けると、操作パネルに「ヘッド センジ ヨウチュウ」と表示され、製品が洗浄液充填を開始します。
- 洗浄液充填後、操作パネルに「ハイエキマ カラニシテクタ サイ」と表示されます。
- 廃液タンクを確認してください。

9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「カートリッジ ヲヌイテクタ サイ」と表示されます。

10. 全てのインクパックスロットを引き出します。

- 操作パネルに「ヘッド センシ ョウチュウ」と表示され、製品が洗浄液の排出を開始します。
- 洗浄液排出後、操作パネルに「ハイエキマ カラニシテクタ サイ」と表示されます。
- 廃液タンクを確認します。

11. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「Insert センシ ョウカートリッジ」と表示されます。

12. 全てのインクパックスロットを再度挿入します。

注 記

- 洗浄液パックの残量が少ない場合は手順 6～手順 8 を参照して、ここで新しい洗浄液パックに交換してください。

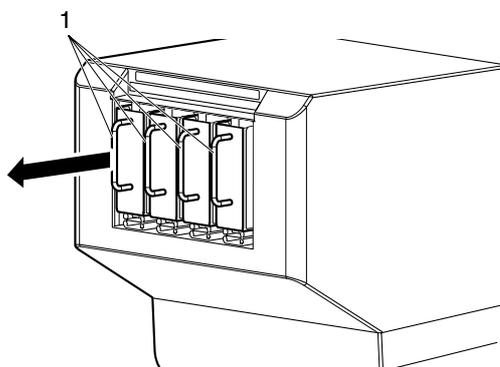
- 操作パネルに「ヘッド センシ ョウチュウ」と表示され、製品が洗浄液充填を開始します。
- 洗浄液充填後、操作パネルに洗浄液排出後、操作パネルに「ハイエキマ カラニシテクタ サイ」と表示されます。
- 廃液タンクを確認します。

13. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「カートリッジ ヲヌイテクタ サイ」と表示されます。

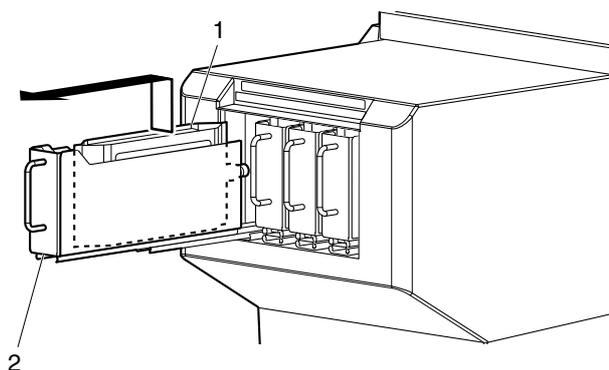
14. 洗浄液パックを全て取外します。

- インクパックスロットを引出します。



番号	名称
1	インクパックスロット

- b. 洗浄液パックをインクパックスロットから取外します。



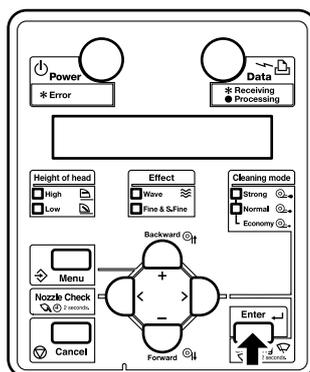
番号	名称
1	洗浄液パック
2	インクパックスロット

- 全ての洗浄液パックを取外すと、操作パネルに「ヘッド`センシ` ヨウチュウ」と表示され、製品がヘッド洗浄を開始します。
- ヘッド洗浄終了後、操作パネルに「センシ` ヨウシマスカ? イイエ」と表示されます。

注 記

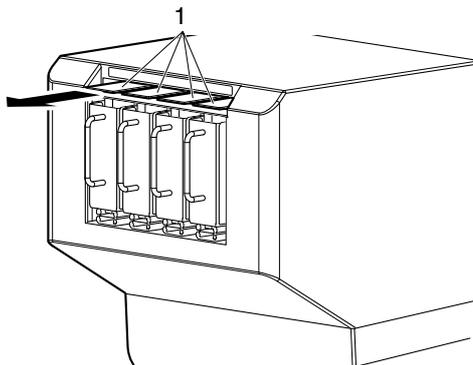
- インク充填前に再度ヘッド洗浄を行う場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ハイ」を選択し、[Enter] キーを押してヘッド洗浄を行います。

15. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「Insert インクカートリッジ」と表示されます。

16. 洗浄液用 S/C カードを全て取外します。



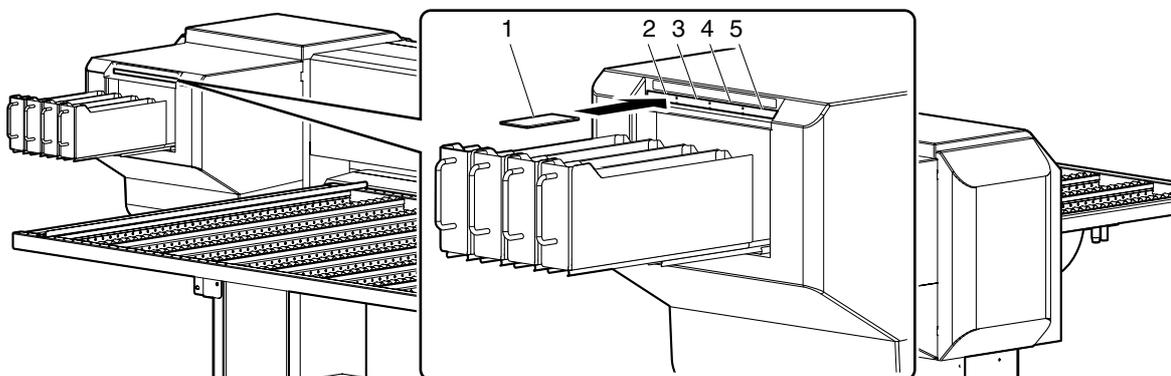
番号	名称
1	洗浄液用 S/C カード

17. インク用 S/C カードおよびインクパック（各 8 個）を袋から取出します。

18. インク用 S/C カード（8 個）を S/C カードスロット（8 箇所）へ 1 個ずつ挿入します。

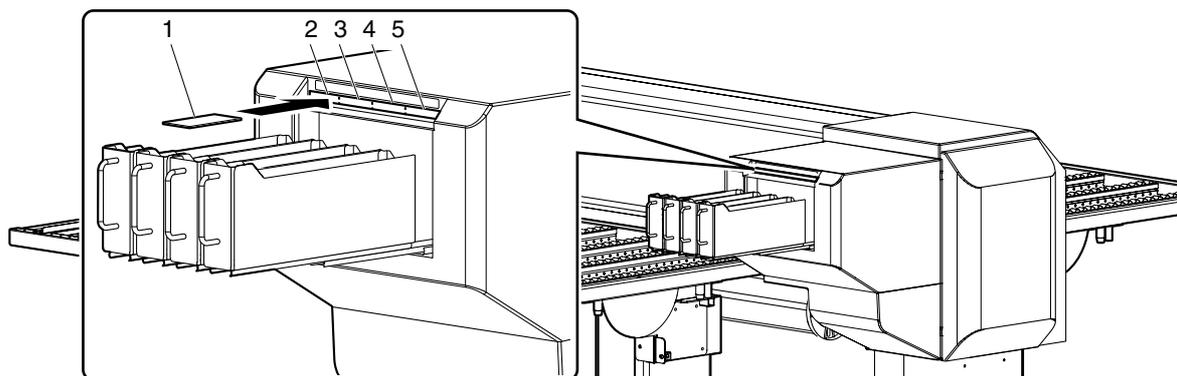
- インク用 S/C カードは装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークとインクの色を合わせて取付けてください。
- S/C カードはスロットの奥までしっかり挿入してください。

a. 製品背面左側



番号	名称
1	インク用 S/C カード
2	S/C カードスロット K1
3	S/C カードスロット K2
4	S/C カードスロット C1
5	S/C カードスロット C2

b. 製品背面右側

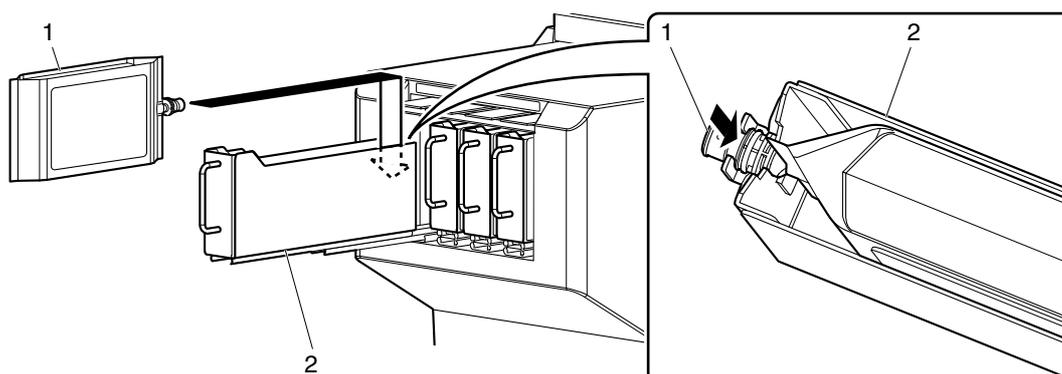


番号	名称
1	インク用 S/C カード
2	S/C カードスロット M1
3	S/C カードスロット M2
4	S/C カードスロット Y1
5	S/C カードスロット Y2

19. インクパック (K、C : 各 2 個) を、製品背面左側のインクパックスロット (K、C : 各 2 箇所) に 1 個ずつ取付けます。

- 以下の手順 a ~ b では、インクパック K (スロット K1) の取付手順について説明しています。

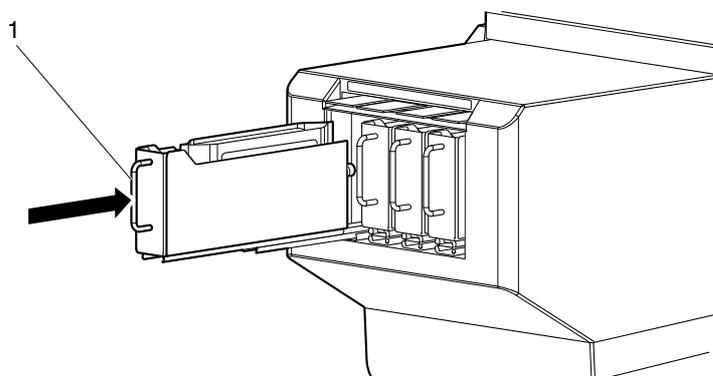
a. インクパック K を 2 ~ 3 回軽く振ってから、インクパックスロット K1 に取付けます。



番号	名称
1	インクパック K
2	インクパックスロット K1

b. インクパックスロット K1 を挿入します。

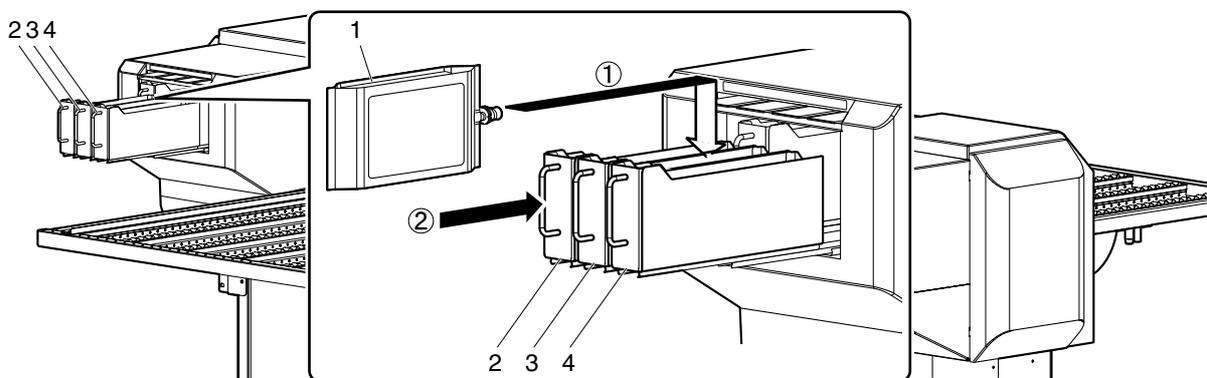
- インクパックスロットは、奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インクパックスロット K1

c. 手順 a～b と同様に、残りのインクパック（K：1個、C：2個）をインクパックスロットに取付けます。

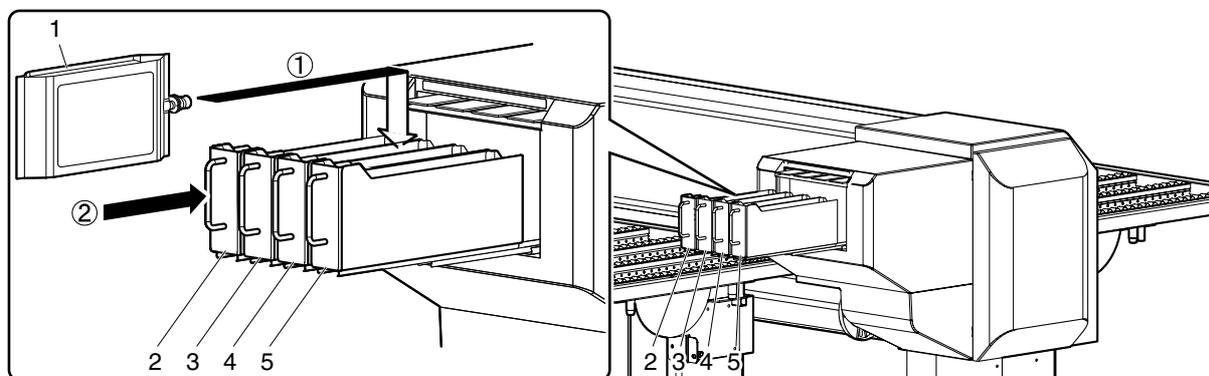
- インクパックは装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークとインクの色を合わせて取付けてください。



番号	名称
1	インクパック
2	インクパックスロット K2
3	インクパックスロット C1
4	インクパックスロット C2

20. 手順 19 と同様に、インクパック（M、Y：各 2 個）を、製品背面右側のインクパックスロット（M、Y：各 2 箇所）に取付けます。

- インクパックは装着するスロットが決まっています。
スロット手前のマークとインクの色を合わせて取付けてください。



番号	名称
1	インクパック
2	インクパックスロット M1
3	インクパックスロット M2
4	インクパックスロット Y1
5	インクパックスロット Y2

- 操作パネルに「インクシ ユウテンチュウ **%」と表示され、初期充填を開始します。
- 初期充填には約 12 分間かかります。
初期充填中は、インク充填動作と休止動作を繰り返します。
- メッセージの「**」部が 100 になると、初期充填が終了します。

注 記

- インク充填中は、以下のことを遵守してください。
 - 装置の電源を OFF しないこと。
 - 装置の電源ケーブルを抜かないこと。
 - フロントカバーを開けないこと。
 - 用紙セットレバーを上げないこと。

- 初期充填が終了すると、操作パネルに「メテ ィアナシ」と表示されます。

注 記

- 初期充填終了直後にノズルチェック作画を行うと、次のような現象が発生する場合があります。
 - 作画した線がかすれる
 - 部分的に作画されない

このような場合には、「6.2.3 ヘッドクリーニング」に従って、微量充填を行ってから作画結果を確認してください。

微量充填を行っても作画結果に変化が無い場合は、製品を1時間以上放置後、再度微量充填を行ってから作画結果を確認してください。

それでも作画結果に変化が無い場合は、「8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

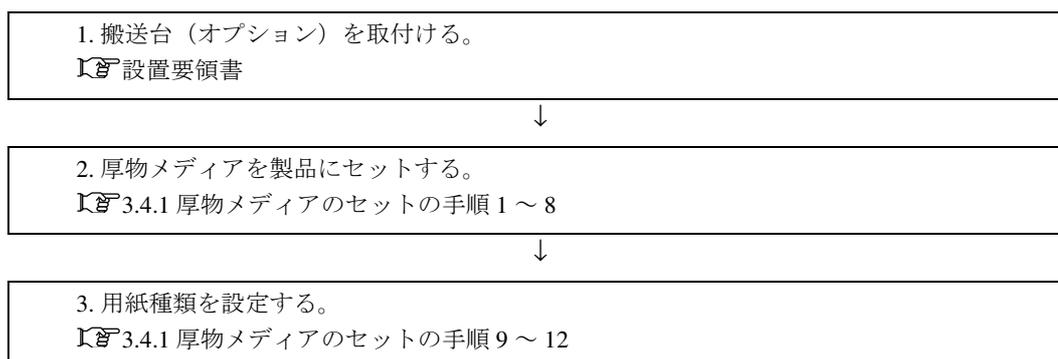
3.4 用紙の取付け

用紙の取付け、セット、および用紙種類の設定方法について説明します。

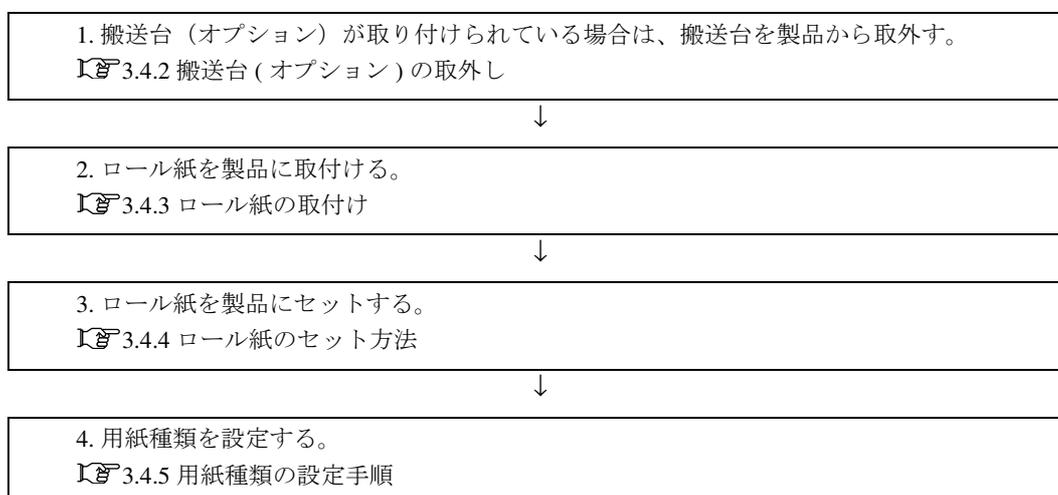
用紙の取付けに必要な手順を以下のフローに示します。

使用する用紙によって、以下の各項目を参照のうえ、作業を行ってください。

(1) 厚物メディアを使用する場合



(2) ロール紙を使用する場合



注 記

- 用紙の取扱方法等の詳細については、以下を参照してください。
I 4.2 用紙について
- 推奨用紙の種類および詳細については、以下を参照してください。
I 4.2.1 用紙種類
I 8.3 オプション・サプライ用品リスト

参 考

- 本製品では、厚紙やボード状のメディアを総称して「厚物メディア」と呼称します。

3.4.1 厚物メディアのセット

厚物メディアのセット方法について説明します。

▲ 注 意

- 硬質樹脂板、アルミ板（複合板含む）、鉄板、ガラスなどのような、表面の硬い厚物メディアに作画する場合は、搬送台に直接載せないでください。
 - 作画が乱れる原因となります。
 - グリッドローラが磨耗してメディアを搬送できなくなります。

注 記

- 本製品には、搬送台（オプション）を使用して、次の厚物メディアをセットすることができます。
 - 重量：5kg 以下
 - 長さ：1200mm 以下
 - 幅：1600mm 以下
 - 厚さ：10mm 以下

8.1.1 本体仕様

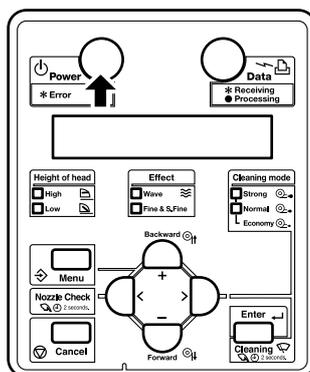
- 厚物メディアは中性洗剤等を使用して、汚れや埃を拭取って使用してください。
- 厚物メディアに作画を行う場合は、エアーヒーターとプラテンヒーターを併用してください。どちらか片方のヒーターのみを使用して作画を行うと、厚物メディアの温められた側の面が膨張し、厚物メディアが反り上がってしまい、ヘッド擦れの原因となります。
- エアーヒーターおよびプラテンヒーターの温度設定値は、使用する厚物メディアの材質や幅によって異なります。使用する厚物メディアで試し印刷を行って、温度設定を行ってください。

以下の手順に従って、厚物メディアをセットしてください。

1. 搬送台（オプション）を取り付けます。

☞ 設置要領書

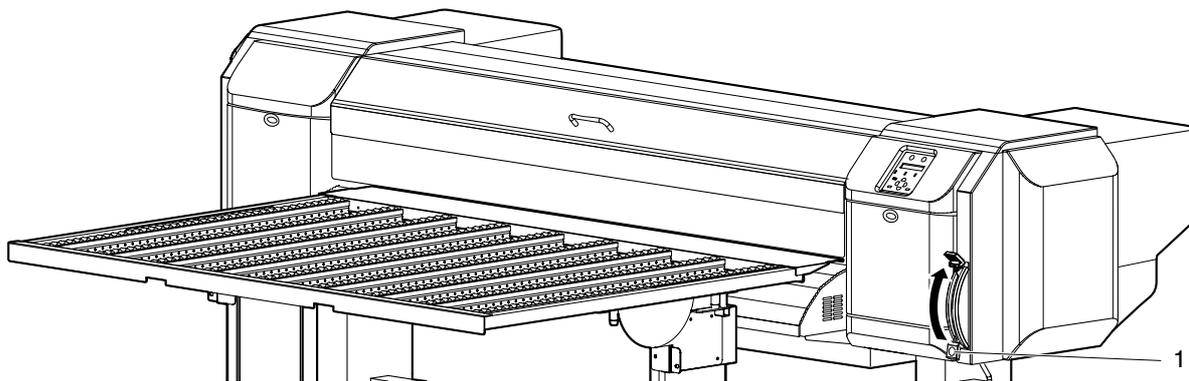
2. 製品の電源を ON します。



注意

- 製品の初期動作中および作画中は、用紙セットレバーを操作しないでください。プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。
- 製品が初期動作を開始します。
- 操作パネルに「メディアナシ」と表示されます。

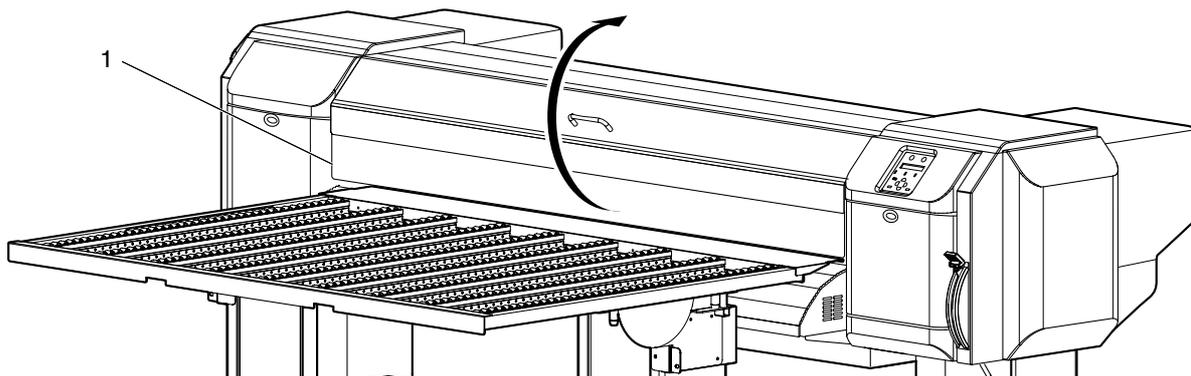
3. 用紙セットレバーを上げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

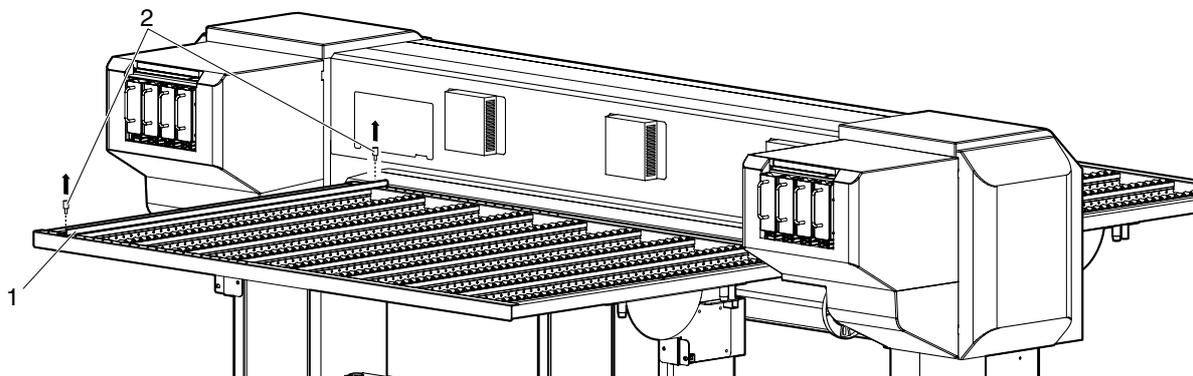
- 操作パネルに「メディアアセットシテクタ サイズ」と表示されます。

4. フロントカバーを開けます。



番号	名称
1	フロントカバー

5. 製品背面の搬送台の用紙搬送ガイドを固定しているネジ（2本）を取外し、用紙搬送ガイドを取外します。

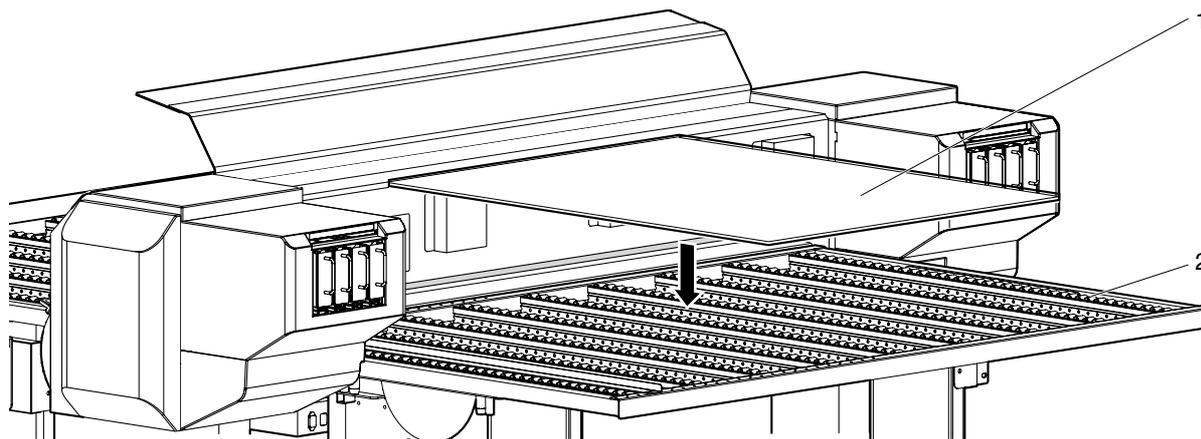


番号	名称
1	用紙搬送ガイド
2	用紙搬送ガイド固定ネジ

6. 厚物メディアを製品背面の搬送台の中央に、用紙搬送方向と平行になるように載せます。

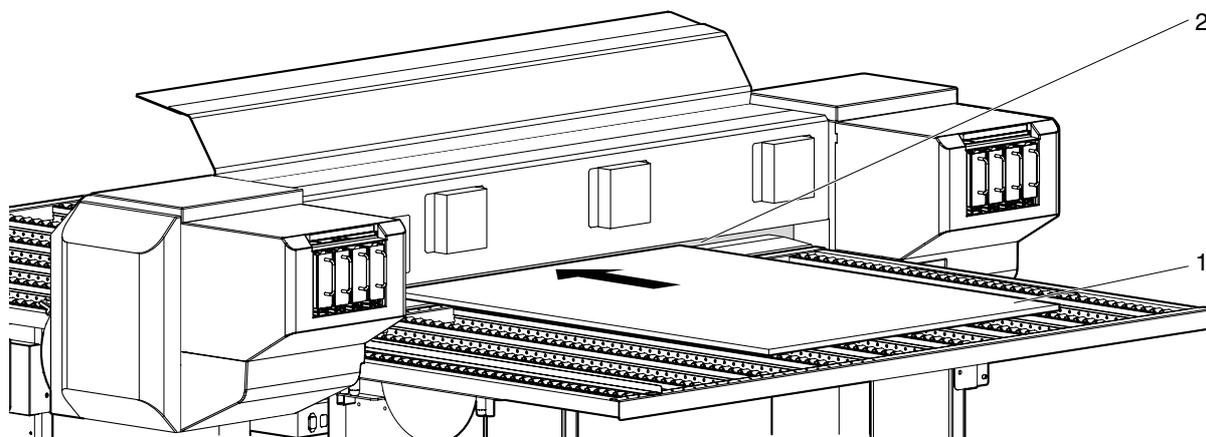
注記

- 表面の硬い厚物メディアに作画する場合は、0.2mm～1.0mm程度のフィルムまたはゴム板上にメディアを固定し、フィルムまたはゴム板側を下にして搬送台に載せてから作画してください。ただし、その場合は作画結果については保証できません。



番号	名称
1	厚物メディア
2	搬送台

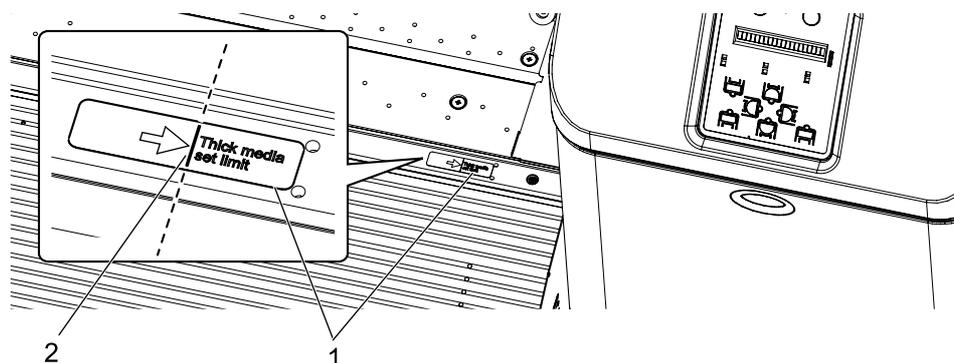
7. 厚物メディアを手で動かして、給紙スロットに差込みます。



番号	名称
1	厚物メディア
2	給紙スロット

注 記

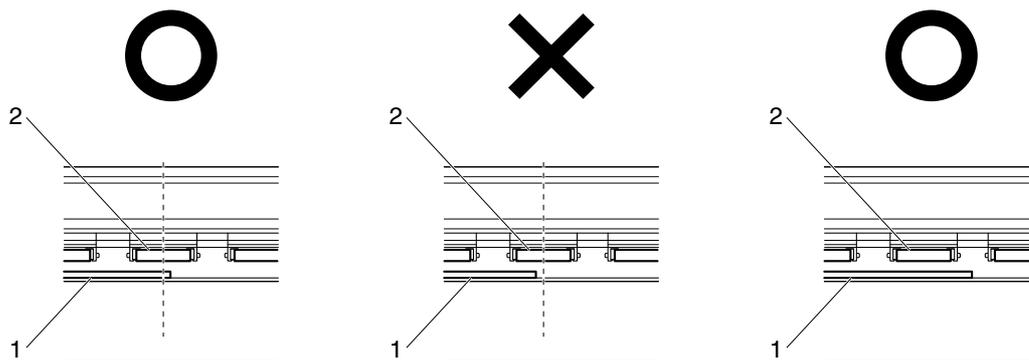
- 厚物メディアを搬送台の中央に配置し、そのまま給紙スロットに差し込んだときに、正面から見て厚物メディアの右端が「メディアセット限界シール」の線（メディアセット限界ライン）よりも右にはみ出ている場合は、メディアを反原点側にずらして、線を越えないようセットしなおしてください。メディアが線からはみ出ていると、メディアがプリントヘッド部を破損するおそれがあります。
- メディアセット限界シールの線（メディアセット限界ライン）は、メディア右端の基準位置を定めるものではありませんのでご注意ください。線を越えていなければ、メディアが線から離れた位置にあっても問題ありません。



番号	名称
1	メディアセット限界シール
2	メディアセット限界ライン

注 記

- 給紙スロットに厚物メディアをセットする時は、メディアの両端が、加圧ローラに半分以上かかるようにセットしてください。
加圧ローラに半分以上かからない厚物メディアをセットする場合は、メディアの両端が加圧ローラに掛からないようにセットしてください。
作画時にメディアのずれ等が発生する場合があります。

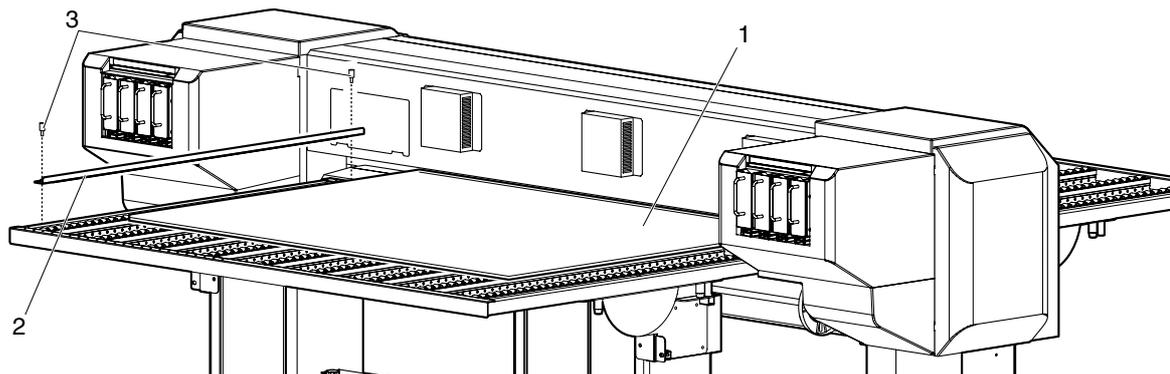


番号	名称
1	厚物メディア
2	加圧ローラ

8. 手順4で取外した用紙搬送ガイドを、セットした厚物メディアの端に合うよう位置を決め、ネジ（2本）で固定します。

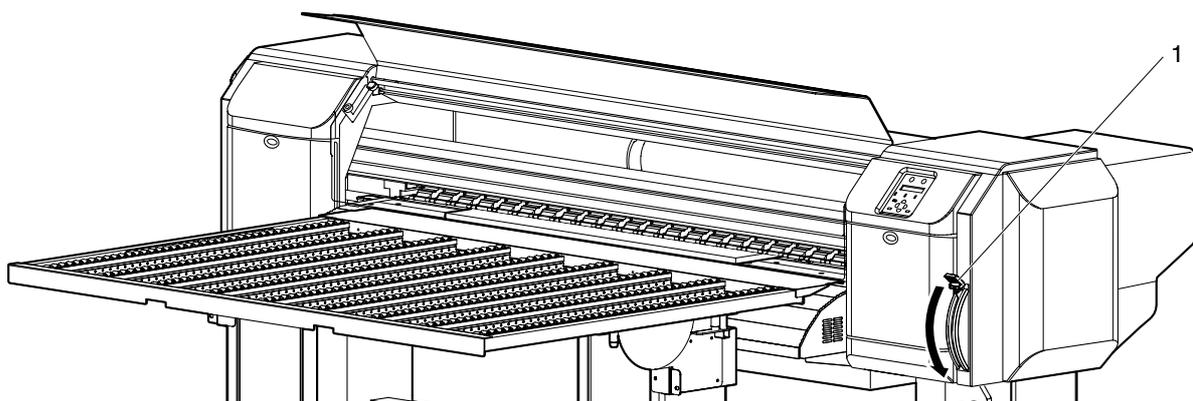
注 記

- 用紙搬送ガイドは、プリンタに対して直角に固定してください。直角でないと、厚物メディアが斜行する原因になります。



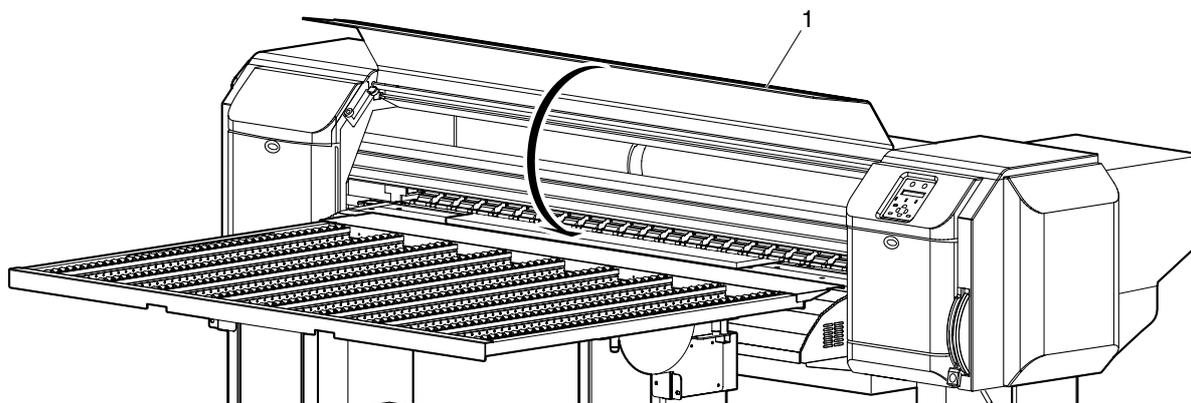
番号	名称
1	厚物メディア
2	用紙搬送ガイド
3	ネジ

9. 厚物メディアの原点側の端面を、用紙搬送ガイドにあて、メディアとプリンタがまっすぐになるようにセットします。
10. 用紙セットレバーを下げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

11. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- 厚物メディアのセットを終了します。
- 引き続き、用紙種類を設定します。
☞ 3.4.5 用紙種類の設定手順

3.4.2 搬送台 (オプション) の取外し

搬送台の取外し手順について説明します。
製品に搬送台 (オプション) が取付けられている場合は、ロール紙を使用する前に搬送台を取外す必要があります。

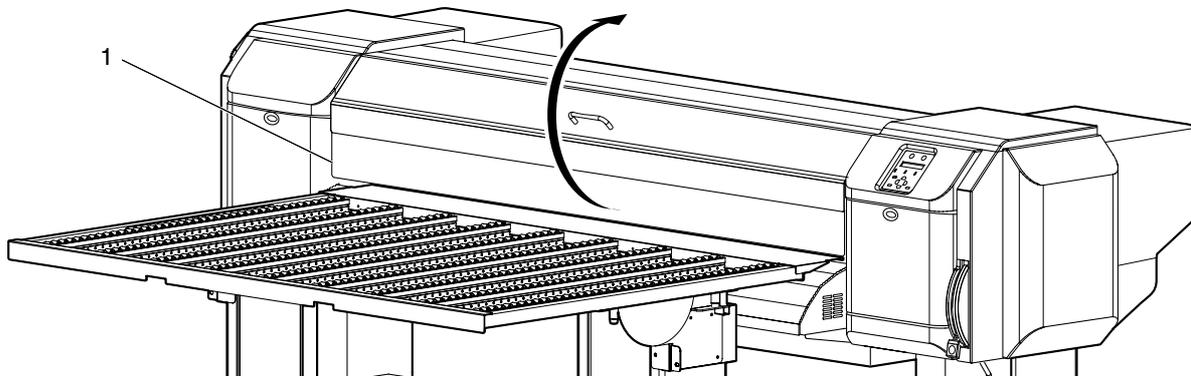
以下の手順に従って、搬送台を取外してください。

▲ 注意

- 搬送台を取外す場合は、必ず2人以上で作業を行ってください。

1. 製品正面側の搬送台を取外します。

a. フロントカバーを開けます。

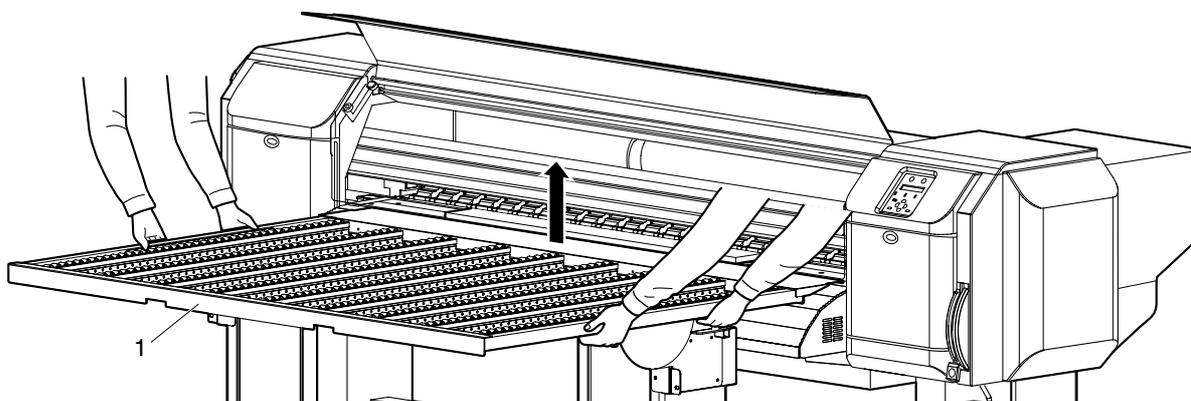


番号	名称
1	フロントカバー

b. 搬送台の両側を持ち上げ、製品から取外します。

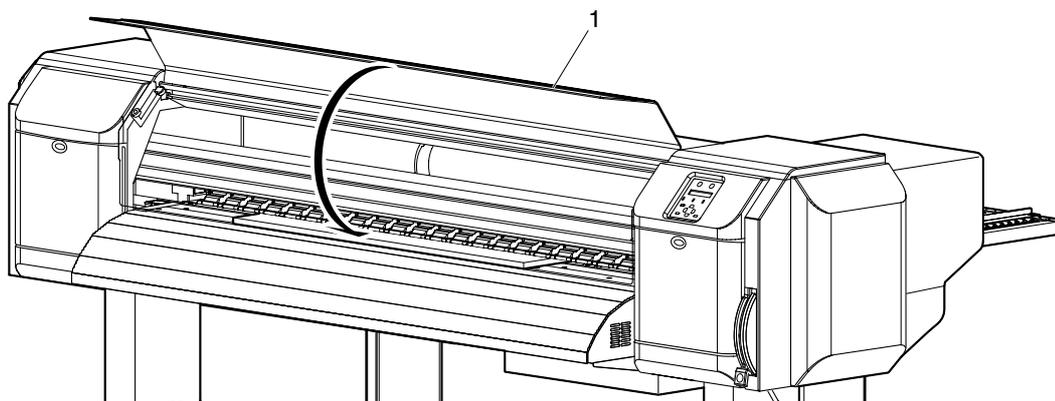
注 記

- 搬送台を持ち上げる時、製品を傷つけないように注意してください。



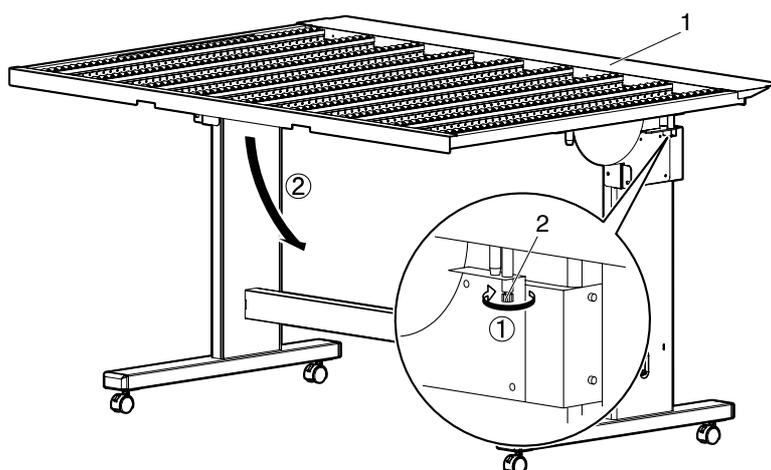
番号	名称
1	搬送台

- c. フロントカバーを閉めます。



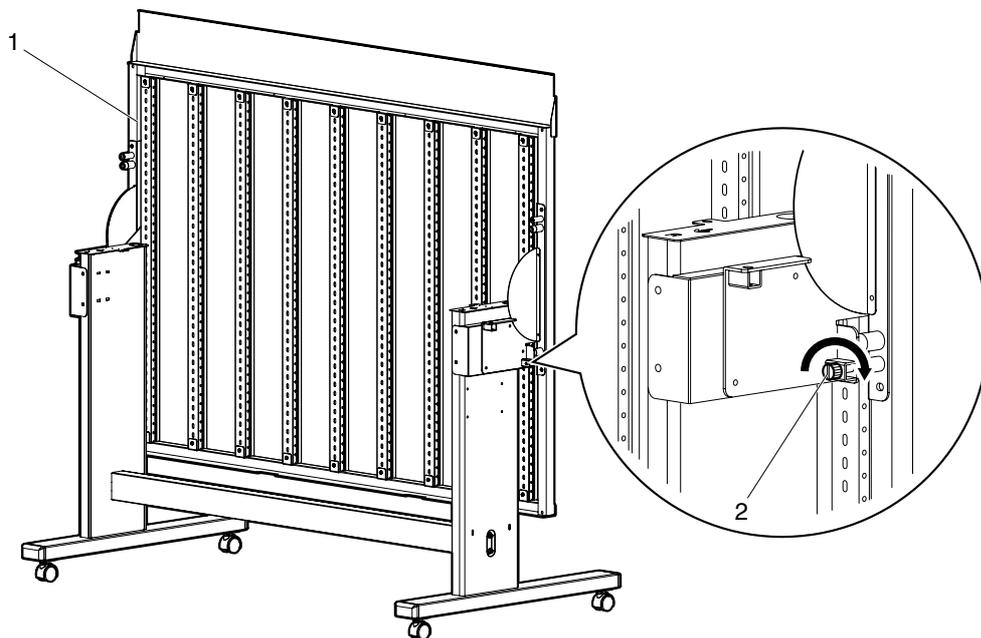
番号	名称
1	フロントカバー

- d. 水平固定ネジ（左右2カ所）を緩めて、搬送台を折畳みます。



番号	名称
1	搬送台
2	水平固定ネジ

- e. 垂直固定ネジを締めて、搬送台を固定します。

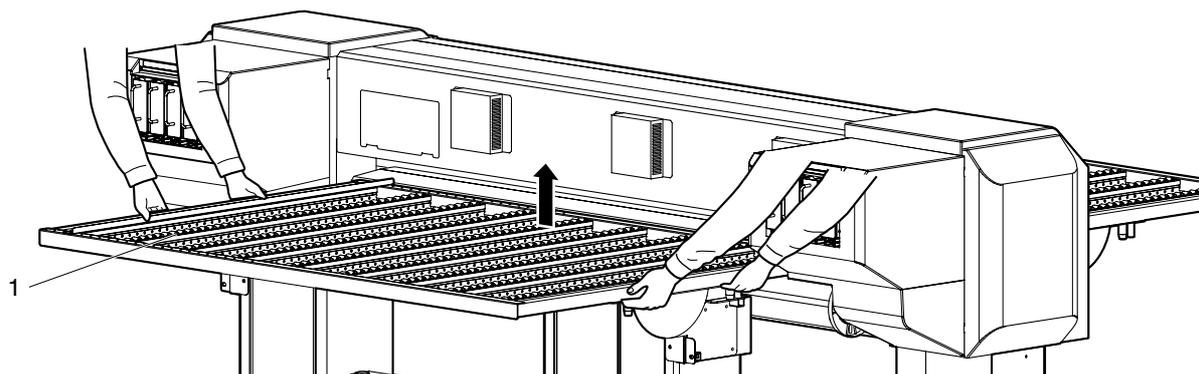


番号	名称
1	搬送台
2	垂直固定ネジ

2. 製品背面側の搬送台を取外します。
 - a. 搬送台の両側を持上げ、製品から取外します。

注 記

- 搬送台を持上げる時、製品を傷つけないように注意してください。



番号	名称
1	搬送台

- b. 手順 1 と同様に、搬送台を折り畳みます。
 - 搬送台の取外しを終了します。
 - 引き続き、製品にロール紙を取付けます。
☞ 3.4.3 ロール紙の取付け

3.4.3 ロール紙の取付け

ロール紙の取付け手順について説明します。
 ロール紙は製品中央に配置します。

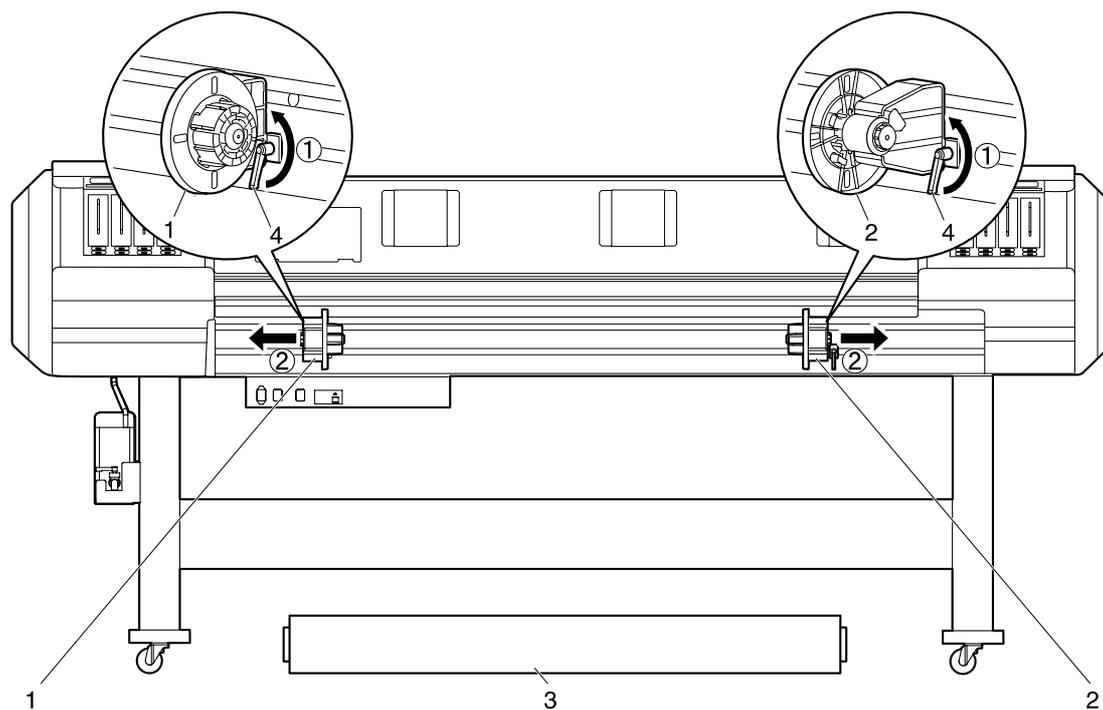
注 記

- 本製品には、次のロール紙を取付けることができます。
 - 外径：150mm 以下
 - 紙管径：3 インチ
 - 重量：30kg 以下
 - 長さ：50m 以下
 - 幅：1625mm 以下
 - 厚さ：0.3mm 以下

8.1.1 本体仕様

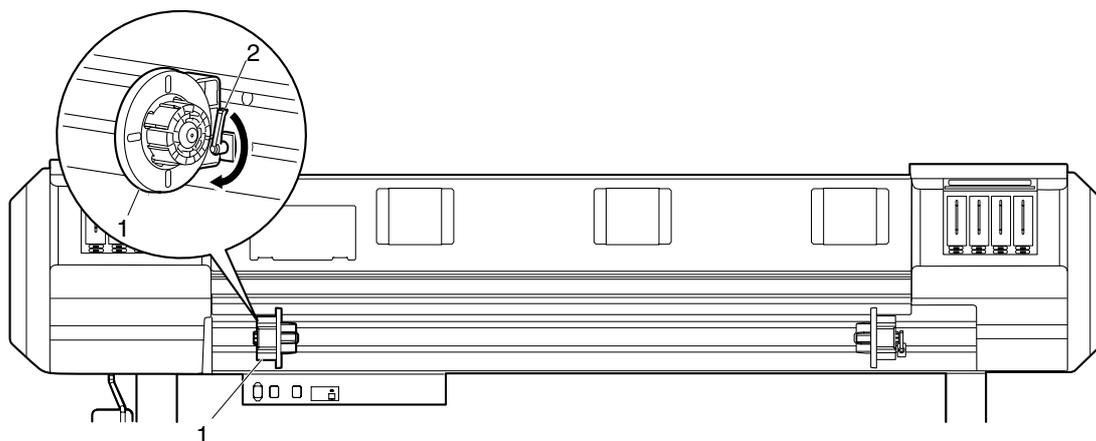
以下の手順に従って、ロール紙を取付けてください。

1. 製品背面左右のロール紙受けの固定レバーを緩め、セットするロール紙幅よりロール紙受けを広げます。



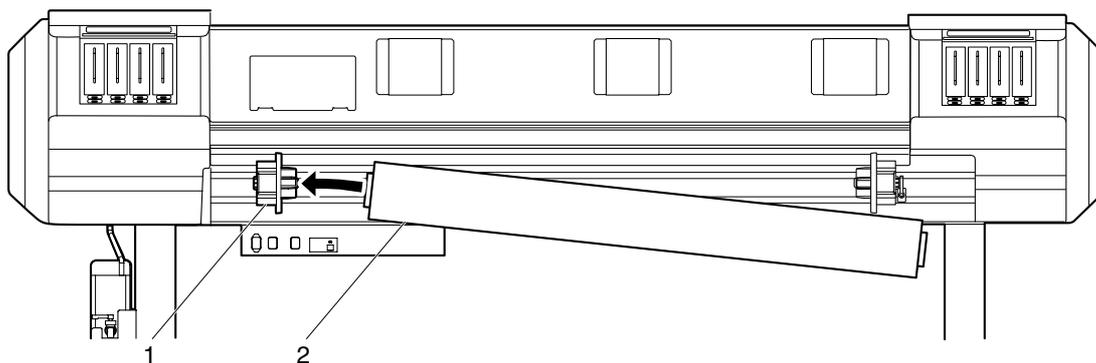
番号	名称
1	ロール紙受け (左)
2	ロール紙受け (右)
3	ロール紙
4	固定レバー

2. ロール紙受け（左）の固定レバーを締付け、ロール紙受け（左）を固定します。



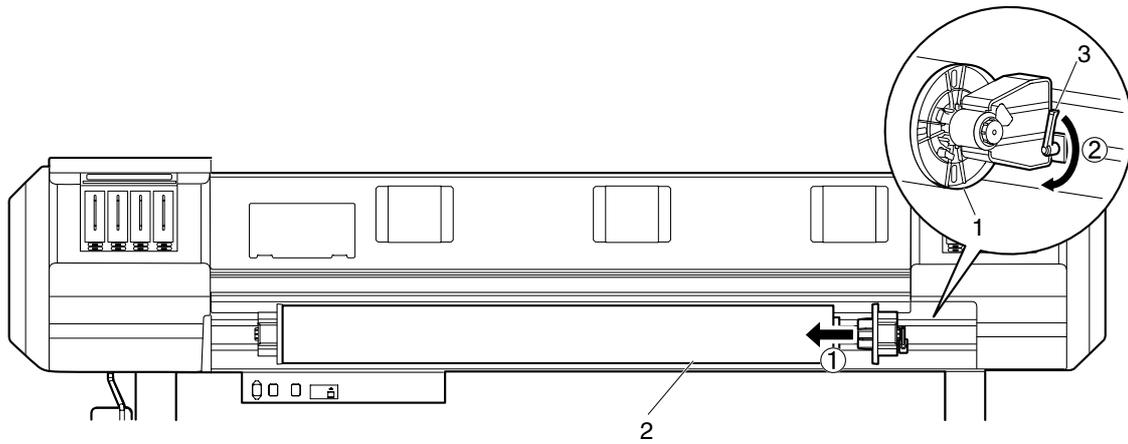
番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	固定レバー

3. ロール紙をロール紙受け（左）に取付けます。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙

4. ロール紙受け（右）をロール紙に取付け、固定レバーを締付けます。

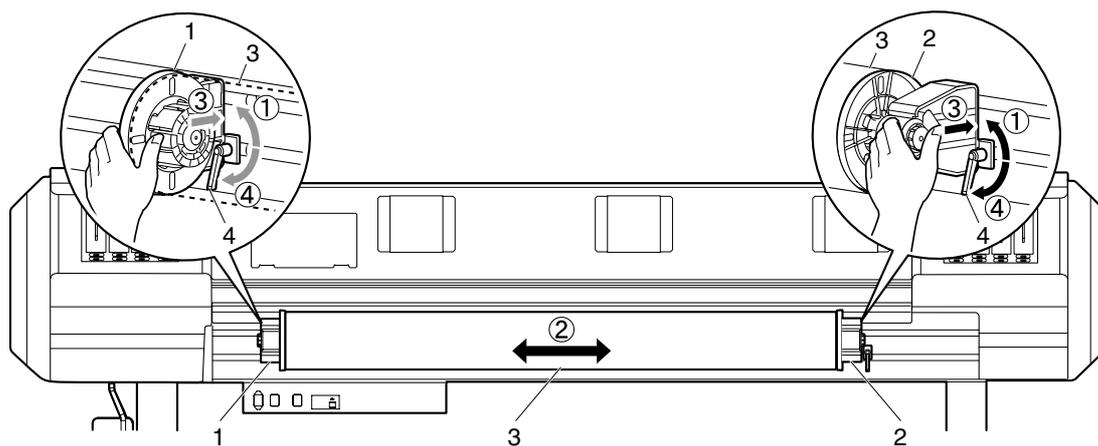


番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	ロール紙
3	固定レバー

5. ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を製品中央に移動させて、固定レバーを締付けます。

注 記

- ロール紙受けを固定する場合は、ロール紙受けを製品側に押当てながら固定してください。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	ロール紙
4	固定レバー

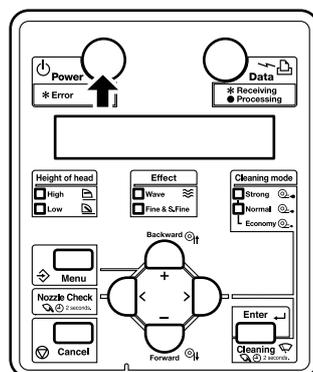
- ロール紙の取付けを終了します。
- 引き続き、製品にロール紙をセットします。
 3.4.4 ロール紙のセット方法

3.4.4 ロール紙のセット方法

ロール紙のセット方法について説明します。

以下の手順に従って、ロール紙をセットしてください。

1. 製品の電源を ON します。

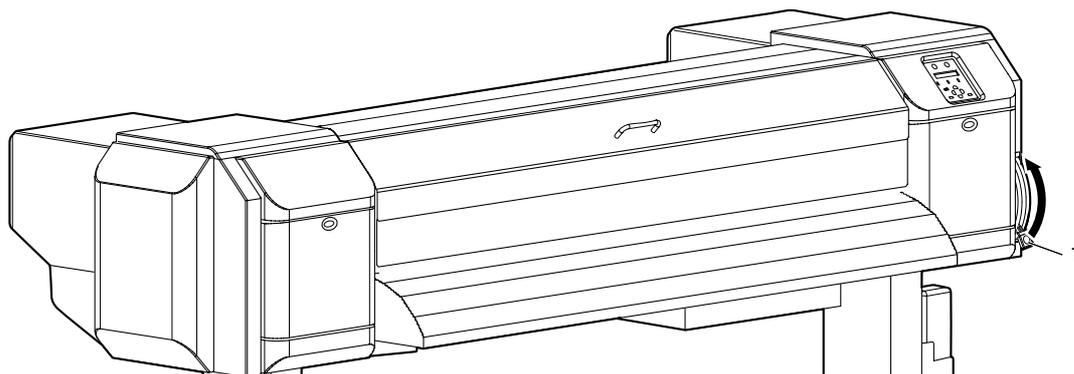


注意

- 製品の初期動作中および作画中は、用紙セットレバーを操作しないでください。プリントヘッド部と加圧ローラ部が干渉し、故障する恐れがあります。

- 製品が初期動作を開始します。
- 操作パネルに「メディアナシ」と表示されます。

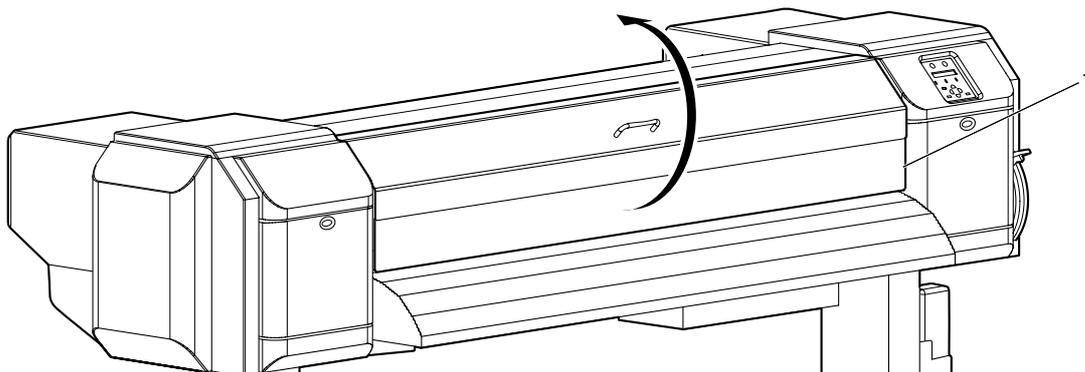
2. 用紙セットレバーを上げます。



番号	名称
1	用紙セットレバー

- 操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

3. フロントカバーを開けます。

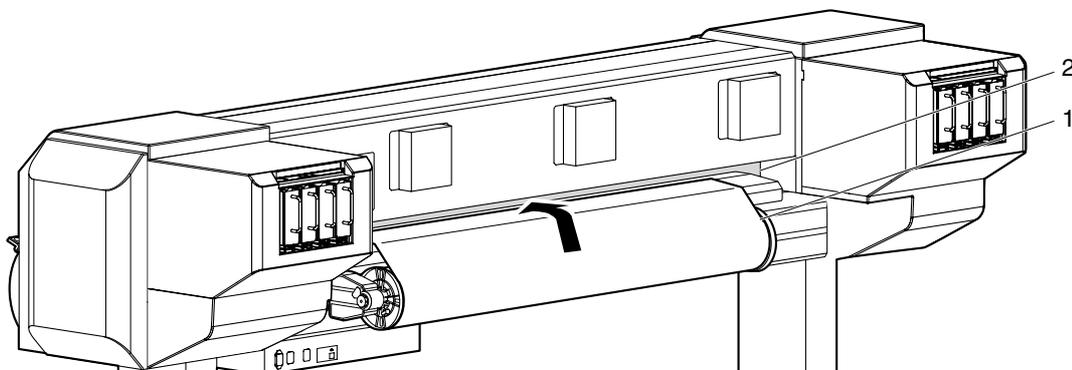


番号	名称
1	フロントカバー

4. ロール紙を給紙スロットに差込みます。

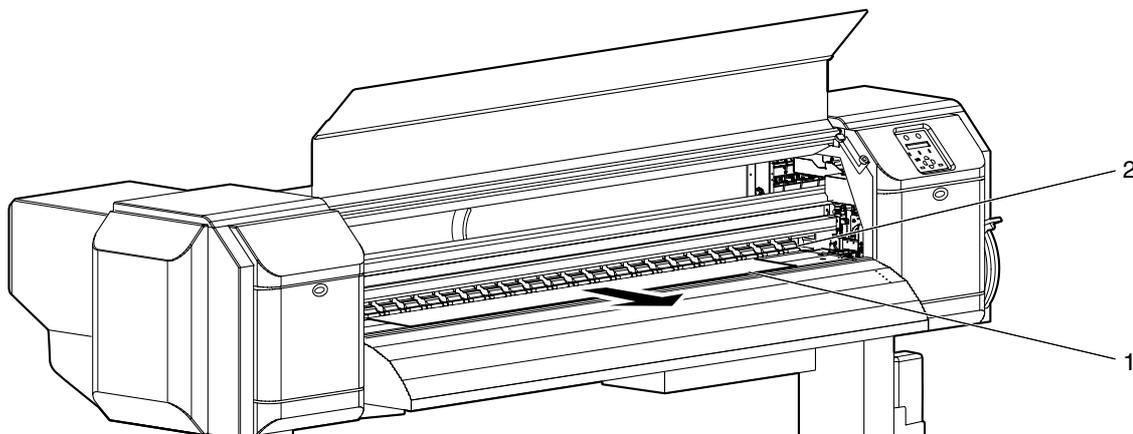
注 記

- ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。



番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

5. フロントカバー内にある正面側の給紙スロットから、ロール紙を約 1m 引出します。

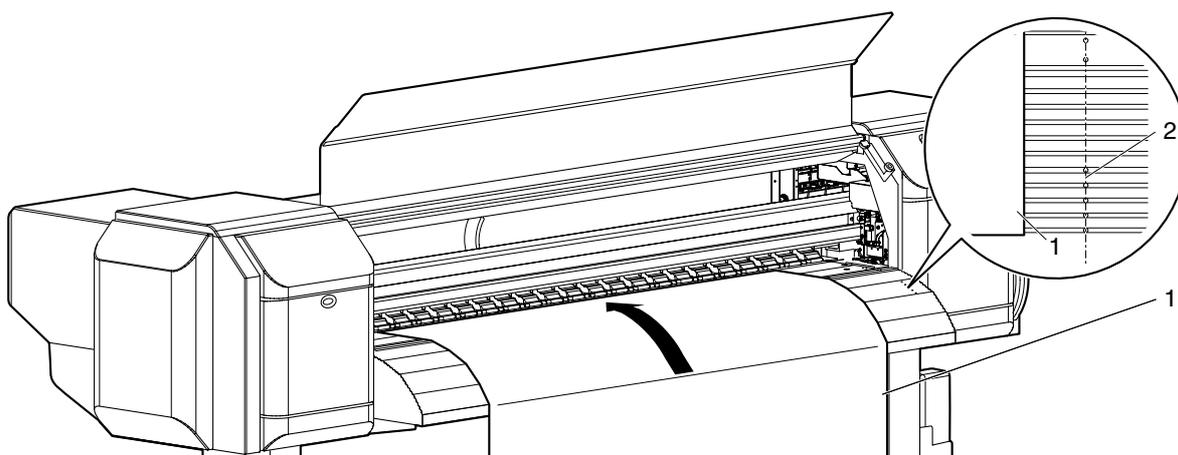


番号	名称
1	ロール紙
2	給紙スロット

6. 用紙先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻戻し、用紙のたわみおよび斜行を取除きます。

注記

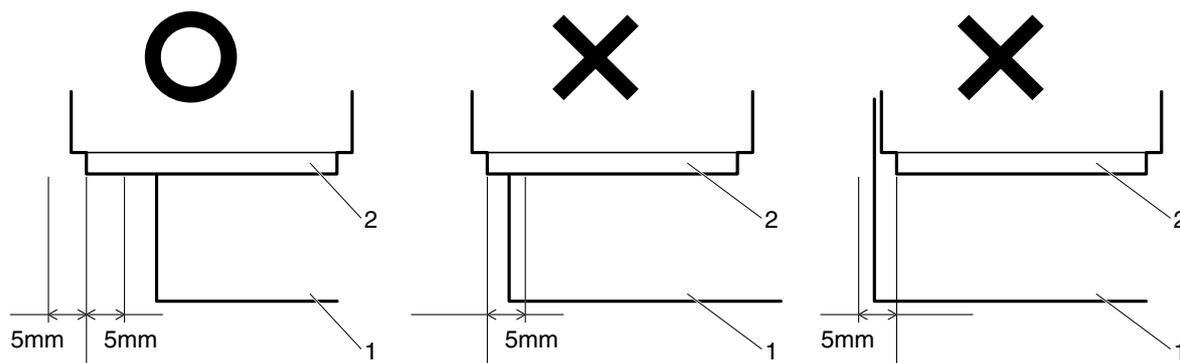
- ロール紙を巻戻している途中で手を放すと、ロール紙が給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。
- ロール紙の右端が用紙セット目安よりも右側に入らないようにしてください。作画品質に影響する場合があります。



番号	名称
1	ロール紙
2	用紙セット目安

注記

- ロール紙をセットする場合は、ロール紙の両端を、加圧ローラの両端から 5mm 以上離してセットしてください。作画時に用紙のずれ、しわ等が発生する場合があります。

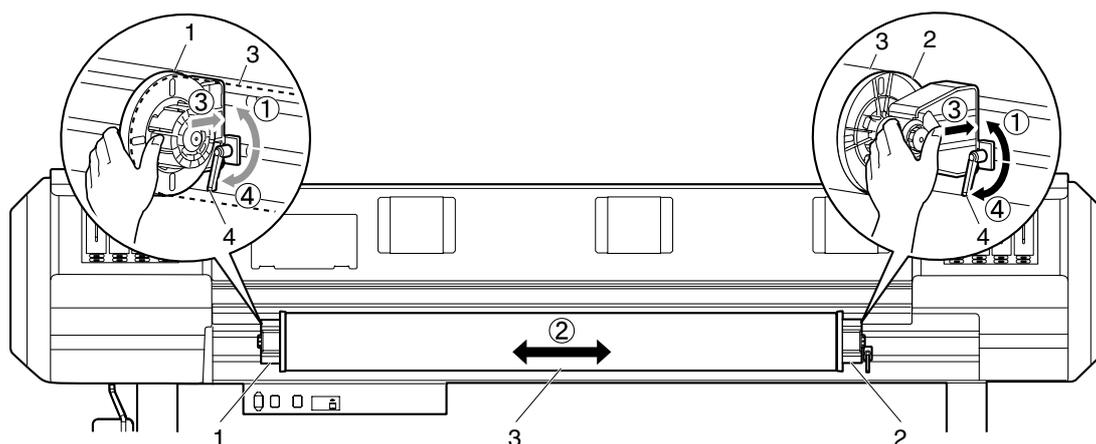


番号	名称
1	ロール紙
2	加圧ローラ

7. ロール紙の両端が、加圧ローラの両端から 5mm 未満の範囲にある場合は、以下の手順に従って、ロール紙の位置を調整します。
- ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
 - ロール紙の位置を動かした後、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締付けます。

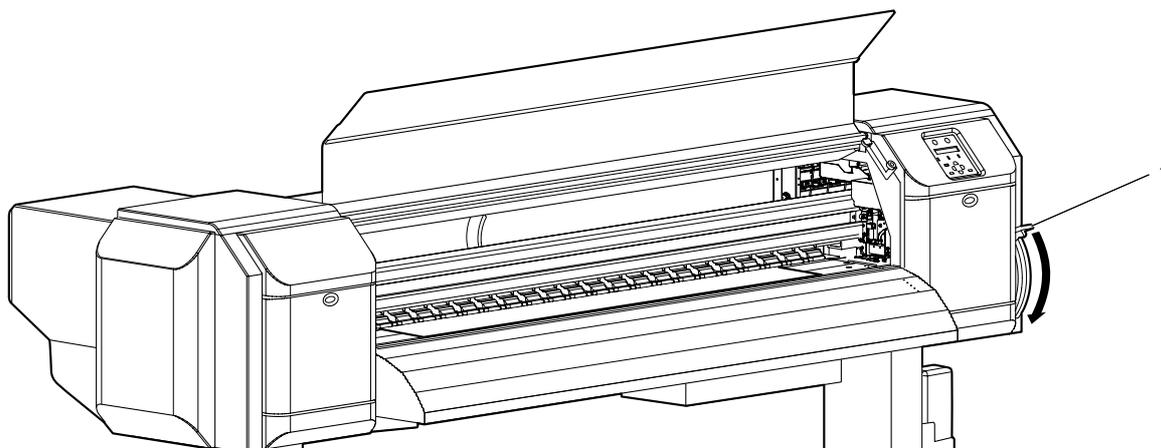
注 記

- ロール紙受けを固定する場合は、ロール紙受けを製品側に押当てながら固定してください。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	ロール紙受け（右）
3	ロール紙
4	固定レバー

8. 用紙セットレバーを下げます。

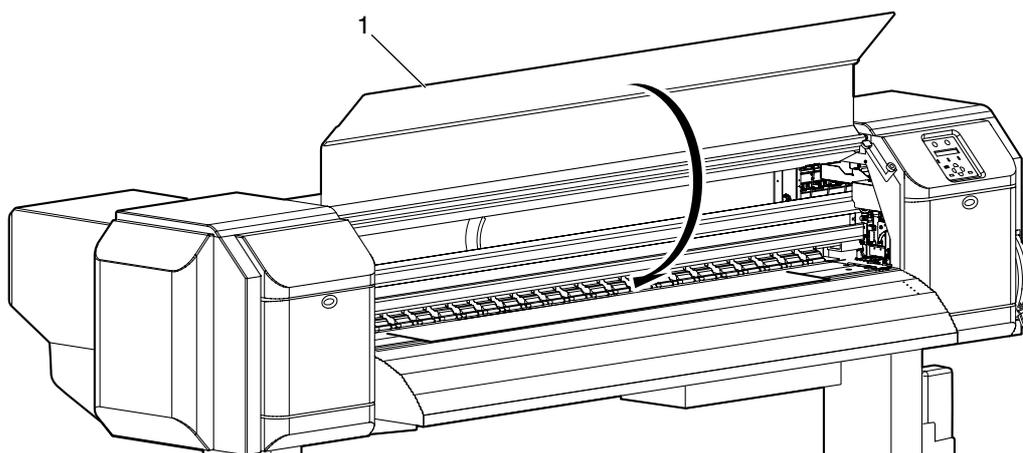


番号	名称
1	用紙セットレバー

注記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。
 ④4.4.3 用紙のカット

9. フロントカバーを閉めます。



番号	名称
1	フロントカバー

- ロール紙のセットを終了します。
- 引き続き、用紙種類を設定します。
 ④3.4.5 用紙種類の設定手順

3.4.5 用紙種類の設定手順

用紙種類の設定手順について説明します。

以下の手順に従って、用紙種類を設定してください。

注 記

- 用紙種類を変更した場合は、用紙送り補正を設定し直してください。

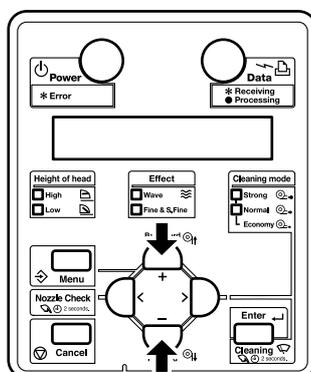
1. 製品の電源を ON し、用紙をセットします。

参 考

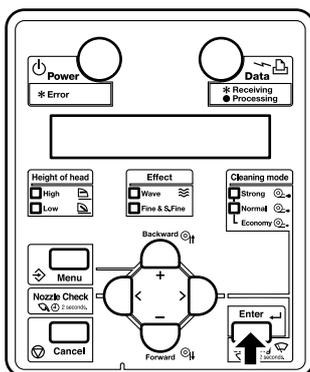
- 用紙セットの方法については、以下を参照してください。
 - 厚物メディア：
☞ 3.4.1 厚物メディアのセット
 - ロール紙：
☞ 3.4.2 搬送台 (オプション) の取外し～ 3.4.4 ロール紙のセット方法

- 用紙セット後、操作パネルに用紙種類設定メニューが表示されます。

2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、セットしている用紙種類を選択します。



3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



注 記

- 用紙種類設定メニューで、以下の操作を行った場合、パネルに表示された用紙種類で用紙イニシャル動作に移行します。
 - 操作パネルの [Cancel] キーを押した場合
 - 操作パネルのキー操作を 10 秒間行わなかった場合

- 用紙種類が確定します。
- 操作パネルに「ヘッド`タカサイニシャルチュウ」と表示されます。
- 製品はヘッド高さイニシャル動作を開始します。
- メディアの厚さを検出し、自動でプラテンからプリントヘッド表面までの距離（ヘッド高さの設定値）が最適な値に調整されます。
- 操作パネルに「ヘンコウ： * . * mm ->」と表示されます。

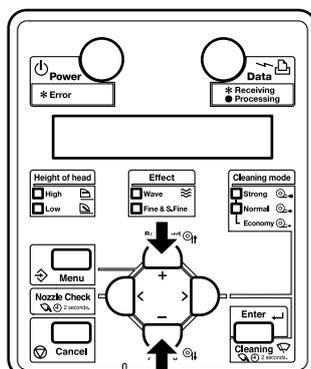
⚠ 注 意

- メディア検出メニューの設定値を「Off」、「Top & Width」または「Width」に設定した場合、ヘッド高さイニシャル動作を行いません。
操作パネルに「Warning! * . * mm ->」と表示されたら、セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい設定値を入力してください。
間違った数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。

参 考

- 「* . *」にはメディア厚さ検出で測定された、ヘッド高さの設定値が表示されます。

4. ヘッド高さの設定値を変更したい場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。



注 記

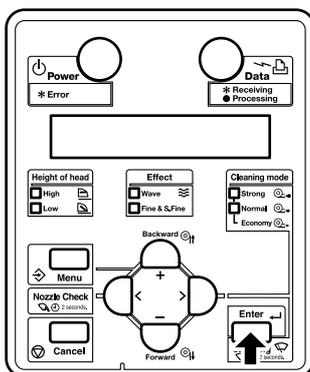
- 作画面の軟らかい厚物メディアを使用する場合、操作パネルに表示されたヘッド高さの設定値と、実際のメディアの厚さが異なる場合があります。その場合、以下の要領でヘッド高さが実際のメディアの厚さと合うように、補正値を入力してください。

- 厚物メディアを本体からいったん取り外します。
- メディアの厚さをノギスなどで測ります。
- 再び厚物メディアをセットします。
- 操作パネルに表示されている設定値と、実際のメディアの厚さの差を、補正値として入力します。

参 考

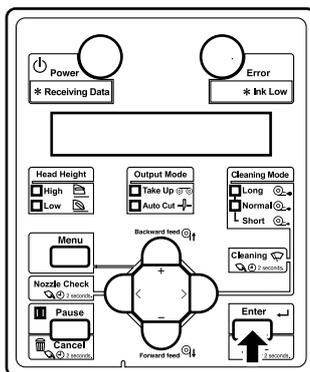
- 「*.*」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正値（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： *.*.*+○.○」のように、設定値（*.*）と入力した補正値（○.○）がそれぞれ表示されます。

5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「メテ` ィアイニシャルチュウ」と表示されます。
- 製品は用紙イニシャル動作を再開します。
- 用紙イニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカ` テ` キマス」と表示され、通常状態に移行します。
- 用紙種類の設定が終了します。

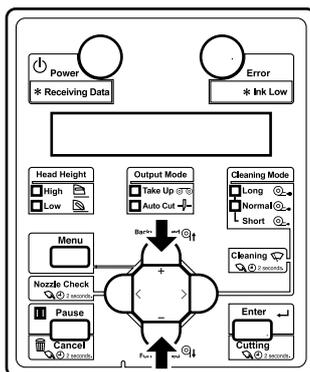
3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



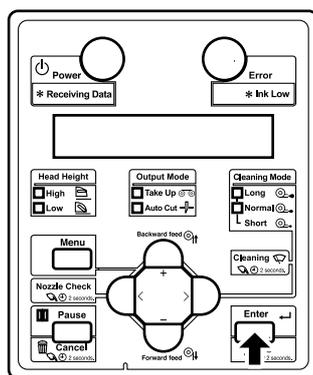
- 操作パネルに「シュルイ : Type 1」と表示されます。

シュルイ : Type 1

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 用紙種類を変更すると、操作パネルに「ヨウシアツ ヲ ヘンコウシマスカ？」と表示されます。

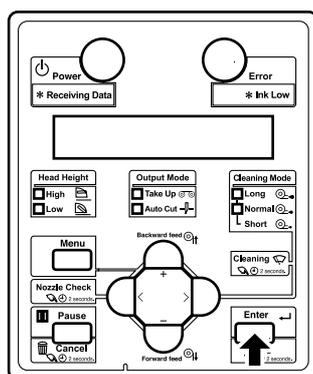
ヨウシアツ ヲ ヘンコウシマスカ？

注 記

- 前回と同じ用紙種類を選択した場合は、操作パネルに「**>1 : サクカ`モード`」と表示されます。本手順を終了し、続いてユーザー用紙の設定を行うことができます。

☞ 5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



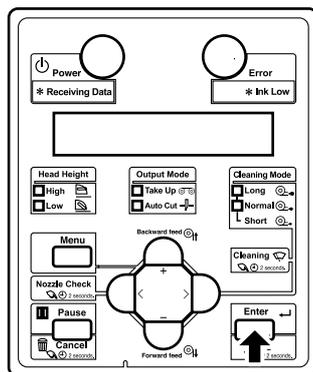
- 選択した用紙種類に登録されているメディア厚さが、現在セットされているメディア厚さに更新されます。
- 操作パネルに「**>1 : サクカ`モード`」と表示されます。

**>1 サクカ`モード`

7. 続けてユーザー用紙の各種設定を行うことができます。

☞ 5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

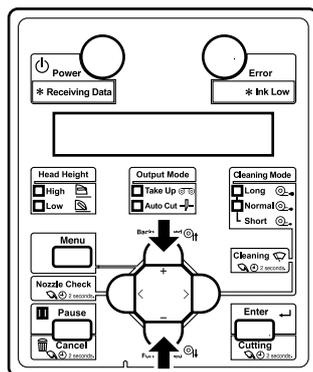
3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



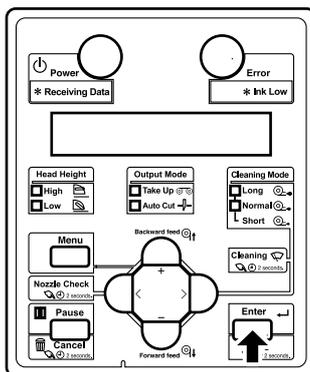
- 操作パネルに「シュルイ : Type 1」と表示されます。

シュルイ : Type 1

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 別の用紙種類（ユーザー用紙の内容が設定済み）に変更した場合は、操作パネルに「Warning! *. *mm->」と表示されます。

Warning! *. *mm->

注記

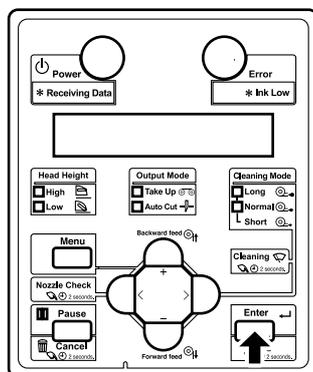
- 新規の用紙種類（ユーザー用紙の内容が未設定）を選択した場合は、製品がメディア厚さの検出を行います。手順 8 の (b) にとびます。
- 前回と同じ用紙種類を選択した場合は、操作パネルに「**>1 : サクカ`モート`」と表示されます。本手順を終了し、続いてユーザー用紙の設定を行うことができます。

5.1.1.1 ユーザー用紙メニュー

参考

- 「*. *」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ : *. *+〇.〇」のように、設定値（*. *）と入力した補正值（〇.〇）がそれぞれ表示されます。

6. セットしたメディアの厚さとパネルの数値が合っているかを確認します。
- a. 正しければ操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「Misuse Damage Unit >」と表示されます。

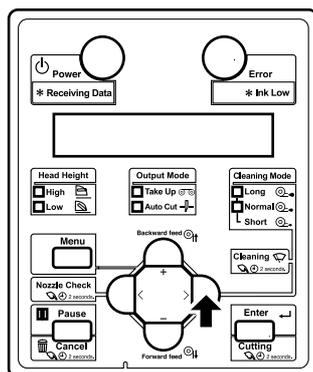
Misuse Damage Unit >

注 記

- 間違った数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突しヘッドが破損する恐れがあります。

- b. [Cancel] キーを押すと、メディア厚さ検出を行います。手順 8 の (b) にとびます。

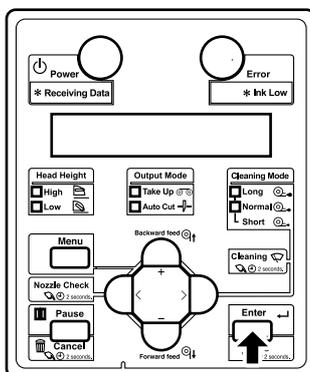
7. 操作パネルの [>] キーを長押しします。



- 操作パネルに「< E > Skip, < CAN > Detect」と表示されます。

< E > Skip, < CAN > Detect

8. メディア厚さの検出を行うかどうかを選択します。
- a. メディア厚さの検出をスキップする場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。

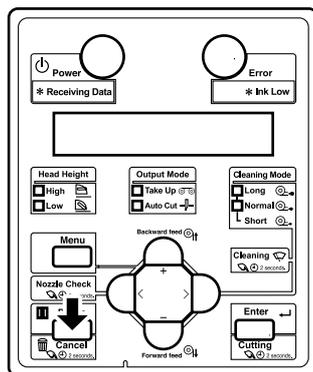


- プリンタが用紙イニシャル動作を行います（メディア厚さは検出しません）。
- 操作パネルに「サクカ`テ`キマス」と表示されます。

サクカ`テ`キマス

- 用紙種類の変更手順を終了します。

- b. メディア厚さを検出する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 操作パネルに「ヘッド タカサイニシャルチュウ」と表示されます。

ヘッド タカサイニシャルチュウ

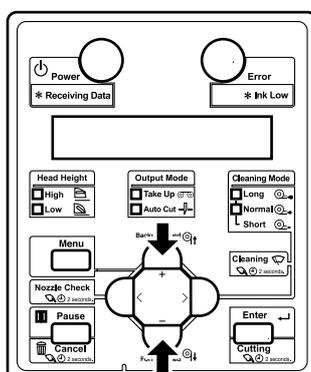
- 製品はヘッド高さイニシャル動作を開始します。
- メディアの厚さを検出し、自動でプラテンからプリントヘッド表面までの距離（ヘッド高さの設定値）が最適な値に調整されます。
- 操作パネルに「ヘンコウ： * . * mm ->」と表示されます。

ヘンコウ： * . * mm ->

参考

- 「* . *」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： * . * + 〇 . 〇」のように、設定値（* . *）と入力した補正值（〇 . 〇）がそれぞれ表示されます。

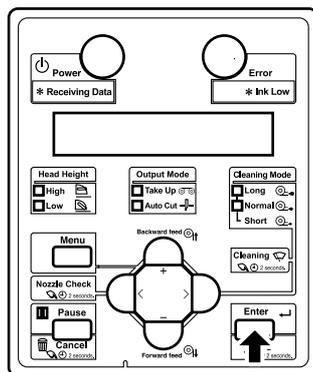
9. ヘッド高さの設定値を変更したい場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。



注 記

- 作画面の軟らかい厚物メディアを使用する場合、操作パネルに表示されたヘッド高さの設定値と、実際のメディアの厚さが異なる場合があります。その場合、以下の要領でヘッド高さが実際のメディアの厚さと合うように、補正值を入力してください。
- a. 厚物メディアを本体からいったん取外します。
 - b. 厚物メディアの厚さをノギスなどで測ります。
 - c. 再び厚物メディアをセットします。
 - d. 操作パネルに表示されている設定値と、実際の厚物メディアの厚さの差を、補正值として入力します。

10. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「メテ` ィアイニシャルチュウ」と表示されます。

メテ` ィアイニシャルチュウ

- 製品は用紙イニシャル動作を再開します。
- 用紙イニシャル動作が終了すると、操作パネルに「サクカ` テ` キマス」と表示されます。

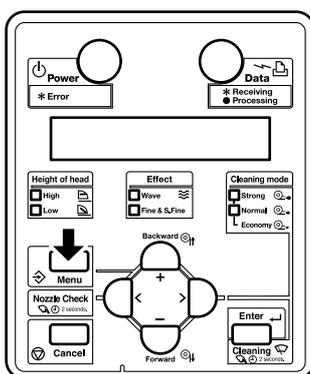
サクカ` テ` キマス

- 用紙種類の変更手順を終了します。

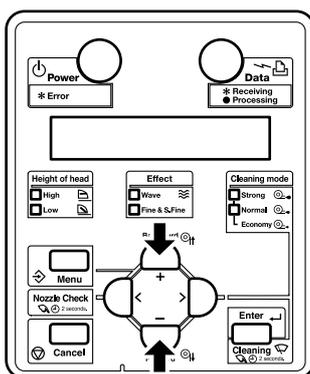
3.5 テスト作画

以下の手順に従ってテスト作画を行い、本機が正常に動作するか確認してください。

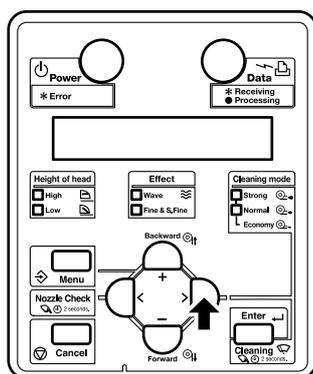
1. 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。
☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
2. 製品が通常状態であることを確認します。
3. 操作パネルにテスト作画メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー2 : テストサクカ>」を選択します。



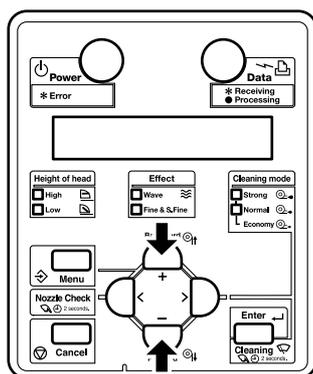
- c. 操作パネルの [>] キーを押します。



- 操作パネルに「テスト 1 : ノズルチェック」と表示されます。
- テスト作画メニューに移行します。
 5.2 テスト作画メニュー

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、次の各項目から作画する項目を選択します。

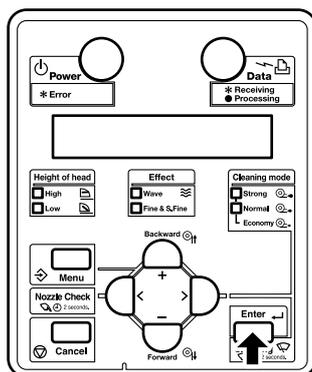
- ノズルチェック
- モードプリント
- 設定内容作画
- 設定内容作画 ALL
- パレット作画
- カラーベリファイ



注 記

- 作画モードメニューで「Banner 1」または「Banner 2」に設定されている場合、テスト作画メニューに「パレット作画」は表示されません。
 5.2 テスト作画メニュー

5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

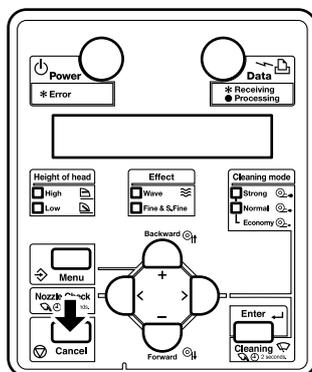


- 選択した項目のテスト作画を開始します。

参考

- 各作画内容の詳細については、以下を参照してください。
 3.5.1 ノズルチェック ~ 3.5.5 カラーベリファイ

6. 他の項目のテスト作画を行う場合は、手順 4 ~ 5 を繰り返します。
7. テスト作画を終了する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 操作パネルが通常状態に戻ります。
- テスト作画を終了します。

3.5.1 ノズルチェック

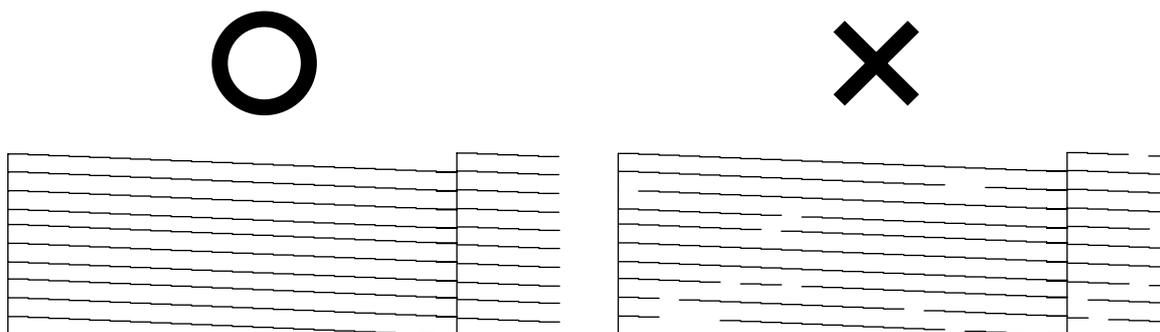
ヘッドの目詰まり、作画の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。

注 記

- ノズルチェックの結果、チェックパターンがかすれたり、欠けたりした場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。
【図6.2.3 ヘッドクリーニング】
作業終了後には、再度ノズルチェックを行なってください。

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。
【図3.5 テスト作画】



3.5.2 モードプリント

以下の作画条件を確認するときに使用します。

- 作画モード
- エフェクト
- プリヒーター設定温度
- プラテンヒーター設定温度
- アフターヒーター設定温度
- エアーヒーター設定温度
- 作画微調整値

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。
🔗 3.5 テスト作画

2009/01/01 0:00 G2(720x720N 8Pass Bi)-Wave1/プリ:30° C/プラテン:30° C/アフター:30° C/エア:190° C/ピッチオフ値:0



3.5.3 設定内容作画

現在の製品の設定内容を確認する時に使用します。

注 記

- 作画した設定内容作画は、大切に保管しておいてください。

参 考

- ユーザ用紙一覧と作画モード一覧は「設定内容 ALL」選択時のみ作画されます。
- 作画手順については、以下を参照してください。
 3.5 テスト作画

現在の設定内容

＜フ リンタ情報＞		2011/01/01 0:00	
シリアルNo.	= GN6A00001	ファームウェア M	= V 1.00
機種	= VJ-1608HS	ファームウェア C	= V 5.04
メモリ容量	= 128MB	エラー発生情報!	0: なし []
			1: なし []
			2: なし []
			3: なし []
			4: なし []
			5: なし []
＜メニュー設定＞		Cleaning mode: Normal	
[メニュー番号] [簡易選択] メニュー	= 設定値	[メニュー番号] [簡易選択] メニュー	= 設定値
[1] [*] メディア種類	= Type 1	[13] [*] 重ね書き回数	= 1回
[1] [*] 作画モード	= Graphics 2	[14] [*] 重ね書きウエイト	= 0.0sec
[2] 送り補正		[15] [*] 斜行チェック	= Off
[1] 初期調整作画		[16] [*] オートクリーニング	WaitingTime = Off
[2] 初期調整値	= 250.0/250mm	PrintingTime = Off	
[3] 確認調整作画		Before Print = Off	
[4] 確認調整値	= 0pulse	After Print = Off	
[5] 微調整値		[17] [*] インクステータス	K:100% k:100% C:100% c:100%
[3] フ リヒーター	= Off	M:100% m:100% Y:100% y:100%	
[4] フ ラテンヒーター	= Off	[18] [*] ロール紙長さ設定	= Off
[5] アフターヒーター	= Off	[19] [*] ヘッド 洗浄	
[6] 特機ヒート	= 60min	[20] [*] CRメンテナンス	
[7] エアヒーター	= 190°C	[21] [*] 初期化	
[8] 吸着ファン	= High	[22] [*] 寿命確認	呼び : E*****F
[9] メディアアツ補正	= 1. mm		ポン : E*****F
(アツサ:ホセイ = 1.0mm/0.0mm)			CRE: : E*****F
[2] [*] エフェクト	= FineWave2		PFE: : E*****F
[3] [*] フラッシング	= 原点	[23] [*] IPアド レス	= 192.168.001.253
[4] [*] サイド マージン	= 5mm	[24] [*] サブ ネットマスク	= 255.255.255.000
[5] [*] メディアクンシユツ	= TopWidth	[25] [*] ケー ネットウェイ	= 192.168.001.254
[6] [*] メディア幅	= 1000mm	[26] [*] 後端処理	= Off
[7] [] 巻き取り装置	= Off	[27] [*] ハ ウォンクリーニング	= Off
[8] [] 送り出し装置		[28] [*] ハ ウォフクリーニング	= Off
[9] [*] 原点設定		[29] [] 先端処理	= Auto
[10] [*] 貼り付き防止	= On	スリープ モード タイマー	= 3h
[11] [*] フ リヒート	フ リヒート = 0回		
	アフターヒート = 0回		
[12] [*] CR作画イ ト ウ幅	= テ ータ幅		

3.5.4 パレット作画

カラーデモとして、パレット作画を行います。

注 記

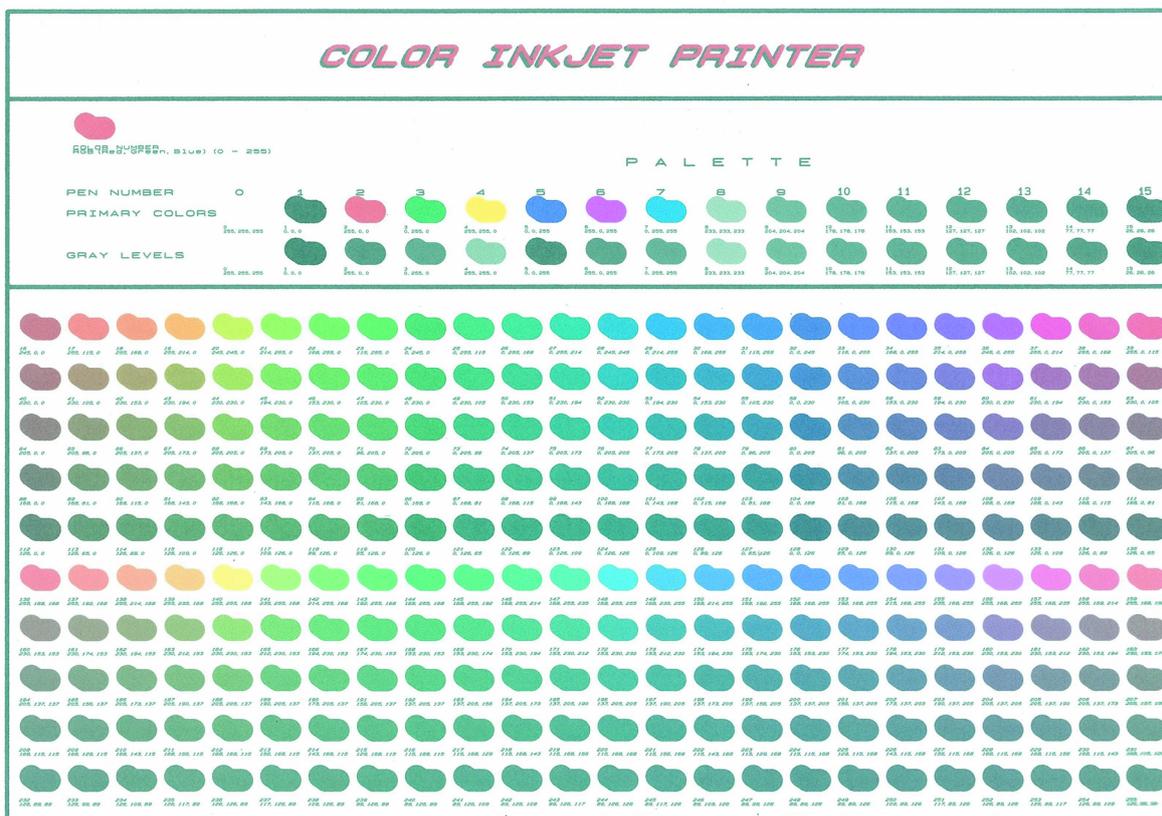
- 作画モードメニューで「Banner 1」または「Banner 2」に設定されている場合、テスト作画メニューに「パレット作画」は表示されません。

☞ 5.2 テスト作画メニュー

参 考

- 作画手順については、以下を参照してください。

☞ 3.5 テスト作画



3.5.5 カラーベリファイ

カラーベリファイは、色再現性の変動が大きくなっていないかどうかを簡単な操作で点検できる、工程管理のための機能です。

14 個のカラーパッチを作画し、付属の分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) を使用して測定します。過去にカラーベリファイを実行し、その測定値が基準値として保存してある場合は、その基準値と比較した色差を結果として印刷します。

参 考

- プリンタの色再現性は、温度や湿度などの動作環境の違い、インクやメディアの製造日からの経過日数や保管条件、ロット間で起こりうるバラツキ、そしてプリンタ自体の経年変化 (機械的摩耗) など、様々な要因によって変わります。これらの要因による影響は、通常は非常に小さいと考えられますが、長い時間が経つことなどによって累積され、結果として目に見えるほどの変動となることもあります。

カラーベリファイ機能を使った色再現性の確認は、以下の二つのステップで行います。

1. 基準値を登録する

比較基準とする条件 * でカラーベリファイを実行し、測定値を保存します (基準値は一つ保存することができます)。

* 例 : 新しい用紙を使用する時、初めてインクの充填を行った時、連続するジョブの印刷開始前など

2. 現在の色再現性を確認する (基準値との比較)

用紙やインクを交換した時、あるいは過去に印刷したジョブを再度印刷するような場合にカラーベリファイを実行します。基準値を登録した時点と比較し、色再現性に大きな変動が起こっていないか確認します。

参 考

- カラーベリファイを実行すると、カラーパッチの上に基準値との色差 (dE) が印刷されます。色差 (dE) は値が大きいほど、基準値を登録した時点より色再現性が変動していることを示します。一般に dE が 3.2 を越えるようになると、印刷結果において色の違いが感じられるようになります。
- 本機能では色差 (dE) を CIE 94 * の方法で計算しています。
* CIE94 は CIE (国際照明委員会) によって 1994 年に提案されました。

注 記

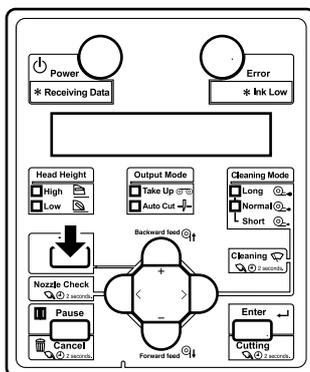
- 本機能の実行には、オプションの SPECTROVUE VM-10 が必要です。SPECTROVUE VM-10 については下記にお問い合わせください。
I☞8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口
- 本機能を実行する前にノズル抜け等が起きていないか、ノズルチェックパターンの印刷を行ってご確認ください。
- カラーベリファイを正しく実行する為に、以下の項目については基準値を登録したときと同一になるように設定を合わせてご使用ください。異なる条件で実行すると色差が大きくなる場合があります。
 - 各ヒーター温度設定、エフェクト設定、CR 作画移動幅設定、重ね書き設定、メディア厚補正設定
- 室内の環境（温度、湿度）によっては印刷される色にも影響を与えますので、取扱説明書「8.1.1 本体仕様」の「環境条件」に記載されている条件に合わせてご使用ください。またメディアやインクはその環境条件で二時間程度放置し、よく馴染ませてからご使用ください。
- 本機能は用紙毎に基準値を登録することはできません。基準値の登録に用いた用紙と異なる種類の用紙でカラーベリファイを行うには新たに基準値の登録を行う必要があります。
- 本機能は、印刷環境における様々な要因によって起こりうる色再現性の変動を簡単な操作で点検し工程管理に役立てるための機能です。それ自体は、プリンタの色再現性や再現の正確さを保証するものではなく、また、適切なカラーワークフローを不要にするものでもありません。

以下の手順に従ってカラーベリファイを行います。

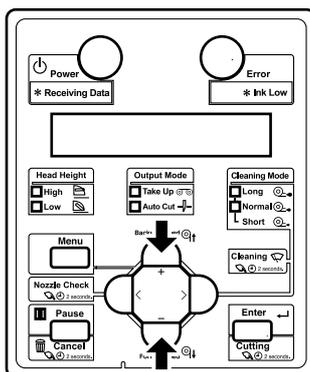
1. 製品の電源を ON して、ロール紙をセットします。
I☞3.4.4 ロール紙のセット方法
2. 用紙種類を設定します。
I☞3.4.5 用紙種類の設定手順
3. 各ヒーターの温度設定を確認します。
 - プリヒーター設定温度
I☞5.1.1.1.3 プリヒーターメニュー
 - プラテンヒーター設定温度
I☞5.1.1.1.4 プラテンヒーターメニュー
 - アフターヒーター設定温度
I☞5.1.1.1.5 アフターヒーターメニュー

4. 操作パネルにテスト作画メニューを表示させます。

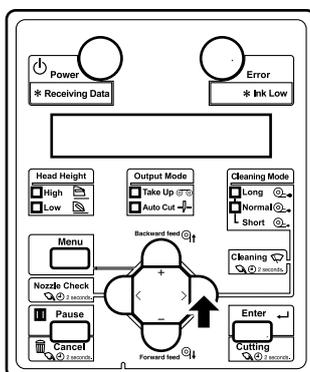
- a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー2： テストサクカ` >」を選択します。

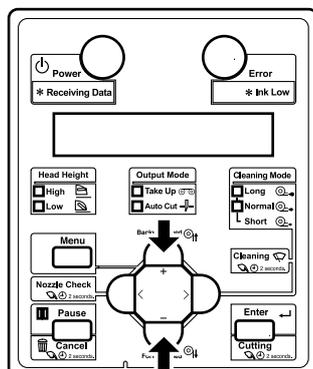


- c. 操作パネルの [>] キーを押します。

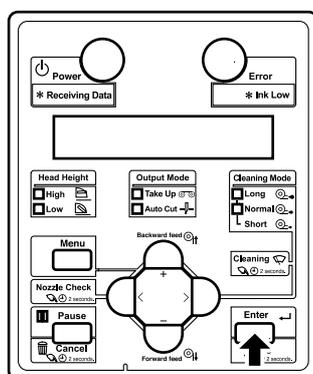


- 操作パネルに「テスト1： ノズルチェック」と表示されます。
- テスト作画メニューに移行します。
 5.2 テスト作画メニュー

5. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「テスト 5 : カラーヘッドリファイ」を選択します。



6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

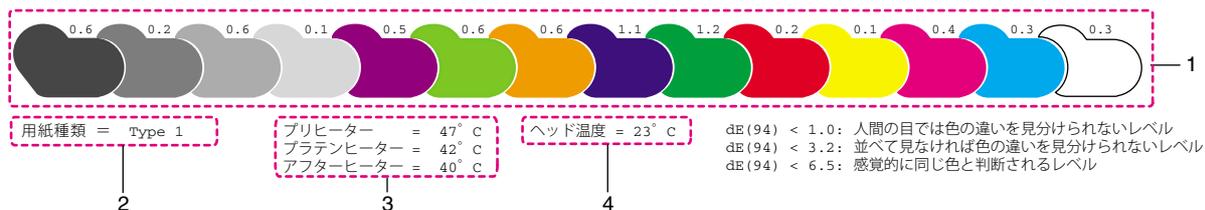


下記の作画を開始します。

- カラーパッチ
- 用紙種類
- ヒーター温度設定
 - プリヒーター設定温度
 - プラテンヒーター設定温度
 - アフターヒーター設定温度
- ヘッド温度情報

注 記

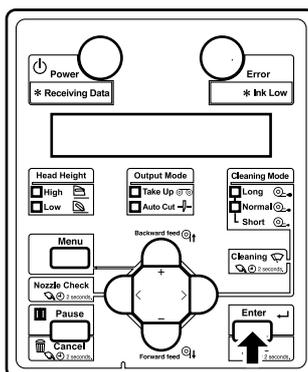
- 作画中は、カバー類や用紙セットレバーを動かさないでください。



番号	名称
1	カラーパッチ
2	用紙種類メニュー
3	ヒーター温度設定
4	ヘッド温度情報

- 作画が終了すると、操作パネルに「ソクテイキ ノ トリツケ [ENTER]」と表示されます。

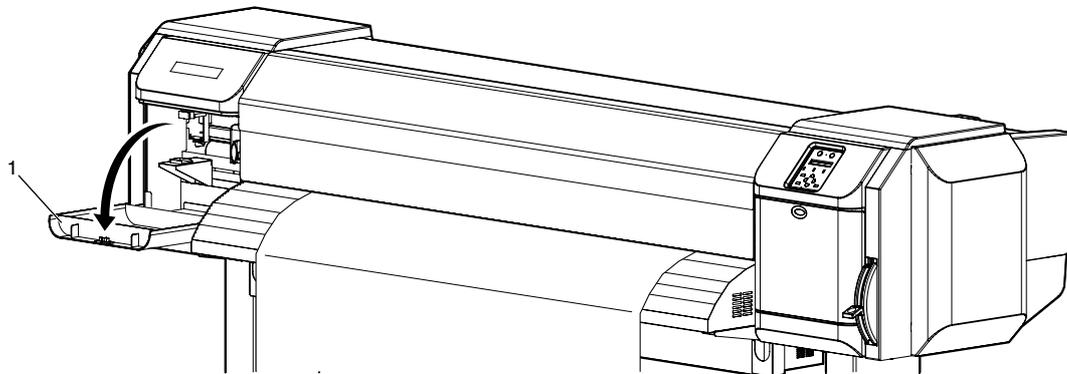
7. [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「シバ`ラク オマチクダ`サイ ...」と表示されます。
- プリントヘッド部が製品左側へ移動します。
- 操作パネルに「ヒタ`リ ノ メンテナンスカバ`ーヲ アケテクダ`サイ。」と表示されます。

8. 製品左側のメンテナンスカバーを開きます。

- 操作パネルに「コネクターキャップ° ヲ トリハス° シ、ソクテイキ ヲ トリツケテクタ° サイ。[ENTER]」と表示されます。

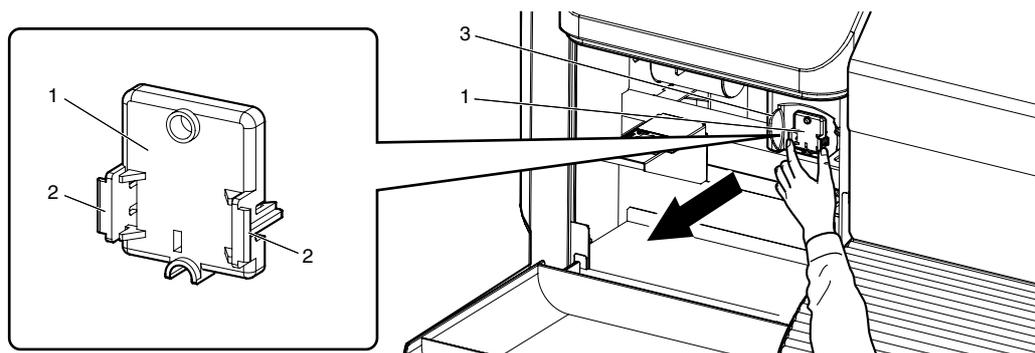


番号	名称
1	メンテナンスカバー

注 記

- メンテナンスカバーを開けずに一定時間が経過すると、プリントヘッド保護のため、プリントヘッド部が製品右側へ戻ります。「ソクテイキ ノ トリツケ [ENTER]」と表示されますので、手順 8 からやりなおしてください。

9. コネクターキャップの両側のツメを指で強くはさみながら前方に引き、プリントヘッド部からコネクターキャップを取外します。



番号	名称
1	コネクターキャップ
2	ツメ
3	プリントヘッド部

10. 分光光度計の両側面のリリースボタンを押しながら、プリントヘッド部のコネクターへ取付けます。

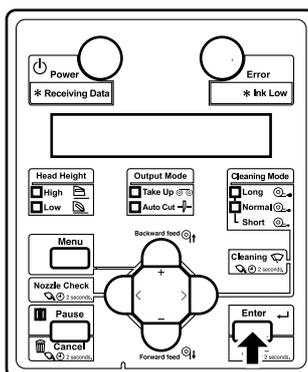


番号	名称
1	分光光度計
2	リリースボタン
3	プリントヘッド部
4	コネクター

注 記

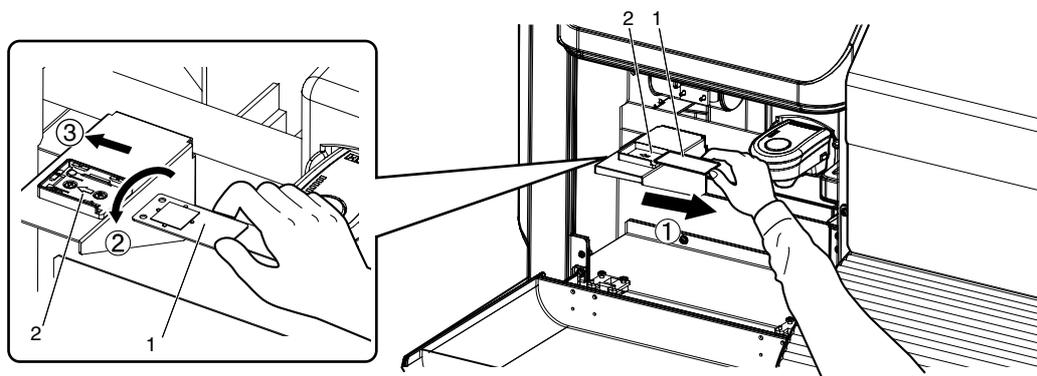
- 分光光度計がゆがんで取付けられていたり、コネクター部分と分光光度計に隙間が空いていないか確認してください。

11. [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「シハ`ラクオマチクダ`サイ ●●」と表示されます。
- プリンタが、プリンタと分光光度計の接続を確認しています。
- 操作パネルに「ホワイトフ`レート ヲ トリツケ、ヒタ`リ ノ メンテナンスカ`バー ヲ トジ`テクダ`サイ」と表示されます。

12. ホワイトリファレンスプレートをプレート取付け部から取外し、裏返して白い面が上になるようにしてから元の場所に取り付けます。

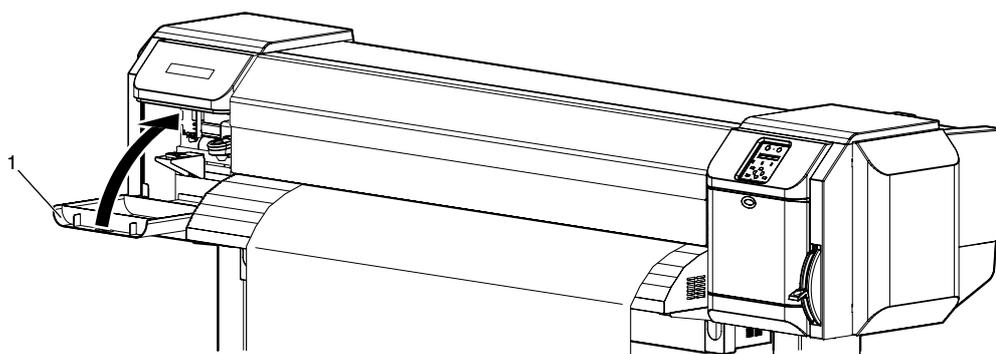


番号	名称
1	ホワイトリファレンスプレート
2	プレート取付け部

注 記

- カラーパッチの測定前には、ホワイトリファレンスプレートは必ず白い面を上にしてください。黒い面のままだと、正確な測定ができなくなります。

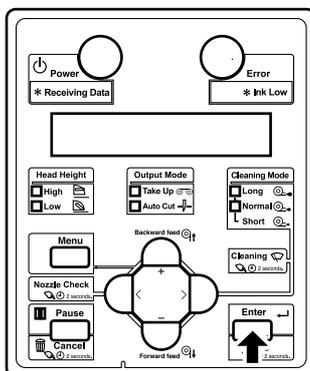
13. メンテナンスカバーを閉じます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

- プリントヘッド部が製品右側へ移動します。
- 操作パネルに「シバ`ラクオマチクタ`サイ`…」と表示されます。

14. 操作パネルに「ソクテイカイシ [ENTER]」と表示されたら、[Enter] キーを押します。

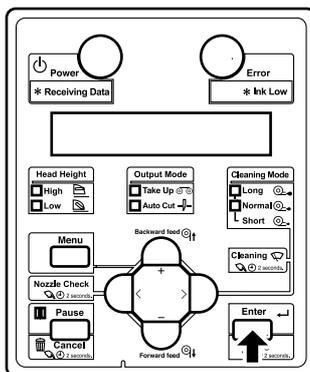


- 分光光度計がカラーパッチの測定を開始します。
- 操作パネルに「ソクテイチュウ」と表示されます。
- 測定が完了すると、操作パネルに「ソクテイキ ノ トリハス シ [ENTER]」と表示されます。

注 記

- 測定中は、カバー類や用紙セットレバーを動かさないでください。

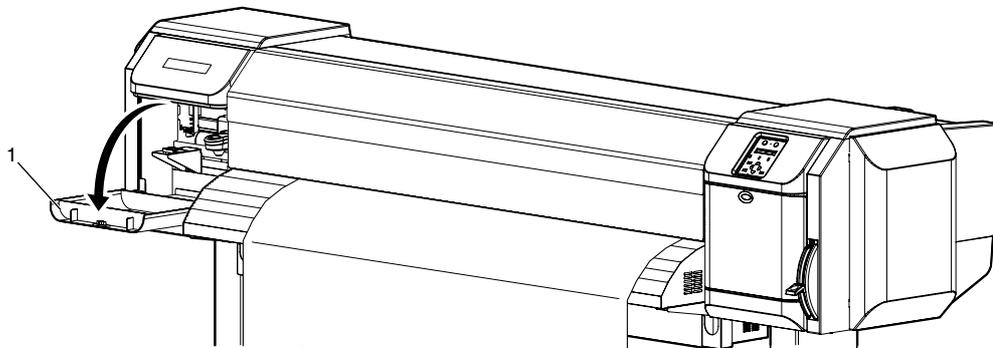
15. [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「シハ`ラクオマチクダ`サイ ●●」と表示されます。
- プリントヘッド部が製品左側へ移動します。
- 操作パネルに「ヒタ`リ ノ メンテナンスカバ`ーヲ アケテクダ`サイ。」と表示されます。

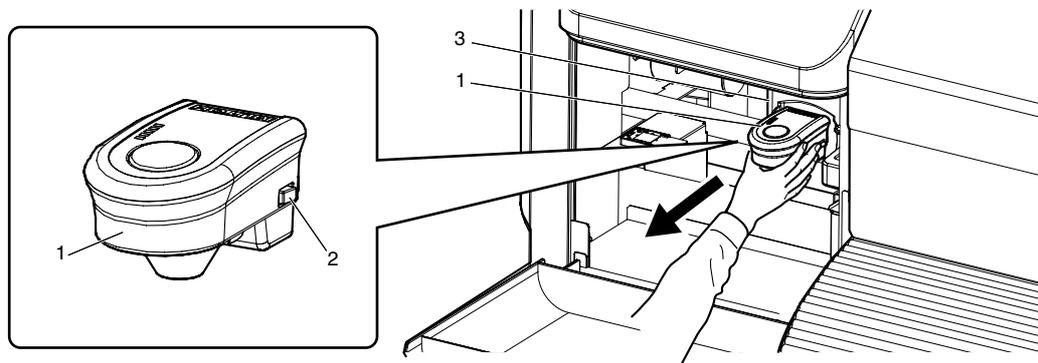
16. 製品左側のメンテナンスカバーを開きます。

- 操作パネルに「ソクテイキ ヲ トリハス^シ、コネクターキャップ^ヲ トリツケテクダ^{サイ}。[ENTER]」と表示されます。



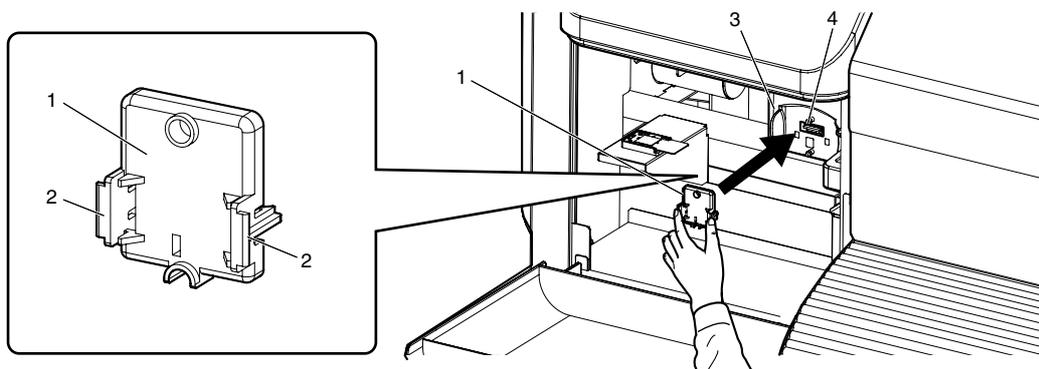
番号	名称
1	メンテナンスカバー

17. 分光光度計の両側面のリリースボタンを押しながら前方に引き、プリントヘッド部から取外します。



番号	名称
1	分光光度計
2	リリースボタン
3	プリントヘッド部

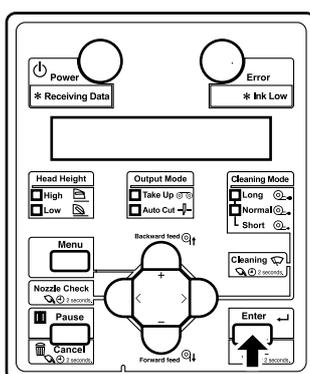
18. コネクターキャップの両側のツメを指で強くはさみながら、プリントヘッド部のコネクターへ取付けます。



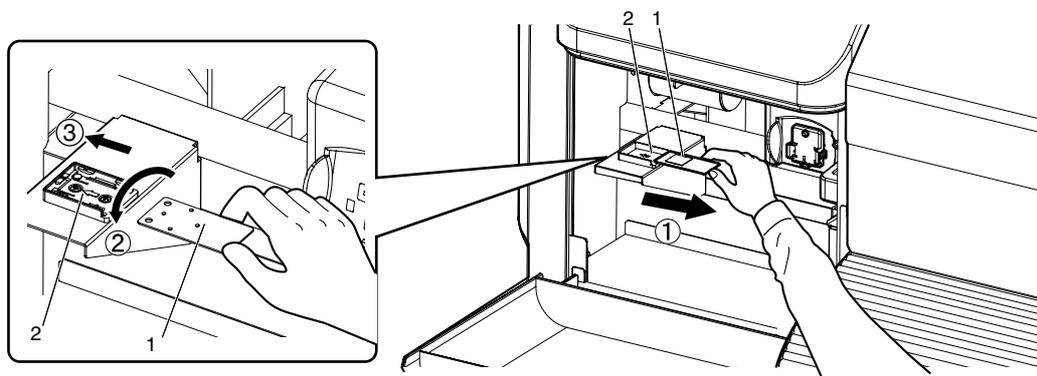
番号	名称
1	コネクターキャップ
2	ツメ
3	プリントヘッド部
4	コネクター

19. [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「シバ`ラクオマチクタ`サイ`...」と表示されます。
- 操作パネルに「ホワイトフ`レート`ヲ`トリハス`シ、メンテナンスカバ`ー`ヲ`トジ`テクタ`サイ」と表示されます。



20. ホワイトリファレンスプレートをプレート取付け部から取外し、裏返して黒い面が上になるようにしてから元の場所に取り付けます。

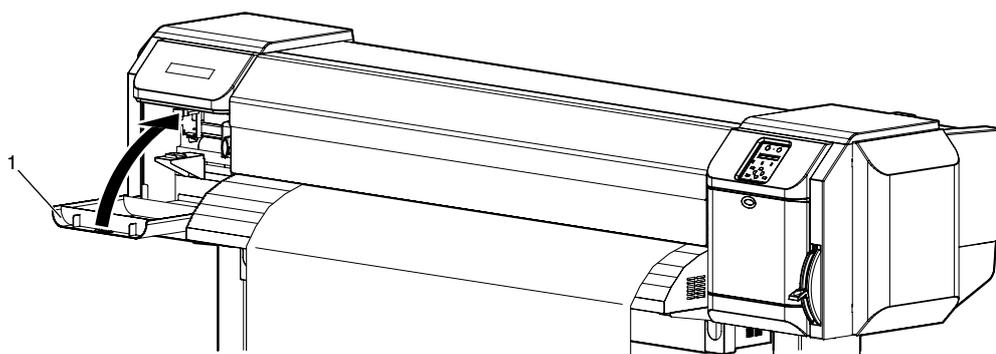


番号	名称
1	ホワイトリファレンスプレート
2	プレート取付け部

注 記

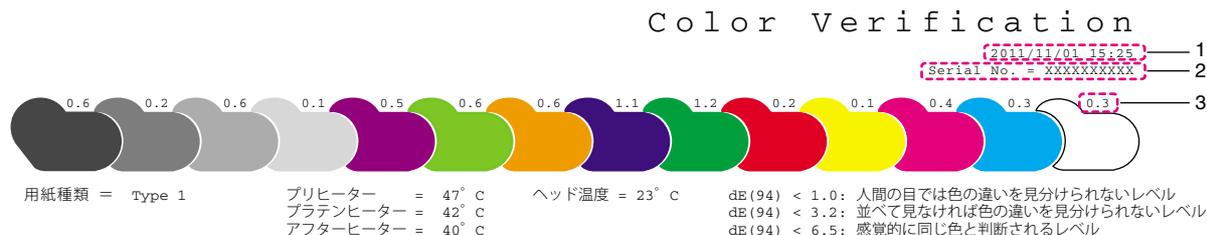
- ホワイトリファレンスプレートを汚さないために、測色時以外は必ずホワイトリファレンスプレートを裏返しにしてください。

21. メンテナンスカバーを閉じます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

- 下記の作画を開始します。
 - 日付
 - シリアル番号
 - 色差 (dE)



番号	名称
1	日付
2	シリアル番号
3	色差 (dE)

22. 色差 (dE) を確認します。

以下は一般的に認識されている色差 (dE) の目安です。

- dE が 1.0 以下なら、人間の目では色の違いを見分けられないレベルです。
- dE が 3.2 以下なら、並べて見なければ色の違いが見分けられないレベルです。
- dE が 6.5 以下なら、感覚的に同じ色として判断されるレベルです。

注 記

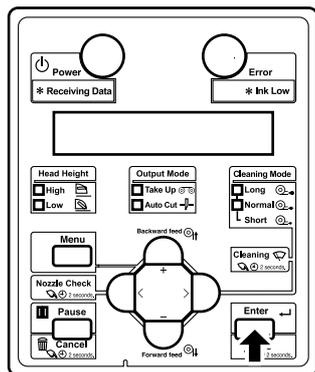
- カラーベリファイを正しく実行する為に、以下の項目については基準値を登録したときと同一になるように設定を合わせてご使用ください。異なる条件にて実行すると色差が大きくなる場合があります。
- 各ヒーター温度設定、エフェクト設定、CR 作画移動幅設定、重ね書き設定、メディア厚補正設定
- 室内の環境 (温度、湿度) によっては印刷される色にも影響を与えますので、取扱説明書「8.1.1 本体仕様」の「環境条件」に記載されている条件に合わせてご使用ください。またメディアやインクはその環境条件にて二時間程度放置し、よく馴染ませてからご使用ください。
- 本機能は、印刷環境における様々な要因によって起こりうる色再現性の変動を簡単な操作で点検し工程管理に役立てるための機能です。それ自体は、プリンタの色再現性や再現の正確さを保証するものではなく、また、適切なカラーワークフローを不要にするものでもありません。
- 色に関する最終的な合否の判断は感覚的な判断に依存される部分が大きい為、実際に印刷を行ってご確認されることをお奨めします。

- 操作パネルに「ソクテイチ ヲ ホゾ` ンシマスカ？」と表示されます。

23. 今回作画したカラーパッチの測定値を保存する場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。

注 記

- 測定値を保存すると現在の基準値は今回測定した値に置き換わります。
- 保存しない場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 操作パネルに「サクカ`テ`キマス」と表示されます。

3.6 画質微調整

作画に最適な画質の調整（画質微調整）を行う時に使用します。

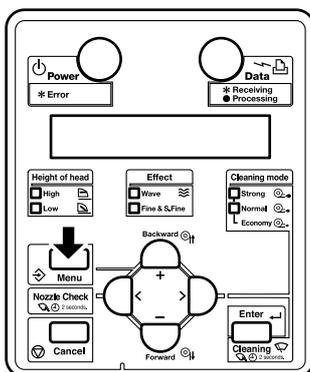
画質微調整は、作画モードごとに設定する必要があります。

使用する作画モードを選択後、以下の手順に従って画質微調整を行ってください。

注 記

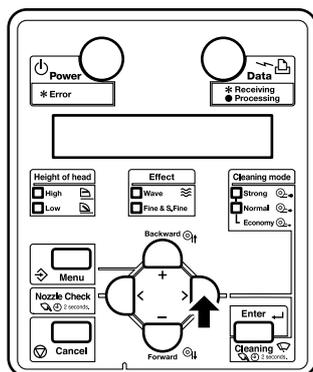
- 本製品は、工場出荷時に作画に最適な画質が得られるよう調整済みです。製品の設置環境、使用する用紙等を変更して、作画画質が変化した場合に、画質微調整を行ってください。

- 製品の電源を ON にして、ロール紙をセットします。
☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
- 製品が通常状態であることを確認します。
- 操作パネルに作画モードメニューを表示させます。
 - 操作パネルの [Menu] キーを押します。



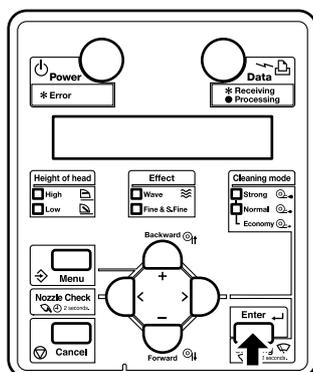
- 操作パネルに「メニュー1：セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

- b. 操作パネルの [>] キーを押します。



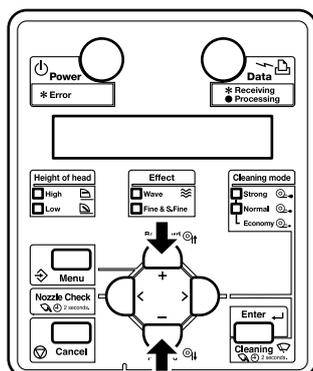
- 操作パネルに「セット 1 : メディアイアシュルイ」と表示されます。

- c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

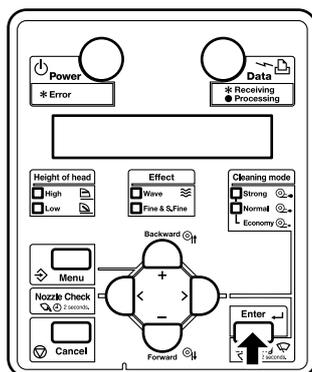


- 操作パネルに「シュルイ : Type 1」と表示されます。

- d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



- e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

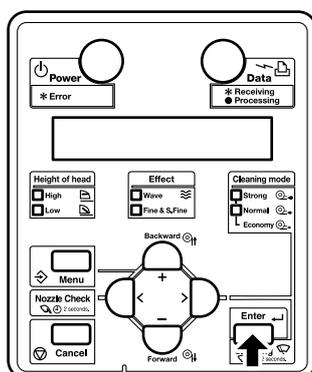


- 操作パネルに「** > 1 : サクカ`モード`」と表示されます。

参考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type 1 ~ 30) が表示されます。
 5.1.1 用紙種類メニュー

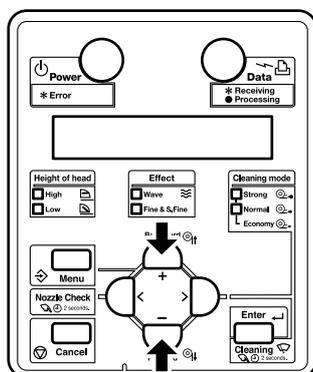
- f. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



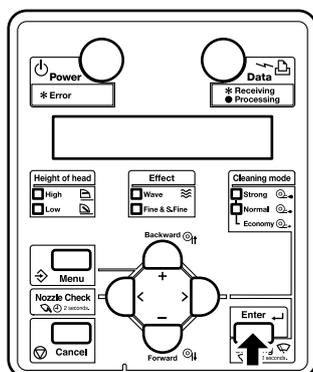
- 操作パネルに「モード : Graphics 2 ->」と表示されます。
- 作画モードメニューに移行します。
 5.1.1.1.1 作画モードメニュー

4. 使用する作画モードを選択します。

- a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する作画モードを選びます。

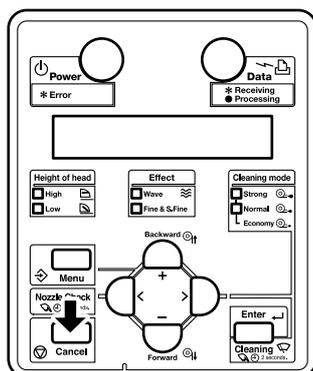


- b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 作画モードが設定されます。

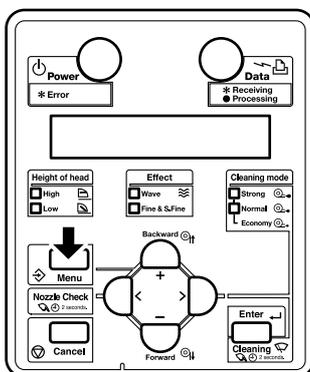
- c. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。



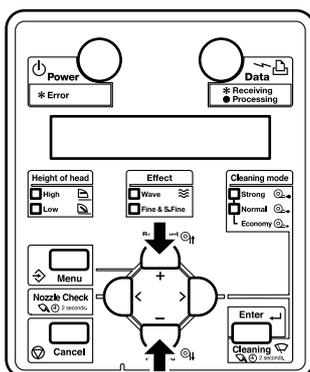
- 操作パネルが通常状態に戻ります。

5. 操作パネルに調整画面メニューを表示させます。

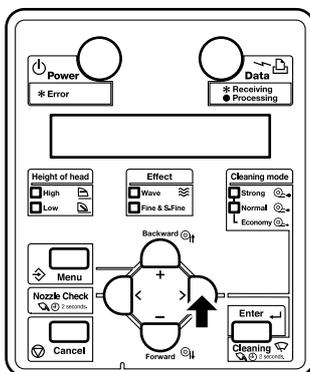
- a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「メニュー3： チョウセイサクカ>」を選択します。



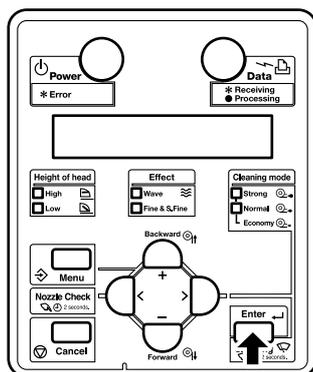
- c. 操作パネルの [>] キーを押します。



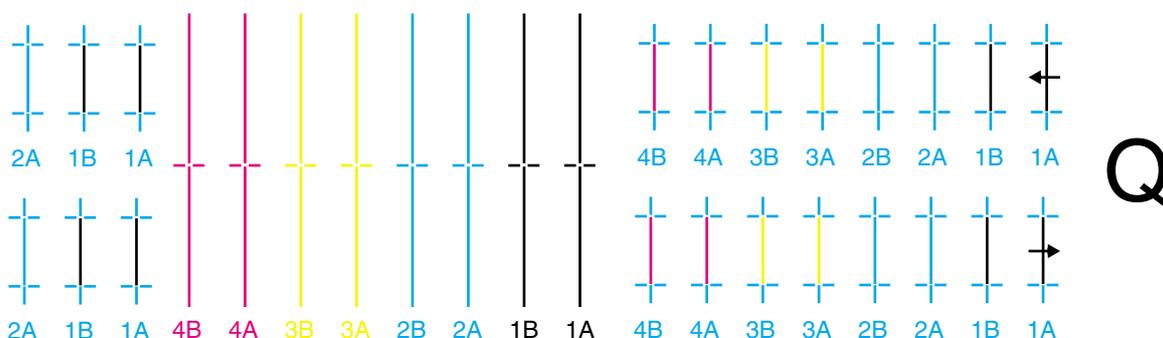
- 操作パネルに「チョウセイ1： カクニンハ° ターン」が表示されます。
- 調整画面メニューに移行します。

☞ 5.3 調整画面メニュー

6. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

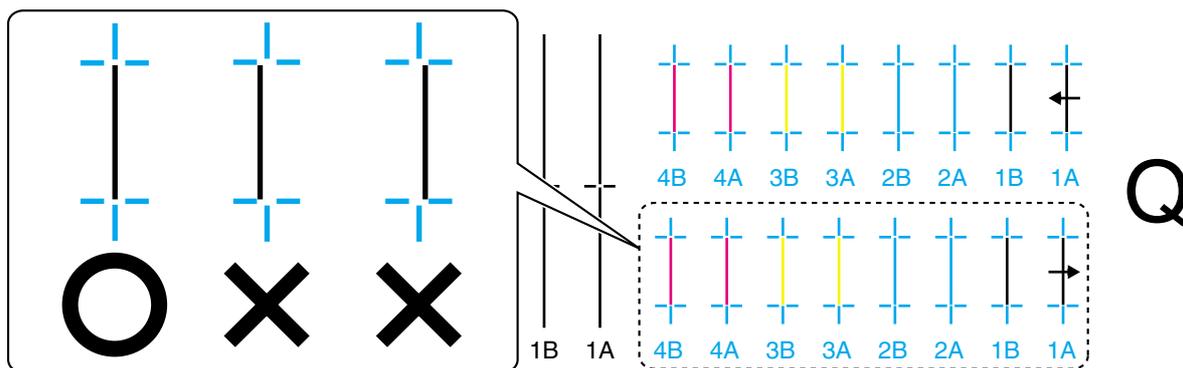


- 画質調整のための確認パターン作画を開始します。



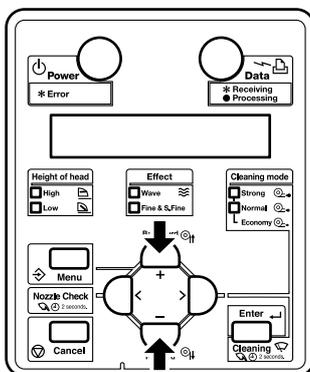
- 確認パターン作画が終了すると、操作パネルが通常状態に戻ります。

7. 確認パターンの作画結果が、次図のようにになっていることを確認します。

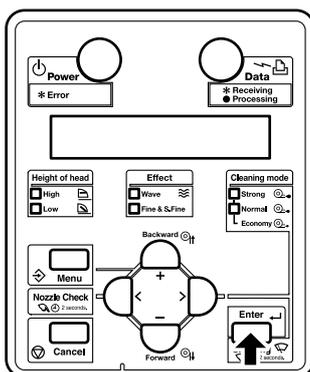


- 作画結果が○の場合：
画質微調整は不要です。
画質微調整を終了します。
- 作画結果が×の場合：
画質微調整が必要です。
手順 8 に進みます。

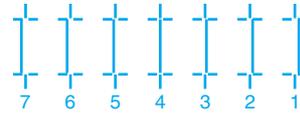
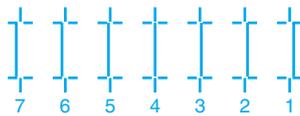
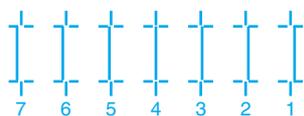
8. Bi-D Quality（双方向作画・画質優先モード）の設定値を登録します。
- 手順5と同様に、操作パネルに調整作画メニューを表示させます。
 - 操作パネルの[+]キーまたは[-]キーを押して「チョウセイ5：Bi-D Quality」を選択します。



- 操作パネルの[Enter]キーを押します。

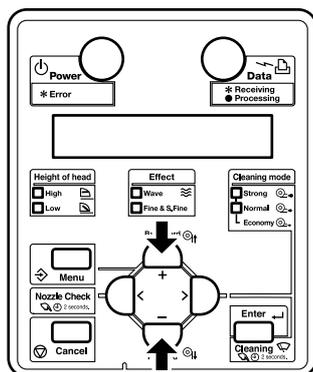


- Bi-D Quality パターン作画を開始します。
- Bi-D Quality パターン作画の、用紙両端と中央の作画結果を見て、直線にズレのないように見える番号を選択します。
次図の作画サンプルの例では、「4」を選択します。

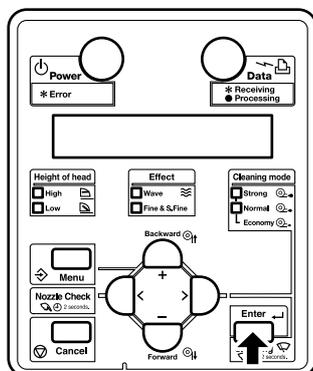


画 質 微 調 整 B i - D Q

- e. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 d で選んだ番号を入力します。



- f. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- Bi-D Quality の設定値が登録されます。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
9. 手順 8 と同様にして、Bi-D Normal（双方向作画・ノーマルモード）の設定値を登録します。
- 画質微調整を終了します。

3.7 コンピュータとの接続

本製品とコンピュータの接続方法について説明します。

3.7.1 システム条件の確認

本製品および推奨のソフトウェアサーバ RIP（オプション）の動作に必要な、コンピュータのシステム条件は以下のとおりです。

動作 OS	Windows XP Professional、Windows Vista Business、Windows Server 2003 R2 Standard Edition
CPU	Core 2 Duo 相当以上
メモリ (RAM)	2GB 以上必要
ハードディスク空き容量	20GB 以上必要

注 記

- 使用するアプリケーションソフトウェアや、作画するデータの種類により、必要とされるシステム条件は異なります。
- ソフトウェアサーバ RIP（オプション）については「8.3 オプション・サプライ用品リスト」を参照してください。
- メモリとハードディスクは、できる限り大容量のものを使用することをお奨めします。

3.7.2 接続ケーブルの準備

本製品では、コンピュータとの接続に、ネットワーク・インターフェイスを装備しています。本製品とコンピュータを接続するためには、ネットワーク・インターフェイスケーブルが必要です。接続するコンピュータや目的に応じて準備してください。

参 考

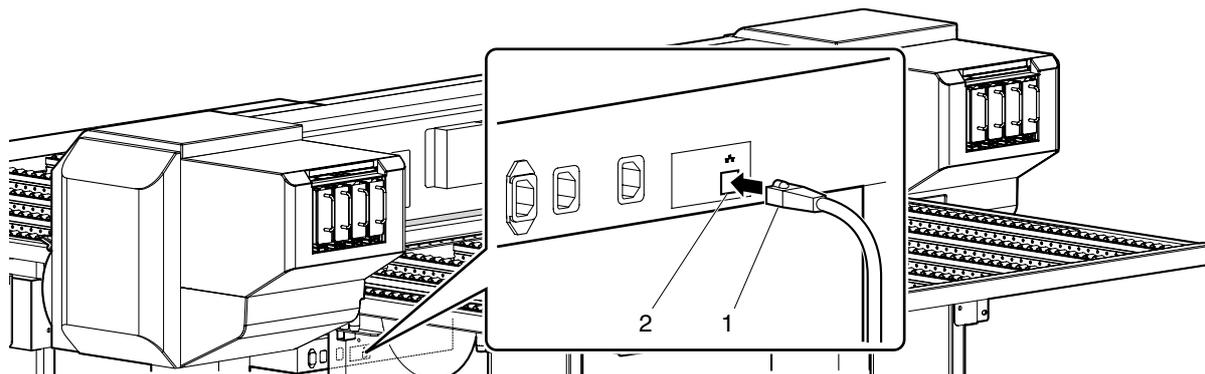
- ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続方法については、「3.7.3 ネットワーク・インターフェイスケーブルの接続」を参照してください。
- 接続するケーブルの推奨仕様については、「8.2 インターフェイス仕様」を参照してください。

3.7.3 ネットワーク・インターフェースケーブルの接続

ネットワーク・インターフェースケーブルの接続手順について説明します。

以下の手順に従って、本製品をコンピュータに接続してください。

1. 本製品とコンピュータ双方の電源を OFF します。
2. ネットワーク・インターフェースケーブルのコネクタを、製品背面のネットワーク・インターフェースコネクタに差込みます。



番号	名称
1	ネットワーク・インターフェースケーブル
2	ネットワーク・インターフェースコネクタ

3. ネットワーク・インターフェースケーブルのもう一方のコネクタを、コンピュータに接続します。

参考

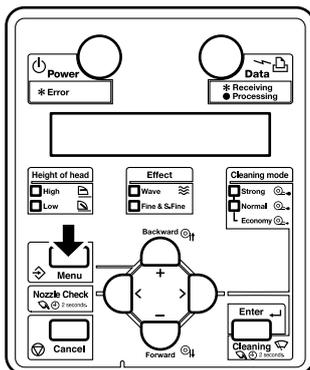
- コンピュータへの接続については、コンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

3.7.4 IP アドレスの設定

プリンタ側の IP アドレスの設定を行います。

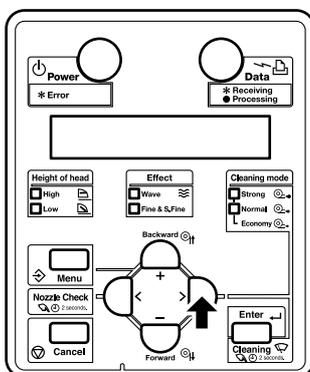
以下の手順に従って、IP アドレスを設定してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。
 ④ 3.2.1 電源を ON する方法
2. 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります。



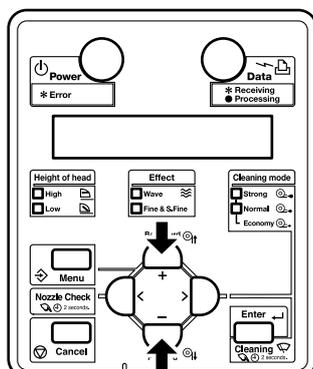
- 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ>」と表示されます。

3. 操作パネルの [>] キーを押します



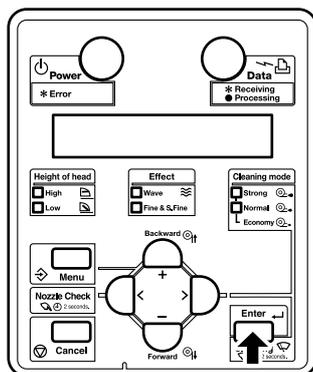
- 操作パネルに「セット 1 : メディアシュルイ」が表示されます。

4. 操作パネルの「+」キーまたは「-」キーを押して、IP アドレスメニューを表示させます。



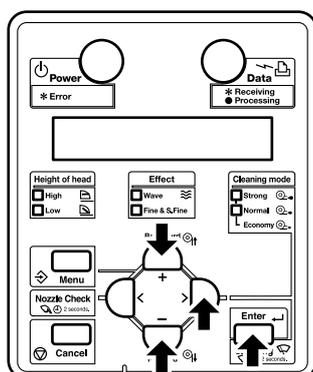
- 操作パネルに「セット 23 : IP アドレス」と表示されます。

5. 操作パネルの「Enter」キーを押して、IP アドレス設定メニューを表示させます。



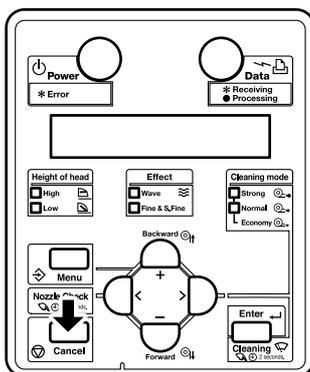
- 操作パネルに「192.168.001.253」（初期値）と表示されます。

6. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- 「+」キー：設定値を増加させます。
- 「-」キー：設定値を減少させます。
- 「Enter」キー、「>」キー：次のセグメントの設定値を変更します。

7. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。
8. 製品を再起動します。

注 記

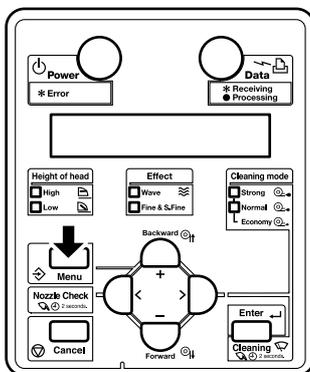
- IP アドレス設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

3.7.5 サブネットマスクの設定

プリンタ側のサブネットマスクの設定を行います。
プリンタを接続するネットワークのサブネットマスクと同じ設定にする必要があります。

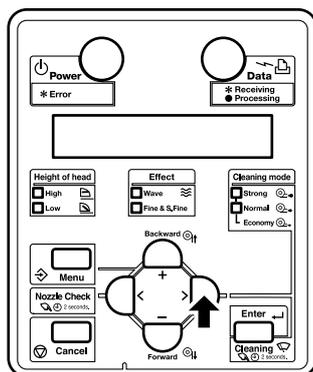
以下の手順に従って、サブネットマスクを設定してください。

- 製品の電源が ON になっていることを確認します。
☞ 3.2.1 電源を ON する方法
- 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります



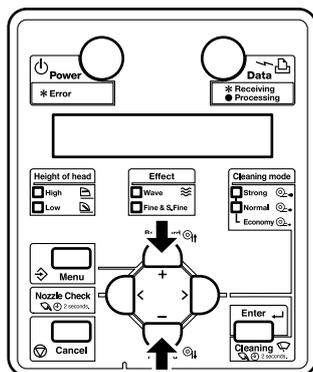
- 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ>」と表示されます。

3. 操作パネルの [>] キーを押します



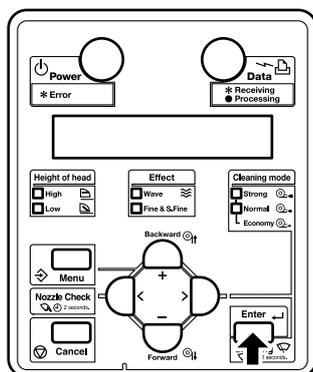
- 操作パネルに「セット 1 : メテ` ィアシュルイ」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは「-」キーを押して、サブネットマスクメニューを表示させます。



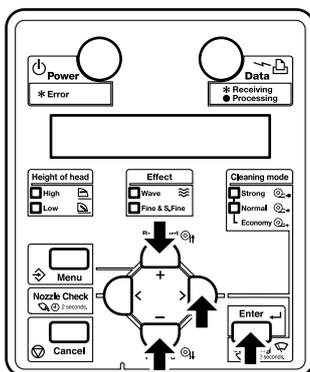
- 操作パネルに「セット 2 4 : サブ` ネットマスク」と表示されます。

5. 操作パネルの [Enter] キーを押して、サブネットマスク設定メニューを表示させます。



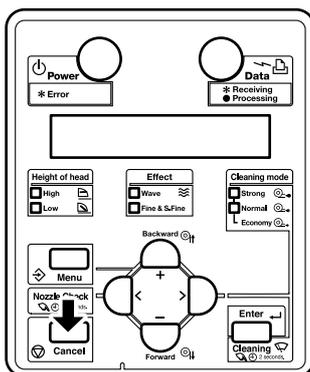
- 操作パネルに「2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0 0 0」（初期値）と表示されます。

6. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- [+] キー：設定値を増加させます。
- [-] キー：設定値を減少させます。
- [Enter] キー、[>] キー：次のセグメントの設定値を変更します。

7. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。

8. 製品を再起動します。

注 記

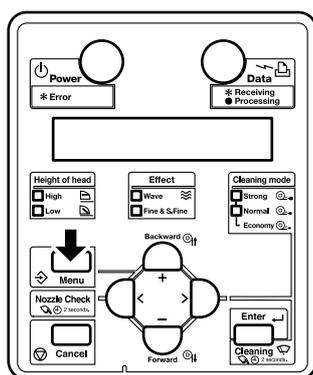
- サブネットマスク設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

3.7.6 ゲートウェイの設定

プリンタ側のゲートウェイの設定を行います。
プリンタを接続するネットワークのゲートウェイと同じ設定にする必要があります。

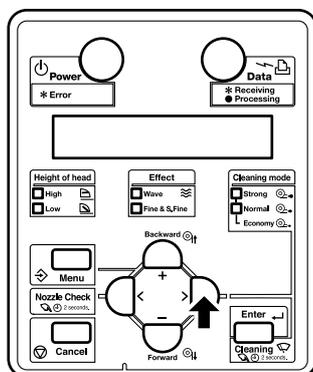
以下の手順に従って、ゲートウェイを設定してください。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。
☞ 3.2.1 電源を ON する方法
2. 操作パネルの [Menu] キーを押して、設定メニュー表示状態に入ります



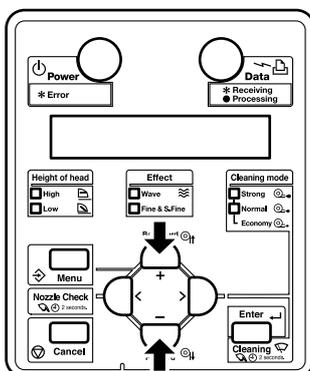
- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。

3. 操作パネルの [>] キーを押します。



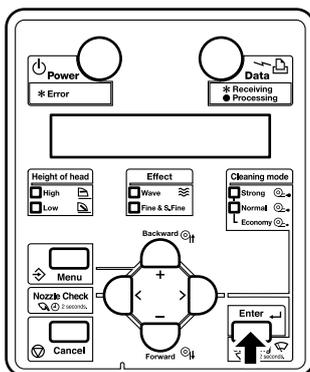
- 操作パネルに「セット1： メディアシュルイ」と表示されます。

4. 操作パネルの「+」キーまたは「-」キーを押して、ゲートウェイメニューを表示させます。



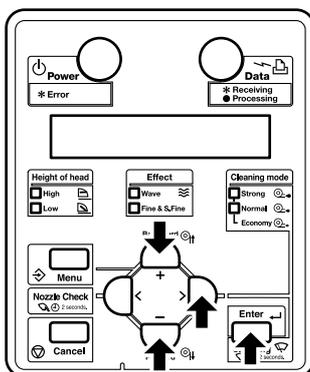
- 操作パネルに「セット 25 : ゲートウェイ」と表示されます。

5. 操作パネルの「Enter」キーを押して、ゲートウェイ設定メニューを表示させます。



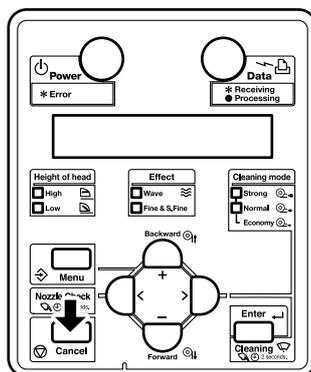
- 操作パネルに「192.168.001.254」（初期値）と表示されます。

6. 操作パネルの以下のキーを押して、数値を設定します。



- 「+」キー：設定値を増加させます。
- 「-」キー：設定値を減少させます。
- 「Enter」キー、「>」キー：次のセグメントの設定値を変更します。

7. 設定が完了したら操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 前階層のメニューに移行します。
8. 製品を再起動します。

注 記

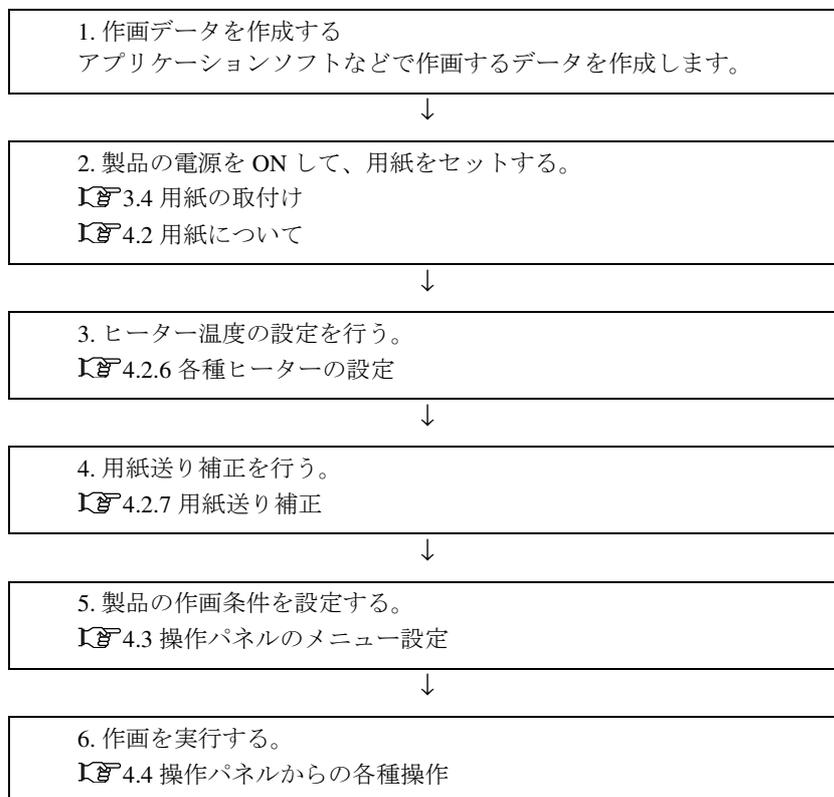
- ゲートウェイ設定後は、必ず製品を再起動してください。再起動を行わない状態でセットアップが中断した場合、設定値が初期値に戻る事があります。

4 操作方法

この章では、本製品の操作方法について説明します。

4.1 作画までの流れ

本製品で作画するために必要な手順を以下のフローに示します。
必要に応じて、それぞれの項目を参照してください。



警告

- ヒーターの動作中は、プラテンおよび用紙ガイド上に可燃物を置かないでください。火災の恐れがあります。
- プラテンおよび用紙ガイドに可燃性の液体をかけないでください。火災の原因となります。

▲ 注意

- ご使用前に、必ず製品安全データシート（MSDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- 作画中は用紙ガイドに触れないでください。
用紙ガイドは高温になっており、やけどする恐れがあります。
- ヒーターの動作中は給紙スロット、プラテンおよび用紙ガイドに触れないでください。
給紙スロット、プラテンおよび用紙ガイドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。
- 作業場所は換気をしてください。
臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。

注 記

- 作画中はフロントカバーを開けないでください。
フロントカバーを開けた場合、製品は作画を中断します。
フロントカバーを閉じると製品は作画を再開しますが、作画品質は保証できなくなります。

4.2 用紙について

本製品で使用可能な用紙の詳細について説明します。

4.2.1 用紙種類

用紙の種類と品質は、作画結果の仕上がりに大きく影響します。以下の説明をよく理解して、用途に合った用紙を使用してください。本製品では、各種推奨用紙を用意しています。用途にあわせて、適切な用紙を選択してください。

注 記

- 推奨用紙の詳細については「8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 推奨用紙以外の用紙を使用して、製品の異常または故障が発生した場合は、
 - 保証対象外（有償修理）となります。
 - 対処方法については、以下を参照してください。
 - ☞ 6.1.2 ロール紙の交換
 - ☞ 7.1.3 用紙に関するトラブル
- 修理を依頼される場合は、「8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」にお問い合わせください。

参 考

- 推奨用紙以外の用紙に作画する場合、
 - 用紙の種類や製品の適切な設定についての情報は、用紙の取扱説明書または用紙の購入先にお問い合わせください。
 - 作画画質に関する設定値は、「5.1.1 用紙種類メニュー」に従って、設定を行ってください。

4.2.2 用紙の取扱上の注意

用紙を取扱う場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 推奨用紙は、適切な環境下でご使用ください。
作画に適した温度・湿度は次のとおりです。

	温度	湿度
作画精度保証範囲	22°C～30°C	40%～60%
変化率	1時間あたり2°C以内	1時間あたり5%以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用しないでください。
- 用紙は、作画環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。
用紙の使用前には、作画環境に約 30 分間放置して、作画環境に慣らしてください。
作画環境に慣らさないうちに作画を行うと、作画用紙のズレ、シワなどにより紙ジャムが発生する恐れがあります。
また、作画品質にも悪影響があります。
- 用紙の作画面には手を触れないでください。
手についた水分・油脂が、作画品質に影響します。
- 用紙をセットした状態で、長時間放置しないでください。
用紙によっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、作画品質低下の原因となります。
特に冬季・乾燥期には、こうした用紙の使用は避けてください。
- 用紙の個装箱・個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、紛失しないでください。

4.2.3 用紙の保管時の注意

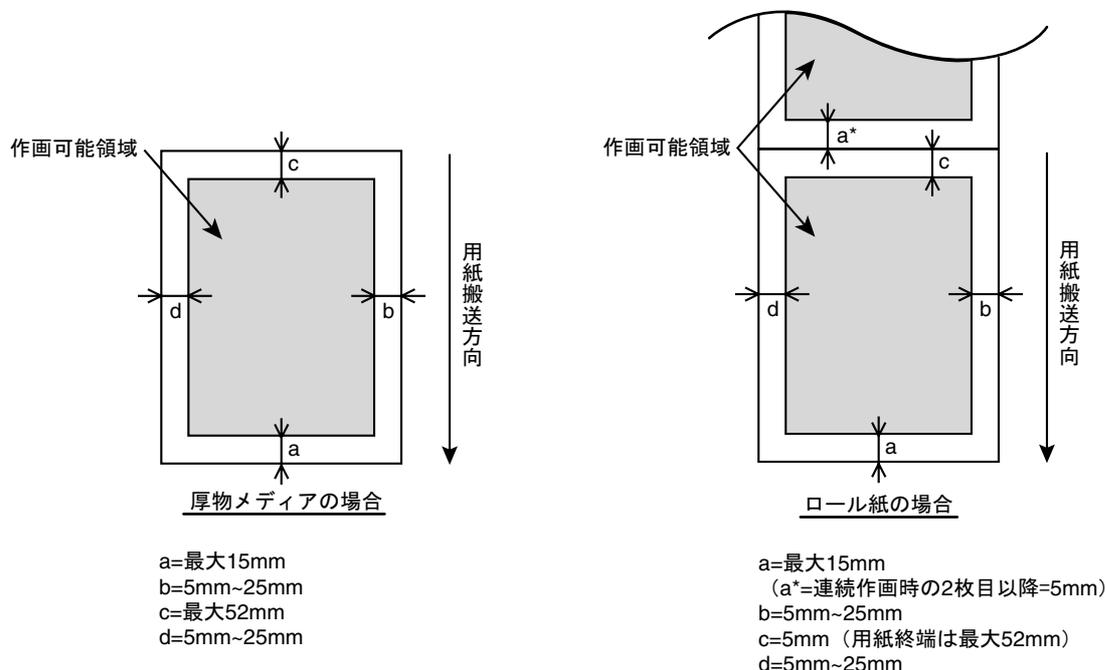
用紙を保管する場合は、以下の点に注意してください。

注 記

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないロール紙は、ロール紙受けから取外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。

4.2.4 作画領域

本製品の作画可能な領域は以下のとおりです。



注記

- 用紙終端の余白（マージン）は、作画モードとエフェクトの組み合わせにより、最大52mmの範囲内で変化します。

☞ 5.1.1.1.1 作画モードメニュー

☞ 5.1.2 エフェクトメニュー

4.2.5 ヘッド高さ調整

作画率の高い作画を行う場合や反りの強い用紙を使用すると、ヘッド擦れを起こす場合があります。

プリントヘッド表面から用紙までの距離（ヘッド高さ）を調整することで、ヘッド擦れを回避できる場合があります。

以下の手順に従って、ヘッド高さを調整してください。

注記

- ヘッド高さを上げた場合、作画品質は保証できません。

1. 操作パネルにメディア厚補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「セット 1 : メディアシュルイ」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「シュルイ : Type 1」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「**> 1 : サクカ`モード`」と表示されます。

参 考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type 1 ~ 30) が表示されます。
☞ 5.1.1 用紙種類メニュー

- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「**> 9 : メディアアツホセイ」を選びます。
- g. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「ヘンコウ : *. * mm ->」と表示されます。
 - メディア厚さ補正メニューに移行します。
☞ 5.1.1.1.9 メディア厚補正メニュー

参 考

- 「*. *」にはメディア厚さ検出で測定された、ヘッド高さの設定値が表示されます。

2. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、ヘッド高さの設定値を変更します。

注 記

- 設定値の変更できる範囲は以下のとおりです。
 - 上限：11.0mm
 - 下限：0.0mm

参 考

- 「*.*」にはヘッド高さの設定値（アツサ）と、入力した補正值（ホセイ）の合計が表示されます。
- 操作パネルの [>] キーを押すと、「アツサ+ホセイ： *.*+0.0」のように、設定値（*.*）と入力した補正值（0.0）がそれぞれ表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

- 設定値が保存されます。
- 操作パネルに「** > 9 : メテ` ィアアツホセイ」と表示されます。

4. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。

- 操作パネルが通常状態に戻ります。
- ヘッド高さの調整を終了します。

4.2.6 各種ヒーターの設定

本製品にはプリヒーター・プラテンヒーター・アフターヒーター・エアーヒーターが内蔵されています。

- プリヒーター：作画前の用紙を予熱し、プラテンヒーター上での急激な温度変化によるロール紙のしわ、紙浮きの発生を抑えます。ロール紙の場合は、プラテンヒーターよりも高めの温度に設定してください。
- プラテンヒーター：メディアを温める事により、メディアへのインク定着性を高めて、作画品質を向上させます。
- アフターヒーター：印字後のインク乾燥を行います。
- エアーヒーター：厚物メディア作画時にメディア表面に温風を噴出することで、インクの乾燥を促進させることができます。

メディアに合わせて、適切なヒーター温度に設定して使用してください。
設定温度の目安は以下のとおりです。

マーキングフィルムの場合

- プリヒーター：47℃
- プラテンヒーター：42℃
- アフターヒーター：40℃
- エアーヒーター：Off

プラスチックダンボール、厚さ5mmの場合

- プリヒーター：Off
- プラテンヒーター：42℃
- アフターヒーター：Off
- エアーヒーター：190℃

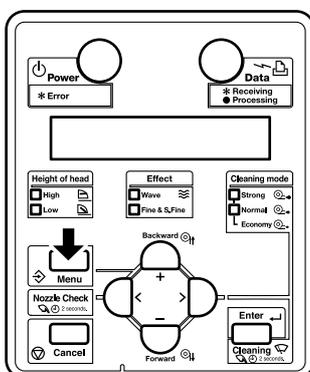
注 記

- 厚物メディアに作画を行う場合は、エアーヒーターとプラテンヒーターを併用してください。
どちらか片方のヒーターのみを使用して作画を行うと、厚物メディアの温められた側の面が膨張し、厚物メディアが反り上がってしまい、ヘッド擦れの原因となります。

4.2.6.1 プリヒーター温度の設定

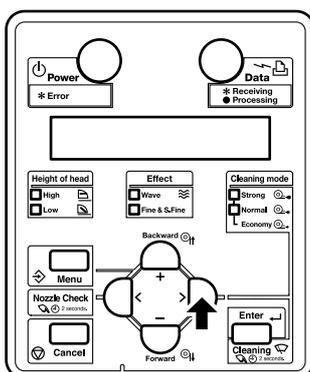
以下の手順に従って、プリヒーター温度を設定してください。

1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



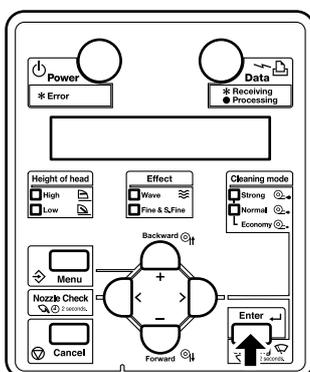
- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

2. 操作パネルの [>] キーを押します。



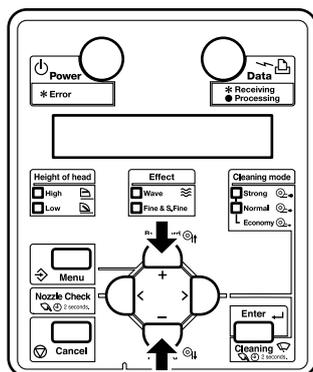
- 操作パネルに「セット1： メディアシュルイ」と表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

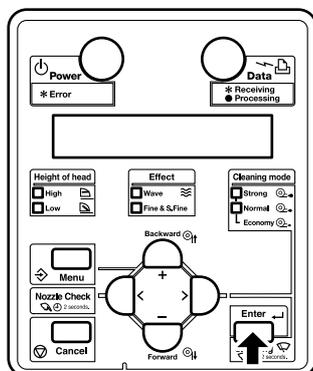


- 操作パネルに「シュルイ： Type 1」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



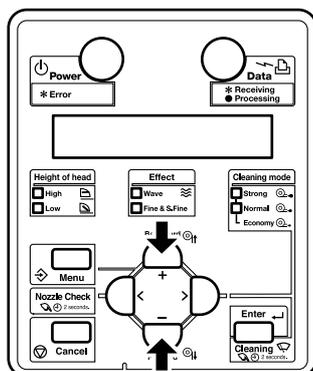
- 操作パネルに「** > 1 : サクカ` モード` 」と表示されます。

参 考

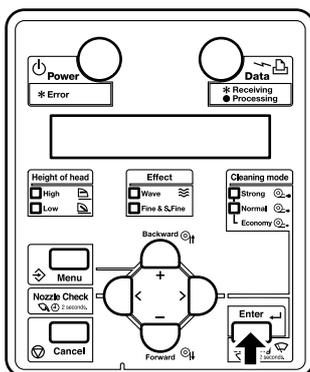
- 「**」には、選択した用紙種類 (Type1 ~ 30) が表示されます。

【図】5.1.1 用紙種類メニュー

6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「** 3 : フ` リヒーター」を選びます。

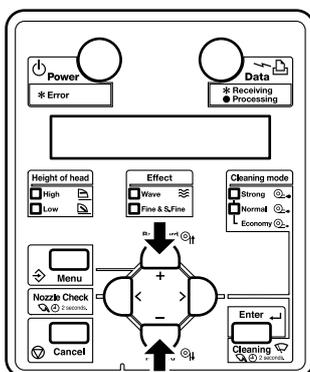


7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

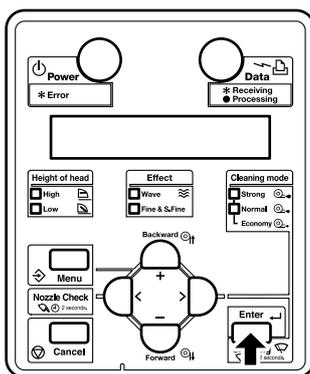


- 操作パネルに「プリヒーター： Off」と表示されます。

8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、プリヒーター温度を設定します。



9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

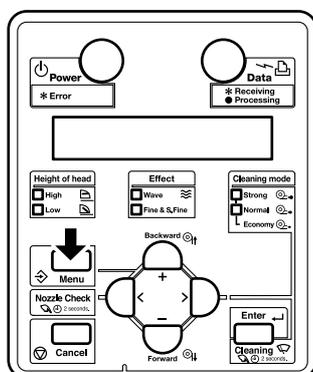


- プリヒーター温度が設定されます。

4.2.6.2 プラテンヒーター温度の設定

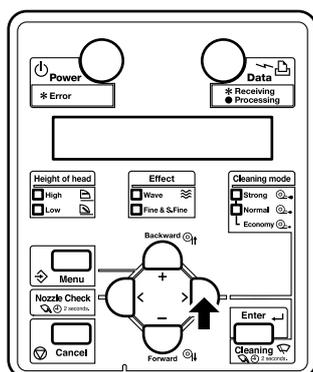
以下の手順に従って、プラテンヒーター温度を設定してください。

1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



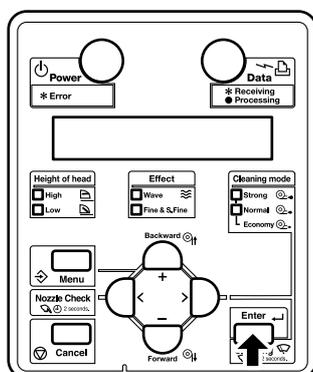
- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

2. 操作パネルの [>] キーを押します。



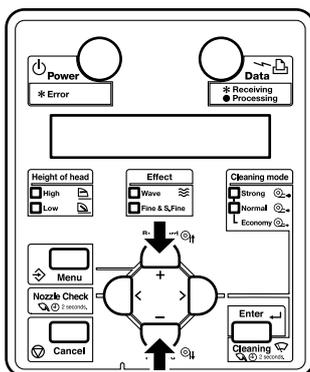
- 操作パネルに「セット1： メディアシュルイ」と表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

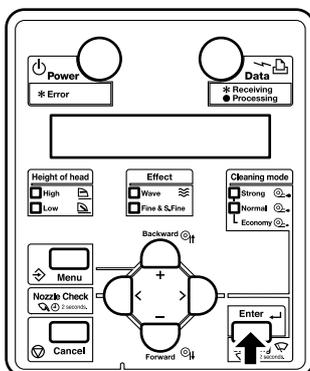


- 操作パネルに「シュルイ： Type 1」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

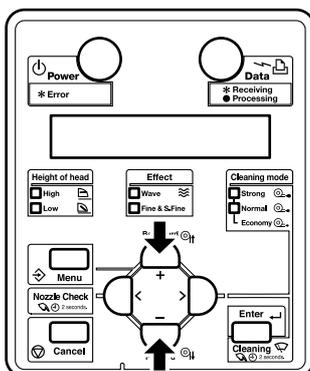


- 操作パネルに「**>1 : サクカ`モード`」と表示されます。

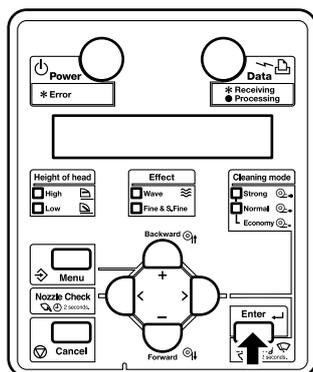
参考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type1 ~ 30) が表示されます。
[5.1.1 用紙種類メニュー](#)

6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「**4 : フ`ラテンヒーター`」を選びます。

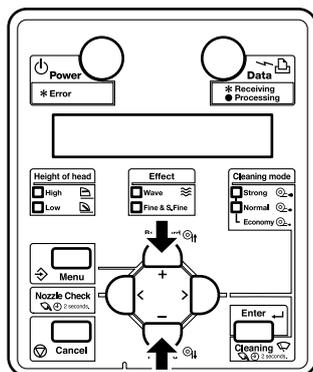


7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

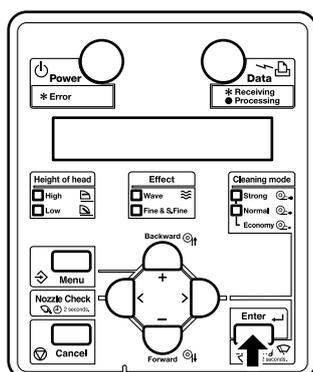


- 操作パネルに「フﾟラテンヒーター： 42℃」と表示されます。

8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、プラテンヒーター温度を設定します。



9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

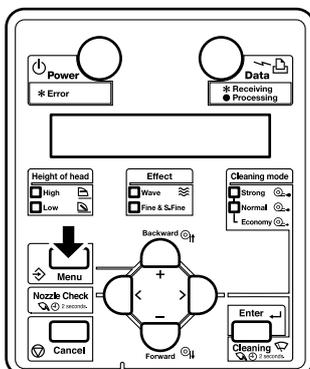


- プラテンヒーター温度が設定されます。

4.2.6.3 アフターヒーター温度の設定

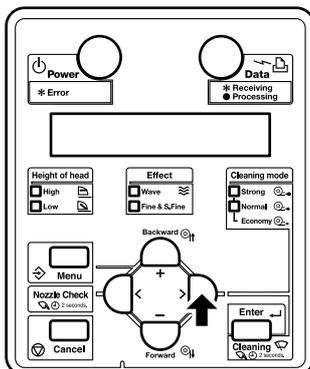
以下の手順に従って、アフターヒーター温度を設定してください。

1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



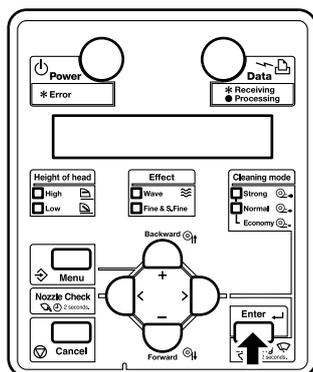
- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

2. 操作パネルの [>] キーを押します。



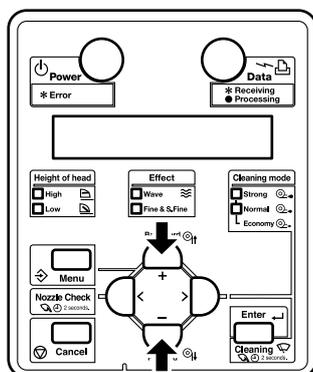
- 操作パネルに「セット1 : メディアシュルイ」が表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

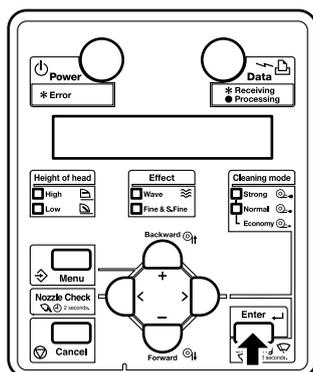


- 操作パネルに「シュレイ： Type 1」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

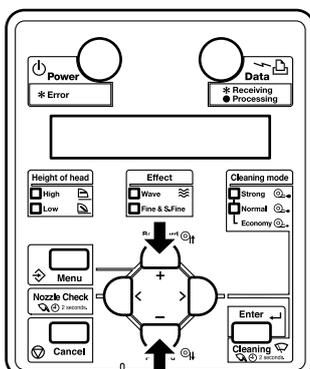


- 操作パネルに「** > 1 : サクカ`モード`」と表示されます。

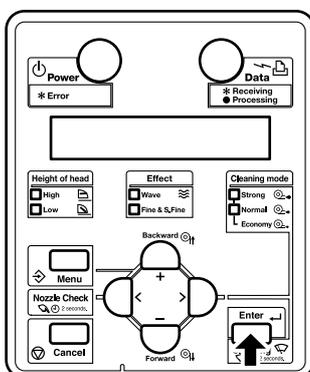
参考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type1 ~ 30) が表示されます。
 図 5.1.1 用紙種類メニュー

6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「**5 : アフターヒーター」を選びます。

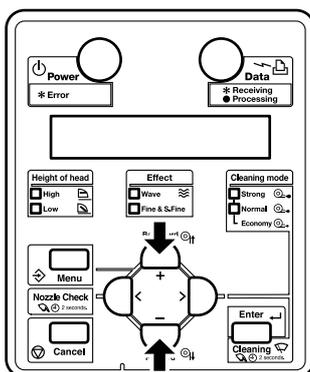


7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

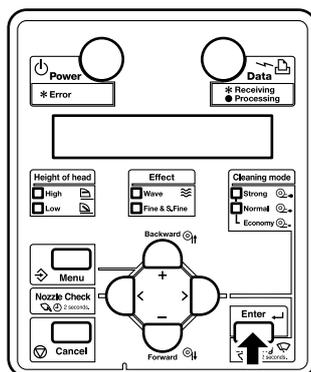


- 操作パネルに「アフターヒーター： Off」と表示されます。

8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、アフターヒーター温度を設定します。



9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

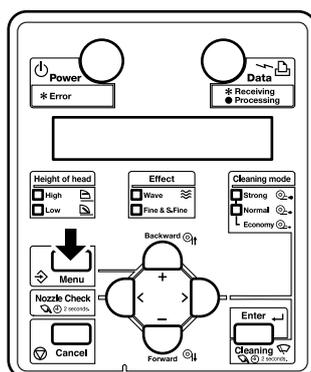


- アフターヒーター温度が設定されます。

4.2.6.4 エアーヒーター温度の設定

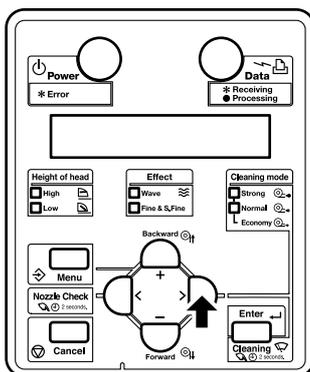
以下の手順に従って、エアーヒーター温度を設定してください。

1. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



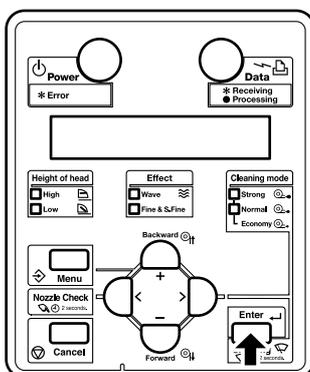
- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

2. 操作パネルの [>] キーを押します。



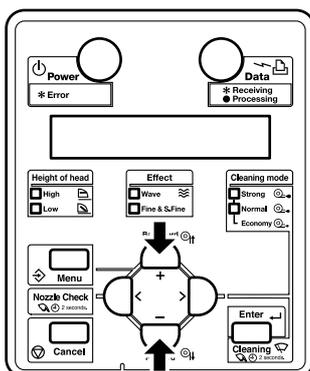
- 操作パネルに「セット 1 : メディアシュルイ」と表示されます。

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

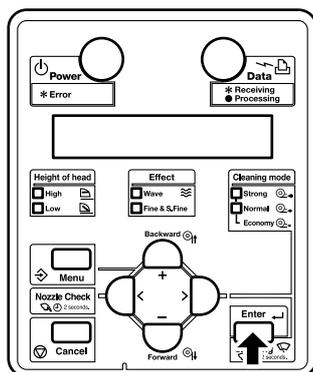


- 操作パネルに「シュルイ : Type 1」と表示されます。

4. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。



5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

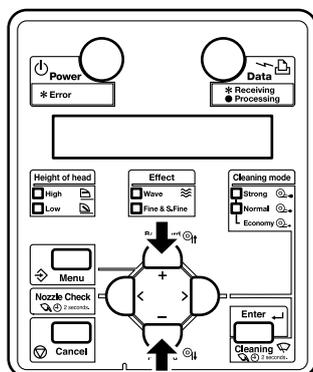


- 操作パネルに「** > 1 : サクカ`モード`」と表示されます。

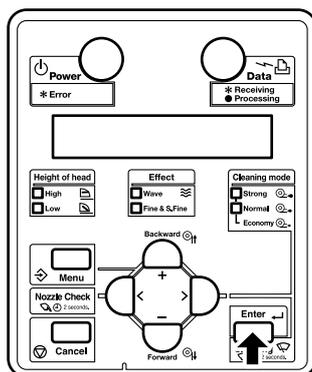
参考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type1 ~ 30) が表示されます。
 5.1.1 用紙種類メニュー

6. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「** 7 : エアーヒーター」を選びます。

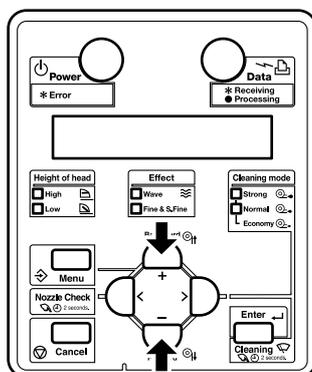


7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。

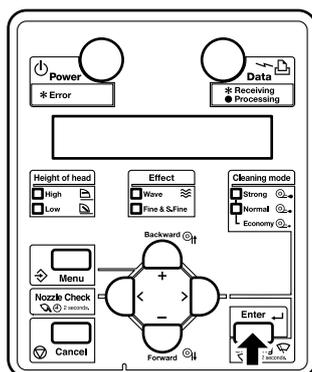


- 操作パネルに「エアーヒーター： 190℃」と表示されます。

8. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、エアーヒーター温度を設定します。



9. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- エアーヒーター温度が設定されます。

4.2.7 用紙送り補正

用紙送り補正について説明します。

用紙によっては、用紙送り量が変化するため、作画結果に以下の現象がみられることがあります。

- 作画された画像が重なる
- 作画された画像に白い筋が入る 等

このように場合には、次の方法で用紙搬送精度が改善することがあります。

1. 用紙の加圧力を調整する。
☞4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順
2. 用紙送り補正値を調整する。
☞4.2.7.2 用紙送り補正値の調整手順

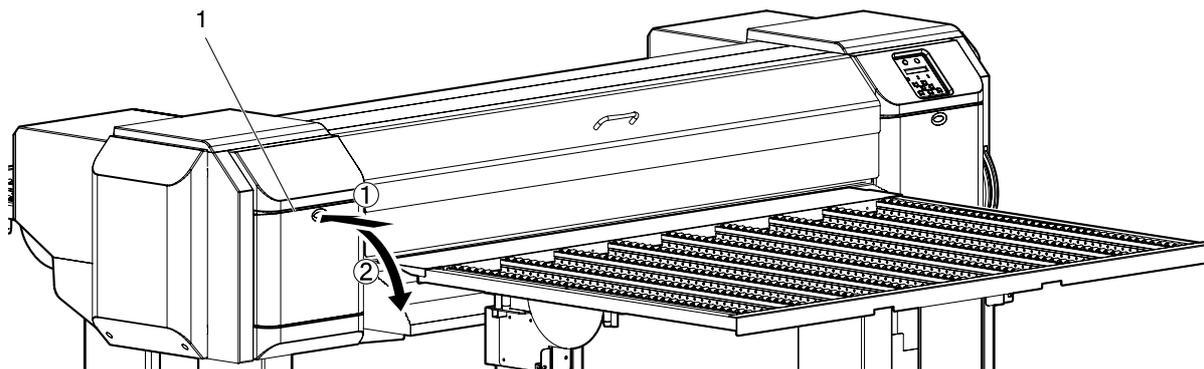
用紙を変更した場合は、用紙送り補正を行ってください。

4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

用紙加圧力の調整手順について説明します。

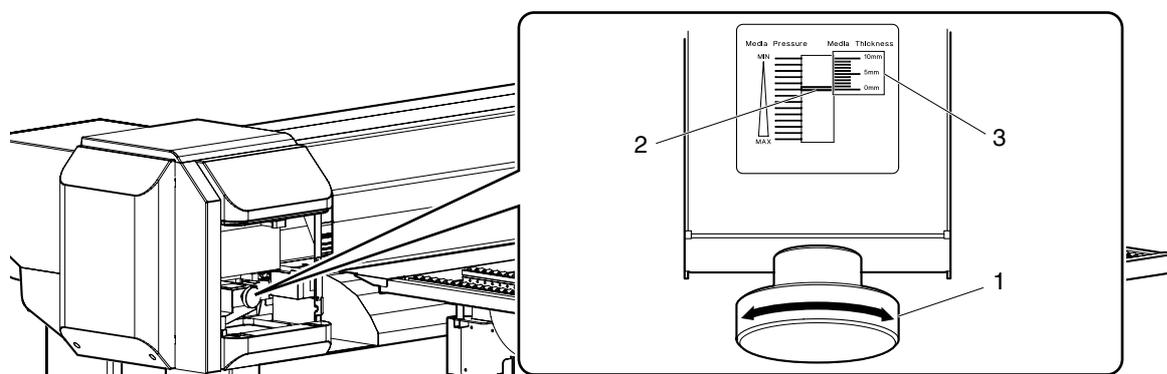
以下の手順に従って、メディアに合った加圧力に調整してください。

1. 用紙セットレバーが上がっていることを確認します。
2. ノギスなどの測定器具で、セットするメディアの厚さを測ります。
3. メンテナンスカバー L を開けて、取外します。



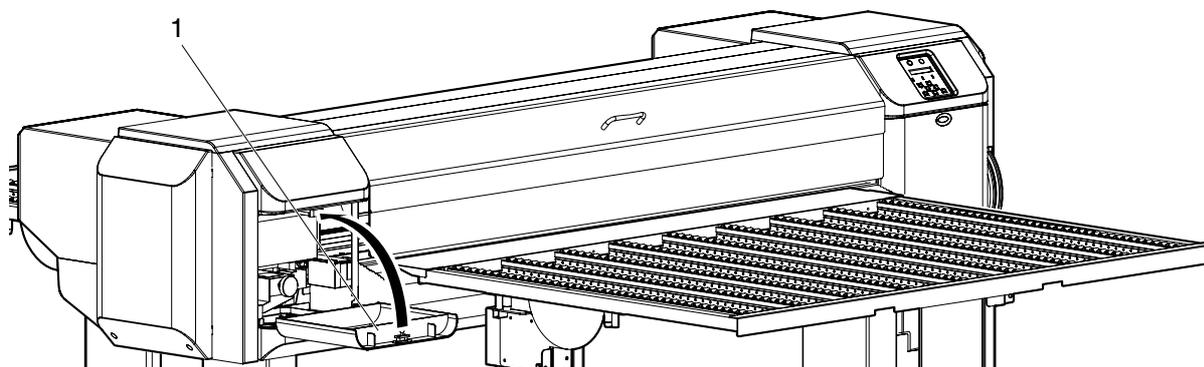
番号	名称
1	メンテナンスカバー L

4. 加圧力調整ハンドルを回して、中央の白線が手順2で測定した値の目盛に来るように調整します。



番号	名称
1	加圧力調整ハンドル
2	白線
3	用紙厚さ目盛

5. メンテナンスカバー L を取付けて、閉めます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー L

- 用紙加圧力の調整を終了します。

参考

メディアの種類によっては、測定したメディア厚さ（の値）に用紙厚さ目盛をセットしても、搬送精度が安定しない場合があります。

この場合には加圧力調整ハンドルを回して、メディアに加圧ローラの跡がつかない程度に MAX 方向に白線を移動させたり、加圧力が強すぎる場合は MIN 方向に移動させたりして、お使いのメディアに合った加圧力に調整してください。

4.2.7.2 用紙送り補正值の調整手順

1. 操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー 1 : セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「セット 1 : メテ` ィアシュルイ」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「シュルイ : T y p e 1」と表示されます。
 - d. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、使用する用紙種類を選びます。
 - e. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「**> 1 : サクカ` モート` 」と表示されます。

参 考

- 「**」には、選択した用紙種類 (Type 1 ~ 30) が表示されます。
I 5.1.1 用紙種類メニュー

- f. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「**> 2 : オクリホセイ」を選びます。
 - g. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「ホセイ 1 : ショキチョウセイサクカ` 」と表示されます。
 - 用紙送り補正メニューに移行します。
I 5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー
2. 初期調整作画を行ないます。
 - a. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「フィート` ナカ` サ : 2 5 0 mm」と表示されます。

参 考

- 初期調整作画の用紙搬送方向の長さ (フィード長さ) は、通常は 250mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

- b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
- 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示されます。
 - 初期調整作画を開始します。



番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- 初期調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- c. 初期調整作画終了後、用紙をカットします。
 4.4.3 用紙のカット
3. 定規等を使用して、初期調整作画の「+」間の長さを測ります。
4. 初期調整値を設定します。
- a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 2 : ショキチヨウセイチ」を選びます。
- b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
- 操作パネルに「チョウセイチ : 250.0 / 250 mm」と表示されます。
- c. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 3 で測った実測値を入力します。
- d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
- 初期調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「ホセイ 2 : ショキチヨウセイチ」と表示されます。

5. 確認調整作画を行ないます。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 3 : カクニンチョウセイサクカ[°]」を選びます。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「フィート[°] ナカ[°] サ : 250 mm」と表示されます。

参 考

- 確認調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）は、通常は 250mm に設定されています。
- フィード長さを長くすると、用紙送り補正の精度が若干向上します。
フィード長さを変更する場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更してください。

- c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「テ[°] ータサクカ[°] チュウ」と表示されます。
 - 確認調整作画を開始します。

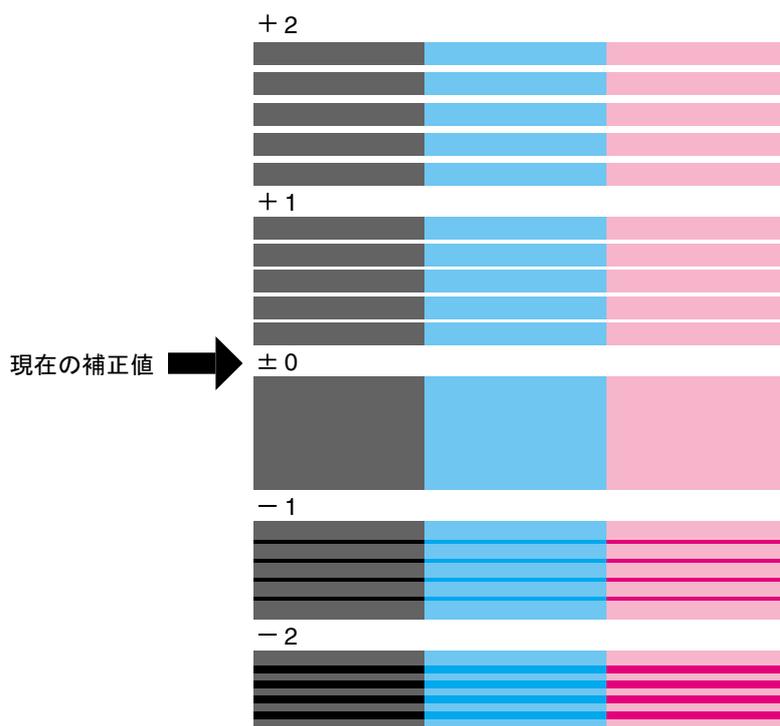


番号	名称
1	フィード長さ
2	用紙搬送方向

- 確認調整作画が終了すると、通常状態に移行します。
- d. 確認調整作画終了後、用紙をカットします。
 4.4.3 用紙のカット
6. 定規等を使用して、確認調整作画の作画された「+」間の長さを測り、作画時のフィード長さと一致しているか確認します。
 - a. 長さが一致していない場合は、手順 1～5 に従って再度調整を行います。
 - b. 長さが一致した場合は、手順 7 に進みます。

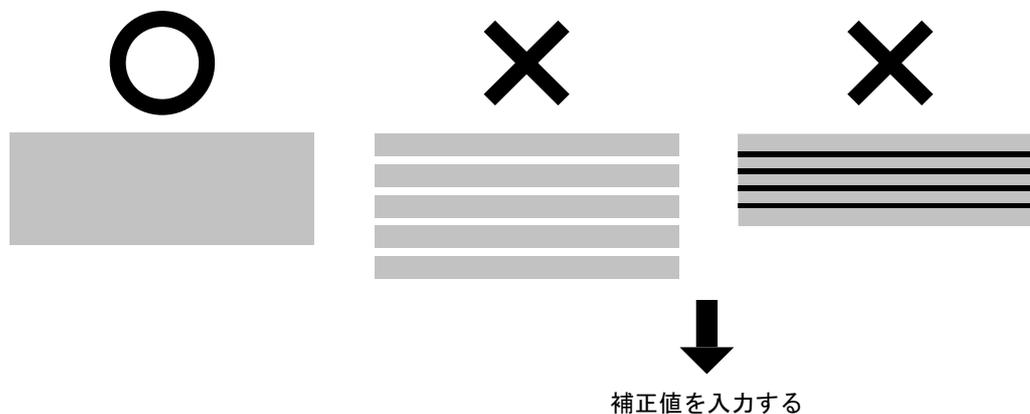
7. 微調整作画を行ないます。

- a. 手順 1 と同様に、操作パネルに用紙送り補正メニューを表示させます。
- b. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 4 : ヒ` ヨウセイサクカ`」を選びます。
- c. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「データサクカ` チュウ」と表示されます。
 - 微調整作画を開始します。



- 微調整作画が終了すると、操作パネルに「ホセイ 4 : ヒ` ヨウセイサクカ`」と表示されます。

8. 次図を参考にして、作画結果を確認します。



9. 微調整値を設定します。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「ホセイ 5 : ヒ` ヲウセイチ」を選びます。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「ヒ` ヲウセイチ : 0 p u l s e」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、手順 7 の作画結果に従って微調整値を入力します。
 - d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 微調整値が保存されます。
 - 操作パネルに「ホセイ 5 : ヒ` ヲウセイチ」と表示されます。
10. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
 - 用紙送り補正值の調整を終了します。

4.2.8 用紙押さえプレートの使用方法

紙質や使用環境によっては、用紙の両端に反りが生じ、プリントヘッド表面が用紙に擦れることがあります。

このような場合には、用紙押さえプレートを使用することで、用紙の反りをある程度抑えることができます。

以下の手順に従って、用紙押さえプレートを使用してください。

1. 操作パネルにサイドマージンメニューを表示させます。
 - a. 操作パネルの [Menu] キーを押します。
 - 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
 - 設定メニュー表示状態に移行します。
 - b. 操作パネルの [>] キーを押します。
 - 操作パネルに「セット1： メテ` ィアシュルイ」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「セット4： サイト` マージ` ン」を選びます。
 - d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 操作パネルに「サイト` マージ` ン： ** mm」と表示されます。
 - サイドマージンメニューに移行します。

注 記

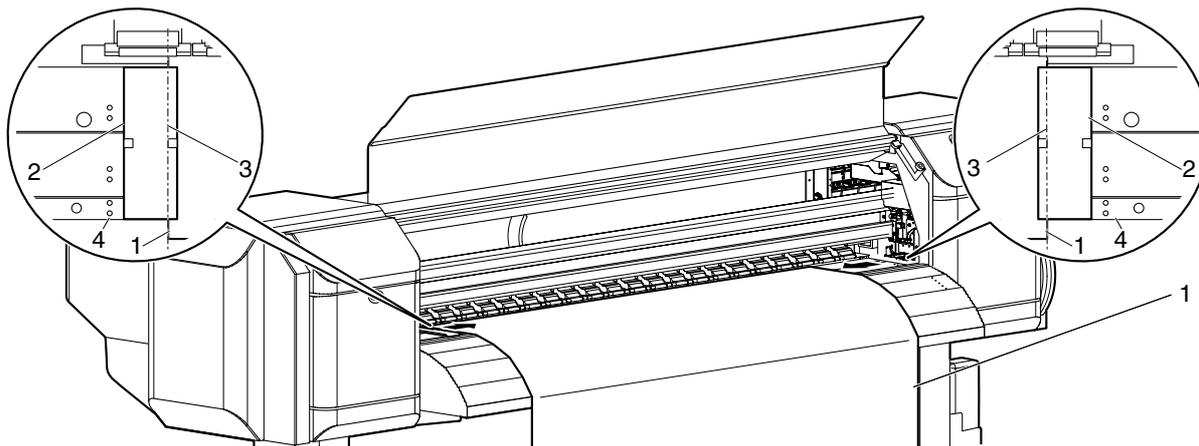
- サイドマージンメニューの「**」には、現在設定されている数値が表示されます。

2. 作画時の用紙の余白（サイドマージン）を「10mm」に設定します。
 - a. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「サイト` マージ` ン： 10 mm」を選びます。
 - b. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - 設定値が保存され、操作パネルに「セット4： サイト` マージ` ン」と表示されます。
 - c. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。
 - 操作パネルが通常状態に戻ります。
3. ロール紙をセットします。
☞3.4.4 ロール紙のセット方法

4. 用紙押さえプレートをプラテン両側からスライドさせて用紙にセットします。

注 記

- 用紙厚さが 500 μ m (0.5mm) 以上の用紙には、用紙押さえプレートを使用しないでください。
プリントヘッドと干渉する可能性があります。



番号	名称
1	ロール紙
2	用紙押さえプレート
3	用紙合わせ位置
4	プラテン

5. 用紙押さえプレートを取付けた後、用紙搬送に支障がないことを十分に確認します。

▲ 注意

- 用紙押さえプレートを使用して用紙詰まりが発生した場合、用紙押さえプレートが変形する恐れがあります。
用紙押さえプレートが変形した場合は、
 - 詰まった用紙を強引に取除かないでください。
 - 製品の使用を中止してください。

用紙押さえプレートが変形したまま使用すると、グリッドローラやプリントヘッド等を破損させる恐れがあります。

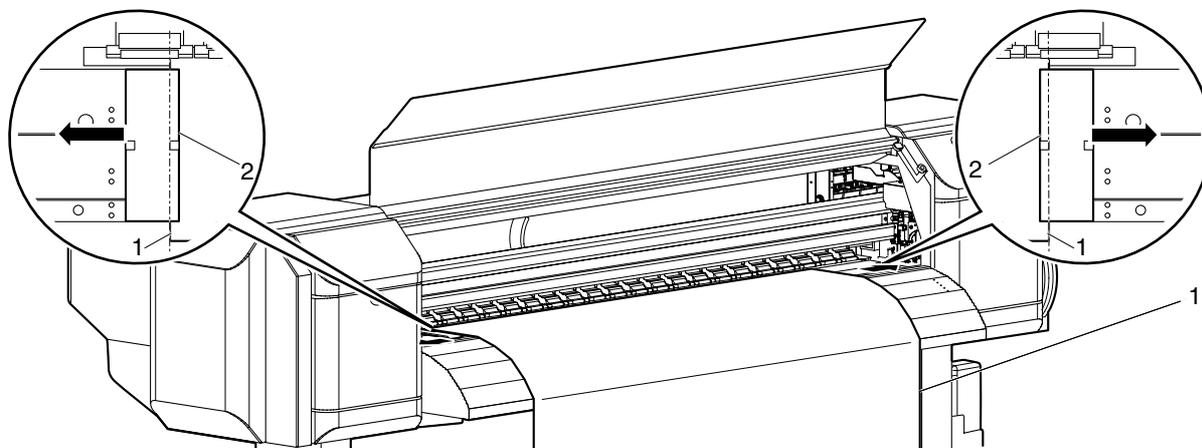
MUTOH カスタマサポートまでご連絡ください。

☎8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口

注記

- 用紙押さえプレートを使用しても、用紙搬送に何らかの支障が出た場合は、用紙押さえプレートの使用を中止してください。

6. 用紙押さえプレートを使用しない場合は、次図のようにスライドさせて元の位置に戻します。



番号	名称
1	ロール紙
2	用紙押さえプレート

4.2.9 エアーヒーターの使用方法

エアーヒーターの使用方法について説明します。

エアーヒーターを使用すると、厚物メディア作画時に、メディア表面に温風を噴出することで、インクの乾燥を促進させることができます。

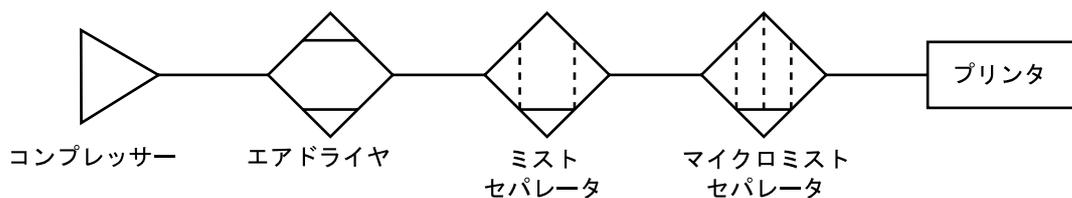
以下の手順に従って、エアーヒーターを使用してください。

警告

- 製品に接続する乾燥空気の品質等級は、JIS B 8392-1 1.1.2 ~ 1.6.2 : 2003 に準拠した流体を使用してください。
品質等級を満たさない流体を使用した場合は、正しい印刷結果が得られないばかりでなく、部品の劣化や破損、火災の原因となります。
以下の例に従って、フィルターを接続すると上記品質等級を満たす事ができます。

フィルターの接続例

JIS記号



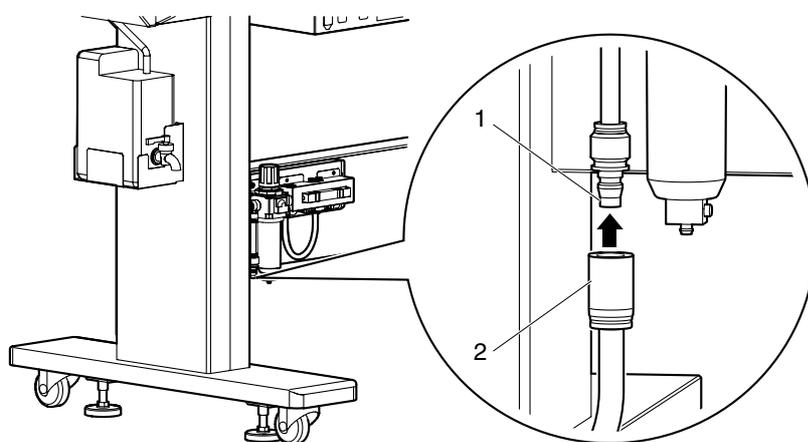
メーカー	エアドライヤ	ミストセパレータ	マイクロミストセパレータ
SMC	IDF3D-1- * (100V 仕様) IDF3D-2- * (200V 仕様)	AM150-03C- *	AMD150-03C- *

- 接続には、上記の他に継手やチューブが必要になります。
- 上記型式の「*」はメーカーのオプション設定になります。
詳しくは、空圧機器メーカーまたはコンプレッサー販売店にお問い合わせください。

▲ 注意

- 製品に接続するエアークOMPRESSORは、下記の仕様を満たすものを使用してください。
下記の仕様を満たさない場合は、正しい印刷結果が得られないばかりでなく、製品を破損させる原因となります。
- コンプレッサー仕様：
流量：100L/min 以上
圧力：0.35Mpa 以上

1. 製品電源が OFF になっていることを確認します。
2. エアークOMPRESSORのチューブを電磁弁ユニットに接続します。



番号	名称
1	電磁弁ユニット
2	エアークOMPRESSORのチューブ

3. エアークOMPRESSORの電源を ON します。
4. 製品の電源を ON します。
5. エアークヒーターの温度を設定します。

☞ 4.2.6.4 エアークヒーター温度の設定

- 製品が作画を開始すると、自動的にエアークヒーターが作動します。

▲ 注意

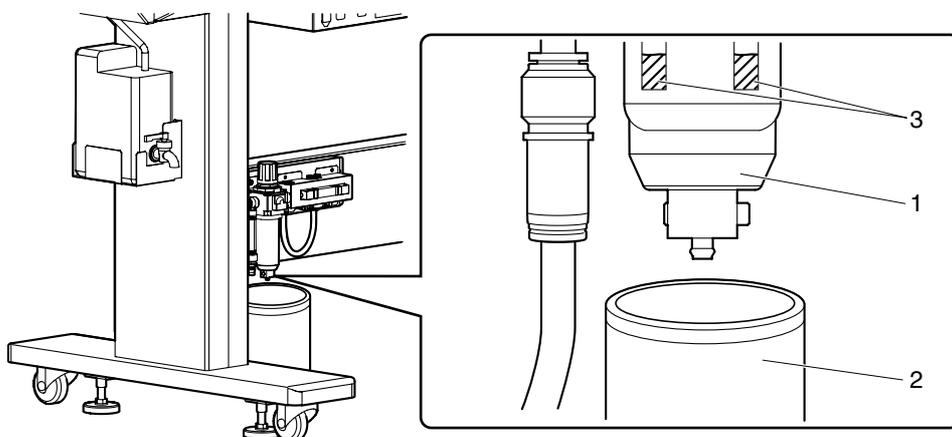
- 作画終了直後 30 分以内は、エアークヒーター付近に触れないでください。
エアークヒーター付近は高温になっており、やけどする恐れがあります。

6. 電磁弁ユニットに水が溜まった場合、以下の手順に従って水を抜いてください。

注意

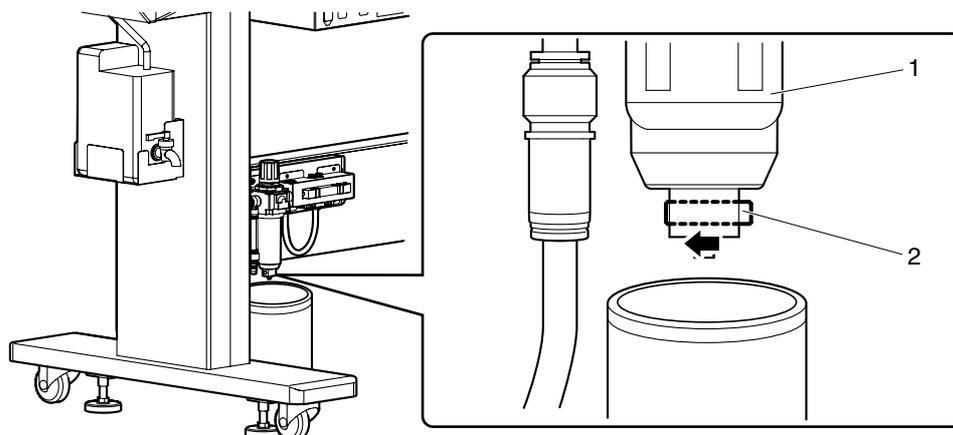
- 電磁弁ユニットに水が溜まったまま使用しないでください。
製品に水分が流れ込み、製品を破損させる恐れがあります。

- a. 製品とエアークンプレッサーが以下であることを確認します。
 - 製品が作画動作を行っていないこと
 - エアークンプレッサーが動作していないこと
- b. 電磁弁ユニットの下に、空容器を用意します。



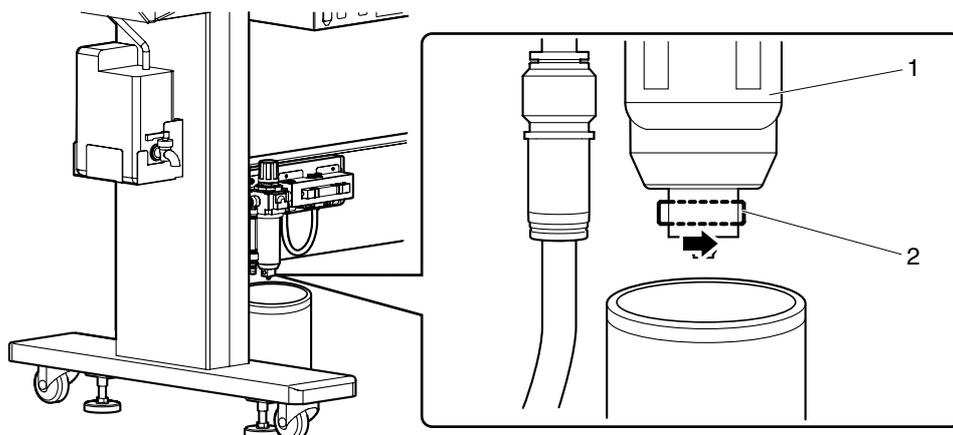
番号	名称
1	電磁弁ユニット
2	空容器
3	電磁弁内部の水

- c. 排水弁開放コックを少しずつ押して、水を抜きます。



番号	名称
1	電磁弁ユニット
2	排水弁開放コック

- d. 排水が完了したら、排水弁開放コックを戻します。



番号	名称
1	電磁弁ユニット
2	排水弁開放コック

注 記

- 電磁弁ユニットから出る排水には、使用するエアークOMPRESSORの種類によって、油が含まれる場合があります。各自治体の条例に従って、正しく廃棄してください。
- エアークヒーターを使用しない場合は、エアークOMPRESSORの電源を OFF にし、電磁弁ユニットからチューブを取外してください。
- 電磁弁ユニットに使われているフィルターは、オートドレン式となっています。コンプレッサーの電源が OFF にされ、内圧が大気圧近くまで下がると、自動的に排水を行います。そのため、コンプレッサーの電源を OFF にしたままにする場合は、電磁弁ユニットの下に空容器を置いておいてください。

4.3 操作パネルのメニュー設定

4.3.1 パネル設定メニューの概要

製品の各メニューの概要について説明します。
パネル設定メニューには、以下の項目があります。

設定項目	内容
設定メニュー	製品の各種設定を行います。
テスト作画メニュー	プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。
調整作画メニュー	画質微調整のためのテストパターンの作画、および調整を行います。
クリーニングメニュー	ヘッドクリーニングを行います。
簡易選択メニュー	セットアップメニューの表示内容を設定します。
バージョンメニュー	ファームウェアのバージョンを表示します。
スリープモードメニュー	スリープモードの設定および起動を行います。

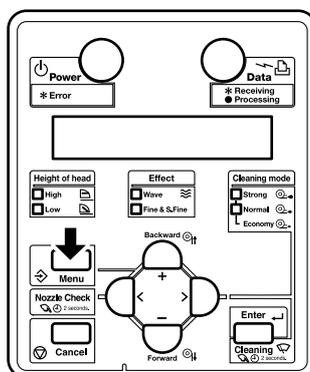
参考

- 各設定項目の詳細については、「5 パネル設定メニュー」を参照してください。

4.3.2 メニュー設定手順

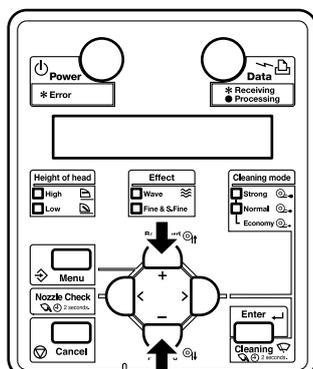
以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1 : セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定する項目を選択し、[Enter] キーを押します。

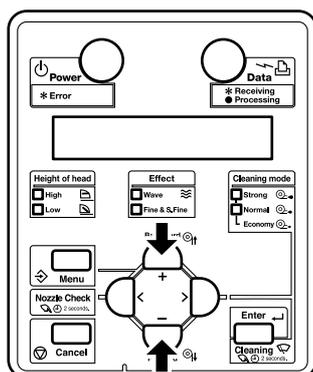


- 設定項目を確定します。
- 設定項目にサブメニューがある場合は、次のメニュー階層に移行します。

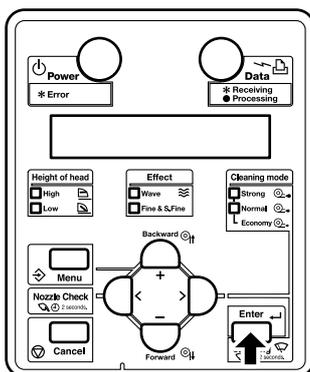
注 記

- 設定項目にサブメニューがある場合は、設定パネルの液晶表示部の右端に「>」と表示されます。
- 各設定項目の概要については、「4.3.1 パネル設定メニューの概要」を参照してください。

4. 操作パネルの液晶表示部で、点滅している部分は設定値を変更することができます。操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更します。



5. 変更した設定値を保存する場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。

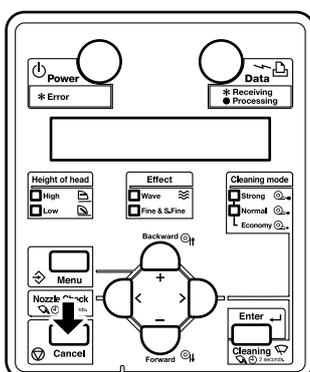


- 設定値が保存され、次の設定項目に移行します。

注 記

- 設定値を変更後、[Enter] キーを押さずに [Cancel] キー、および [+] キーまたは [-] キーを押すと、変更した設定値は保存されません。

6. 設定を終了する場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 1 つ前の階層の設定メニューに戻ります。
- メインメニューが表示されている場合は、通常状態に戻ります。

4.4 操作パネルからの各種操作

操作パネルから操作できる各種機能について説明します。

参考

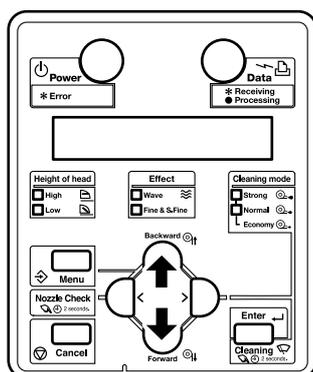
- 各キーの名称、機能については、「2.2.3 操作パネル」を参照してください。

4.4.1 用紙送り

ロール紙を任意の位置に送ることができます。

以下の手順に従って、用紙送りを行ってください。

1. 操作パネルが通常状態であることを確認します。
2. 用紙セットレバーが下がっていることを確認します。
3. 操作パネルの [Forward↓] キーまたは [Backward↑] キーを押します。

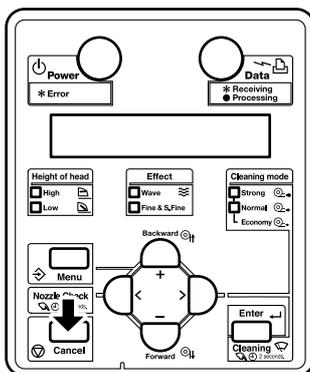


- 用紙が順方向または逆方向に送られます。
4. 用紙を任意の位置まで送ったら、操作パネルの [Backward↑] キーまたは [Forward↓] キーを放します。

4.4.2 作画の中断

何らかの理由により作画を中断したい場合は、以下の操作を行ってください。

1. コンピュータからの本製品への、作画データの送信を中止します。
2. 操作パネルの [Cancel] キーを押します。



- 製品は以下の動作を行います。

プリンタの状態	[Cancel] キーを押したときの動作
作画中	作画を強制終了し、製品内部に残ったデータを1ファイル分割除します。
受信・解析中	すでに受信・解析したデータを削除し、以降のデータを1ファイル分割除します。

注 記

- 製品内部に大量のデータが蓄積されている場合、1回の [Cancel] キー操作では、操作パネルが通常状態に戻らない場合があります。
このような場合は、数秒間待ってから再度 [Cancel] キーを押してください。

4.4.3 用紙のカット

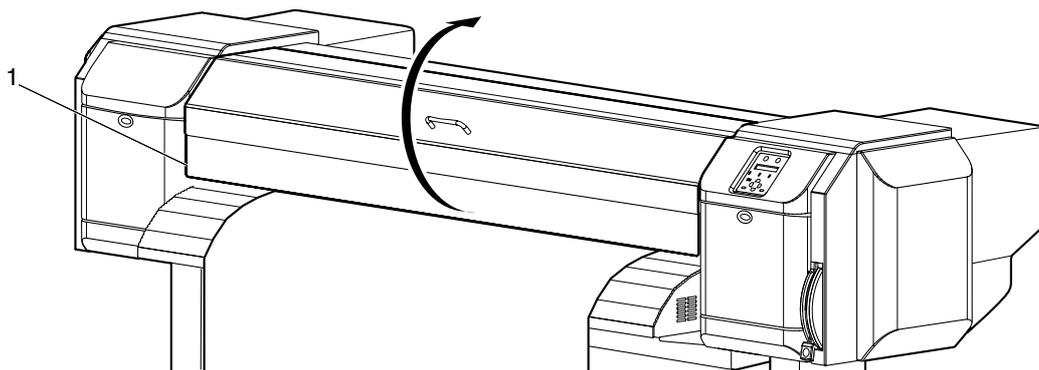
ロール紙のカット方法について説明します。

▲ 注意

- 作画終了直後は、用紙ガイドは高温になっています。
用紙ガイドが十分に冷めてから作業を行ってください。

以下の手順に従って、ロール紙をカットしてください。

1. 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 作画等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
2. ロール紙をカットする位置を変更したい場合は、「4.4.1 用紙送り」に従って、ロール紙をカットしたい位置まで搬送します。
3. フロントカバーを開けます。

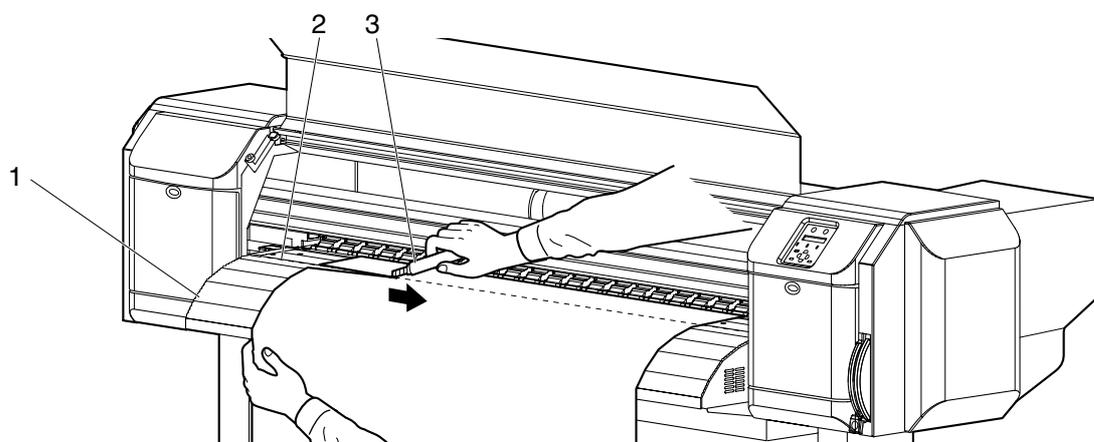


番号	名称
1	フロントカバー

4. 用紙ガイド上にある用紙カット溝に沿うように、市販のカッターの刃を当て、ロール紙をカットします。

▲ 注意

- ロール紙をカットする場合は、以下の事項に注意してください。
取扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。
- 用紙を押える場合は、用紙カット溝の上に指を乗せない
- カッターは用紙カット溝に沿ってゆっくり動かす



番号	名称
1	用紙ガイド
2	用紙カット溝
3	カッター

- ロール紙のカットを終了します。

注記

- 新しいロール紙をセットした時に、ロール紙の先端がまっすぐになっていない場合は、ロール紙の先端をカットしてください。

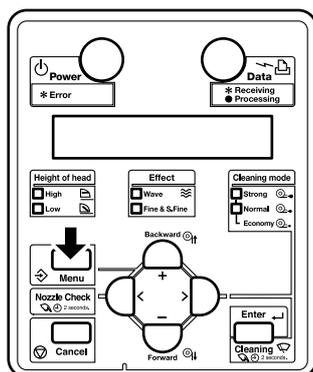
4.4.4 作画中の設定値変更・確認

製品が作画などの動作中に、パネル設定メニューの設定値を変更または確認することができます。

4.4.4.1 作画中の設定値変更・確認手順

以下の操作を行って、パネル設定メニューの設定値を変更または確認してください。

1. 製品の動作状態について、以下のいずれかの動作を行っていることを確認します。
 - データ受信中
 - データ解析中
 - データ作画中
 - ウォームアップ中
 - プリヒート中
2. 操作パネルの [Menu] キーを押します。



- 操作パネルに「メニュー1： フォントスタート」と表示されます。
3. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、設定値を変更または確認します。

注 記

- 設定値を変更、確認できる設定項目については、「4.4.4.2 作画中に変更・確認できる設定値」を参照してください。

4.4.4.2 作画中に変更・確認できる設定値

注 記

- プリントスタートメニューは、製品がウォームアップ中の場合にのみ表示されます。
- 製品が動作中に設定値を変更した場合、変更した設定値を保存する場合は必ず「保存」を選択してください。
「保存」を選択せずに通常状態に戻った場合は、変更した設定値は保存されません。

設定項目	設定値	内容
プリントスタート	—	• [Enter] キー：製品がウォームアップ中に、ヒーター温度が設定値に達していなくても、作画を開始します。
温度状況	プリ	現在のプリヒーター温度を確認します。
	プラテン	現在のプラテンヒーター温度を確認します。
	アフター	現在のアフターヒーター温度を確認します。
	エアー	現在のエアーヒーター温度を確認します。
プリヒーター	Off / 30° C ~ 50° C	プリヒーターの温度を変更します。
プラテンヒーター	Off / 30° C ~ 50° C	プラテンヒーターの温度を変更します。
アフターヒーター	Off / 30° C ~ 50° C	アフターヒーターの温度を変更します。
エアーヒーター	Off / 130° C ~ 190° C	エアーヒーターの温度を変更します。
送り微調整	-20pulse ~ 0 ~ 20pulse	送り補正值の微調整値を変更します。
保存	—	• [Enter] キー：変更した設定値を保存します。
	—	• [Cancel] キー：通常状態に移行します。

4.4.5 作画の一時停止

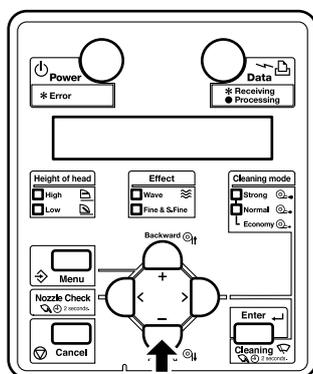
製品が作画中に、作画を一時停止させることができます。

以下の手順に従って、作画の一時停止および再開を行ってください。

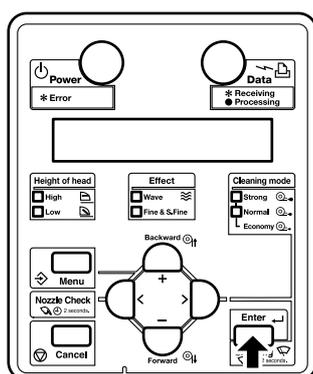
注 記

- 作画の一時停止を行った場合、作画品質は保証できません。

1. 製品が作画中であることを確認します。
2. 操作パネルの [-] キーを押します。



- 製品が作画を一時停止します。
 - 操作パネルに「Print Restart -> ENTER」と表示されます。
3. 作画を再開させる場合は、操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 製品が作画を再開します。

4.5 分光光度計（SPECTROVUE VM-10）の使い方

付属の分光光度計（SPECTROVUE VM-10）を装着して、カラーターゲットの印刷と測定を行うことができます。SPECTROVUE VM-10 に対応した RIP ソフトを使うことによって、プリンタのカラーキャリブレーションやカラープロファイリングを行い、より正確な色で印刷することが可能になります。

以下の手順に従って作業を行ってください。

注意

- 本製品（SPECTROVUE VM-10）はクラス 1M LED 製品です。
クラス 1M LED 製品は、通常の使用では目や皮膚に危険はありませんが、光学機器やレンズなどで集中させた光をのぞき込むと、目や皮膚を傷つけるおそれがあります。
- 長時間印刷を行った直後はプリントヘッド部が熱くなっており、すぐに本作業を行うと、やけどのおそれがあります。十分プリントヘッド部を冷ましてから作業をおこなってください。

注記

- プリンタを強い光（日光など）が差し込むような場所には設置しないようにしてください。
測色部分に強い光が当たると測定精度に影響がでる場合があります。
- SPECTROVUE VM-10 を使用するには、プリンタの設定が、以下である必要があります。
使用前に設定を必ず確認してください。
 - メディア検出：Height+Width または、Height + T&W
I 5.1.5 メディア検出メニュー
 - 巻取り装置：OFF
I 5.1.7 巻取り装置メニュー
- メディア厚さを手動で変更すると、測定精度に影響がでる場合があります。
- 半透明のメディアや色つきのメディア、表面に凹凸のあるメディアにカラーターゲットを印刷した場合は、正確に色が測定できない場合があります。

1. プリンタとコンピュータを接続します。

I 3.7 コンピュータとの接続

2. プリンタの電源を ON します。

3. メディアをセットします。

I 3.4 用紙の取付け

4. 用紙種類を設定します。

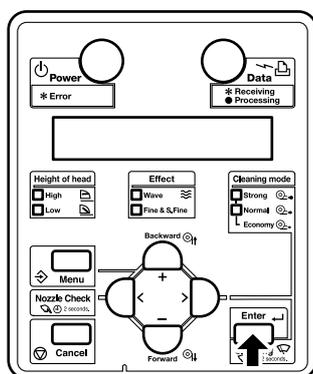
I 3.4.5 用紙種類の設定手順

- 用紙種類の設定と用紙イニシャル動作が完了すると、操作パネルに「サクカ デキマス」と表示されます。

5. RIP ソフトを起動し、カラーターゲットの印刷と測定を開始します。

注 記

- RIP ソフトの設定および操作方法は、RIP ソフトの取扱説明書を参照してください。
- プリンタがカラーターゲットの印刷を開始します。
- 操作パネルに「データサクカ チュウ」と表示されます。
- 印刷が終了すると、操作パネルに「ソクテイキ ノ トリツケ [ENTER]」と表示されます。

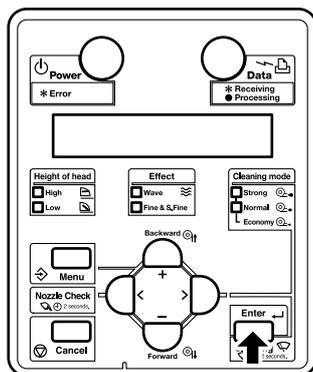


注 記

- 印刷中は、カバー類や用紙セットレバーを動かさないでください。

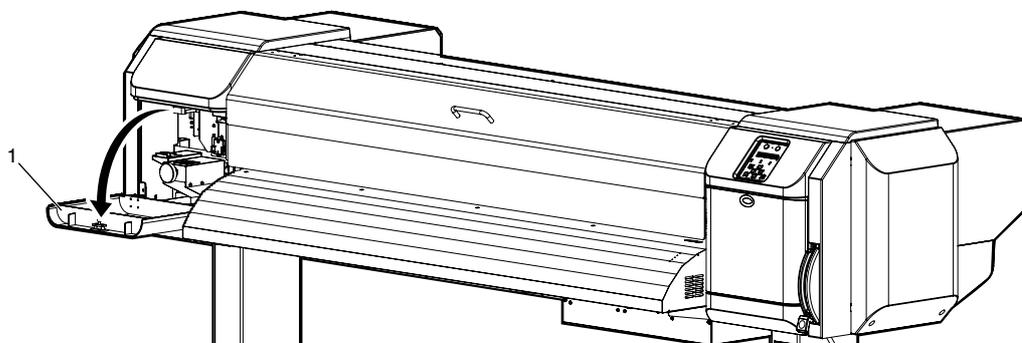
6. [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「シハ ラク オマチクタ サイ ...」と表示されます。
- プリントヘッド部が製品左側へ移動します。
- 操作パネルに「ヒタ リ ノ メンテナンスカバー アケテクタ サイ。」と表示されます。



7. 製品左側のメンテナンスカバーを開きます。

- 操作パネルに「コネクターキャップ[°] ヲ トリハス^シ、ソクテイキ ヲ トリツケテクダ^{サイ}。[ENTER]」と表示されます。

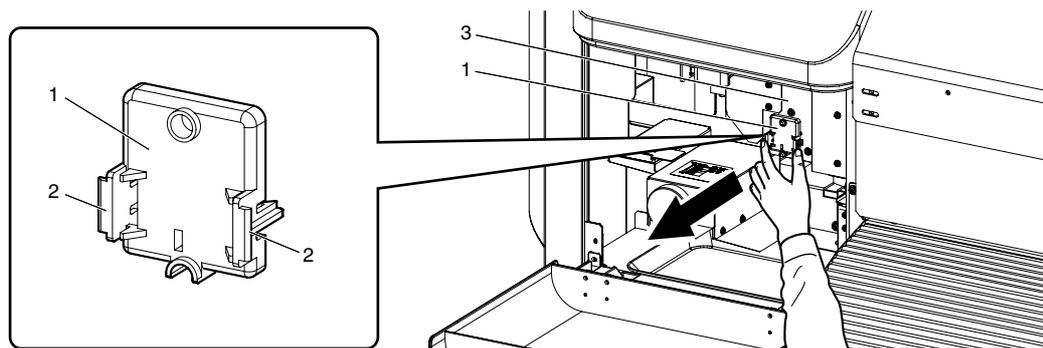


番号	名称
1	メンテナンスカバー

注 記

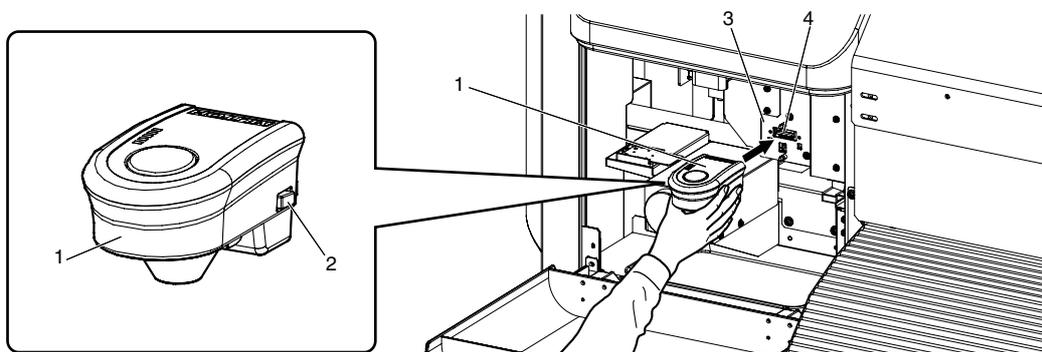
- メンテナンスカバーを開けずに一定時間が経過すると、プリントヘッド保護のため、プリントヘッド部が製品右側へ戻ります。「ソクテイキ ノ トリツケ [ENTER]」と表示されますので、手順6からやりなおしてください。

8. コネクターキャップの両側のツメを指で強くはさみながら前方に引き、プリントヘッド部からコネクターキャップを取り外します。



番号	名称
1	コネクターキャップ
2	ツメ
3	プリントヘッド部

9. 分光光度計（SPECTROVUE VM-10）両側面のリリースボタンを押しながら、プリントヘッド部のコネクターへ取付けます。



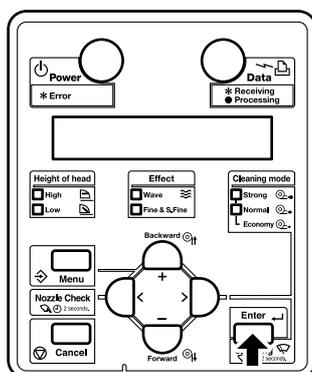
番号	名称
1	分光光度計
2	リリースボタン
3	プリントヘッド部
4	コネクター

注 記

- 分光光度計がゆがんで取付けられていたり、コネクター部分と分光光度計に隙間が空いていたりしていないか確認してください。

10. [Enter] キーを押します。

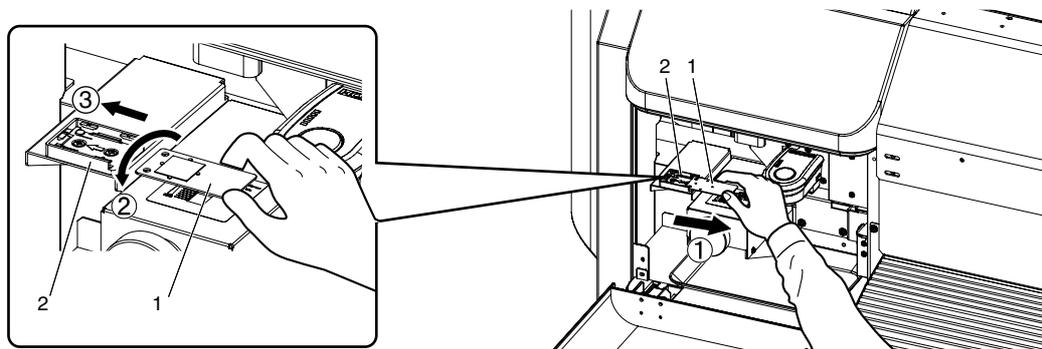
- 操作パネルに「シハ`ラクオマチクダ`サイ...」と表示されます。
プリンタと分光光度計の接続を確認しています。
- 操作パネルに「ホワイトフ`レート`ヲ`トリツケ、メンテナンスカバ`ー`ヲ`トシ`テクダ`サイ」と表示されます。



注 記

- 「Enter」 キーを押さなくても次の手順に進むことができます。手順 11 へお進みください。

11. ホワイトリファレンスプレートをプレート取付け部から取外し、裏返して白い面が上になるようにしてから元の場所に取り付けます。

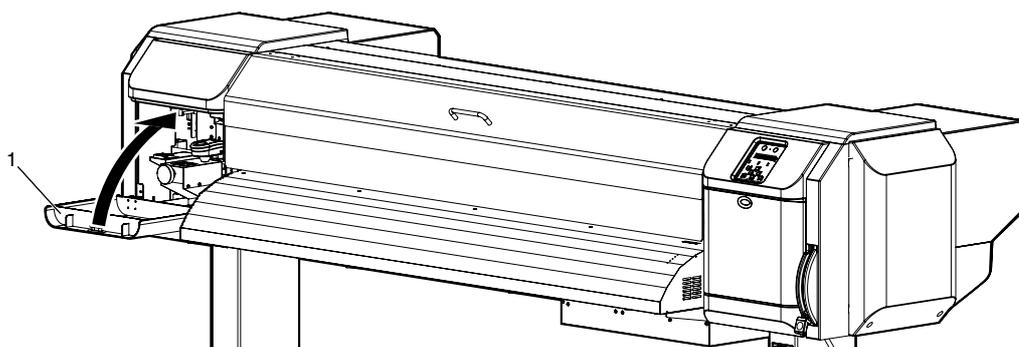


番号	名称
1	ホワイトリファレンスプレート
2	プレート取付け部

注 記

- カラーターゲットの測定前には、ホワイトリファレンスプレートは必ず白い面を上にしてください。黒い面のままだと、正確な測定ができなくなります。

12. メンテナンスカバーを閉じます。

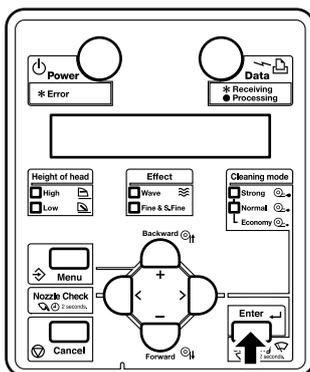


番号	名称
1	メンテナンスカバー

- プリントヘッド部が製品右側へ移動します。
- 操作パネルに「シバ ラクオマチクタ サイ ...」と表示されます。

13. 操作パネルに「ソクテイカイシ [ENTER]」と表示された場合は、[Enter] キーを押します。

- 分光光度計がカラーターゲットの測定を開始します。
- 操作パネルに「ソクテイチュウ」と表示されます。
- 測定が完了すると、操作パネルに「ソクテイキ ノ トリハス シ [ENTER]」と表示されます。

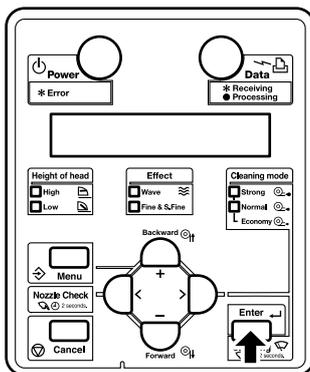


注 記

- RIP ソフトの設定により、色の測定を自動で開始する場合と、手動で開始する場合があります。上記は手動で開始する場合の手順です。
- 自動で開始する場合は、操作パネルに「インクカンソウチュウ xxxxxs」(xxxxx は数字) と表示されます。
- 測定中は、カバー類や用紙セットレバーを動かさないでください。

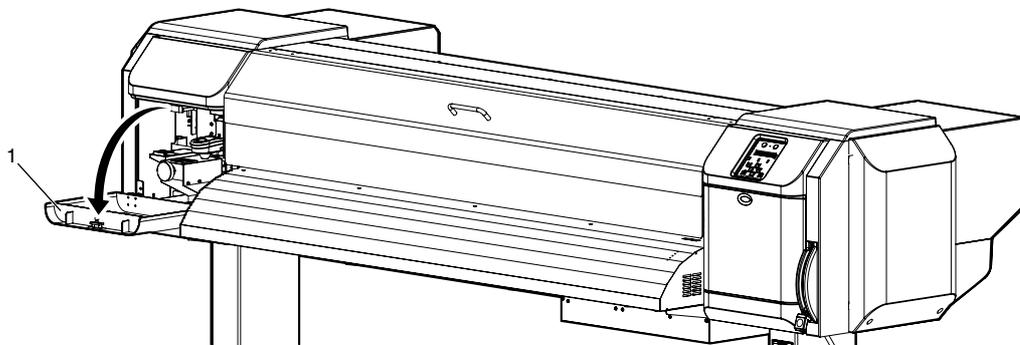
14. [Enter] キーを押します。

- 操作パネルに「シハ`ラクオマチクダ`サイ ...」と表示されます。
- プリントヘッド部が製品左側へ移動します。
- 操作パネルに「ヒタ`リ`ノ`メンテナンスカバ`ーヲ`アケテクダ`サイ。」と表示されます。



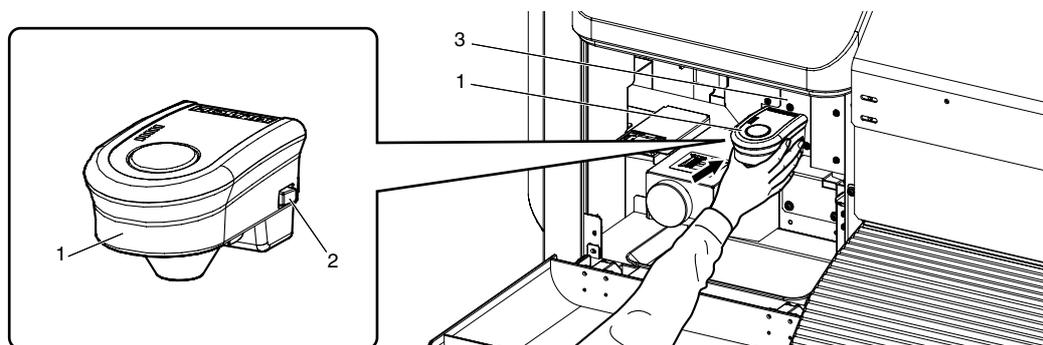
15. 製品左側のメンテナンスカバーを開きます。

- 操作パネルに「ソクテイキ ヲ トリハス^シ、コネクターキャップ^ヲ トリツケテクダ^{サイ}。[ENTER]」と表示されます。



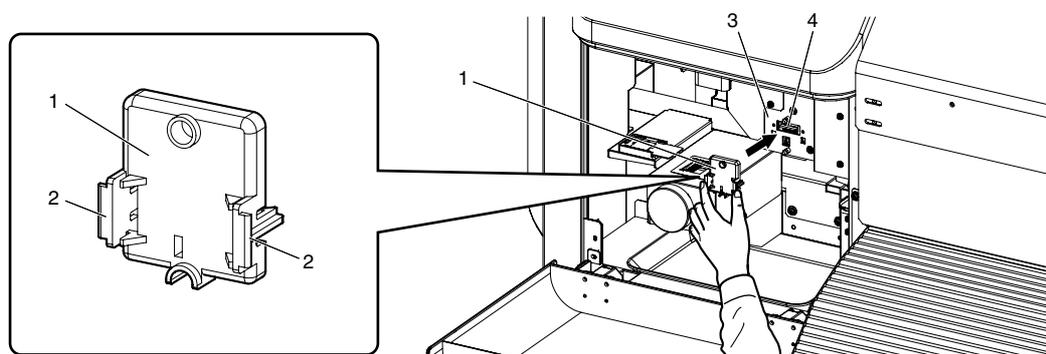
番号	名称
1	メンテナンスカバー

16. 分光光度計の両側面のリリースボタンを押しながら前方に引き、プリントヘッド部から取り外します。



番号	名称
1	分光光度計
2	リリースボタン
3	プリントヘッド部

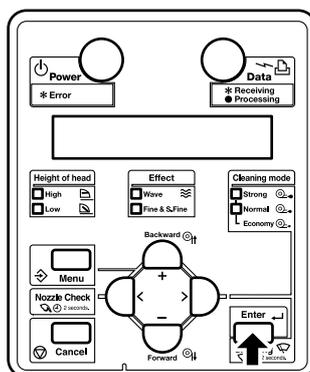
17. コネクターキャップの両側のツメを指で強くはさみながら、プリントヘッド部のコネクターへ取付けます。



番号	名称
1	コネクターキャップ
2	ツメ
3	プリントヘッド部
4	コネクター

18. [Enter] キーを押します。

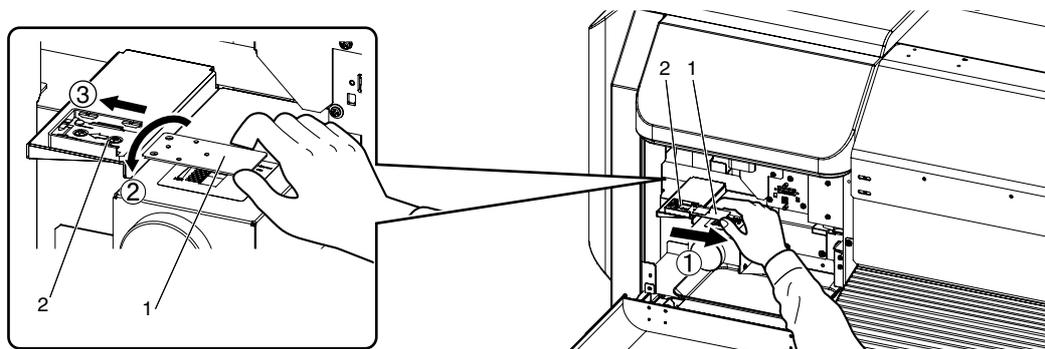
- 操作パネルに「シハ`ラクオマチクダ`サイ ●●」と表示されます。
- 操作パネルに「ホワイトプ`レート ヲ トリハズ`シ、メンテナンスカバ`ー ヲ トシ`テクダ`サイ」と表示されます。



注 記

- この手順は省略することができます。手順 19 へお進みください。

19. ホワイトリファレンスプレートをプレート取付け部から取外し、裏返して黒い面が上になるようにしてから元の場所に取り付けます。



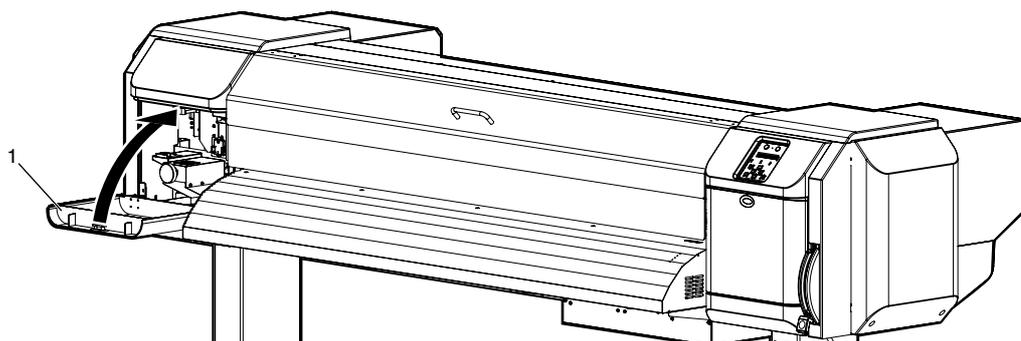
番号	名称
1	ホワイトリファレンスプレート
2	プレート取付け部

注 記

- ホワイトリファレンスプレートを汚さないために、測色時以外は必ずホワイトリファレンスプレートを裏返しにしてください。

20. メンテナンスカバーを閉じます。

- 操作パネルに「サクカ`テ`キマス」と表示されます。
- 以降の作業は、RIP ソフトの指示に従ってください。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

5 パネル設定メニュー

この章では、製品の各設定メニューについて説明します。

設定項目	内容
設定メニュー	製品の各種設定を行います。 【図】5.1 設定メニュー
テスト作画メニュー	プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。 【図】5.2 テスト作画メニュー
調整作画メニュー	作画に最適な画質の調整を行うときに設定します。 【図】5.3 調整作画メニュー
クリーニングメニュー	ヘッドクリーニングを行います。 【図】5.4 クリーニングメニュー
簡易選択メニュー	設定メニューの表示内容を設定します。 【図】5.5 簡易選択メニュー
バージョンメニュー	ファームウェアのバージョンを表示します。 【図】5.6 バージョンメニュー
スリープモードメニュー	スリープモードの設定および起動を行います。 【図】5.7 スリープモードメニュー

参 考

- 各表中の < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。
- 設定メニューの構成については、以下を参照してください。
【図】「設定メニュー構成図」

5.1 設定メニュー

製品の各種設定を行います。

設定項目	内容
メディア種類	作画に使用する用紙種類を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.1 用紙種類メニュー
エフェクト	エフェクト機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.2 エフェクトメニュー
フラッシング	作画中のフラッシング動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.3 フラッシングメニュー
サイドマージン	作画時の左右のマージンを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.4 サイドマージンメニュー
メディア検出	用紙イニシャル時に用紙の幅および先端の検出を行うかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.5 メディア検出メニュー
メディア幅・幅確認	用紙イニシャル時に用紙検出を行わない場合、用紙セット目安から用紙の左端までの距離（用紙幅）を設定します。 用紙イニシャル時に用紙検出を行う場合、検出した用紙幅を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.6 メディア幅・幅確認メニュー
巻取り装置	巻取り装置（オプション）の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.7 巻取り装置メニュー
原点設定	作画データの作画開始位置（原点）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.8 原点設定メニュー
貼付き防止	作画開始時の用紙貼付き防止動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.9 貼付き防止メニュー
メディアヒート	エアーヒーターのメディアプリヒート/メディアアフターヒート動作について、各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.10 メディアヒートメニュー
CR 作画移動幅	作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.11 CR 作画移動幅メニュー
重ね描き回数	作画 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 ⓘ 5.1.12 重ね描き回数メニュー

設定項目	内容
重ね描きウェイト	重ね描き作画時のウェイト時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.13 重ね描きウェイトメニュー
斜行チェック	用紙搬送中の斜行検出を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.14 斜行チェックメニュー
オートクリーニング	作画中にオートクリーニングを行う時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.15 オートクリーニングメニュー
インクステータス	インクパックスロットに取付けられている、S/C カードの各種情報（インクステータス）を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.16 インクステータスメニュー
ロール紙長さ設定	セットしたロール紙の長さを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー
ヘッド洗浄	洗浄液によりプリントヘッドを洗浄します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.18 ヘッド洗浄メニュー
CR メンテナンス	メンテナンス処理を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.19 CR メンテナンスメニュー
初期化	製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.20 初期化メニュー
寿命確認	製品各部の部品寿命を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.21 寿命確認メニュー
IP アドレス	製品の IP アドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.22 IP アドレスメニュー
サブネットマスク	製品のサブネットマスクを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.23 サブネットマスクメニュー
ゲートウェイ	製品のゲートウェイを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.24 ゲートウェイメニュー
後端処理	後端処理機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.25 後端処理メニュー
パワーオンクリーニング	パワーオンクリーニング機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.26 パワーオンクリーニングメニュー

設定項目	内容
パワーオフクリーニング	パワーオフクリーニング機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.27 パワーオフクリーニングメニュー
先端処理	先端処理機能を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.1.28 先端処理メニュー
一時詳細表示	簡易設定メニューで「Off」または「ALL Off」に設定した項目を、設定メニューで一時的に表示させることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定メニューの全ての項目が表示された状態で、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定メニューが表示されているときに押すと、簡易設定メニューで設定した元の状態に戻ります。  5.5 簡易選択メニュー
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5 パネル設定メニュー

5.1.1 用紙種類メニュー

作画に使用する用紙種類を設定します。
 用紙の種類によって「Type1～30」として、それぞれ30通り設定することができます。

設定項目	設定値	内容
種類	Type 1	作画に使用する用紙種類を設定します。 作画動作に関する設定値は、「Type 1～30」として、それぞれ30通り設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー
	Type 2	
	...	
	Type 29	
	Type 30	
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。

注 記

- メディア検出が、メディア厚さを検出する設定の場合（「Height+Off」「Height+T&W」「Height+Width」のいずれかの場合）、用紙種類を変更すると、操作パネルに「ヨウシアツ ヲ ヘンコウシマスカ？」と表示されます。[Enter] キーを押すとプリンタがメディア厚さの検出を行います。
 3.4.6.1 メディア検出が、メディア厚さを検出する設定の場合

注意

- メディア検出が、メディア厚さを検出しない設定の場合（「Off」「Top&Width」「Width」のいずれかの場合）、用紙種類を変更すると、操作パネルに「Warning! * mm ->」と表示されます。
セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい設定値を入力してください。
間違った数値を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。
- ☞ 3.4.6.2 メディア検出が、メディア厚さを検出しない設定の場合

5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

ユーザ用紙についての各種設定を行います。
ユーザ用紙メニューでは、以下の作画動作についての各設定値を「Type 1 ~ 30」として、それぞれ 30 通り設定することができます。

注記

- 推奨用紙以外の用紙（ユーザ用紙）を使用した場合、次の諸問題が発生することがあります。
 - 用紙検出エラー
 - 用紙の斜行、破れ、シワ
 - 用紙の詰まり
 - インクのにじみ、かすれ、汚れにより、良好な作画品質が得られない
 - ロール紙のエンド検出が出来ない 等

ユーザ用紙の使用が原因となって発生した諸問題については、保証対象外（有償修理）となります。
詳細については、「8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

設定項目	設定値	内容
Type 1 ~ 30	作画モード	作画するデータの用途や作画速度等に合わせて、作画モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.1 作画モードメニュー
	送り補正	用紙送り補正についての各種設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [>] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー
	プリヒーター	プリヒーターの温度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.3 プリヒーターメニュー
	プラテンヒーター	プラテンヒーターの温度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.4 プラテンヒーターメニュー
	アフターヒーター	アフターヒーターの温度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.5 アフターヒーターメニュー
	待機ヒート	製品が待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.6 待機ヒートメニュー
	エアーヒーター	エアーヒーターの温度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.7 エアーヒーターメニュー
	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.8 吸着ファンメニュー
	メディア厚補正	メディア厚さの補正を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。  5.1.1.1.9 メディア厚補正メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.1.1 用紙種類メニュー

5.1.1.1.1 作画モードメニュー

作画するデータの用途や作画速度等に合わせて、作画画質についての設定値（作画モード）を設定します。

注 記

- 作画モードメニューで「Banner 1」または「Banner 2」に設定されている場合、テスト作画メニューで「パレット作画」は表示されません。
 5.2 テスト作画メニュー

設定項目	設定値	内容
モード	Quality 1	作画モードを設定します。 • Quality 1～2： 高品質な作画を行いたいときに設定します。 • Graphics 1～2： 標準画質で作画を行いたいときに設定します。 • Banner 1～2： 高速作画を行いたいときに設定します。 [>] キーを押している間、各作画モードの詳細を表示します。  作画モードの詳細
	Quality 2	
	Graphics 1	
	<Graphics 2>	
	Banner 1	
	Banner 2	
	—	• [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

作画モードの詳細

各作画モードに登録されている、作画画質についての設定値は次のとおりです。

作画モード	解像度	作画速度	パス数	作画方向
Quality 1	1440×1440dpi	N（通常）	16回	Uni（片方向）
Quality 2	1440×1440dpi	N（通常）	16回	Bi（双方向）
Graphics 1	720×720dpi	N（通常）	8回	Uni（片方向）
Graphics 2	720×720dpi	N（通常）	8回	Bi（双方向）
Banner 1	540×720dpi	N（通常）	6回	Bi（双方向）
Banner 2	720×720dpi	Q（高品質）	4回	Bi（双方向）

5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

用紙送り補正についての各種設定を行います。
用紙を変更した場合に、用紙送り補正を行います。

設定項目	設定値	内容
補正	初期調整作画	初期調整作画を行いません。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 【  】(1) 初期調整作画メニュー
	初期調整値	初期調整値を設定します。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 【  】(2) 初期調整値メニュー
	確認調整作画	確認調整作画を行いません。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 【  】(3) 確認調整作画メニュー
	微調整作画	微調整作画を行います。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 【  】(4) 微調整作画メニュー
	微調整値	微調整値を設定します。 • [Enter] キー：次階層のメニューに進みます。 【  】(5) 微調整値メニュー
	—	• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 【  】5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

(1) 初期調整作画メニュー

初期調整作画を行います。
始点に「+」マークを作画し、設定値分用紙をフィードさせ、再度「+」マークを作画します。
「+」マーク間を定規等で測り、設定値と異なる場合は、初期調整値メニューで実測値を入力します。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100mm ~ <250mm> ~ 500mm	初期調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 • [Enter] キー： 設定値が確定します。 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、初期調整作画が開始します。 作画終了後、通常状態に移行します。
	—	• [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【  】5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

(2) 初期調整値メニュー

初期調整値を設定します。

初期調整作画で設定値と実測値が異なっていた場合に、補正值（初期調整作画での実測値）の入力を行います。

設定項目	設定値	内容
調整値	<初期調整作画メニューの設定値> ± 50.0mm	初期調整値を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

(3) 確認調整作画メニュー

確認調整作画を行ないます。

初期調整値メニューで補正值を入力後、確認を行うための作画を行います。

設定項目	設定値	内容
フィード長さ	100mm ~ <250mm> ~ 500mm	確認調整作画の用紙搬送方向の長さ（フィード長さ）を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値が確定します。操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、初期調整作画が開始します。作画終了後、通常状態に移行します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

(4) 微調整作画メニュー

微調整作画を行います。

初期調整作画よりも細かい調整作画を行います。

設定項目	設定値	内容
微調整作画	データ作画中	現在設定されている微調整値を中心に、以下の補正用パターン（微調整用）を作画します。 <ul style="list-style-type: none"> • 作画間隔：±1 パルス間隔
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。作画中の場合は、作画を中断して前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

(5) 微調整値メニュー

微調整値を設定します。

微調整作画の作画結果を参照し、微調整値の入力（パルス単位）を行います。

設定項目	設定値	内容
微調整値	-20 パルス～<0 パルス> ～ 20 パルス	微調整値を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1.1.1.2 用紙送り補正メニュー

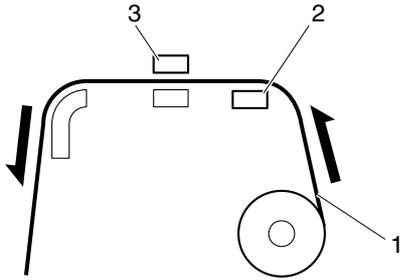
5.1.1.1.3 プリヒーターメニュー

プリヒーターの温度を設定します。

作画前の用紙を予熱し、プリント部での急激な温度変化によるシワや紙浮きを抑えるために設定します。

注 記

- 用紙によりプリヒーターの設定温度は異なります。
プリヒーターの設定温度は「4.2.6 各種ヒーターの設定」を参照してください。

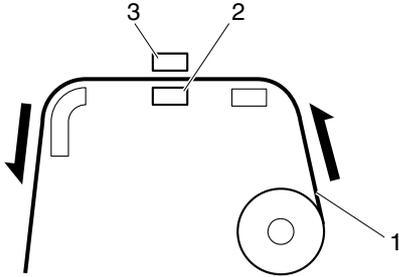
設定項目	設定値	内容
プリヒーター	<Off> / 30° C ～ 50° C	プリヒーターの温度を設定します。  1. ロール紙 2. プリヒーター 3. プリントヘッド
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

5.1.1.1.4 プラテンヒーターメニュー

プラテンヒーターの温度を設定します。
熱によりインクをなじませ、作画品質を向上させるために設定します。

注 記

- 用紙によりプラテンヒーターの設定温度は異なります。
プラテンヒーターの設定温度は「4.2.6 各種ヒーターの設定」を参照してください。

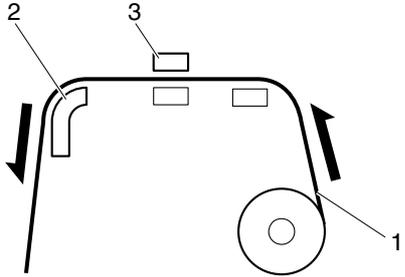
設定項目	設定値	内容
プラテンヒーター	Off / 30° C ~ <42° C> ~ 50° C	<p>プラテンヒーターの温度を設定します。</p>  <p>1. ロール紙 2. プラテンヒーター 3. プリントヘッド</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 <p>🔗 5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー</p>

5.1.1.1.5 アフターヒーターメニュー

アフターヒーターの温度を設定します。
作画後の作画面を乾燥させるために設定します。

注 記

- 用紙によりアフターヒーターの設定温度は異なります。
アフターヒーターの設定温度は「4.2.6 各種ヒーターの設定」を参照してください。

設定項目	設定値	内容
アフターヒーター	<Off> / 30° C ~ 50° C	<p>アフターヒーターの温度を設定します。</p>  <p>1. ロール紙 2. アフターヒーター 3. プリントヘッド</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 <p>【5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー】</p>

5.1.1.1.6 待機ヒートメニュー

製品が待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。
待機ヒートの設定時間内に再度作画を行う場合、ウォームアップ時間が短縮できます。

設定項目	設定値	内容
待機ヒート	10 分 ~ <60 分>	<p>ヒーターを予熱する時間を設定します。 設定した時間が経過すると、各ヒーターが Off になります。</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 <p>【5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー】</p>

5.1.1.1.7 エアーヒーターメニュー

エアーヒーターの温度を設定します。

厚物メディア作画時にメディア表面に温風を噴出することで、インクの乾燥を促進させることができます。

注 記

- エアーヒーター機能を使用する場合は、エアーコンプレッサーが必要になります。
 4.2.9 エアーヒーターの使用方法
- 用紙によりエアーヒーターの設定温度は異なります。
 エアーヒーターの設定温度は「4.2.6 各種ヒーターの設定」を参照してください。

設定項目	設定値	内容
エアーヒーター	Off / 130 °C ~ <190 °C >	以下のキーを操作して、エアーヒーターの温度を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [+] キー：設定値を増加させます。 [-] キー：設定値を減少させます。 [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー
		<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

5.1.1.1.8 吸着ファンメニュー

吸着ファンの動作を設定します。

設定項目	設定値	内容
吸着ファン	Low	柔らかい用紙を使用する時に、用紙送りに失敗して用紙詰まりが起きる恐れがある場合に設定します。
	<High>	一般的な用紙を使用する場合に設定します。
	Off	吸着ファンを使用しません。 厚物メディアを使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

5.1.1.1.9 メディア厚補正メニュー

メディア厚さの補正を行います。
実際のメディア厚さにあわせて、ヘッド高さを上下させたい場合に補正を行います。

設定項目	設定値	内容
変更	0.0mm ~ 11.0mm	以下のキーを操作して、メディア厚補正の設定値を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [>] キー：実測値と現在の設定値を表示させます。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.1.1 ユーザ用紙メニュー

注 記

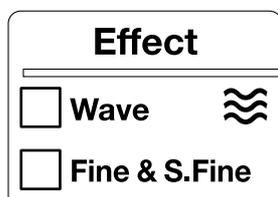
- 補正值を入力してヘッド高さを上げた場合は、作画品質を保証できませんのでご注意ください。

5.1.2 エフェクトメニュー

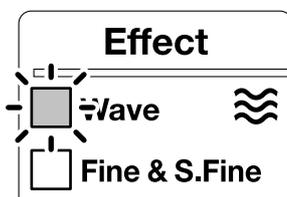
エフェクト機能を設定します。
設定した作画モードに微調整を加えて、作画画質を向上させたいときに設定します。

注 記

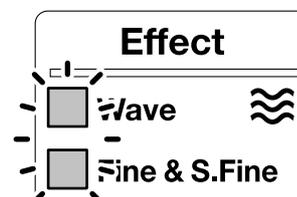
- ご使用の作画条件によっては、作画画質の向上がみられない場合があります。



- None



- Wave
- Fuzz



- Wow
- Fine&Wave
- Fine&Fuzz
- A-S.Fine&Wave
- B-S.Fine&Wave

設定項目	設定値	内容
エフェクト	None 1	エフェクト機能を使用しません。
	None 2	「None 1」で白スジや縦ムラ等がひどい場合は、「None 2」に設定します。
	Wave 1	作画のつなぎ目を波状にします。
	Wave 2	通常より作画品質が向上する場合があります。 「Wave 1」で白スジや縦ムラ等がひどい場合は、「Wave 2」に変更します。
	Fuzz 1	作画のつなぎ目を波状にぼかします。
	Fuzz 2	「Wave」で白スジや縦ムラ等が目立つ場合に設定します。 「Fuzz 1」で白スジや縦ムラ等がひどい場合は、「Fuzz 2」に変更します。
	Wow 1	色ムラが発生する場合に設定します。
	Wow 2	「Wow 1」で色ムラが直らない場合は、「Wow 2」に変更します。
	Fine&Wave 1	「Wave」より若干遅い速度で作画を行います。
	<Fine&Wave 2>	「Wave」より作画画質を向上させたい場合に設定します。 「Fine&Wave 1」で白スジや縦ムラ等がひどい場合は、「Fine&Wave 2」に変更します。
	Fine&Fuzz 1	「Fuzz」より若干遅い速度で作画を行います。
	Fine&Fuzz 2	「Fuzz」より作画画質を向上させたい場合に設定します。 「Fine&Fuzz 1」で白スジや縦ムラ等がひどい場合は、「Fine&Fuzz 2」に変更します。
	A-S.Fine&Wave	プリントヘッドの半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave 1～2」の約半分になります。 「Fine&Wave 1～2」より作画画質を向上させたい場合に設定します。
	B-S.Fine&Wave	「A-S.Fine&Wave」の反対側の半分のノズルを使用して「Wave」作画を行います。 半分のノズルしか使用しないため作画速度が「Wave 1～2」の約半分になります。 「Fine&Wave 1～2」より作画画質を向上させたい場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【5.1 設定メニュー

5.1.3 フラッシングメニュー

作画中のフラッシング動作を設定します。
 原点位置でフラッシングを行うか、メディア上（用紙の左右の余白部分）でフラッシングを行うかを設定します。

設定項目	設定値	内容
フラッシング	<原点>	プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ってフラッシング動作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー
	メディア上	プリントヘッドが、用紙の余白上でもフラッシング動作を行います。 原点側のフラッシングボックスまで戻る回数が減るため、作画速度が向上します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。  5.1.3.1 フラッシングリターン回数メニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー

5.1.3.1 フラッシングリターン回数メニュー

フラッシングメニューで「メディア上」に設定した場合に、プリントヘッドが原点側のフラッシングボックスに戻る頻度（フラッシングリターン回数）を設定します。
 リターン回数を増やすと、原点位置に戻る回数が減るため、作画速度が向上します。

注 記

- フラッシングリターン回数を多く設定すると、長時間連続して作画しているときに、ノズル詰まりが発生する場合があります。

設定項目	設定値	内容
リターン回数	<1回>～5回	フラッシングリターン回数を設定します。 (例) <ul style="list-style-type: none"> • 1回：プリントヘッドが1往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ります。 • 5回：プリントヘッドが5往復する毎に、原点側のフラッシングボックスに戻ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.3 フラッシングメニュー

5.1.4 サイドマージンメニュー

作画時の左右のマージン（サイドマージン）を設定します。
用紙の左右に余白を設けたい場合に設定します。

注 記

- フラッシングメニューで「メディア上」に設定した場合は、サイドマージンメニューの設定値が無効になり、フラッシング動作に必要な余白が自動的に設定されます。
I 5.1.3 フラッシングメニュー
- 用紙押さえプレートを使用するときは、サイドマージンを 10mm に設定してください。
I 4.2.8 用紙押さえプレートの使用方法

設定項目	設定値	内容
サイドマージン	<5mm> ~ 25mm	サイドマージンを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 I 5.1 設定メニュー

5.1.5 メディア検出メニュー

用紙イニシャル時に行う、用紙検出動作の種類を設定します。
用紙検出動作を省く事で、動作時間を短縮することができます。
メディア厚さは用紙種類ごとに保存されます。未登録の用紙種類が設定された場合は、メディア検出設定にかかわらず、初回は必ずメディア厚さ検出が行われ、メディアの厚さが保存されます。2回目以降は、メディア検出の設定に従って動作します。

 **注 意**

- メディア検出メニューの設定値を「Off」、「Top&Width」または「Width」に設定した場合は、メディア厚さ検出を行いませんので、以下の手順に従ってメディア厚さ（数値）を設定してください。
1. 操作パネルに「Warning! *.* mm ->」（* は数字）と表示されたら、セットしたメディアの厚さと合っているかを確認し、間違っている場合は正しい数値を入力してください。
 - 正しい数値がわからない場合は、[Cancel] キーを押してください。メディア厚さ検出が行われず。
 - 間違った数値（メディア厚さ）を設定すると、ヘッドとメディアが衝突し、ヘッドを破損させる恐れがあります。
 2. [Enter] キーを押します。
 3. 操作パネルに「Misuse Damages Unit>」と表示されますので、[>] キーを2秒以上長押ししてください。
 4. 操作パネルに「<E>Skip <CAN>Detect」と表示されますので、[Enter] キーを押してください。
 - 用紙イニシャルが行われます。
 - [Cancel] キーを押した場合はメディア厚さ検出が行われます。

設定項目	設定値	内容
検出	Off	用紙検出を行いません。 メディア幅メニューでセットした用紙の用紙幅を設定してください。 【5.1.6 メディア幅・幅確認メニュー】
	Top&Width	用紙イニシャル時に、用紙幅および先端の検出を行います。 用紙厚さ検出は行いません。
	Width	用紙イニシャル時に、用紙幅の検出のみを行います。
	Height + Off	用紙イニシャル時に、用紙厚さ検出のみを行います。 メディア幅メニューでセットした用紙の用紙幅を設定してください。 【5.1.6 メディア幅・幅確認メニュー】
	<Height + T&W>	用紙イニシャル時に、用紙厚さ、用紙幅および先端の検出を行います。
	Height + Width	用紙イニシャル時に、用紙厚さおよび用紙幅の検出を行います。 用紙の先端検出は行いません。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【5.1 設定メニュー】

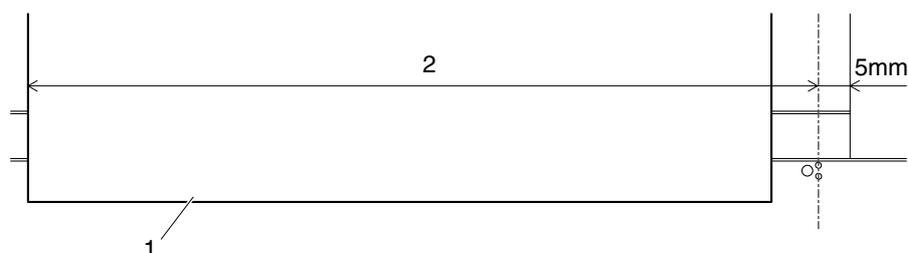
5.1.6 メディア幅・幅確認メニュー

用紙イニシャル時に用紙検出を行わない場合、プラテン右端から 5mm の位置から用紙の左端までの距離（用紙幅）を設定します。

☞ (1) メディア幅メニュー

用紙イニシャル時に用紙検出を行う場合、検出した用紙幅を表示します。

☞ (2) 幅確認メニュー



番号	名称
1	ロール紙
2	用紙幅

(1) メディア幅メニュー

注 記

- メディア幅メニューで、セットした用紙の用紙幅よりも大きな値を設定すると、作画中に用紙および製品がインクで汚れる可能性があります。

設定項目	設定値	内容
メディア幅	<1000mm> ~ 1625mm	セットした用紙幅を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー

(2) 幅確認メニュー

設定項目	設定値	内容
幅確認	***mm	用紙イニシャル時に検出した用紙幅を表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー

5.1.7 巻取り装置メニュー

巻取り装置（オプション）の動作を設定します。

注 記

- 製品に巻取り装置が取り付けられていない場合は、巻取り装置メニューを「Type 1」に設定しないでください。
製品が正しく動作しなくなります。
- 巻取り装置メニューが「Type 1」に設定されている場合は、貼付き防止メニューの設定は無効になります。
☞ 5.1.9 貼付き防止メニュー

参 考

- 巻取り装置（オプション）の詳細については、以下のいずれかにお問い合わせください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
☞ 8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

設定項目	設定値	内容
巻取り装置	<Off>	巻取り装置を使用しません。
	Type 1	巻取り装置を使用する場合に設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー

5.1.8 原点設定メニュー

作画データの作画開始位置（原点）を設定します。

既に作画した用紙に、作画データの配置を変えて余白部分に再度作画したい場合などに設定します。

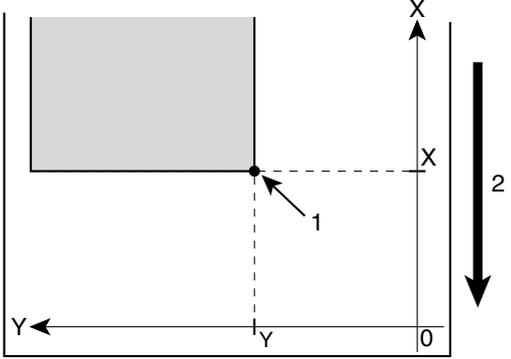
注 記

- 巻取り装置メニューで「Type1」に設定されている場合、X（用紙送り量）の設定値は 0mm ～ 15000mm になります。

☞ 5.1.7 巻取り装置メニュー

- サイドマージンの設定値により、Y（プリントヘッド移動量）の最大設定値は減少します。

☞ 5.1.4 サイドマージンメニュー

設定項目	設定値	内容
原点設定	<ul style="list-style-type: none"> • X（用紙送り量）： -15000mm ～ 15000mm • Y（プリントヘッド移動量）： 0mm ～ 1405mm 	<p>以下のキーを操作して、プリントヘッドの位置および用紙送り量を変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [>] キー：プリントヘッド移動量を減少させます。 • [<] キー：プリントヘッド移動量を増加させます。 • [+] キー：用紙送り量を増加させます。 • [-] キー：用紙送り量を減少させます。  <p>1. 作画開始位置 2. 用紙搬送方向</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： 操作パネルに「ゲンテンニイトウチュウ」と表示され、プリントヘッドが作画開始位置まで移動します。 操作パネルに次の内容が表示されます。
位置確認 →Enter		<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キーまたは一定時間経過後： 設定値が確定します。 プリントヘッドは元の位置に戻ります。 設定値を保存して、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー
—		<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー

5.1.9 貼付き防止メニュー

作画開始時の用紙貼付き防止動作を設定します。
用紙が静電気等で、用紙ガイドに貼り付く場合に設定します。

注 記

- 巻取り装置メニューが「Type 1」に設定されている場合は、貼付き防止メニューの設定は無効になります。
☞ 5.1.7 巻取り装置メニュー

設定項目	設定値	内容
貼付き防止	<Off>	用紙貼付き防止動作を行いません。
	On	用紙貼付き防止動作を行います。 用紙が用紙ガイドに貼付かないように、作画開始時に用紙を前後に搬送します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ☞ 5.1 設定メニュー

5.1.10 メディアヒートメニュー

作画前後にプリントヘッドが空走査を行い、メディアを温める回数を設定します。
空走査を行うと、エアークヒーターによりメディアを温めて作画品質を安定させることができます。

設定項目	設定値	内容
メディアヒート	メディアヒート1： プリヒート	メディアプリヒート回数を設定します。 (例) <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。
	メディアヒート2： アフターヒート	作画後のメディアヒート回数を設定します。 (例) <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。

5.1.10.1 メディアプリヒートメニュー

メディアプリヒートの動作について、設定を行います。

設定項目	設定値	内容
プリヒート	0回～<4回>～20回	メディアプリヒート回数を設定します。 (例) <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。

5.1.10.2 メディアアフターヒートメニュー

メディアアフターヒートの動作について、設定を行います。

設定項目	設定値	内容
アフターヒート	0回～<4回>～20回	作画後のメディアヒート回数を設定します。 (例) <ul style="list-style-type: none"> • [+] キー：設定値を増加させます。 • [-] キー：設定値を減少させます。 • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。

5.1.11 CR 作画移動幅メニュー

作画中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。

設定項目	設定値	内容
CR 作画移動	<データ幅>	プリントヘッドが作画データ幅の範囲を移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、作画速度が向上します。
	機械幅	プリントヘッドが原点から製品の最大用紙幅までを移動します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【5.1 設定メニュー】

5.1.12 重ね描き回数メニュー

作画 1 行あたりの重ね描き回数を設定します。
一度描いた作画の上に、設定回数分を重ねて作画するため、作画結果を濃くすることができます。

設定項目	設定値	内容
重ね描き回数	<1 回>～9 回	重ね描き回数を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

5.1.13 重ね描きウェイトメニュー

重ね描き作画時のウェイト時間を設定します。

注 記

- 幅の狭い用紙を使用して作画する場合、ヒーターで十分に暖めることができず、最良の作画結果が得られない場合があります。
このような場合は、重ね描きウェイト時間を設定して、用紙を十分に暖めてから作画してください。

設定項目	設定値	内容
重ね描きウェイト	<0.0 秒>～0.1 秒～5.0 秒	重ね描きウェイト時間を設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

5.1.14 斜行チェックメニュー

用紙搬送中の斜行検出を設定します。

設定項目	設定値	内容
斜行チェック	<Off>	斜行チェックを行いません。
	On	斜行チェックを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

5.1.15 オートクリーニングメニュー

オートクリーニングの動作について、各種設定を行います。

参 考

- クリーニングモードは操作パネルでの設定が反映されます。
 ⓘ 6.2.3 ヘッドクリーニング

設定項目	設定値	内容
オートクリーニング	WaitingTime	待機中のオートクリーニングについて設定します。 ⓘ 5.1.15.1 待機オートクリーニング
	PrintingTime	作画中のオートクリーニングについて設定します。 ⓘ 5.1.15.2 作画中オートクリーニング
	Before Print	作画開始前のオートクリーニングについて設定します。 ⓘ 5.1.15.3 作画開始前オートクリーニング
	After Print	作画後のオートクリーニングについて設定します。 ⓘ 5.1.15.4 作画後オートクリーニングメニュー

注 記

- テスト作画時は、Before Print および After Print を設定していてもオートクリーニングを行いません。

5.1.15.1 待機オートクリーニング

待機中のオートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定項目	設定値	内容
WaitingTime	0min ~ <180min> ~ 1440min	待機中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0min：オートクリーニングを行いません。 • その他：設定した時間が経過した後、クリーニングメニューで選択したヘッドクリーニングを行います。  6.2.3 ヘッドクリーニング
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.15 オートクリーニングメニュー

5.1.15.2 作画中オートクリーニング

作画中のオートクリーニングを行う間隔を設定します。

設定項目	設定値	内容
PrintingTime	<0min> ~ 180min	作画中にオートクリーニングを行う時間を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0min：オートクリーニングを行いません。 • その他：設定した時間が経過した後、クリーニングメニューで選択したヘッドクリーニングを行います。  6.2.3 ヘッドクリーニング
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1.15 オートクリーニングメニュー

5.1.15.3 作画開始前オートクリーニング

作画開始前のオートクリーニングについて設定します。

設定項目	設定値	内容
Before Print	<Off>	オートクリーニングを行いません。
	On	<ul style="list-style-type: none"> 作画前にクリーニングメニューで選択したヘッドクリーニングを行います。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">注 記</div> <p>テスト作画時は、本機能を設定していてもクリーニングを行いません。</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.1.15 オートクリーニングメニュー</p>

5.1.15.4 作画後オートクリーニングメニュー

作画後のオートクリーニングについて設定します。

設定項目	設定値	内容
After Print	<Off>	オートクリーニングを行いません。
	On	<ul style="list-style-type: none"> 作画後にヘッドクリーニングを行います。「通常」モードのクリーニングと同等のクリーニングを行います。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">注 記</div> <p>テスト作画時は、本機能を設定していてもクリーニングを行いません。</p>
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 <p> 5.1.15 オートクリーニングメニュー</p>

5.1.16 インクステータスメニュー

インクパックスロットに取付けられている、S/C カードの各種情報（インクステータス）を表示します。

注 記

- インクステータスメニューを表示させる場合は、純正品のインクパックを使用してください。
純正品以外のインクパックを使用すると、インクステータスが正しく表示されません。

設定項目	設定値	内容
KkCcMmYy	0 ~ 100 (単位：%)	K/C/M/Y の各インクパックのインク残量が表示されます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー

5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー

セットしたロール紙の長さを設定します。

設定項目	設定値	内容
ロール紙	<Off>	ロール紙長さ設定を使用しません。 <ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー
	ロール紙 1	セットしたロール紙の長さを設定します。 ロール紙長さの設定値は、「ロール紙 1」～「ロール紙 3」として、それぞれ 3 通り設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> [Enter] キー：設定値を保存し、次階層のメニューに進みます。  5.1.17.1 ロール紙長さメニュー
	ロール紙 2	
	ロール紙 3	
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー

5.1.17.1 ロール紙長さメニュー

セットしたロール紙の長さを設定します。

注 記

- ロール紙を交換した場合は、ロール紙長さを再度設定してください。
ロール紙長さを設定しないと、ロール紙残量表示が正しく表示されない場合があります。

設定項目	設定値	内容
長さ	1m ~ <30m> ~ 99m	ロール紙の長さを設定します。
	—	<ul style="list-style-type: none">• [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。• [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。 【5.1.17 ロール紙長さ設定メニュー】

5.1.18 ヘッド洗浄メニュー

洗浄液によりプリントヘッドを洗浄します。
サービスマンがメンテナンスを行う場合等に使用します。

注 記

- 必ず専用の洗浄液を使用してください。

設定項目	設定値	内容
ヘッド洗浄	Start	洗浄液によりプリントヘッドを洗浄します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： ヘッド洗浄処理が開始します。 操作パネルに次の内容が表示されます。
	カートリッジを抜いてください	インクパックスロットを引き出してください。  3.3 インクパックの取付け
	廃液を空にしてください	廃液タンクを確認し、タンク内に廃液がある場合は空にしてください。廃液が残ったままだと、洗浄液を浪費します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： 操作パネルに次の内容が表示されます。  3.3 インクパックの取付け
	Insert 洗浄カートリッジ	浄液用 S/C カード (8 個) を S/C カードスロットに取付け、洗浄液パック (8 個) をインクパックスロットに取付けます。  3.3 インクパックの取付け
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を取消し、前階層のメニューに戻ります。

5.1.19 CR メンテナンスメニュー

メンテナンス処理を行います。
クリーニングワイパユニットおよびプリントヘッド外周を清掃する場合に使用します。
I 6.2.4 クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃

注 記

- CR メンテナンスメニュー表示中は、3分間何もキー操作をせずに放置しても、通常状態には戻りません。
I 2.3 動作の概要

設定項目	設定値	内容
CR メンテナンス	Start	メンテナンス処理を行います。 • [Enter] キー： プリントヘッド部が製品左側に移動します。 クリーニングワイパが上側に移動します。
	End	メンテナンス処理を終了します。 • [Enter] キー： プリントヘッド部が元の位置に戻ります。 クリーニングワイパが元の位置に戻ります。
	—	• [Cancel] キー：メンテナンス処理を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 I 5.1 設定メニュー

5.1.20 初期化メニュー

製品の各設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
間違えて設定値を入力してしまった場合や、初期値に戻りたい場合に使用します。

設定項目	設定値	内容
初期化	ALL	全ての設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	メディア種類	メディア種類メニューの設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	メディア種類以外	メディア種類メニュー以外の設定値を、工場出荷時の設定値（初期値）に戻します。
	—	• [Enter] キー： 操作パネルに「ハ° ラメータショキカチュウ」と表示され、設定値の初期化を行います。 • [Cancel] キー：初期化を行わずに、前階層のメニューに戻ります。 I 5.1 設定メニュー

5.1.21 寿命確認メニュー

製品各部の部品寿命を表示します。

設定項目	設定値	内容
寿命確認	ヘッド	各部品の部品寿命を表示します。 ・ 部品寿命については、*印の数（最大5個：残り100%）で表示しています。 ・ 部品寿命が近づくにつれて、*印の数が1個（20%）ずつ減っていきます。 ・ *印が全て消えて、「Change」と表示された場合は、部品寿命に達しています。部品の交換を依頼してください。 ⓘ 8.4.3 保守・修理に関するお問い合わせ窓口
	ポンプ	
	CR モーター	
	PF モーター	
	—	・ [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

注 記

- ・ 寿命に達した部品を交換する場合は、
 - ・ 無償保証期間中または保守契約を締結している場合は無償修理となります。
 - ・ その他の場合は有償修理となります。
- ・ 寿命に達した部品を交換せずに使用し続けた場合、発生した諸問題については、保証対象外となります。

5.1.22 IP アドレスメニュー

製品の IP アドレスを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

- ・ 製品の IP アドレスは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
IP アドレス	000.000.000.000 ~ <192.168.001.253> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、IP アドレスを変更します。 ・ [+] キー：設定値を増加させます。 ・ [-] キー：設定値を減少させます。 ・ [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	・ [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

5.1.23 サブネットマスクメニュー

製品のサブネットマスクを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

- 製品のサブネットマスクは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
サブネットマスク	000.000.000.000 ~ <255.255.255.000> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、サブネットマスクを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [+] キー：設定値を増加させます。 [-] キー：設定値を減少させます。 [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー

5.1.24 ゲートウェイメニュー

製品のゲートウェイを設定します。
ネットワークに接続して使用する場合に設定します。

注 記

- 製品のゲートウェイは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。

設定項目	設定値	内容
ゲートウェイ	000.000.000.000 ~ <192.168.001.254> ~ 255.255.255.255	以下のキーを操作して、ゲートウェイを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> [+] キー：設定値を増加させます。 [-] キー：設定値を減少させます。 [Enter] キー：次のセグメントの設定値を変更します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5.1 設定メニュー

5.1.25 後端処理メニュー

後端処理機能を設定します。

作画の欠け・かすれがある場合は、後端処理機能を Off にしてください。

設定項目	設定値	内容
後端処理	Off	後端処理機能を使用しません。
	<On>	後端処理機能を使用します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

注 記

- 後端処理が「Off」に設定されている場合でも、用紙の終端（用紙エンド）では、後端処理が実行されます。
 ⓘ 4.2.4 作画領域

5.1.26 パワーオンクリーニングメニュー

電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰時に、自動的にクリーニングを行うかどうかを設定します。

設定項目	設定値	内容
パワーオンクリーニング	Off	パワーオンクリーニングを行いません。
	<微量>	電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰時に、自動で微量クリーニングを行います。
	通常	電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰時に、自動で通常クリーニングを行います。
	強力	電源を ON した時、およびスリープモードからの復帰時に、自動で強力クリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

5.1.27 パワーオフクリーニングメニュー

電源を OFF する時に、自動的にクリーニングを行うかどうかを設定します。

設定項目	設定値	内容
パワーオフクリーニング	<Off>	パワーオフクリーニングを行いません。
	微量	電源を OFF する時に自動で微量クリーニングを行います。
	通常	電源を OFF する時に自動で通常クリーニングを行います。
	強力	電源を OFF する時に自動で強力クリーニングを行います。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

注 記

- クリーニングは [Power] キーを押した後、CR メンテナンスを行う前に実行されます。
 ⓘ 3.2.2 電源を OFF する方法

5.1.28 先端処理メニュー

先端処理メニューを設定します。通常は AUTO のままで使用してください。

設定項目	設定値	内容
先端処理	<AUTO>	先端処理が必要な場合は自動で実行します。
	Off	先端処理を行いません。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ⓘ 5.1 設定メニュー

注 記

- 先端処理メニューを OFF にする場合は、簡易選択メニューで「先端処理」設定値を ON (表示) にした後、設定メニューから「先端処理」の設定値を変更してください。
 ⓘ 5.5 簡易選択メニュー

5.2 テスト作画メニュー

プリントヘッドのノズルチェックや、製品の設定内容作画などを行います。

注 記

- 作画モードメニューで「Banner 1」または「Banner 2」に設定されている場合、「パレット作画」は表示されません。
📖 5.1.1.1.1 作画モードメニュー

参 考

- テスト作画の操作手順については、以下を参照してください。
📖 3.5 テスト作画

設定項目	内容
ノズルチェック	ノズルチェック作画を行います。 ヘッドの目詰まり、作画の欠け・かすれがないかの確認をする時に使用します。 <small>📖 3.5.1 ノズルチェック</small>
モードプリント	モードプリント作画を行います。 以下の作画条件を確認するときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • 作画品質 • エフェクト • プリヒーター温度 • プラテンヒーター温度 • アフターヒーター温度 • エアーヒーター温度 • 作画微調整値 <small>📖 3.5.2 モードプリント</small>
設定内容作画	設定内容作画を行います。 現在の設定内容を確認する時に使用します。 <small>📖 3.5.3 設定内容作画</small>
設定内容 ALL	設定内容作画を行います。 現在の設定内容の他に、ユーザ用紙および作画モードを確認する時に使用します。 <small>📖 3.5.3 設定内容作画</small>
パレット作画	パレット作画を行います。 使用するコンピュータでのペン色設定と、製品での作画色の比較をする時に使用します。 <small>📖 3.5.4 パレット作画</small>
カラーベリファイ	カラーパッチを作画し、オプションの分光光度計（SPECTROVUE VM-10）を使用して測定します。 現在印刷される色が過去に印刷した時と比べ、どのくらい違っているかを調べるときに使用します。 <small>📖 3.5.5 カラーベリファイ</small>
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： 操作パネルに「データサクカ`チュウ」と表示され、テスト作画が開始します。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 <small>📖 5 パネル設定メニュー</small>

5.3 調整作画メニュー

作画に最適な画質の調整（画質微調整）を行うときに設定します。

画質微調整は、作画モードごとに設定する必要があります。

🔗 3.6 画質微調整

使用する作画モードを選択後、画質微調整を行ってください。

🔗 5.1.1.1.1 作画モードメニュー

設定項目	内容
確認パターン	画質微調整のためのテストパターンを作画します。
Bi-D Quality	画質優先モードで双方向作画を行うときの設定値を設定します。
Bi-D Normal	ノーマルモードで双方向作画を行うときの設定値を設定します。
—	<ul style="list-style-type: none">• [Enter] キー： 操作パネルに「データサクカ チュウ」と表示され、テストパターン作画が開始します。• [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5 パネル設定メニュー

5.4 クリーニングメニュー

ヘッドクリーニングを行います。

参考

- ヘッドクリーニングは、製品が通常状態の時でも行うことができます。
操作手順については、以下を参照してください。

【図6.2.3】ヘッドクリーニング

設定項目	内容
微量	「通常」よりも少量のインクを排出します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
通常	通常はこのモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
強力	「通常」よりも多量のインクを排出します。 通常のヘッドクリーニングでは、プリントヘッドが回復しない場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「クリーニング^o チュウ **%」と表示され、ヘッドクリーニングが開始します。 ヘッドクリーニングの進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
微量充填	微量充填を行います。 初期充填を行っても作画が安定しない場合に、微量充填を行ってください。 【図3.3】インクバックの取付け <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「インクシ^o ユウテンチュウ **%」と表示され、微量充填が開始します。 微量充填の進み具合は、操作パネルに % で表示されます。
インク交換	インク交換を行うために、インクの排出を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：操作パネルに「インクコウカン シマスカ? No」と表示されます。 インク交換を行う場合は、操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「Yes」を選択し、[Enter] キーを押します。 操作パネルに「インクハイシュツチュウ」と表示され、インク交換作業を開始します。
—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 【図5】パネル設定メニュー

5.5 簡易選択メニュー

設定メニューの表示内容を設定します。

普段設定しない設定項目を表示させないようにすることができます。

操作パネルの [<] キーまたは [>] キーを押して設定値の「On (表示)」、「Off (非表示)」を切替えます。

設定値が On の場合、操作パネルに「*」が表示されます。

注 記

- 簡易選択メニューで「Off」を選択した場合でも、設定メニューで「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。
I 5.1 設定メニュー
- 「ALL On」を選択した場合でも、次の設定項目は常に表示されません。
 - 送出し装置

設定項目	設定値	内容
メディア種類	<On>	メディア種類メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
エフェクト	<On>	エフェクトメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
フラッシング	On	フラッシングメニューを表示するかどうか設定します。
	<Off>	
サイドマージン	<On>	サイドマージンメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
メディア検出	<On>	メディア検出メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
メディア幅	<On>	メディア幅メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
巻取り装置	On	巻取り装置メニューを表示するかどうか設定します。
	<Off>	
送出し装置	<Off>	本製品では、送出し装置メニューは表示されません。
原点設定	<On>	メディア種類メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
貼付き防止	<On>	貼付き防止メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
メディアヒート	<On>	メディアヒートメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
CR 作画移動幅	<On>	CR 作画移動幅メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	

設定項目	設定値	内容
重ね描き回数	<On>	重ね描き回数メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
重ね描きウェイト	<On>	重ね描きウェイトメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
斜行チェック	<On>	斜行チェックメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
オートクリーニング	<On>	オートクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
インクステータス	<On>	インクステータスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ロール紙長さ設定	<On>	ロール紙長さ設定メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
ヘッド洗浄	<On>	ヘッド洗浄メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
CR メンテナンス	<On>	CR メンテナンスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
初期化	<On>	初期化メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
寿命確認	<On>	寿命確認メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
IP アドレス	<On>	IP アドレスメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
サブネットマスク	<On>	サブネットマスクを表示するかどうか設定します。
	Off	
ゲートウェイ	<On>	ゲートウェイメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
後端処理	<On>	後端処理メニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
パワーオンクリーニング	<On>	パワーオンクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
パワーオフクリーニング	<On>	パワーオフクリーニングメニューを表示するかどうか設定します。
	Off	
先端処理	On	先端処理メニューを表示するかどうか設定します。
	<Off>	
ALL On		設定メニューの設定項目を全て表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キーを押すと、簡易選択メニューの全ての項目に「*」が表示されます。

設定項目	設定値	内容
ALL Off		設定メニューの設定項目を全て表示しません。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キーを押すと、簡易選択メニューの全ての項目で「*」が消えます。 • 「ALL Off」を選択した場合でも、設定メニューで「一時詳細表示」を選択すると、設定メニューで一時的に表示させることができます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：設定値を保存し、前階層のメニューに戻ります。  5 パネル設定メニュー

5.6 バージョンメニュー

ファームウェアのバージョンを表示します。
 サービスマンがメンテナンスを行う場合等に使用します。

設定項目	設定値	内容
Ver. M / C	*. ** (メイン側) / *. ** (コントローラ側)	メイン側 (M) およびコントローラ側 (C) のファームウェアのバージョンを表示します。
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。  5 パネル設定メニュー

5.7 スリープモードメニュー

スリープモードの設定を行います。
スリープモードを実行すると、製品は以下の動作を行います。

- 排気ファンが停止する。
- 用紙吸着ファンが停止する。
- すべてのヒータが停止する。
- Power ランプを除く全てのランプが消灯する。
- タイマーセットメニューで設定した時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。

🔗 5.7.1 タイマーセットメニュー

最小限の動作しか行わなくなるため、消費電力を抑えることができます。

参 考

- クリーニングモードは操作パネルでの設定が反映されます。

🔗 6.2.3 ヘッドクリーニング

設定項目	設定値	内容
スリープモード	タイマーセット	製品がスリープモード中に、オートクリーニングを行う間隔を設定します。 🔗 5.7.1 タイマーセットメニュー
	スタート	スリープモードを実行します。 🔗 5.7.2 スリープモードスタートメニュー
	—	<ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 🔗 5.1 設定メニュー

5.7.1 タイマーセットメニュー

製品がスリープモード中に、ヘッドクリーニングを行う間隔を設定します。設定時間が経過すると、製品は自動的にヘッドクリーニングを行います。

注 記

- スリープモード中に、製品が以下の状態になった場合は、設定時間が経過してもヘッドクリーニングを行いません。
 - フロントカバーが開いている
 - 用紙セットレバーが上がっている
 - 廃液タンクが満タンになっている
 - インクパックのインクがなくなった
 - インクパックが取外されている
 - 純正品以外のインクパックが挿入されている など

製品を正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開し、スリープモードを継続します。

☞7.2 表示の詳細

- ヘッドクリーニング中に、製品が上記の状態になった場合は、ヘッドクリーニング動作を停止します。製品を正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開します。
☞7.2 表示の詳細

設定項目	設定値	内容
タイマーセット	<Off>	設定時間が経過すると、ヘッドクリーニングを行います。
	24 時間	
	48 時間	
	—	<ul style="list-style-type: none"> [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。 ☞5.7 スリープモードメニュー

5.7.2 スリープモードスタートメニュー

スリープモードを実行します。

スリープモード中は、操作パネルに「ENTER ティ サイカイシマス」と表示されます。

スリープモード中に [Enter] キーを押すと通常状態に戻ります。

注意

- スリープモード移行前に CR メンテナンスに移行しますので、クリーニングワイパおよび周辺部、プリントヘッド外周の清掃を行ってください。
清掃を行わずにスリープを実行すると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。
I 6.2.4 クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃

注記

- 「CR メンテナンス： Start」画面で [Cancel] キーを押すと、CR メンテナンスに移行せず、ただちにスリープモードに移行します。
- スリープモード移行時に、製品が以下の状態になった場合は、「スリープモード ロカイシテ キマセン」と表示され、スリープモードになりません。
 - フロントカバーが開いている
 - 用紙セットレバーが上がっている
 - 廃液タンクが満タンになっている
 - インクパックのインクがなくなった
 - インクパックが取外されている
 - 純正品以外のインクパックが挿入されている など

製品を正常な状態に戻してから、再度スリープモードを実行してください。

I 7.2 表示の詳細

- スリープモード中に、製品が上記の状態になった場合は、[Enter] キーを押しても通常状態には戻りません。
正常な状態に戻し、[Enter] キーを押すと通常状態に戻ります。
I 7.2 表示の詳細

設定項目	設定値	内容
スタート	スリープ ^o モード ^o ヲカ イシシマスカ?	<ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：「CR メンテナンス Start」画面を表示します。 • [Cancel] キー：前階層のメニューに戻ります。
	CR メンテナンス：Start	<p>メンテナンス処理を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： プリントヘッド部が製品左側に移動します。 クリーニングワイパが上側に移動します。 • [Cancel] キー： スリープモードを実行します。 <p>【5.7】5.7 スリープモードメニュー</p>
	CR メンテナンス：End	<p>メンテナンス処理を終了し、スリープモードを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー： プリントヘッド部が元の位置に戻ります。 クリーニングワイパが元の位置に戻ります。 <p>【5.7】5.7 スリープモードメニュー</p>
	ENTER テ ^o サイカイン マス	<p>スリープモード中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enter] キー：通常状態に戻ります。

6 保守

この章では、本製品の日常行うべき保守の内容について説明します。

6.1 消耗品の交換

インクパック、ロール紙およびフラッシングボックス用吸収材の交換時期および交換手順について説明します。

6.1.1 インクパックの交換

(1) 交換時期

- a. 操作パネルに「[*****] インクスクナイ」と表示された場合
 - インクパック内のインク残量が少なくなると表示されます。
 - 警告ブザーが鳴り続けます。
ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [Enter] キーを押してください。
 - 新しいインクパック、S/C カードに交換してください。
- b. 操作パネルに「[*****] インクナシ」と表示された場合
 - インクパック内のインクがなくなると表示されます。
 - 作画が停止します。
 - 警告ブザーが鳴り続けます。
ブザーを止めたい場合は、操作パネルの [Enter] キーを押してください。
 - 速やかに新しいインクパック、S/C カードに交換してください。

注 記

- インクパック交換時期の [*****] は、インクが少なくなった、またはなくなった色を以下の文字で表示します。
 - K : ブラック (スロット K1)
 - k : ブラック (スロット K2)
 - C : シアン (スロット C1)
 - c : シアン (スロット C2)
 - M : マゼンタ (スロット M1)
 - m : マゼンタ (スロット M2)
 - Y : イエロー (スロット Y1)
 - y : イエロー (スロット Y2)
 - ALL : 全てのインク
- インクパックは交換時以外は抜き差しを行わないでください。
交換時以外にインクパックの抜き差しを行うと、インクチューブ内にエアが混入し、ノズル抜け等の不具合が発生する可能性があります。
- 「インクナシ」と表示された場合、作画中であっても作画を停止します。
- 「インクナシ」と表示された場合、新しいインクパックを挿入するまで作画することができなくなります。
- 交換用のインクパックがお手元にない場合は、使い終わったインクパックを製品に挿入したままにしてください。
インクパックを取外した状態で製品を放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。

(2) 種類

インクの詳細については、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☎8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

注 記

- インクパックを交換する場合は、純正品のインクパックをご使用ください。
本製品は純正品のインクパックの使用を前提に調整されています。
純正品以外を使用すると
 - 作画結果がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなる恐れがあります。
 - 故障しても保証対象外 (有償修理) となります。

(3) 交換手順

以下の手順に従って、インクパックを交換してください。

⚠ 注意

- インクパックを取扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。
そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。
万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

注 記

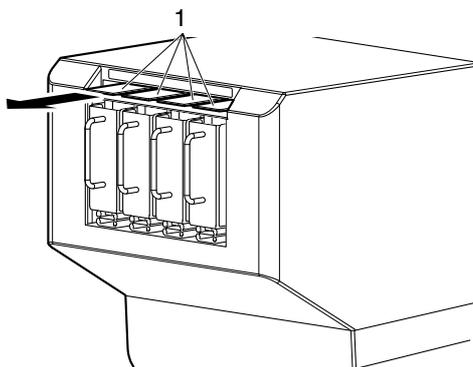
- インクパックは強く振らないでください。
インクが漏れることがあります。
- インクパックを分解しないでください。
分解したインクパックは使用できません。
- インクパックを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、作画環境に3時間以上放置してから使用してください。
- インクパックには、インクを補充しないでください。
正常に作画できなくなる恐れがあります。
- インクパックの抜き差しは、交換時のみ行ってください。
交換時以外でインクパックの抜き差しを行うと、正常に作画できなくなる恐れがあります。
- 以下の手順では、インクパック K（スロット K1）の交換手順について説明しています。

1. 製品の電源が ON になっていることを確認します。

注 記

- 製品の電源が OFF になっている場合は、インクパックを交換しないでください。
インク残量の検出が正しく行えず、正常な作画ができなくなります。

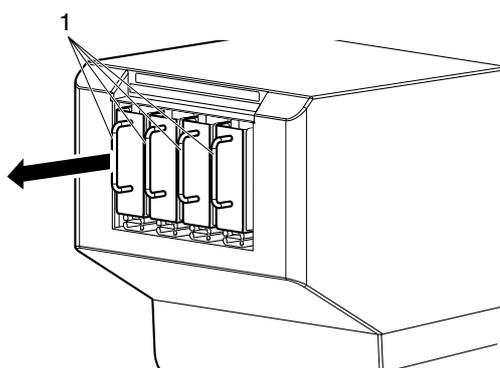
2. 交換するインク用の S/C カードを取外します。



番号	名称
1	S/C カード

3. 交換するインクパックを取外します。

a. インクパックスロットを引出します。

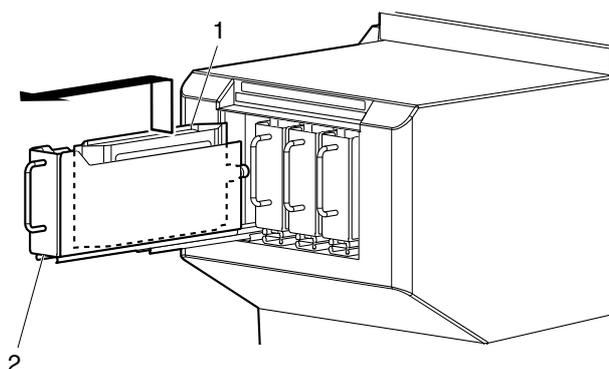


番号	名称
1	インクパックスロット

- b. 交換するインクパックをインクパックスロットから取外します。

注 記

- 使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



番号	名称
1	インクパック
2	インクパックスロット

4. 新しいインク用 S/C カードおよびインクパックを袋から取出します。

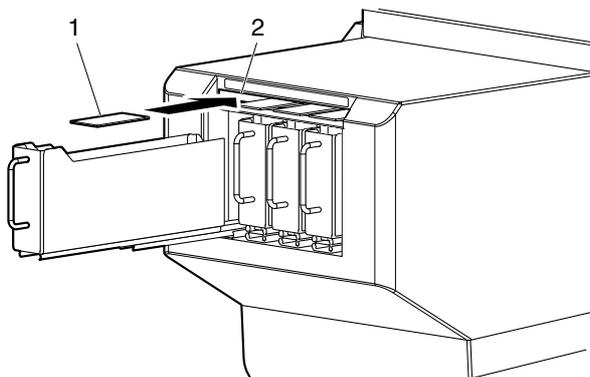
注 記

- インクパックは、インクパックスロットに取付ける直前に開封してください。インクパックを開封した状態で長期間放置すると、正常に作画できなくなる場合があります。

5. 新しいインク用 S/C カードおよびインクパックを取付けます。

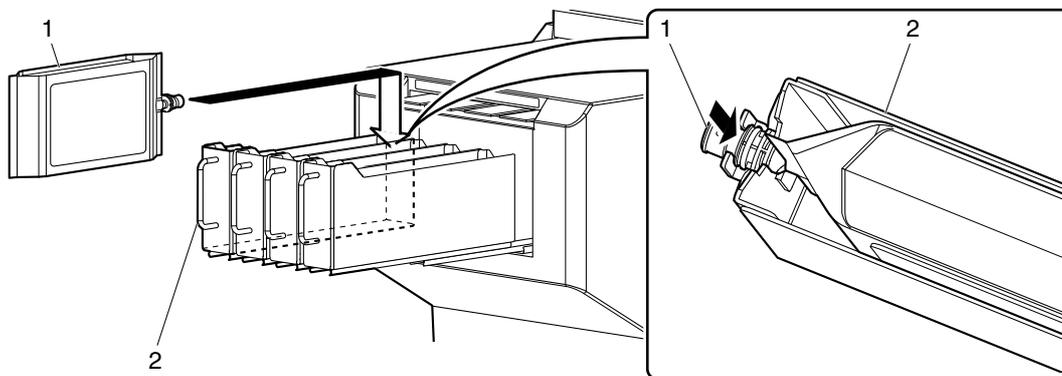
a. インク用 S/C カードを S/C カードスロットへ挿入します。

- インク用 S/C カードは装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークとインクの色を合わせて取付けてください。
- S/C カードはスロットの奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インク用 S/C カード
2	S/C カードスロット

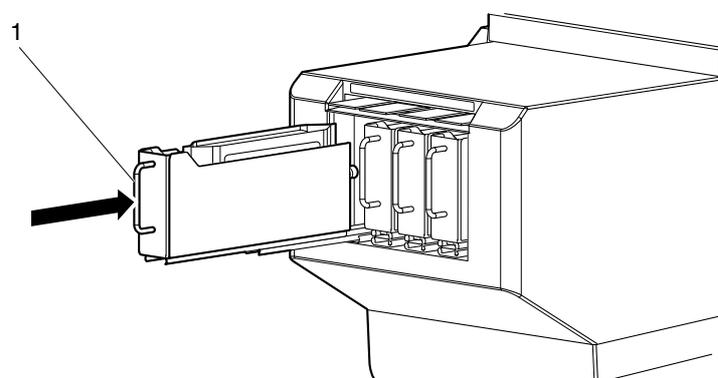
b. 新しいインクパックを 2～3 回軽く振ってから、インクパックスロットに取付けます。



番号	名称
1	インクパック
2	インクパックスロット

c. インクパックスロットを挿入します。

- インクパックスロットは、奥までしっかり挿入してください。



番号	名称
1	インクパックスロット

6. 操作パネルが通常状態に戻ったことを確認します。

注 記

- 作画中にインクパックを交換した場合は、作画を再開します。

- インクパックの交換を終了します。

6.1.2 ロール紙の交換

ロール紙の交換時期、交換手順について説明します。

(1) 交換時期

ロール紙は、以下の場合に交換してください。

- 製品にセットしているロール紙がなくなった場合
 - 操作パネルに「ロールシエント[®]」と表示されます。
 - 作画中に用紙がなくなった場合は作画動作を中断します。
- 使用する用紙種類を変更したい場合

(2) 種類

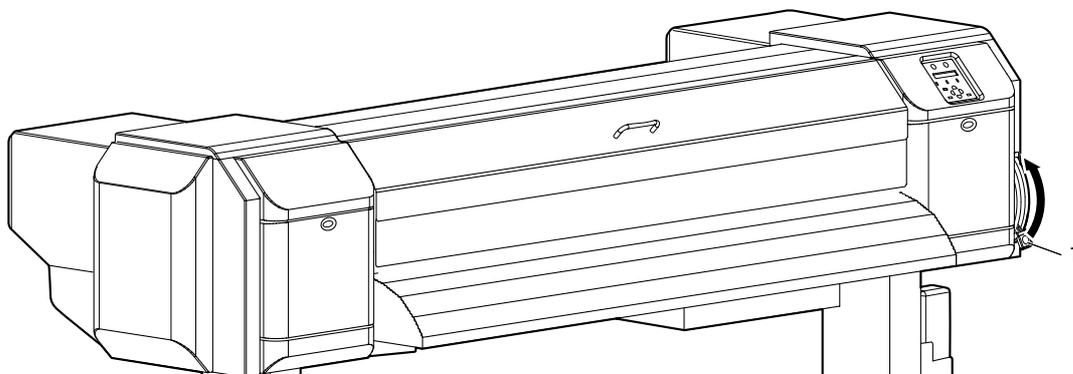
参考

- ロール紙の種類および詳細は、「8.3 オプション・サプライ用品リスト」を参照してください。

(3) 交換手順

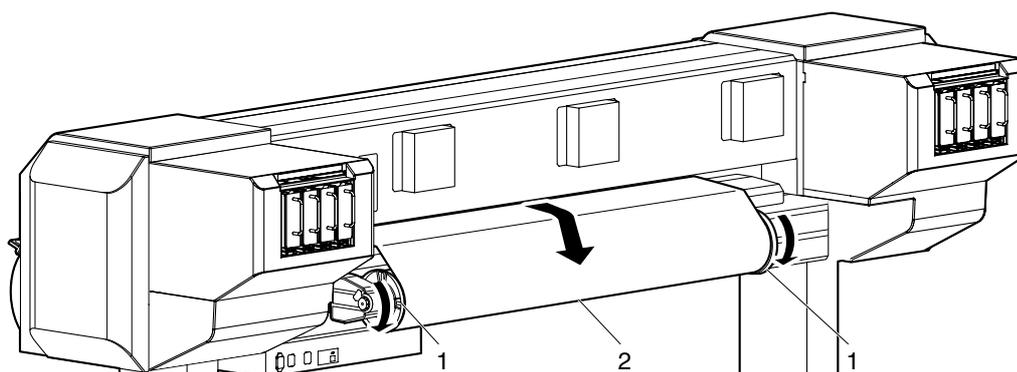
以下の手順に従って、ロール紙を交換してください。

1. 製品の電源が ON になっている場合は、作画等の動作を行っていないことを確認します。
2. 用紙セットレバーを上げます。



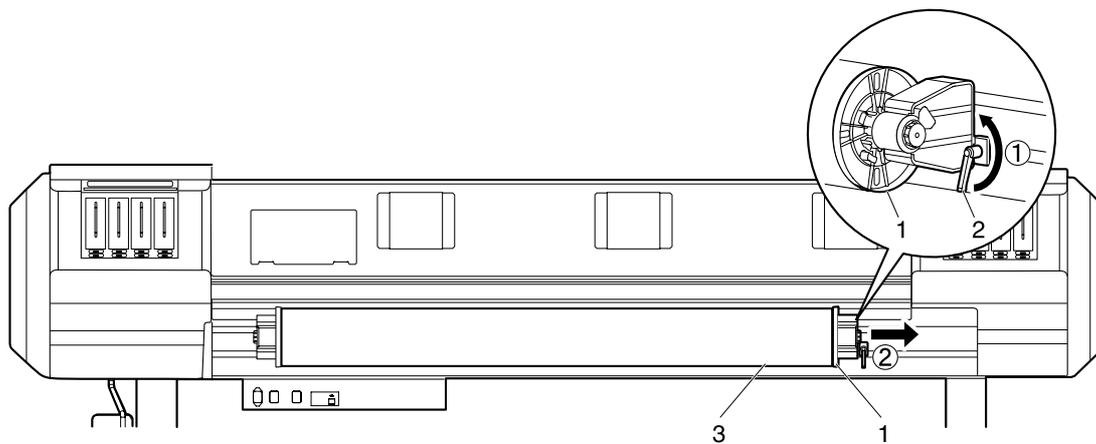
番号	名称
1	用紙セットレバー

3. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻取ります。



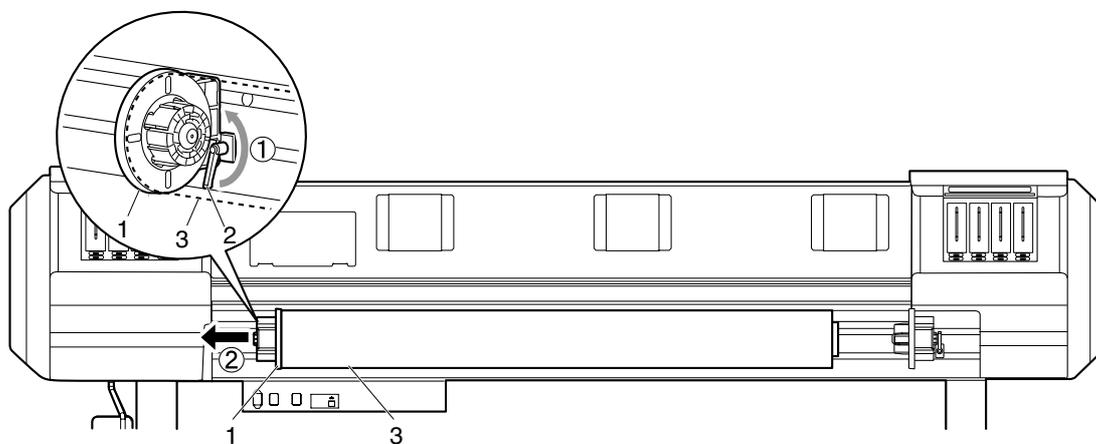
番号	名称
1	ロール紙受け
2	ロール紙

4. ロール紙受け（右）の固定レバーを緩めて、ロール紙受けからロール紙を取外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（右）
2	固定レバー
3	ロール紙

5. 手順4と同様にして、ロール紙受け（左）からロール紙を取外します。



番号	名称
1	ロール紙受け（左）
2	固定レバー
3	ロール紙

6. 別のロール紙を取付ける場合は、以下の内容に従って、作業を行ってください。

参 考

- ロール紙の取付け方法は、「3.4 用紙の取付け」を参照してください。
- 使用しないロール紙は、「4.2.3 用紙の保管時の注意」に従って、保管してください。

- ロール紙の交換を終了します。

6.1.3 フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換手順について説明します。

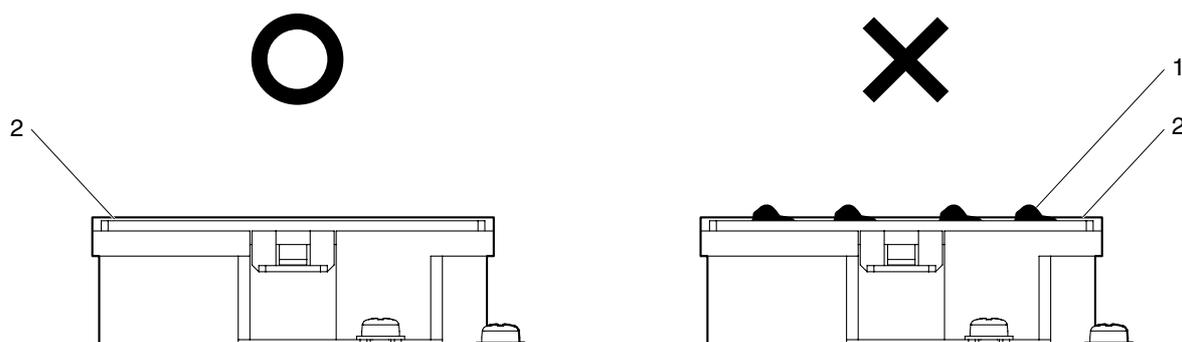
注 記

- 製品には必ずフラッシングボックス用吸収材を取付けてください。
フラッシングボックス用吸収材は、製品が安定した作画を行うために必要な部品です。

(1) 交換時期

フラッシングボックス用吸収材は以下の場合に交換してください。

- フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインク塊が、フラッシングボックス枠より盛上がった場合



番号	名称
1	インク塊
2	フラッシングボックス枠

(2) 種類

参 考

- フラッシングボックス用吸収材の種類および詳細は、「8.3 オプション・サプライ用品リスト」を参照してください。

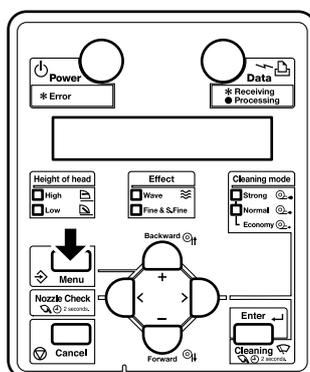
(3) 交換手順

以下の手順に従って、フラッシングボックス用吸収材を交換してください。

注 記

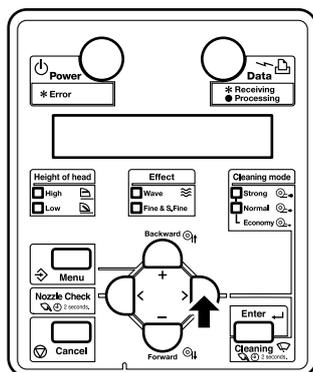
- インクや廃液には有機溶剤が含まれています。
作業を行う場合は、付属の手袋を着用してください。

- 製品の動作状態について、以下を確認してください。
 - 作画等の動作を行っていないこと
 - 操作パネルが通常状態であること
- 操作パネルに CR メンテナンスメニューを表示させます。
 - 操作パネルの [Menu] キーを押します。

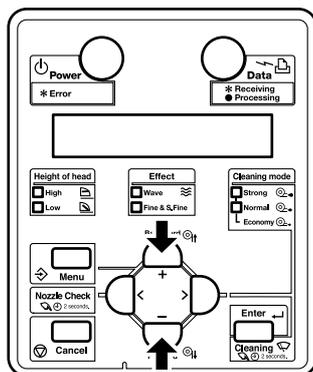


- 操作パネルに「メニュー1： セッテイ>」と表示されます。
- 設定メニュー表示状態に移行します。

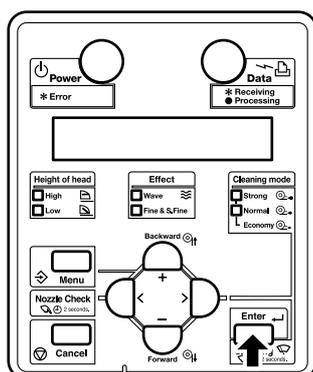
- b. 操作パネルの [>] キーを押します。



- 操作パネルに「セット 1 : メディアイアシュルイ」と表示されます。
- c. 操作パネルの [+] キーまたは [-] キーを押して、「セット 20 : CR メンテナンス」を選択します。

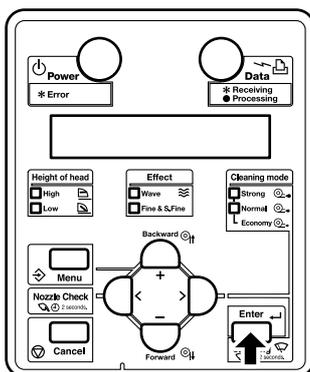


- d. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



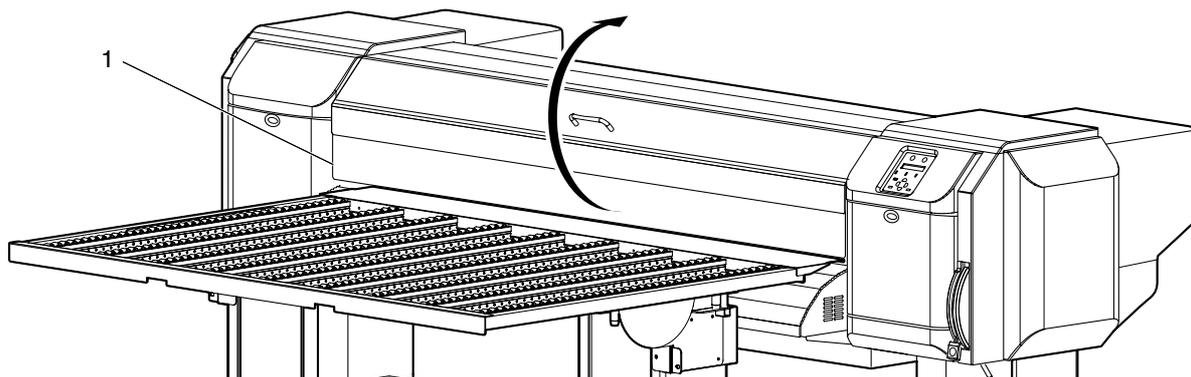
- 操作パネルに「CR メンテナンス : Start」と表示されます。
- CR メンテナンスメニューに移行します。
 5.1.19 CR メンテナンスメニュー

3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



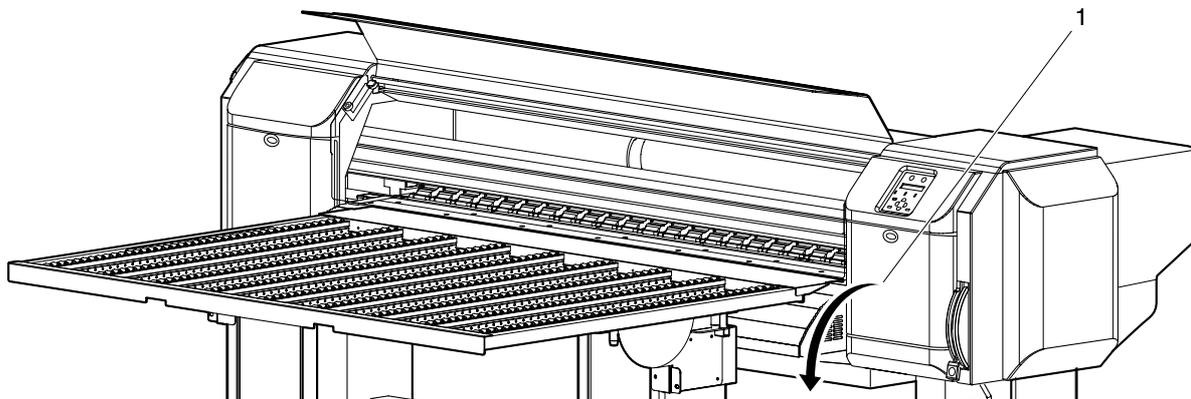
- メンテナンス処理に入ります。
- プリントヘッド部が製品左側に移動します。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： E n d」と表示されます。

4. フロントカバーを開けます。



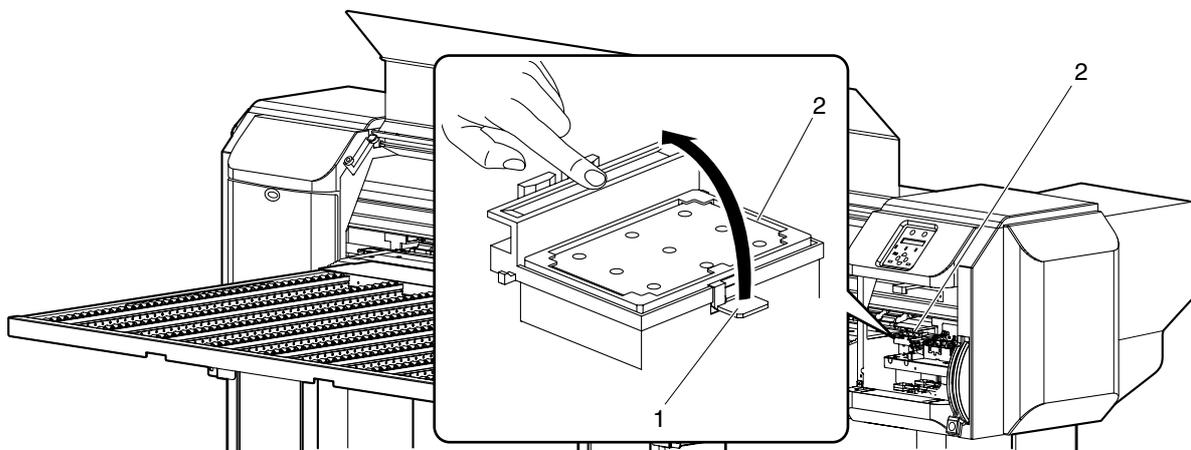
番号	名称
1	フロントカバー

5. 製品右側のメンテナンスカバーを開きます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

6. フロントカバー側から左手を入れて、上からフラッシングボックスを押さえながら、フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部を持上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材受けを取外します。

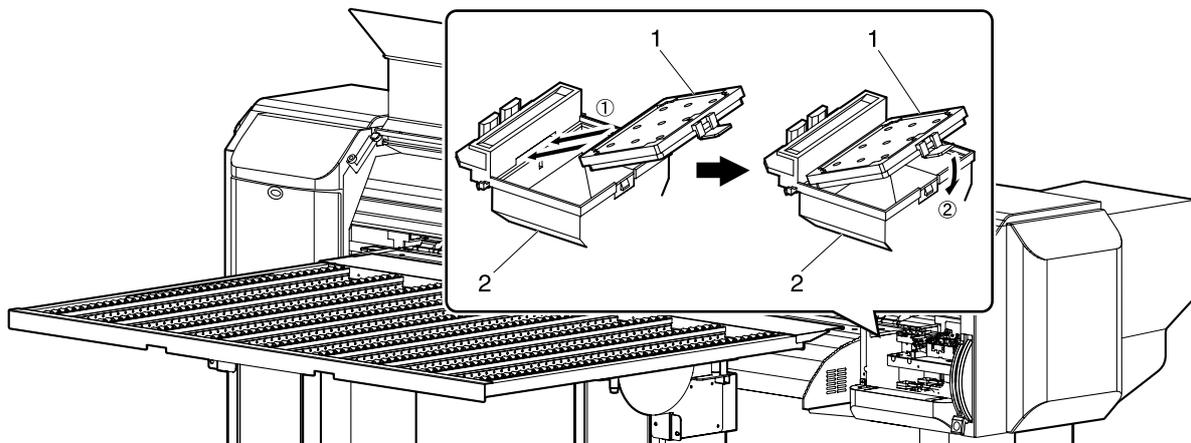


番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部
2	フラッシングボックス用吸収材受け

⚠ 注意

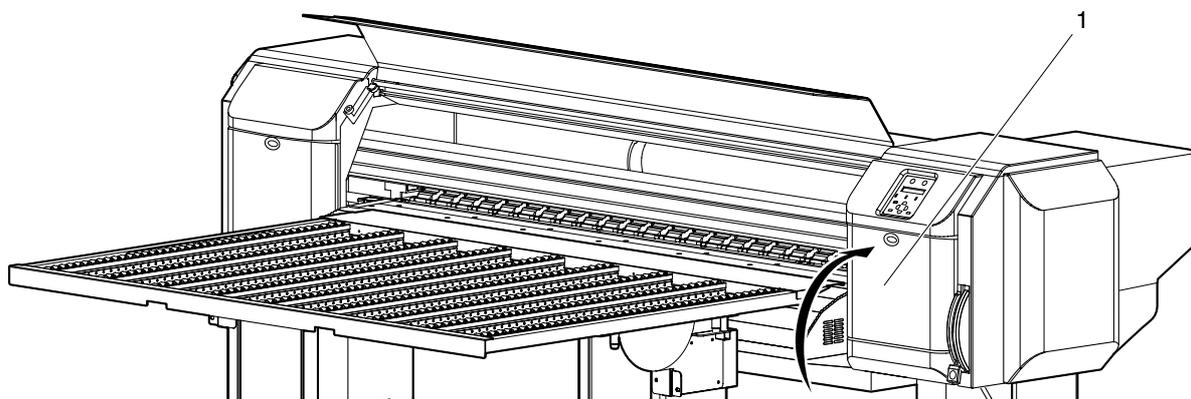
- フラッシングボックス用吸収材を交換する場合、廃液がこぼれないように十分注意してください。
廃液がグリッドローラに付着するとグリッドローラ表面を侵して、用紙搬送に影響を及ぼす恐れがあります。

7. 新しいフラッシングボックス用吸収材受けをフラッシングボックスに取付けます。



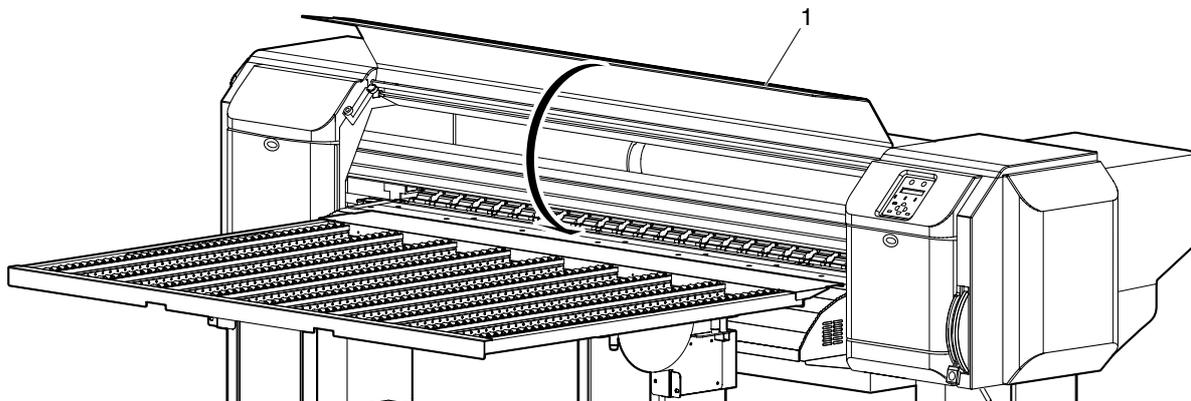
番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受け
2	フラッシングボックス

8. メンテナンスカバーを閉じます。



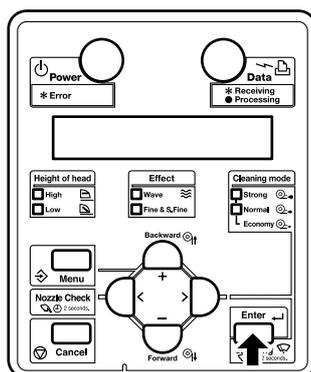
番号	名称
1	メンテナンスカバー

9. フロントカバーを閉じます。



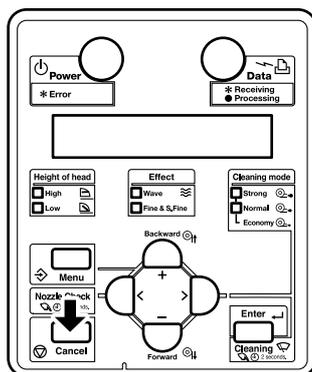
番号	名称
1	フロントカバー

10. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



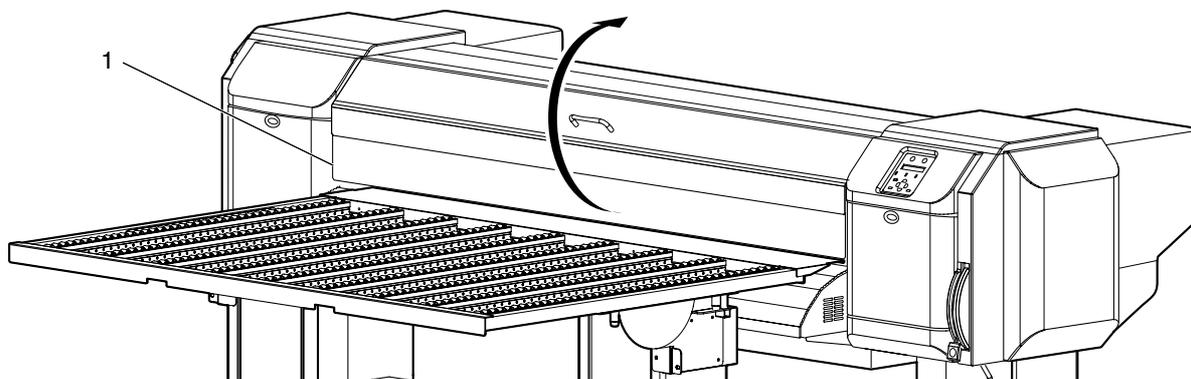
- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- 操作パネルに「CR メンテナンス： S t a r t」と表示されます。

11. 操作パネルの [Cancel] キーを数回押します。



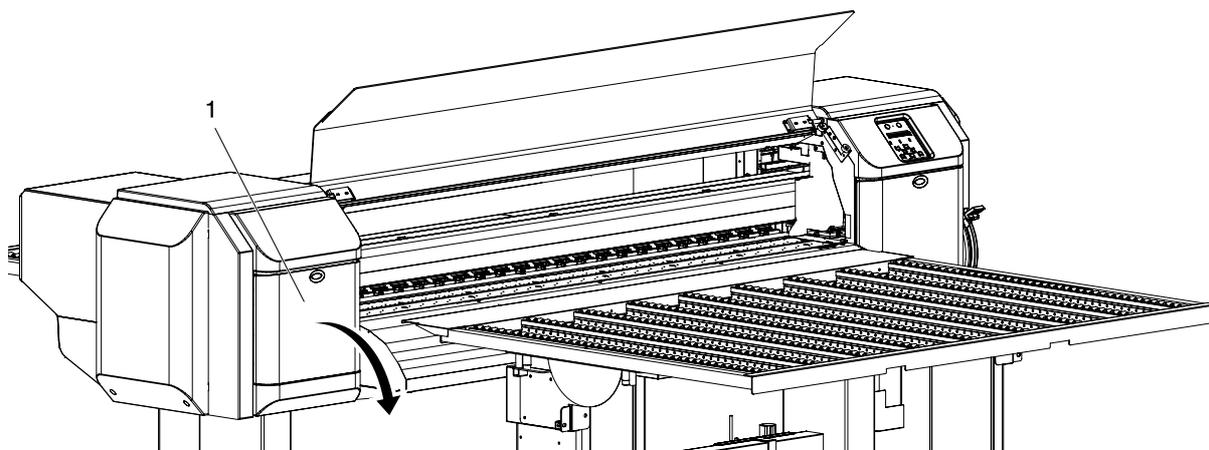
- 製品は通常状態に移行します。

12. ふたたびフロントカバーを開けます。



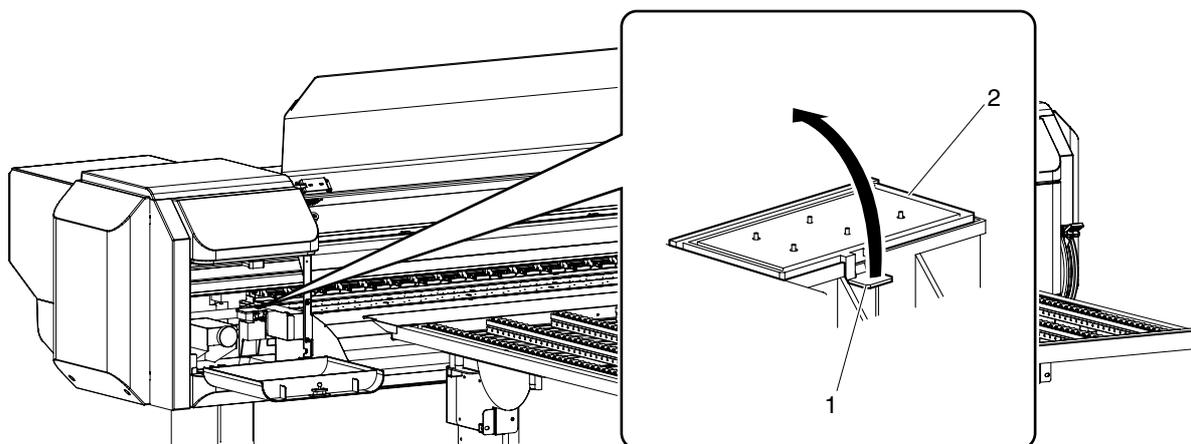
番号	名称
1	フロントカバー

13. 製品左側のメンテナンスカバーを開きます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

14. フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材受けを取外します。

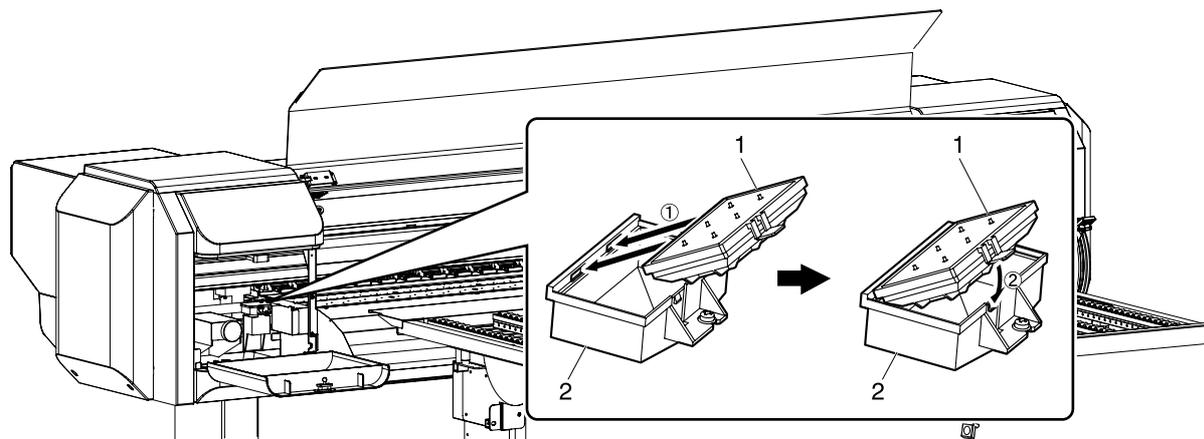


番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受けのツメ部
2	フラッシングボックス用吸収材受け

注記

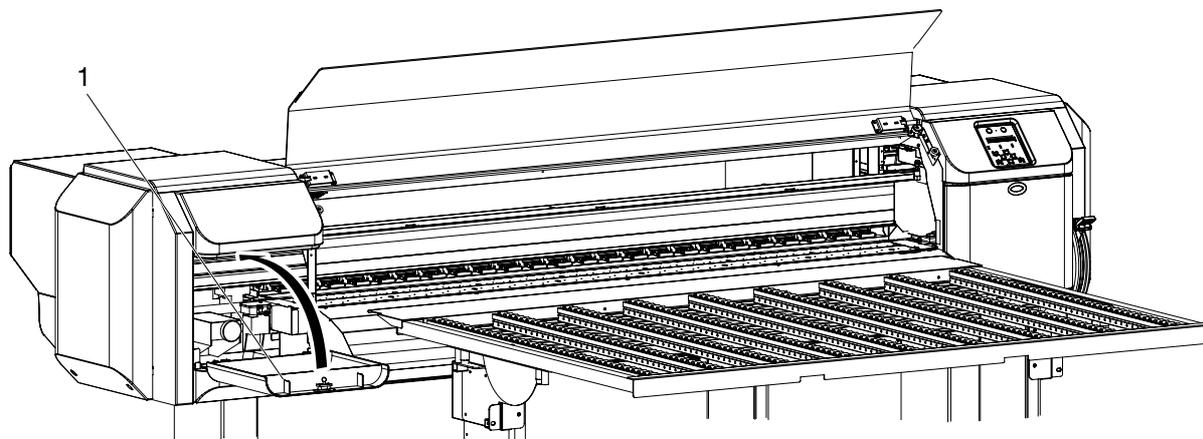
製品左側のフラッシングボックス用吸収材上に堆積したインク塊が、フラッシングボックス枠より盛上がっていない場合は、交換は不要です。
フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じて手順を終了してください。

15. 新しいフラッシングボックス用吸収材をフラッシングボックスに取付けます。



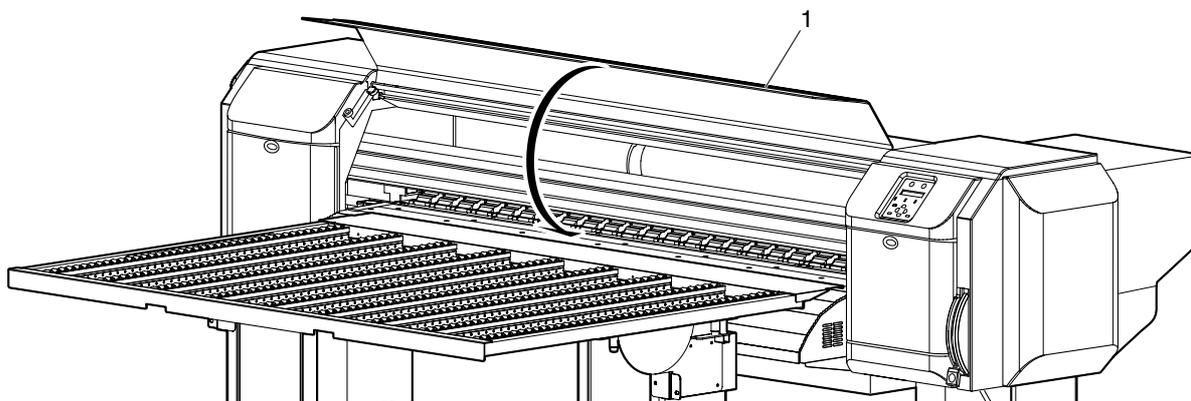
番号	名称
1	フラッシングボックス用吸収材受け
2	フラッシングボックス

16. メンテナンスカバーを閉じます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

17. フロントカバーを閉じます。



番号	名称
1	フロントカバー

- フラッシングボックス用吸収材の交換を終了します。

6.2 清掃

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的（1ヶ月毎）に清掃する必要があります。

警告

- 通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

注意

- プリントヘッド部およびワイパ部以外の清掃を行う時は、必ず電源を OFF して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷める原因となります。
- 製品内部に水気が入らないように注意してください。
製品内部の電気回路がショートする恐れがあります。
- ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

製品の各清掃方法について説明します。

6.2.1 製品外装の清掃

製品外装の清掃手順について説明します。

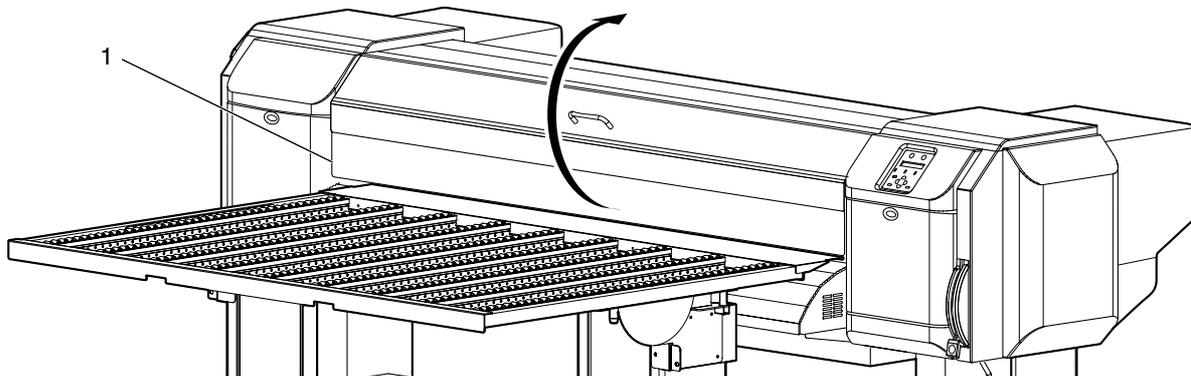
製品外装に付着したホコリや汚れは、柔らかい布を使って拭取ってください。

6.2.2 製品内部の清掃

製品内部の清掃手順について説明します。

以下の手順に従って、清掃してください。

1. フロントカバーを開けます。

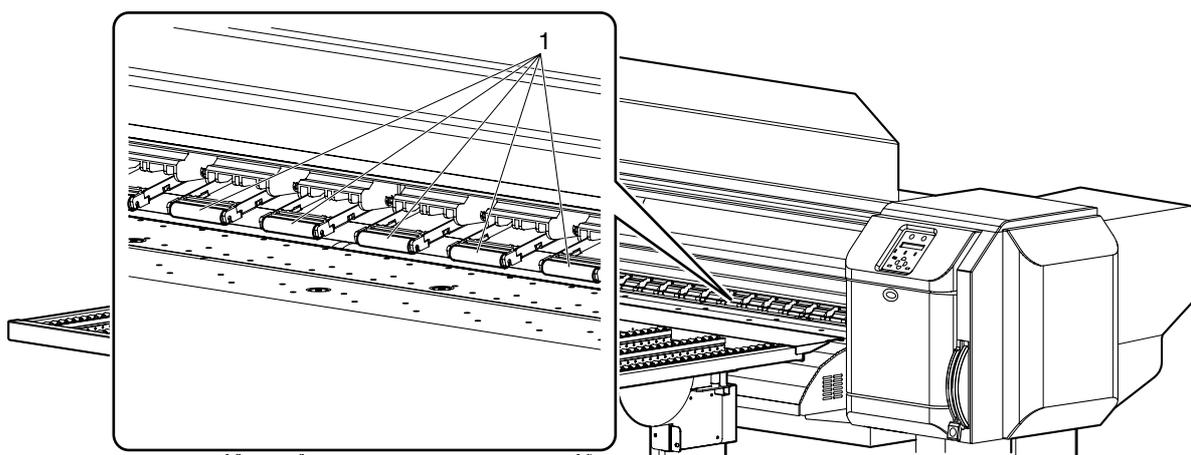


番号	名称
1	フロントカバー

2. 加圧ローラは、柔らかいブラシを使って、紙粉やホコリを払います。

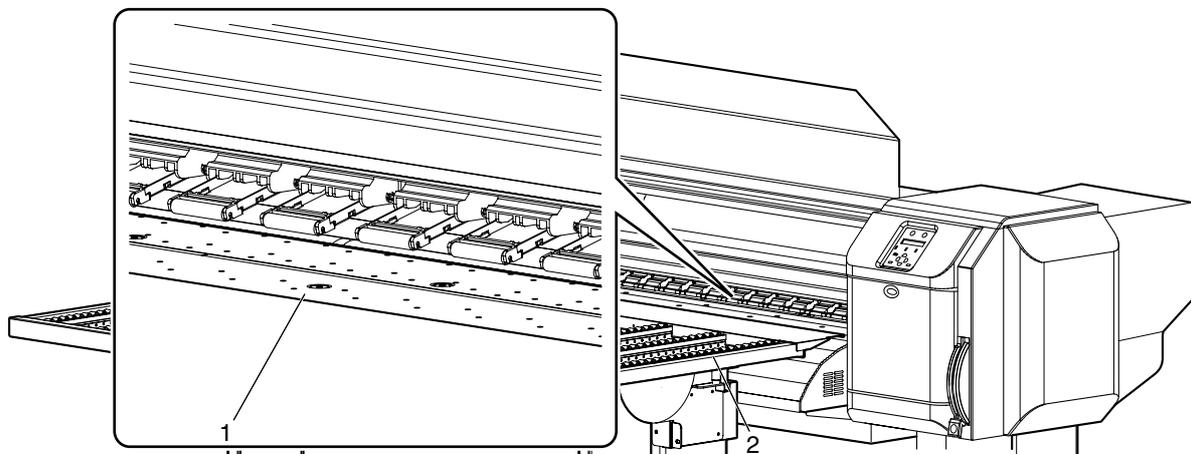
注 記

- 製品内部に付着した紙粉は、エアダスターなどで吹き飛ばさないでください。製品内部から異音が発生する場合があります。



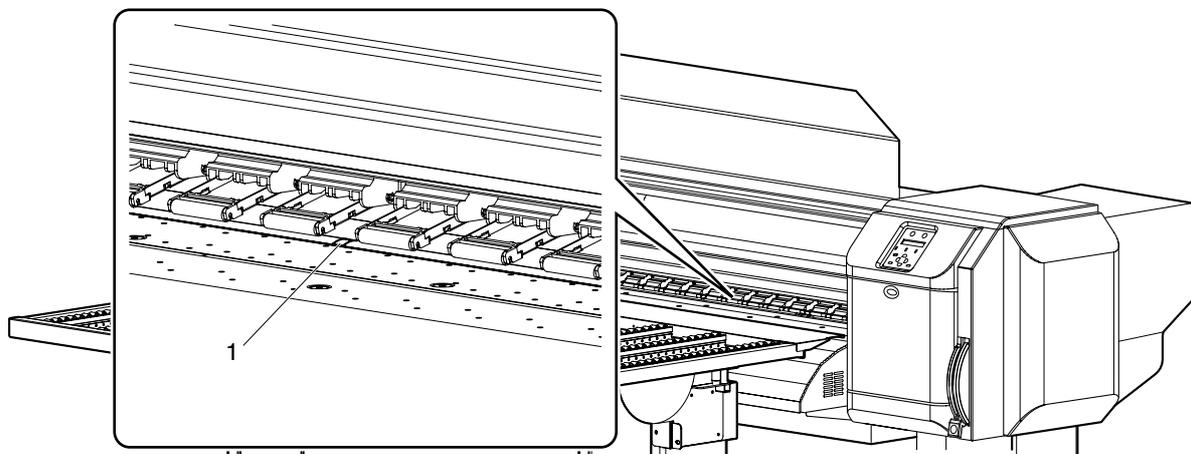
番号	名称
1	加圧ローラ

3. プラテンおよび用紙ガイドは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、紙粉やインクなどの汚れを拭取ります。



番号	名称
1	プラテン
2	用紙ガイド

4. グリッドローラは、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で、中央部の未塗装（銀色）部分の汚れを落とします。



番号	名称
1	グリッドローラ

6.2.3 ヘッドクリーニング

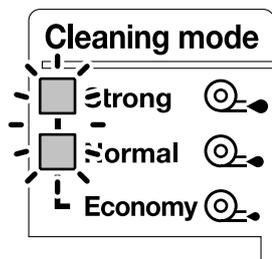
作画した画面がかすれたり、欠けたりするようになったら、プリントヘッド表面とノズルの清掃（ヘッドクリーニング）を行います。

以下の手順に従って、ヘッドクリーニングを行ってください。

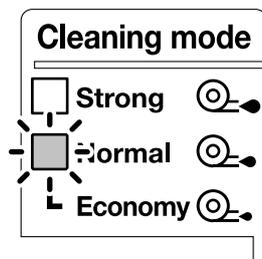
注 記

- 製品を長時間（1週間以上）使用しない場合、1週間に1度ヘッドクリーニングを行ってください。
ヘッドクリーニングを行わないと、プリントヘッドのノズルが詰まり、最良の作画結果が得られなくなる恐れがあります。
- ヘッド洗浄終了後、再度製品を長時間使用しない場合は、クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃を行って電源を **Off** にしてください。
I 6.2.4 クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃
- ヘッドクリーニング時には、用紙を取外してください。
用紙をセットしたままクリーニングを行うと、プリントヘッドと用紙が接触する可能性があります。

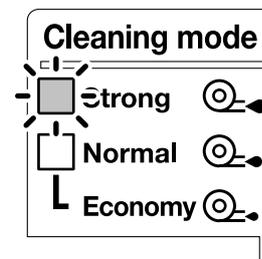
- 操作パネルが通常状態であることを確認します。
- 用紙セットレバーが下がっていることを確認します。
- 操作パネルの [>] キーを押して、クリーニングモードを選択します。



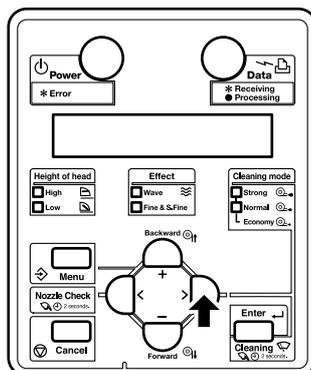
Short mode



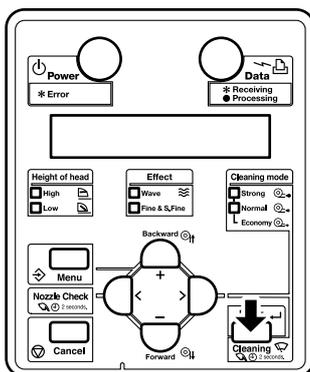
Normal mode



Long mode



4. 操作パネルの [Cleaning] キーを 2 秒以上押し続けます。



- ヘッドクリーニングを開始します。
- 操作パネルに「クリーニング`チュウ` **%」と表示されます。
- ヘッドクリーニングが終了すると、操作パネルが通常状態に戻ります。

注 記

- 1 回のヘッドクリーニングで作画のかすれ・欠けがなくならなかった場合には、強カクリーニングを行ってください。
- ヘッドクリーニングを数回行っても、作画のかすれ・欠けがなくなる場合は、「7 トラブルシューティング」を参照のうえ、適切な処置を行ってください。

6.2.4 クリーニングワイパユニット・プリントヘッド外周の清掃

クリーニングワイパおよびその周辺、プリントヘッド外周の清掃について説明します。

(1) 清掃時期

毎日 1 回、1 日の作業終了後

(2) 清掃手順

以下の手順に従って、クリーニングワイパおよびその周辺の清掃、プリントヘッド外周の清掃を行ってください。

▲ 注意

- クリーニングワイパの清掃およびプリントヘッド外周の清掃は、プリントヘッドキャップを外した状態で作業を行うため、プリントヘッドが乾かないうちに作業を終了させる必要があります。
作業時間の目安は5分以内です。
作業時間が5分を超えそうな場合は、いったん作業を中止し、ヘッドクリーニングを実行してから、再度清掃作業を行ってください。
☞6.2.3 ヘッドクリーニング

注記

- 清掃手順については、付属するメンテナンスシートを見ながらおこなってください。
- クリーニングワイパおよびその周辺、プリントヘッド外周の清掃には、以下の部品を使用します。
 - 洗剤液
 - クリーンスティック
 - プラスチックカップ
 - スポイト☞8.3 オプション・サプライ用品リスト

1. 製品付属のプラスチックカップに洗剤液を 50ml 注ぎ、クリーンスティックを浸します。
2. 製品の電源を OFF にします。
☞3.2.2 電源を OFF する方法
 - 操作パネルに「CR メンテナンス： S t a r t」と表示されます。
3. 操作パネルの [Enter] キーを押します。
 - メンテナンス処理を開始します。
 - プrintヘッド部が製品左側に移動します。
 - クリーニングワイパが上側に移動します。
 - 操作パネルに「CR メンテナンス： E n d」と表示されます。
4. クリーニングワイパユニットの清掃を行います。
☞6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃

5. プリントヘッド外周の清掃を行います。

6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃

参 考

- ・ クリーニングワイパユニットおよびプリントヘッド外周の清掃を行わない場合は、操作パネルの [Cancel] キーを押してください。

6. 清掃が終了したら、操作パネルの [Enter] キーを押します。

- ・ クリーニングワイパが元の位置に戻ります。
- ・ プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- ・ 製品は電源 OFF 動作を開始します。
- ・ 操作パネルに「メンテナンスシャタ ンチュウ」と表示されます。
- ・ 操作パネルの全てのランプおよび液晶表示部が消灯します。
- ・ 製品は自動的に電源を OFF します。

7. 清掃後、クリーンスティックは洗浄液に浸して保管します。

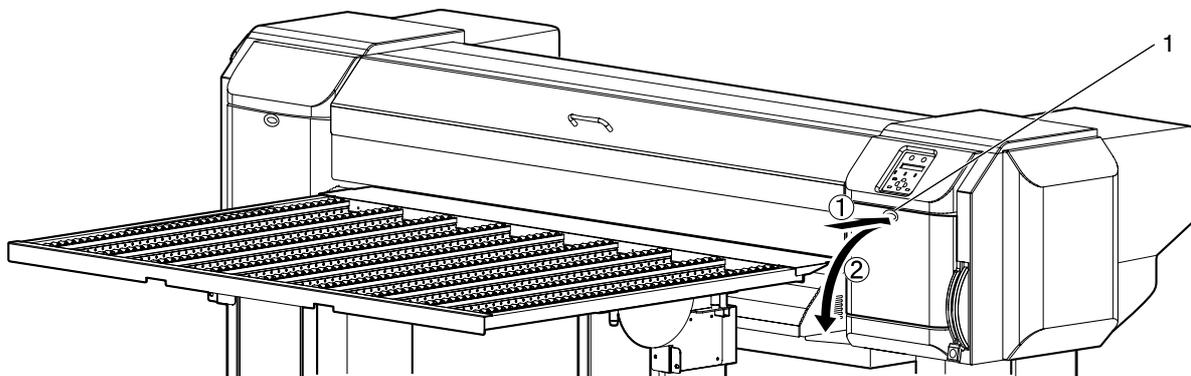
注 記

- ・ クリーンスティックは、1 週間ごとに交換してください。
- ・ クリーンスティックは、いったんインクが固着乾燥したものは使用しないでください。
- ・ プラスチックカップに取り分けた洗浄液は、埃が入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- ・ プラスチックカップに取り分けた洗浄液は、1 週間ごとに交換してください。

6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃

クリーニングワイパおよびその周辺の清掃について説明します。
以下の手順に従って、クリーニングワイパおよびその周辺の清掃を行ってください。

1. 製品右側のメンテナンスカバーを開けて、取外します。

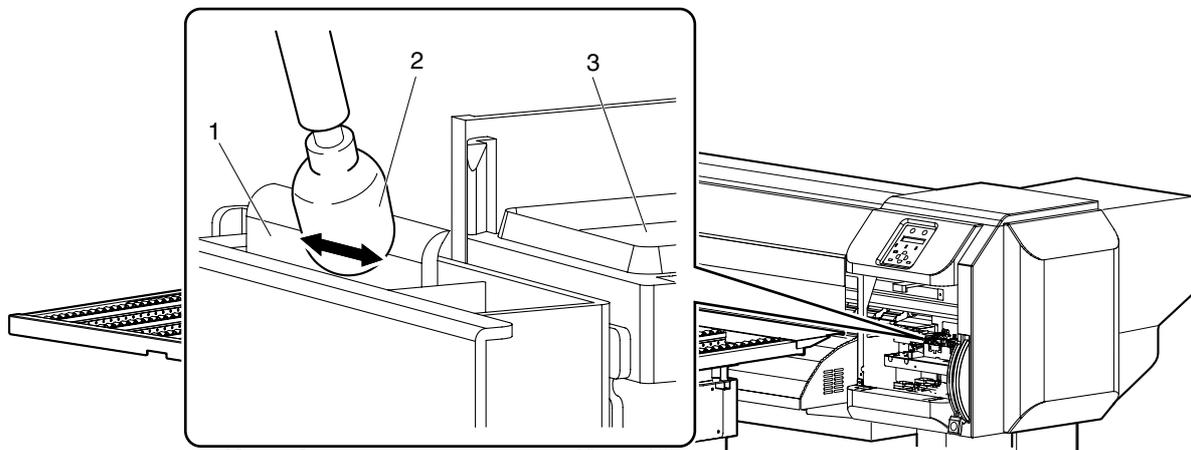


番号	名称
1	メンテナンスカバー

注意

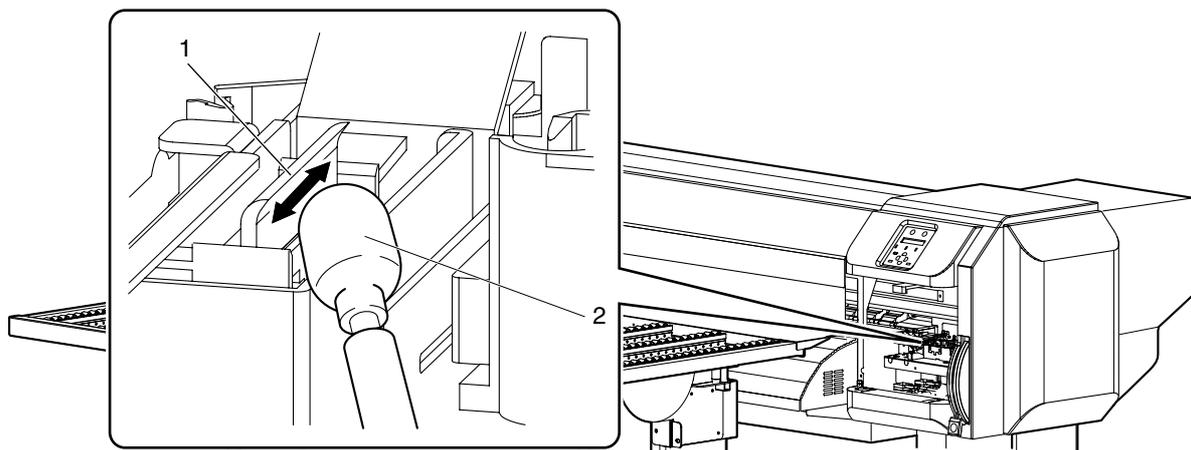
- クリーニングワイパを清掃するときは、
 - クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
 - 必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭取ってください。専用の洗浄液以外で拭取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
 - クリーンスティックの使用目安は1週間です。1週間経過後または付着したインク塊が取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。

2. クリーンスティックに洗浄液を浸して、クリーニングワイパに付着したインク塊やホコリを拭取ります。
- a. クリーニングワイパの左側：
前後方向に拭取ります。



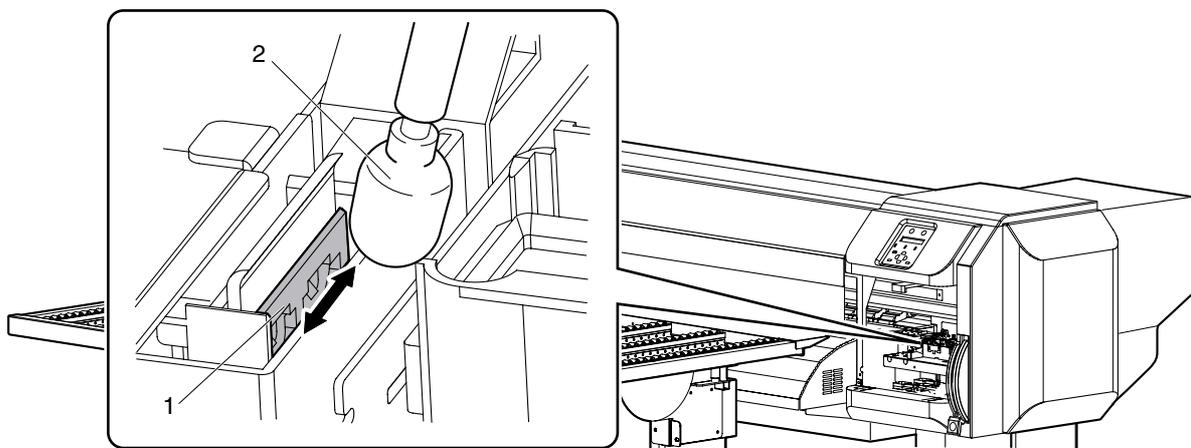
番号	名称
1	クリーニングワイパ左側
2	クリーンスティック
3	ヘッドキャップユニット

- b. クリーニングワイパの右側：
前後方向に拭取ります。



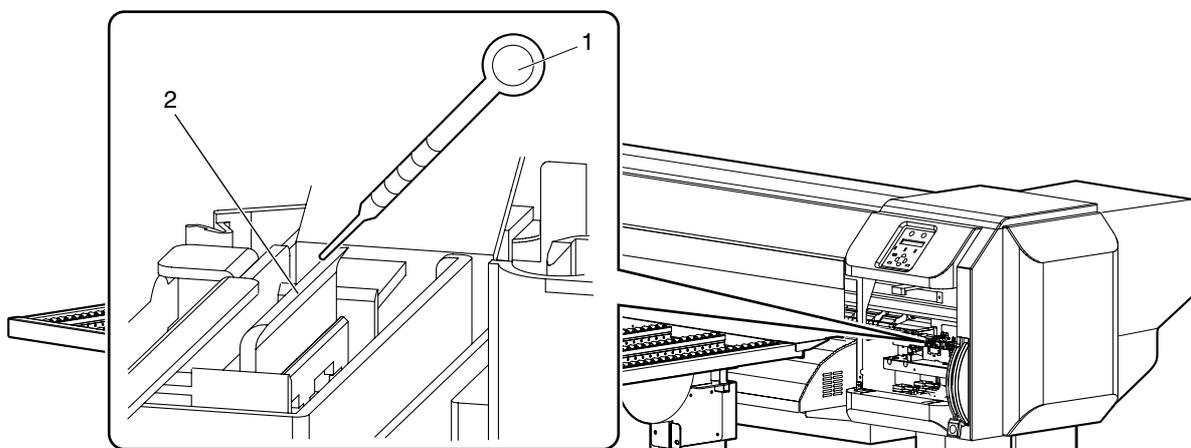
番号	名称
1	クリーニングワイパ右側
2	クリーンスティック

- c. クリーニングワイパユニットの右側面：
前後方向に拭取ります。



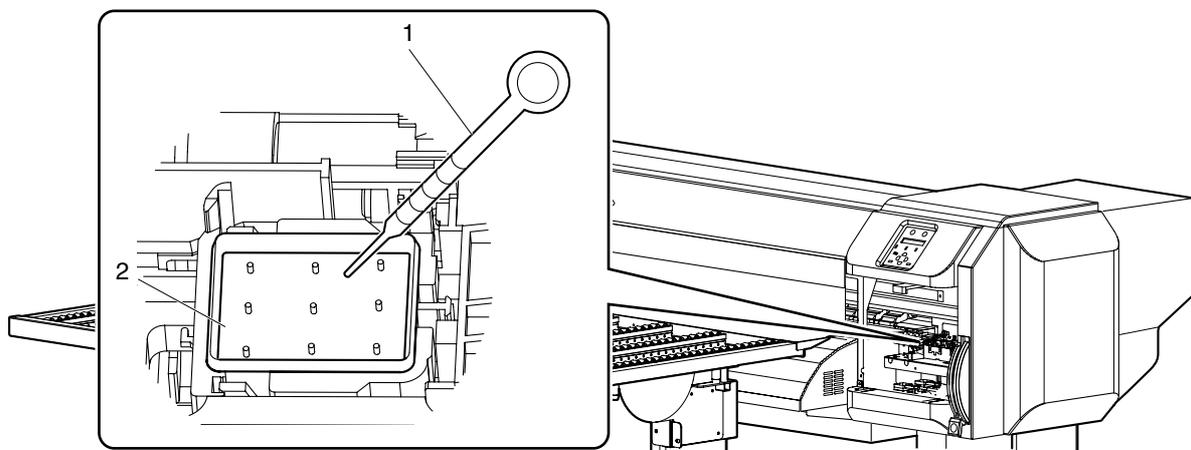
番号	名称
1	クリーニングワイパ右側面
2	クリーンスティック

3. 製品に付属のスポイトを使用して、クリーニングワイパに汚れていない洗浄液（0.5ml）を垂らします。



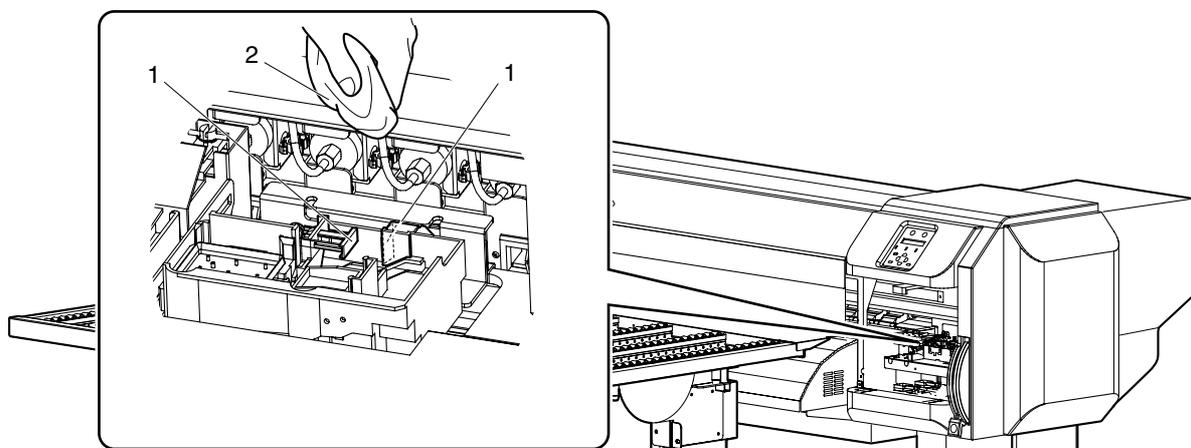
番号	名称
1	スポイト
2	クリーニングワイパ

4. 製品に付属のスポイトを使用して、ヘッドキャップユニット全体を汚れていない洗浄液（1.5ml）で浸します。



番号	名称
1	スポイト
2	ヘッドキャップユニット

5. ペーパータオルを洗浄液数滴で湿らせ、エアバルブに付着したインクを完全に拭き取ります。

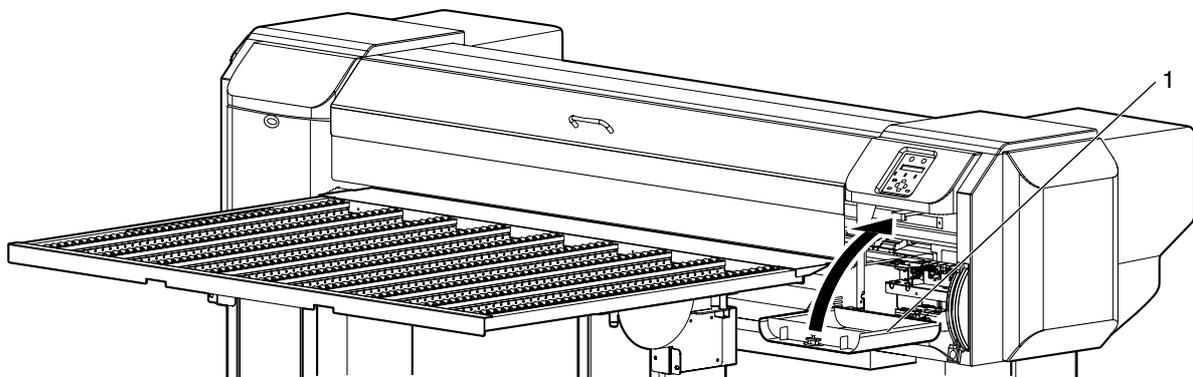


番号	名称
1	エアバルブ
2	ペーパータオル

注記

- 洗浄液が直接手に触れないように注意してください。
- ペーパータオルは製品に含まれておりませんので、お手数ですが作業前にご用意ください。

6. 製品右側のメンテナンスカバーを取付けて、閉じます。
- カバーが固定されるまで、しっかりと閉じてください。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

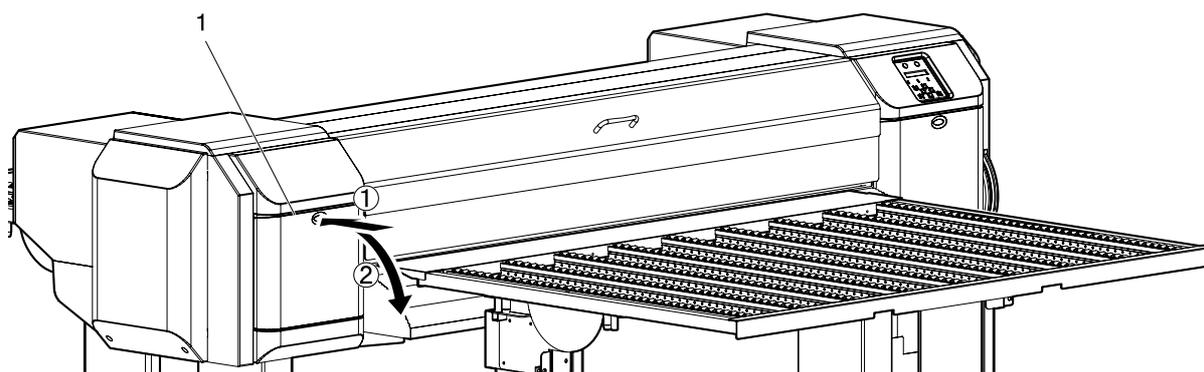
- クリーニングワイパおよびその周辺の清掃を終了します。
- 引き続き、プリントヘッド外周の清掃を行います。
 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃

6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃

プリントヘッド外周の清掃について説明します。

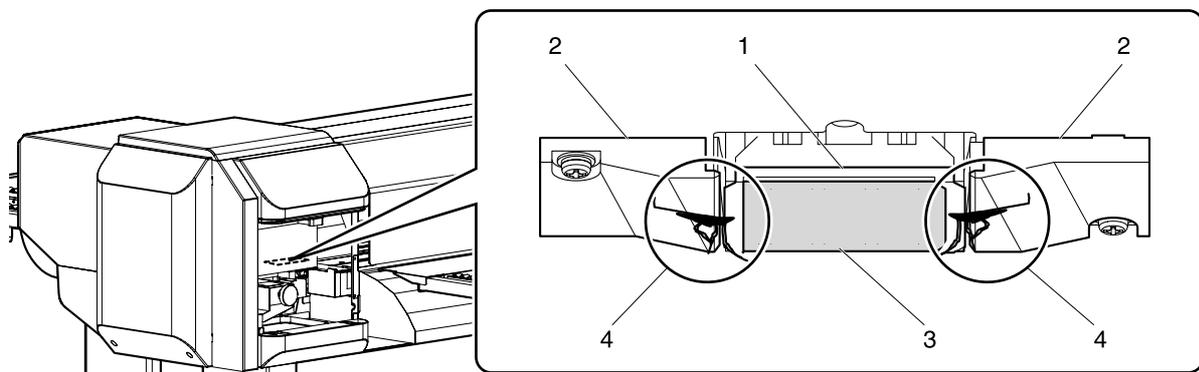
以下の手順に従って、プリントヘッド外周の清掃を行ってください。

- 製品左側のメンテナンスカバーを開けて、取外します。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

2. ペンライト等を使用して、次の箇所に埃やインク塊等の異物が付着しているか確認します。

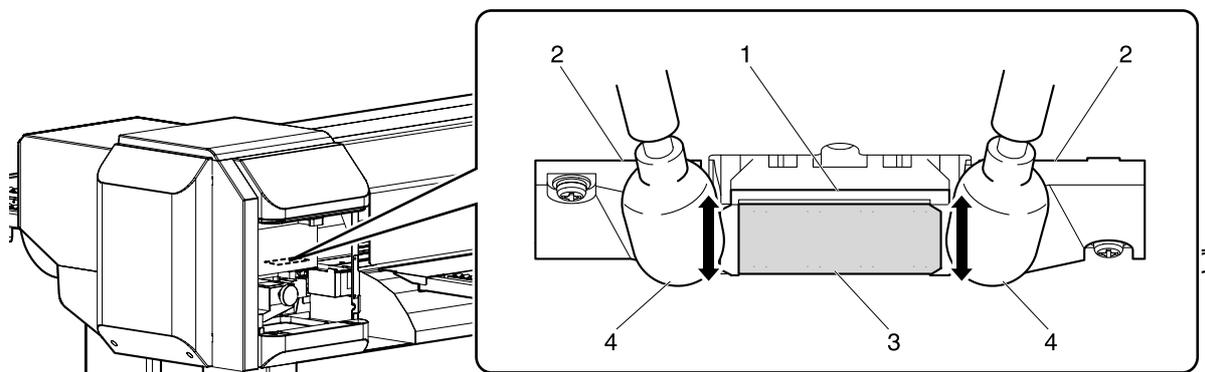


番号	名称
1	プリントヘッド外周
2	ヘッドガイド部
3	ノズル面
4	埃、インク塊等

⚠ 注意

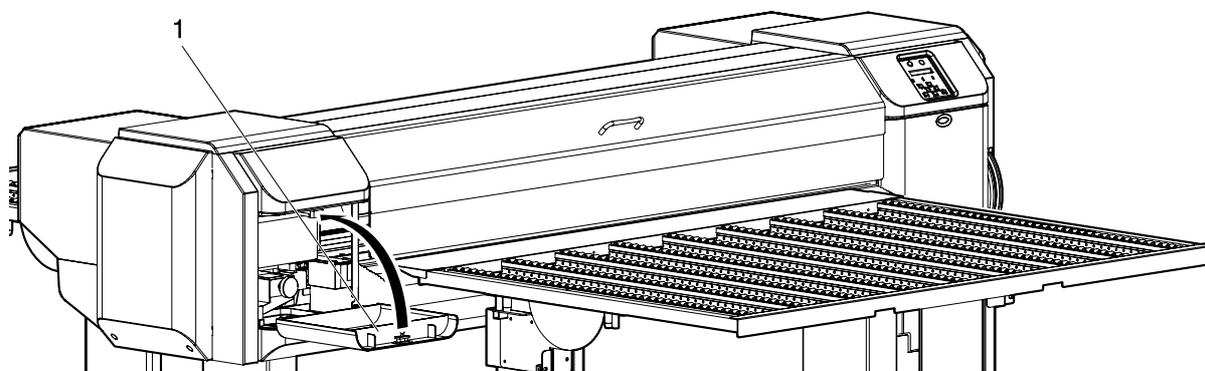
- プリントヘッド外周を清掃するときは、
 - プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。プリントヘッドを破損させる恐れがあります。
 - クリーンスティックの先端には手を触れないでください。油脂が付着してプリントヘッドを破損させる恐れがあります。
 - 必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭取ってください。専用の洗浄液以外で拭取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
 - クリーンスティックの使用目安は1週間です。1週間経過後または付着したインク塊が取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。

3. 埃やインク塊等の異物が付着している場合は、クリーンスティックに洗浄液を浸して、異物を取除きます。



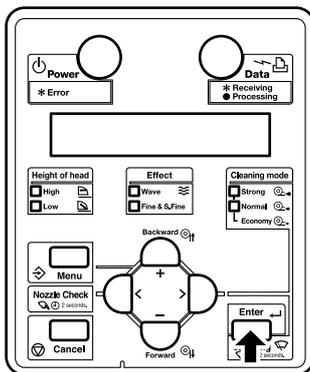
番号	名称
1	プリントヘッド外周
2	ヘッドガイド部
3	ノズル面
4	クリーンスティック

4. 製品左側のメンテナンスカバーを取付けて、閉じます。
- カバーが固定されるまで、しっかりと閉じてください。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

5. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- クリーニングワイパが元の位置に戻ります。
- プリントヘッド部が元の位置に戻ります。
- プリントヘッド外周の清掃を終了します。

6.3 廃液の処理

廃液の処理時期、処理方法について説明します。

(1) 処理時期

廃液は以下の場合に処理してください。

- a. 作画開始前に廃液が廃液タンクに半分以上貯まっている場合
- b. 操作パネルに「ハイエキタンク マンタン」と表示された場合

(2) 処理方法

以下の手順に従って、廃液を処理してください。



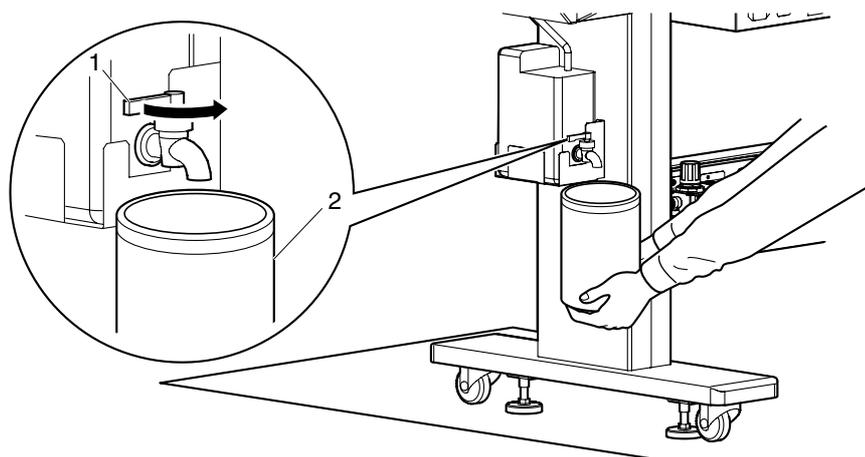
- プリンタから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
産業廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
廃液処理業者に処理を委託してください。

1. サプライ廃液ボトルなどの、廃液を受ける空容器を用意します。
2. いらない用紙などを廃液タンクの下の床に敷きます。

3. 廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。

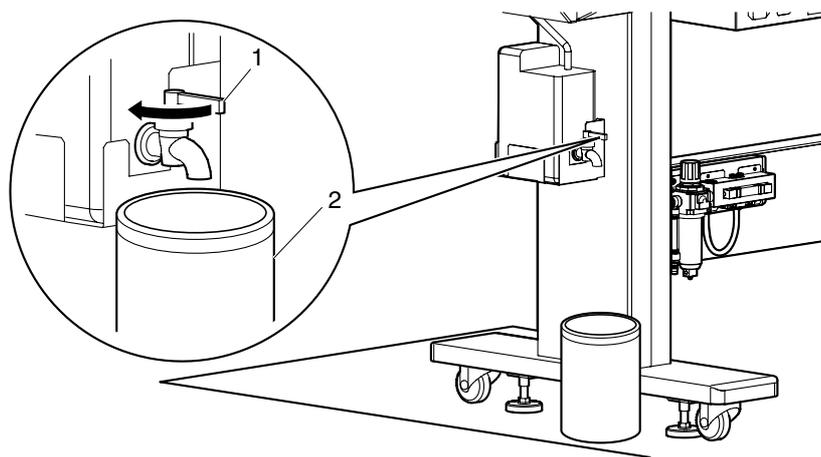
注 記

- 廃液コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛散することがあります。空容器を廃液コックに近付けて処理を行ってください。



番号	名称
1	廃液コック
2	空容器

4. 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。



番号	名称
1	廃液コック

5. 廃液コックの口を布等で拭取ります。

6. 廃液は産業廃棄物として処理します。

- 廃液の処理を終了します。

6.4 輸送・移動

本製品の輸送、移動方法について説明します。

6.4.1 移動の方法

本製品の移動方法について説明します。

注意

- 製品は水平の状態を保ったまま移動させてください。
- 製品本体を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。
製品内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

(1) 移動前の手順

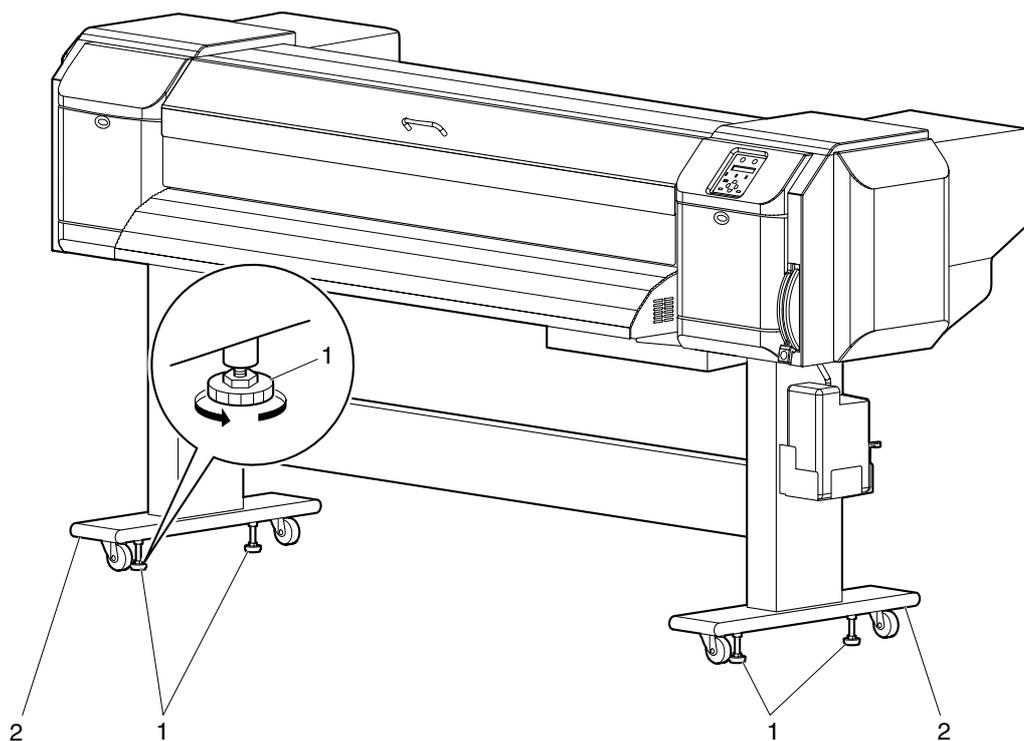
以下の手順に従って本製品を移動してください。

1. 製品の電源が OFF になっていることを確認します。
I 3.2.2 電源を OFF する方法
2. エアコンプレッサーを接続している場合は、電磁弁ユニットからチューブを取外します。
I 4.2.9 エアヒーターの使用方法
3. 廃液を処理します。
I 6.3 廃液の処理
4. 搬送台（オプション）が取り付けられている場合は、搬送台を取外します。
I 3.4.2 搬送台（オプション）の取外し
5. 電源ケーブル等のケーブル類を全て取外します。
6. 専用スタンドのアジャスタ（4箇所）を、次図の方向に回転させて緩めます。

7. 本製品を移動します。

注 記

- 専用スタンドに付属のキャスタは、運搬機器のキャスタとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。



番号	名称
1	アジャスタ
2	専用スタンド

(2) 移動後の手順

移動後は以下の手順に従って、本製品を使用可能な状態にしてください。

1. 設置に適した場所を確認します。
☞ 設置要領書
2. 設置場所に移動後、製品を固定します。
3. 電源ケーブル等のケーブル類を取付けます。
☞ 3.1 電源ケーブルの接続
☞ 3.7 コンピュータとの接続
4. ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まり等がないか確認します。
☞ 3.5.1 ノズルチェック
5. 画質微調整を行います。
☞ 3.6 画質微調整

6.4.2 輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

注 記

- 本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

7 トラブルシューティング

この章では、本製品を使用中に起きることが予想されるトラブル事例と、対処方法について説明します。

この章の内容のどの項目にも当てはまらないエラーが発生する場合は、「8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口」までご連絡ください。

注 記

- 製品保証サービスを受ける場合は、保証書をご用意ください。
保証書の提示がない場合、保証期間内であっても保証対象外（有償修理）となります。
保守サービス契約を締結されている場合は、契約書等をご用意ください。

7.1 製品の異常・故障

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

7.1.1 設置・導入時のトラブル

(1) インクの初期充填ができない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じ、用紙セットレバーを下げてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
2	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃 ☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃
3	S/C カードおよびインクパックは全て奥まで確実に差込んでいますか？	S/C カードおよびインクパックを全て確実に差込んでください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換
4	廃液センサケーブルは差込まれていますか？	廃液センサケーブルを廃液センサコネクタに正しく差込んでください。	☞ 設置要領書

(2) 初期充填してもインクが出ない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクパックは冷えて凍っていませんか？	最低でも常温で3時間以上放置した後、クリーニングを数回行ってください。	☞ 6.2.3 ヘッドクリーニング
2	初期充填中に電源を切りませんでしたか？	再度電源を入れ初期充填を継続してください。	☞ 3.3 インクパックの取付け
3	初期充填後ごくまれに正常に作画できない場合があります。	微量充填を行ってください。	☞ 5.4 クリーニングメニュー

7.1.2 全く作画しない場合

(1) 電源投入後まったく動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	電源ケーブルはつながっていますか？	電源ケーブルをつないでください。	☞ 3.1 電源ケーブルの接続
2	AC 電源は規定の電圧になっていますか？	他のコンセントに接続してください。	☞ 3.1 電源ケーブルの接続
3	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。 用紙セットレバーを下げてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
4	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃 ☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃

(2) 用紙をセットしても動かない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	フロントカバーが開いていたり、用紙セットレバーが上がっていませんか？	フロントカバーを閉じてください。 用紙セットレバーを下げてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
2	メンテナンスカバーが開いていませんか？	メンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃 ☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃
3	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙をまっすぐにセットしてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
4	S/C カードおよびインクパックは入っていますか？	S/C カードおよびインクパックを挿入してください。	☞ 3.3 インクパックの取付け
5	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
6	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書

(3) コンピュータからデータを送るとプリンタ側でエラーが出て作画しない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	コンピュータ側の機種を選択は合っていますか？	コンピュータ側とプリンタ側の機種の設定が合っているか確認してください。	☞ 3.7 コンピュータとの接続
2	コンピュータ側とプリンタ側のインターフェイス条件やコマンドモードは合っていますか？		

(4) LAN でオンラインできない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ネットワーク・インターフェイスクーブルはきちんと接続していますか？	クロスケーブル、ストレートケーブルの種類を確かめてから、ネットワーク・インターフェイスクーブルをきちんと接続してください。	☞3.7.3 ネットワーク・インターフェイスクーブルの接続
2	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	ネットワーク設定を正しく設定してください。	☞3.7.4 IP アドレスの設定～3.7.6 ゲートウェイの設定
3	プリンタのネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	製品のネットワーク設定をコンピュータ側の環境に合わせてください。	☞3.7.1 システム条件の確認
4	コンピュータより作画データを送ると、操作パネルの DATA ランプは点灯しますか？	DATA ランプが点灯しない場合は、コンピュータメーカーに連絡してください。	—

7.1.3 用紙に関するトラブル

(1) 用紙イニシャル中に用紙が外れる、破れる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「7.3 メディアが詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞3.4.4 ロール紙のセット方法
3	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞3.4.3 ロール紙の取付け
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞6.2.2 製品内部の清掃
5	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
6	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	☞4.2.2 用紙の取扱上の注意
7	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	☞4.2.1 用紙種類 ☞5.1.1.1.8 吸着ファンメニュー
8	メディア厚さの値は適切ですか？	メディア厚さ検出を行うように再設定して、メディアをセットしなおしてください。	☞5.1.5 メディア検出メニュー

(2) 用紙イニシャル中に用紙がシワになる

注 記

- 詰まったり、破れたりした用紙は、「7.3 メディアが詰まった場合」に従って取除いてください。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
3	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
4	加圧ローラに用紙の切れ端等の異物が付着していませんか？	加圧ローラを清掃してください。	☞ 6.2.2 製品内部の清掃
5	プリンタにエアコンの風が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 設置要領書
6	折り目、傷、破れ、および巻き癖のある用紙は使用していませんか？	用紙を交換してください。	☞ 4.2.2 用紙の取扱上の注意
7	各ヒーターの温度設定は適切ですか？	適切な温度に設定してください。	☞ 4.2.6 各種ヒーターの設定
8	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(3) 用紙イニシャルで用紙サイズを間違えている

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	用紙を斜めにセットしていませんか？	用紙を真っ直ぐにセットしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
3	用紙をセットしたとき、カール癖が上側になっていませんか？	用紙のカール癖を取除くか、新しい用紙をセットしなおしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
4	プリンタを直射日光が当たるなど使用環境以外の場所で使用していませんか？	プリンタの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。	☞ 3.4.3 ロール紙の取付け
5	一度作画した用紙を再度使用していませんか？	新品の用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
6	メディア厚さの値は適切ですか？	メディア厚さ検出を行うように再設定して、メディアをセットしなおしてください。	☞ 5.1.5 メディア検出メニュー

(4) 用紙詰まりが頻発する

注 記

- 推奨用紙以外の用紙では、正常な用紙送りに関して保証できません。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	指定環境以外で使用していませんか？	指定環境内で使用してください。	☞ 4.2.2 用紙の取扱上の注意
3	古い用紙を使用していませんか？	新しい用紙に交換してください。	☞ 6.1.2 ロール紙の交換
4	用紙に折り目、シワ等がありませんか？		
5	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	☞ 4.2.1 用紙種類 ☞ 5.1.1.1.8 吸着ファンメニュー

(5) 作画中に用紙が斜行する

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
3	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.3 ロール紙の取付け
4	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

7.1.4 作画に関するトラブル

(1) 部分的に作画が汚れたり、抜けたりする

注 記

- 推奨用紙以外の用紙では、適切な作画品質を得られない場合があります。

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	☞ 6.1.2 ロール紙の交換
2	折り目、シワのある用紙を使用していませんか？		
3	用紙がカールしたり、浮いたりしていませんか？	推奨用紙を使用してください。 推奨用紙以外の用紙を使用する場合は、吸着ファンメニューを設定してください。	☞ 4.2.1 用紙種類 ☞ 5.1.1.1.8 吸着ファンメニュー
4	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(2) 作画はするが、描く位置がおかしい（描けないところがある）

番号	考えられる要因	対策	参照
1	用紙をセットする位置は合っていますか？	用紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.4 ロール紙のセット方法
2	原点や書き出し位置は、設定していませんか？	原点や書き出し位置の設定を解除するか、または再設定してください。	☞ 5 パネル設定メニュー
3	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(3) 作画した線がにじむ

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	厚い用紙や薄い用紙を使用していないか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
3	用紙の作画面に作画していますか？	用紙の作画面を確認して正しくセットしてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
4	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	☞ 3.6 画質微調整
5	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	☞ 4.2.7 用紙送り補正
6	各ヒーターの温度設定は適切ですか？	適切な温度に設定してください。	☞ 4.2.6 各種ヒーターの設定
7	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(4) 作画に白スジや黒スジが出る

番号	考えられる要因	対策	参照
1	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
2	ロール紙は正しくセットしていますか？	ロール紙を正しくセットしてください。	☞ 3.4.3 ロール紙の取付け
3	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	☞ 6.2.3 ヘッドクリーニング
4	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	☞ 3.6 画質微調整
5	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	☞ 4.2.7 用紙送り補正
6	各ヒーターの温度設定は適切ですか？	適切な温度に設定してください。	☞ 4.2.6 各種ヒーターの設定
7	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(5) 作画した線が繋がらない

番号	考えられる要因	対策	参照
1	インクパックは有効期限内ですか？	新しいインクパックを使用してください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換
2	推奨用紙を使用していますか？	推奨用紙を使用してください。	☞ 4.2.1 用紙種類
3	画質微調整を行ってみましたか？	画質微調整を行ってください。	☞ 3.6 画質微調整
4	用紙送り補正を行ってみましたか？	用紙送り補正を行ってください。	☞ 4.2.7 用紙送り補正
5	加圧力調整の値は正しく設定されていますか？	加圧力を適正な値にセットしてください。	☞ 4.2.7.1 用紙加圧力の調整手順

(6) 作画線が二重になる、作画結果がかすれる

番号	考えられる要因	対策	参照
1	ノズルの状態は良好ですか？	ヘッドクリーニングを行ってください。	☞ 6.2.3 ヘッドクリーニング

7.2 表示の詳細

ここでは、本製品の正常動作時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

7.2.1 動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。
本製品が正常に動作している場合、操作パネルには以下の各動作状態が表示されます。

番号	表示	内容	参照
1	サクカ` デ` キマス	待機中 (用紙はセットされています)。	—
2	メデ` ィア ` ナシ	待機中 (用紙はセットされていません)。	☞ 3.4 用紙の取付け
3	デ` ータシ` ユシンチュウ	データ受信中です。	—
4	デ` ータカイセキチュウ	データ解析中です。	—
5	デ` ータサクカ` チュウ	作画中です。	—
6	ウォームアップ` チュウ	プリヒーター、プラテンヒーターおよびアフターヒーターを暖め中です。	—
7	クリーニング` チュウ `**%	ヘッドクリーニング中です。 しばらくお待ちください。	☞ 6.2.3 ヘッドクリーニング
8	I n s e r t ` センシ` ヨウカートリッ シ`	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄液用 S/C カードおよび洗浄液パック を取付けてください。	☞ 5.1.18 ヘッド洗 浄メニュー
9	ヘット` センシ` ヨウチュウ	<ul style="list-style-type: none"> 初期充填で、送品液の排出中です。 ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの 洗浄中です。 しばらくお待ちください。	☞ 3.3 インクパッ クの取付け ☞ 5.1.18 ヘッド洗 浄メニュー
10	カートリッシ` ヲヌイテクタ` サイ	ヘッド洗浄処理中です。 洗浄液用 S/C カードおよび洗浄液パック を外してください。	☞ 5.1.18 ヘッド洗 浄メニュー
11	センシ` ヨウシマスカ? ` イイエ	ヘッド洗浄処理が終了しました。 [Enter] キーを押してください。	☞ 3.3 インクパッ クの取付け ☞ 5.1.18 ヘッド洗 浄メニュー
12	I n s e r t ` インクカートリッシ`	インク充填中です。 インク用 S/C カードおよびインクパック を取付けてください。	☞ 3.3 インクパッ クの取付け
13	インクシ` ユウテンチュウ `**%	インク充填中です。 しばらくお待ちください。	☞ 3.3 インクパッ クの取付け
14	サブ` タンクシ` ユウテンチュウ `** %	サブタンク充填中です。 しばらくお待ちください。	☞ 3.3 インクパッ クの取付け

番号	表示	内容	参照
15	ケ ^レ ンテンニイト ^ウ ウチュウ	原点設定メニューで、プリントヘッドが作画開始位置に移動中です。しばらくお待ちください。	☞ 5.1.8 原点設定メニュー
16	イチカクニン → ENTER	原点設定メニューで、プリントヘッドが作画開始位置に移動しています。 [Enter] キーを押してください。	☞ 5.1.8 原点設定メニュー
17	**ハ ^ラ メータシヨキカチュウ**	初期化メニューで、設定値の初期化中です。しばらくお待ちください。	☞ 5.1.20 初期化メニュー
18	**2ヒ ^{ョウ} オシツツ ^{ケル} **	[Clening] キーまたは [Nozzle Check] キーを押していた時間が2秒未満でした。再度キーを2秒以上押し続けてください。	☞ 2.2.3 操作パネル
19	シュルイ: Type **OK?	用紙イニシャル中です。しばらくお待ちください。 (* **は設定した用紙種類を表示します。)	☞ 3.4.5 用紙種類の設定手順
20	メテ ^{ィア} イニシャルチュウ		
21	カハ ^ー オーフ ^ン	フロントカバーが開いています。	☞ 3.4 用紙の取付け
22	メンテナンスカハ ^ー Lオーフ ^ン	製品左側のメンテナンスカバーが開いています。	☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃 ☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃
23	メンテナンスカハ ^ー Rオーフ ^ン	製品右側のメンテナンスカバーが開いています。	
24	[*****] S / C リート ^{チュウ}	S / C カードの読み取り中です。	—
25	メテ ^{ィア} ラセットシテクタ ^{サイ}	用紙セットレバーが上がっています。用紙をセットしてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
26	スリープ ^{モード} ヲカイシシマス カ?	スリープモードの開始待ち状態です。 [Enter] キーを押すと、スリープモードを実行します。	☞ 5.7 スリープモードメニュー
27	ENTER テ ^{サイ} カイシマス	スリープモード中です。 [Enter] キーを押すと、通常状態に戻ります。	☞ 5.7 スリープモードメニュー
28	ヘット ^{タカ} サイニシャルチュウ	ヘッド高さイニシャル動作中です。しばらくお待ちください。	☞ 3.4.5 用紙種類の設定手順
29	ヘンコウ: *. * mm →	メディア厚さ検出で測定された、ヘッド高さの設定値が表示されています。	☞ 3.4.5 用紙種類の設定手順
30	アツサ+ホセイ: *. *+O.O	ヘッド高さの設定値 (*. *) と、入力した補正值 (O.O) が、それぞれ表示されています。	☞ 3.4.5 用紙種類の設定手順
31	ヘッドレイキヤクチュウ	電源 OFF 操作時に、プリントヘッドが高温になっている場合はヘッドノズルが目詰まりしないようプリントヘッドを冷却します。ヘッド冷却終了後、操作パネルに「CR メンテナンス: Start」を表示します。	☞ 3.2.2 電源を OFF する方法

番号	表示	内容	参照
32	レハ [°] ーヲ カイジ [°] ヨシテクタ [°] サイ。	用紙セットレバーを上げてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
33	カラーターゲ [°] ット ヲ ソウチャクシ、レハ [°] ー ヲモト [°] シテクタ [°] サイ。	印刷済みのカラーターゲットをセットし、用紙セットレバーを下ろしてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
34	*** ソクシヨク モード [°] ***	プリンタがカラーターゲットを印刷、測定するモードになりました。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
35	ソクテイキ ノ トリツケ [ENTER]	分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の取付けを行います。[ENTER] キーを押してください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
36	シハ [°] ラク オマチクタ [°] サイ...	プリントヘッド部が移動中です。しばらくお待ちください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
37	ヒタ [°] リ ノ メンテナンスカバ [°] ー ヲ アケテクタ [°] サイ。	製品左側のメンテナンスカバーを開けてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
38	メンテナンスカバ [°] ー ヲ アケ、ホワイトフ [°] レート ヲ カクニンシテクタ [°] サイ。	ホワイトキャリブレーションに失敗しました。製品左側のメンテナンスカバーを開き、ホワイトリファレンスプレートが正しく取付けられているか確認してください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
39	コネクターキャップ [°] ヲトリハス [°] シ、ソクテイキ ヲトリツケテクタ [°] サイ。 [ENTER]	プリントヘッド部からコネクターキャップを取外し、分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) を取付けてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
40	ホワイトフ [°] レート ヲ トリツケ、メンテナンスカバ [°] ー ヲトシ [°] テクタ [°] サイ。	ホワイトリファレンスプレートを取付け、製品左側のメンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
41	インクカンソウチュウ	インク乾燥中です。表示が切り替わるまでしばらくお待ちください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
42	ソクテイ カイシ [ENTER]	カラーターゲットの測定を開始します。[ENTER] キーを押してください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
43	ソクテイチュウ...	カラーターゲットの測定中です。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
44	ソクテイキ ノ トリハス [°] シ [ENTER]	測定が完了しました。[ENTER] キーを押してください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
45	ヒタ [°] リ ノ メンテナンスカバ [°] ー ヲ アケテクタ [°] サイ。	製品左側のメンテナンスカバーを開いてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方

番号	表示	内容	参照
46	ソクテイキ ヲ トリハス ^シ 、コネク ターキャップ ^ヲ トリツケテクダ ^{サイ} 。 [ENTER]	分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) を 取外し、コネクターキャップを取付けて ください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
47	ホワイトプ ^{レート} ヲトリハス ^シ 、 メンテナンスカバ ^ー ヲトシ ^テ クダ サイ。	ホワイトリファレンスプレートをひく り返して取付け、メンテナンスカバーを 閉じてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
48	ソクテイキ ヲモウイチト ^ヲ トリツケ テクダ ^{サイ} 。[ENTER]	分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) が、 正しく取付けられていません。取付けな おしてください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方

参 考

- オプション機能用の表示で、Authorization Code による設定値が表示される場合があります。
詳細については以下のいずれかにお問い合わせください。
 - お買い求めの MUTOH 製品取扱店
 - MUTOH 各営業所
 - ☞ 8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

7.2.2 メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。メッセージ型エラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。動作が停止した場合、エラーの原因を取除くと、メッセージ型エラーは復旧し、本製品は動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	メテ ^ィ アニンシキエ ラー	用紙認識に失敗しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してく ださい。	☞ 3.4 用紙の取付 け
2	メテ ^ィ アシャコウエ ラー	用紙が斜行しました。 (動作を停止します)	用紙をセットし直してく ださい。	☞ 3.4 用紙の取付 け
3	ロールシエント ^ト	ロール紙がなくなりました。 (動作を停止します)	新しいロール紙をセット してください。	☞ 6.1.2 ロール紙 の交換
4	[*****] S / C インクスクナイ	インクの残量が少なくな りました。 (動作を継続します)	新しい S/C カードおよび インクパックに交換して ください。	☞ 6.1.1 インク パックの交換
5	[*****] S / C インクナシ	インクがなくなりました。 (動作を停止します)	新しい S/C カードおよび インクパックに交換して ください。	☞ 6.1.1 インク パックの交換

番号	表示	内容	対策	参照
6	[*****] S / C カード ナシ	S/C カードが挿入されていません。 (動作を停止します)	S/C カードを挿入してください。	☞ 3.3 インクパックの取付け
7	[*****] Not Original	<ul style="list-style-type: none"> 純正品の S/C カードが挿入されていません。 S/C カードの挿入位置が間違っています。 S/C カードの情報読取りに失敗しました。 (動作を停止します) 	<ul style="list-style-type: none"> 純正品の S/C カードを挿入してください。 S/C カードを正しい位置に挿入してください。 S/C カードを挿入し直してください。 	☞ 6.1.1 インクパックの交換
8	ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました。 (動作を停止します)	廃液を処理してください。	☞ 6.3 廃液の処理
9	シ ュミヨウ カクニン [ヘッド]	プリントヘッドの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞ 8.4 ユーザサポート
10	シ ュミヨウ カクニン [ポンプ]	ポンプモータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞ 8.4 ユーザサポート
11	シ ュミヨウ カクニン [CR モータ]	CR モータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞ 8.4 ユーザサポート
12	シ ュミヨウ カクニン [PF モータ]	PF モータの寿命が近づいています。 (動作を継続します)	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。	☞ 8.4 ユーザサポート
13	スリープ モード ラ カシテ キマセン	製品が正常な状態になっていないため、スリープモードが実行できません。 (動作を停止します)	製品を正常な状態に戻してください。	☞ 5.7.1 タイマーセットメニュー ☞ 5.7.2 スリープモードスタートメニュー
14	ソクシヨクモード エ ラー (マキトリセッテイ)	巻取り装置メニューの設定が、「Type1」になっています。	設定を「Off」に変更してください。	☞ 5.1.7 巻取り装置メニュー
15	ソクシヨクモード エ ラー (メデアケンシュツ)	メディア検出メニューの設定が「Off」になっています。	設定を「Height+Width」または、「Height + T&W」に変更してください。	☞ 5.1.5 メディア検出メニュー
16	ソクシヨクモード エ ラー (ヨウシハバ)	取付けられている用紙の幅が、測定するカラーターゲットと一致していません。	現在セットされている用紙を外し、正しいカラーターゲットをセットしてください。	☞ 3.4 用紙の取付け
17	ソクシヨクモード エ ラー (コマント)	RIP ソフトから送信されたコマンドのパラメータに異常があります。	RIP ソフトのカラーキャリブレーションやカラープロファイリングの設定を確認してください。	—

番号	表示	内容	対策	参照
18	ソクシヨクモード ^o エラー (ヨウシエント ^o)	カラーターゲットの印刷中や測定中に、用紙がなくなりました。	新しい用紙をセットし、もう一度最初からカラーターゲットの印刷と測定を行ってください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
19	ソクシヨクモード ^o エラー (カバーオープン)	カラーターゲットの測定中に、カバーが開きました。	フロントカバーおよび、本体左右のメンテナンスカバーを閉じてください。	☞ 3.4 用紙の取付け ☞ 6.2.4.1 クリーニングワイパユニットの清掃 ☞ 6.2.4.2 プリントヘッド外周の清掃
20	ソクシヨクモード ^o エラー (レバーアップ ^o)	カラーターゲットの印刷中や測定中に、用紙セットレバーが上がりました。	印刷や測定は中止されま す。もう一度最初からカラーターゲットの印刷と測定を行ってください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
21	ソクシヨクモード ^o エラー (ツウシン)	カラーターゲットの印刷中や測定中に、コンピュータとの通信エラーが発生しました。	プリンタとコンピュータとの通信条件を確認してください。	☞ 3.7 コンピュータとの接続
22	ソクシヨクモード ^o エラー (ソクテイキ)	カラーターゲットの測定中に、分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) との通信エラーが発生しました。	プリンタと分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の接続を確認してください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
23	ソクシヨクモード ^o エラー (キャンセル)	カラーターゲットの印刷や測定が、操作パネルまたは RIP ソフトからキャンセルされました。	もう一度最初からカラーターゲットの印刷と測定を行ってください。	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方
24	ソクシヨクモード ^o エラー (ホワイトキャリブレーション)	ホワイトキャリブレーションに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 本体左側のメンテナンスカバーを開き、ホワイトリファレンスプレートを正しく取付けなおしてください。 • ホワイトリファレンスプレートが汚れている場合は、水分を含ませて良く絞った柔らかい布で清掃してください。 • もう一度最初からカラーターゲットの印刷と測定を行ってください。 • 問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。 	☞ 4.5 分光光度計 (SPECTROVUE VM-10) の使い方 ☞ 8.4 ユーザサポート

番号	表示	内容	対策	参照
25	[****] S / C リードエラー	S/C カードの読み取りに失敗しました。	S/C カードを挿し直してください。それでも正常に読み取れない場合は、新しい S/C カードを挿入してください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換
26	[****] S / C カラエラー	S/C カードが、間違ったスロットに挿入されています。	S/C カードを（必要な場合はインクパックも）正しいスロットに挿入しなおしてください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換
27	[*] S / C インクエラー	本製品で使用できない種類の S/C カードが挿入されています。もしくは複数の種類の S/C カードが混在しています。	指定の S/C カードを、他の種類の S/C カードと混在させずに挿入してください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換
28	[*] S / C コードエラー	適切でない S/C カードが挿入されています。	お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。	☞ 8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口
29	[*] ハソシタチップ	S/C カードが破損しています。	新しい S/C カードに交換してください。	☞ 6.1.1 インクパックの交換

注 記

- エラー表示の [*****] は警告対象のインク色を示します。全てのインクが該当する場合は [ALL] と表示されます。
- インク無しとカード無しが同時に発生したときはカード無し表示を優先します。

7.2.3 データエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、データエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。データエラーとは、コンピュータと本製品とのデータ通信上の障害が発生した場合に表示されます。

データエラーが発生すると、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取除くと、データエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	I **** エラー []	データ受信中にエラーが発生しました。	プリンタとコンピュータとの通信条件を確認してください。	☞ 4.3 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

7.2.4 コマンドエラー表示と対処方法

本製品の動作中に、コマンドエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

コマンドエラーとは、コンピュータから本製品に送信されたコマンドデータの解析中に、何らかの障害が発生した場合に表示されます。

コマンドエラーが発生した場合、本製品は操作パネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止します。

エラーの原因を取除くと、コマンドエラーは復旧し、本製品は作画動作を再開します。

番号	表示	内容	対策	参照
1	MH ** エラー []	コンピュータから不正なコマンドデータが送信されました。	コンピュータとプリンタのコマンド設定が合っているか確認してください。	【図】4.3 操作パネルのメニュー設定

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- []内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

7.2.5 再起動が必要なエラー

本製品の動作中に、再起動が必要なエラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 本製品の駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 本製品の電気回路（基板、モータ、センサ等）が故障した場合
- 本製品の制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。

3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、ブザー音は鳴り止みます。
再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取除き、本製品を再起動すると復旧します。
もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH テクニカルサポート窓口までご連絡ください。
連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

注 記

- 「E 153エラー FL ホックスタカサ」が表示された場合は、下記に従って復帰作業を行ってください。
☞7.4 フラッシングボックス高さエラー復帰手順

番号	表示	内容	対策	参照
1	E ***エラー ○○○ ○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。	1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取除いてください。 2. 交換した部品が正しく取付けられているか確認してください。 3. プリンタの電源をオフにして、10 秒以上たってから再度電源をオンにしてください。	☞7.3 メディアが詰まった場合 ☞6.1 消耗品の交換

注 記

- エラーメッセージの「***」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。
- コンピュータ側の設定は、お使いのコンピュータに付属の取扱説明書を参照してください。

7.3 メディアが詰まった場合

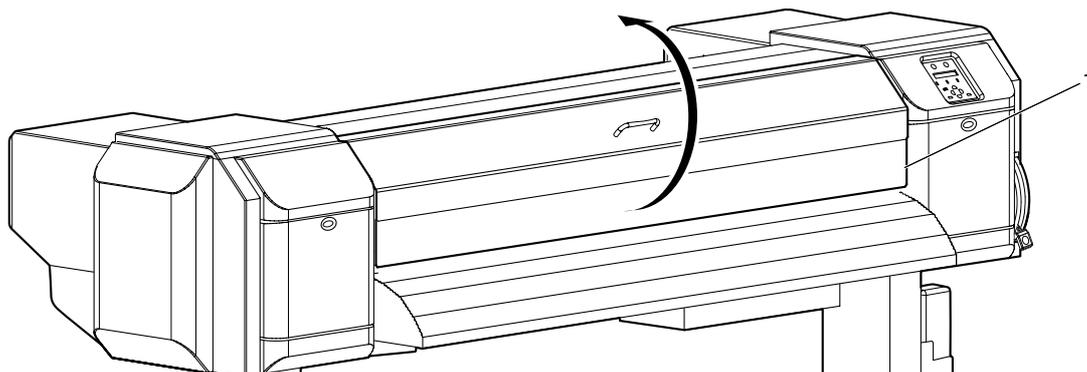
セットしたメディアが詰まった場合は、以下の手順に従って、用紙を取除いてください。

7.3.1 厚物メディアを取除く方法

厚物メディアが詰まった場合は、「8.4.3 保守・修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

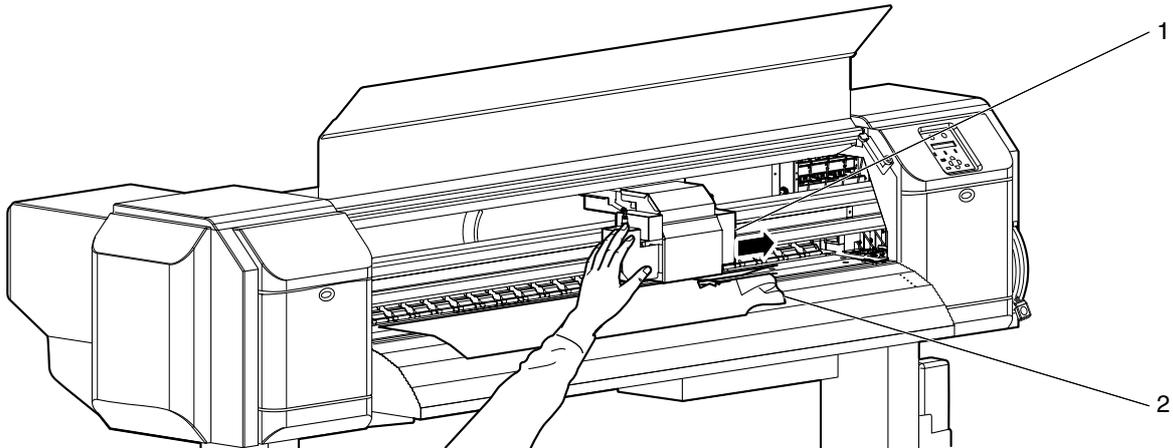
7.3.2 ロール紙を取除く方法

1. 製品の電源を OFF します。
☞ 3.2.2 電源を OFF する方法
2. フロントカバーを開けます。



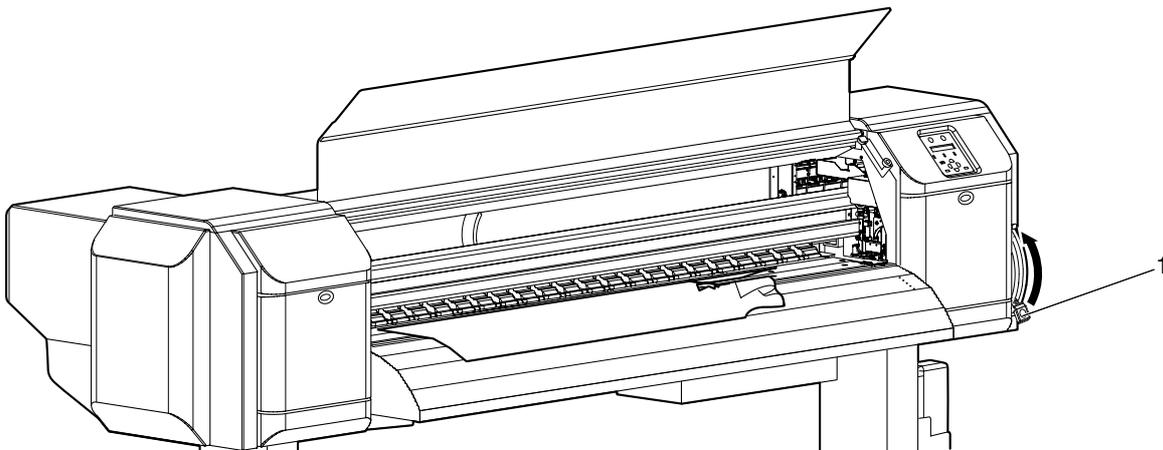
番号	名称
1	フロントカバー

3. プリントヘッド部を用紙上から右へ移動させます。



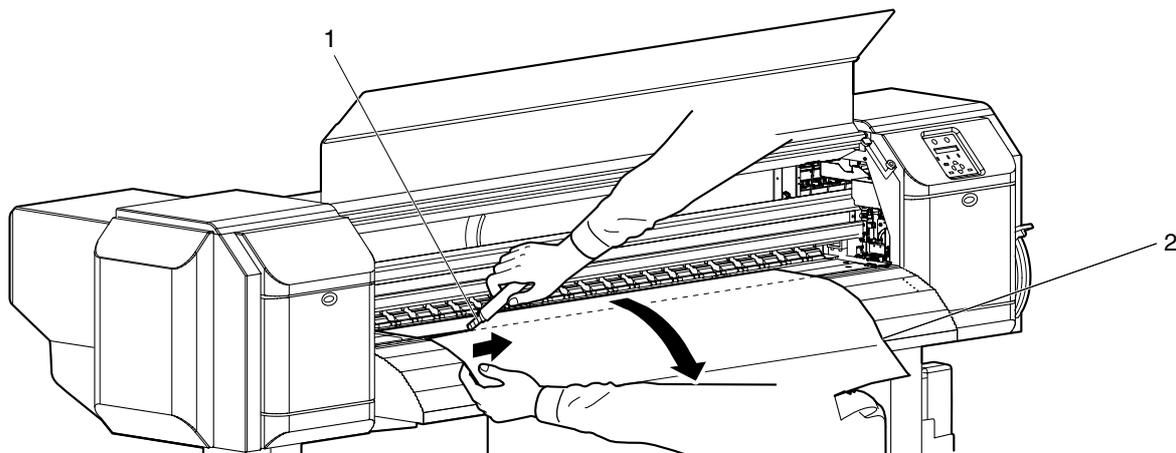
番号	名称
1	プリントヘッド部
2	ロール紙

4. 用紙セットレバーを上げます。



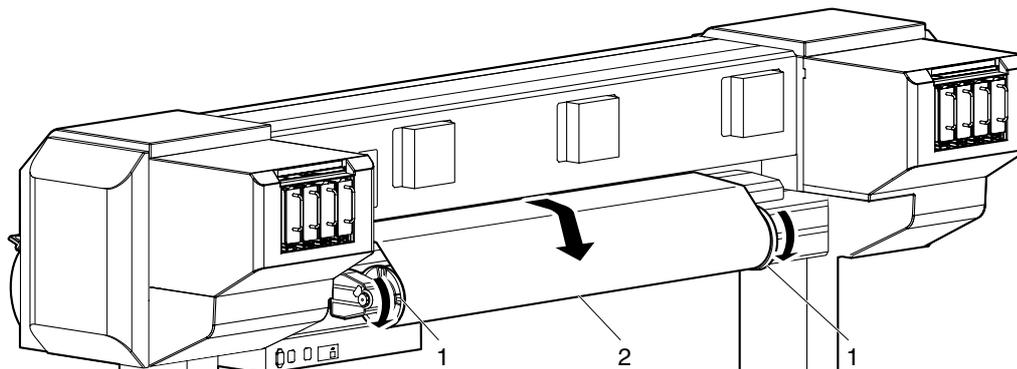
番号	名称
1	用紙セットレバー

5. 用紙を手前側に引出して、破れた部分をカッターナイフ等でカットします。



番号	名称
1	カッターナイフ
2	ロール紙

6. ロール紙受けのフランジを回して、ロール紙を巻取ります。



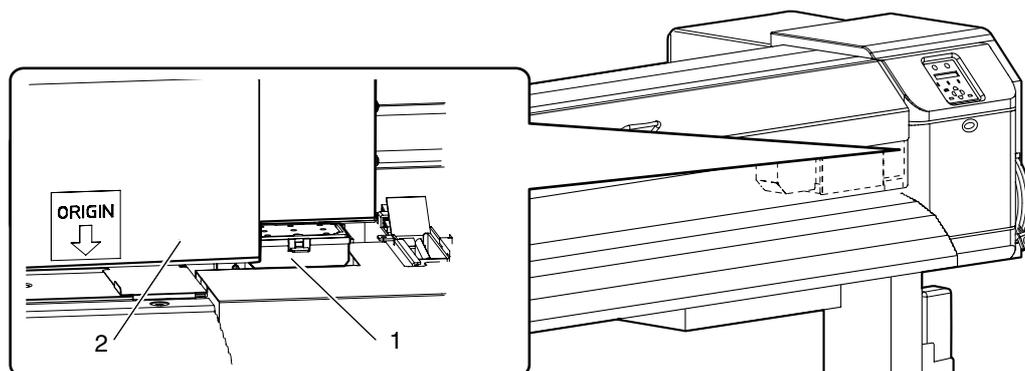
番号	名称
1	フランジ
2	ロール紙

7. 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取除きます。

7.4 フラッシングボックス高さエラー復帰手順

フラッシングボックスの高さがヘッド高さとは合っていない場合、フラッシングボックスとプリントヘッド部が干渉し、操作パネルに下記のエラーメッセージが表示されます。

E153エラー FLボックススタカサ



番号	名称
1	フラッシングボックス
2	プリントヘッド部

このような場合は、以下の手順に従って、復帰作業を行ってください。

1. プリンタを再起動します。

☞ 3.2 電源を ON/OFF する方法

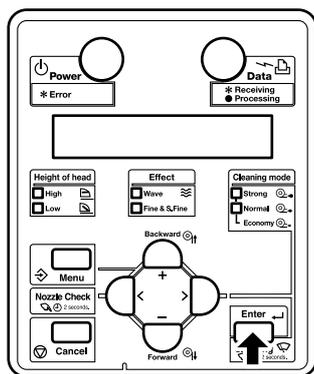
- 操作パネルに「FLBOX エラー フックユウ→Yes」と表示されます。

FLBOX エラー フックユウ→Yes

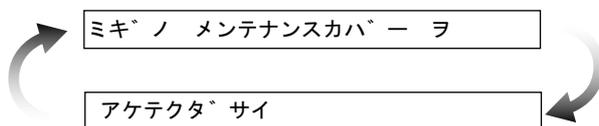
注記

- このメッセージは、紙詰まりなどの場合にも表示されることがあります。その場合は、[+]キー / [-]キーで「No」を選択し、[Enter]キーを押します。

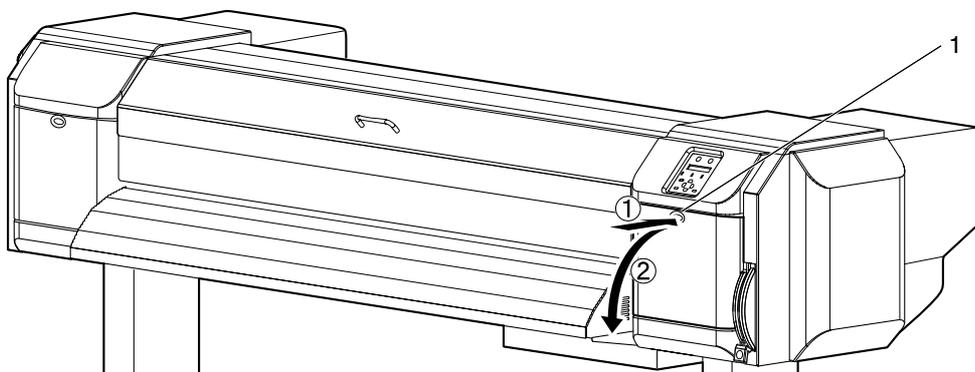
2. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「ミキ ノ メンテナンスカバー ヲ アケテクタ サイ」と表示されます。

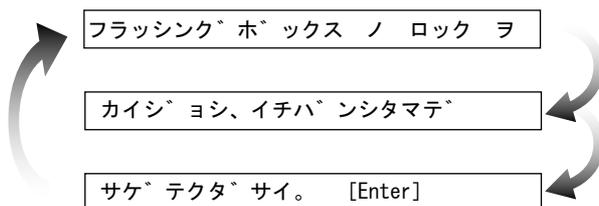


3. 右側のメンテナンスカバーを開きます。



番号	名称
1	メンテナンスカバー

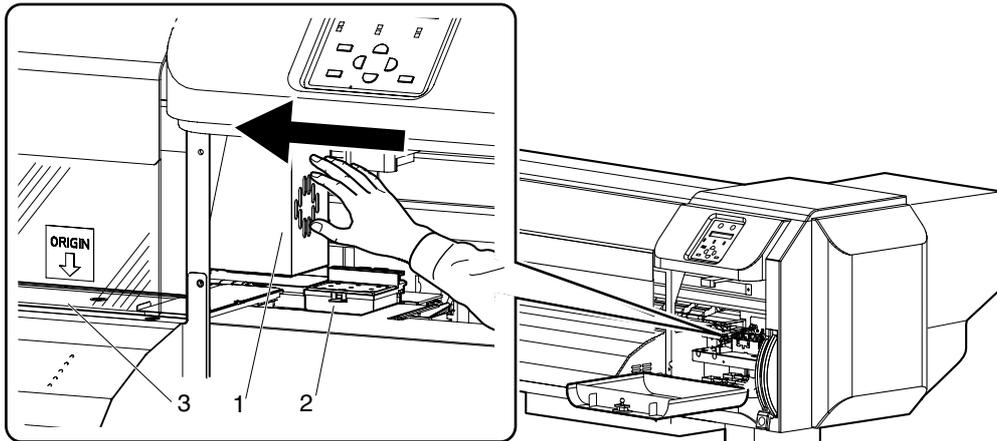
- 操作パネルに「フラッシング ホックス ノ ロック ヲ カイジ ョシ、イチバンシタマテ サケ テクタ サイ。 [Enter]」と表示されます。



4. 復帰手順を実行するため、プリントヘッド部をプラテン上へ移動させ、フラッシングボックスが露出した状態にします。

▲ 注意

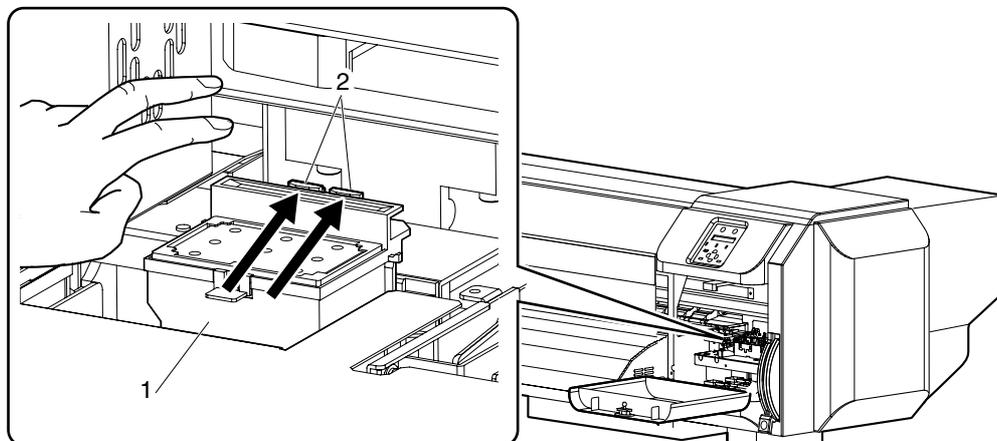
長時間印刷を行った直後はプリントヘッド部が熱くなっており、すぐに本作業を行うと、やけどのおそれがあります。十分プリントヘッド部を冷ましてから作業をおこなってください。



番号	名称
1	プリントヘッド部
2	フラッシングボックス
3	プラテン

5. フラッシングボックスの背面側のレバー（2個）を同時に押します。

- フラッシングボックスが下まで下がります。



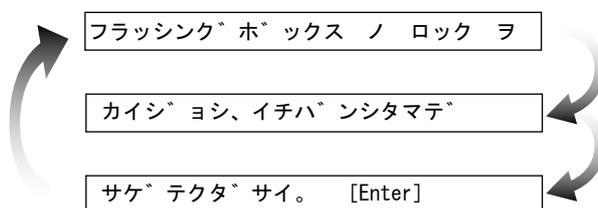
番号	名称
1	フラッシングボックス
2	レバー

⚠ 注意

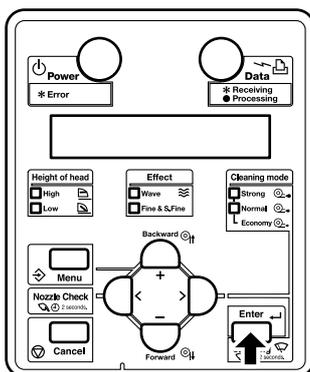
- レバーは折れやすいため、強い力で押さないでください。

6. もう一度レバーを押して、フラッシングボックスが一番下まで下がっているか確認します。

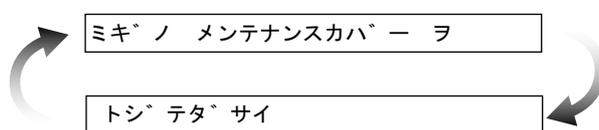
- 操作パネルには「フラッシングボックス ノ ロック ヲ カイシ ョシ、イチハンシタマテ サケ テクタ サイ。 [Enter]」と表示されています。



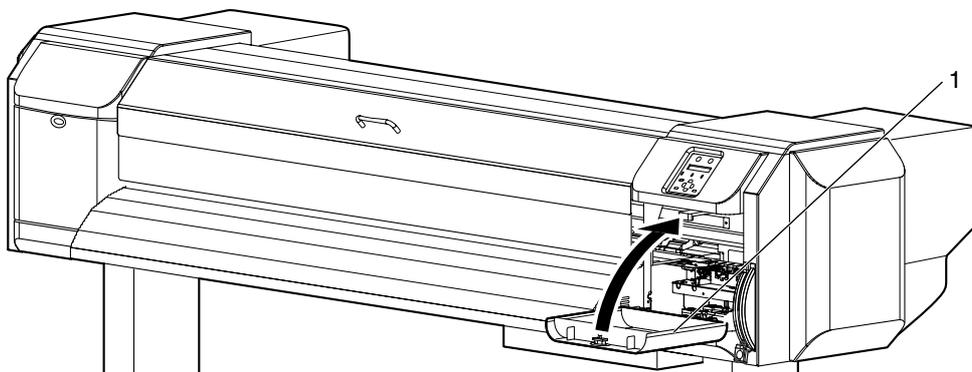
7. 操作パネルの [Enter] キーを押します。



- 操作パネルに「ミキ`ノ` メンテナンスカバー` ヲ` トジ` テクダ` サイ」と表示されます。



8. 右側のメンテナンスカバーを閉じます。



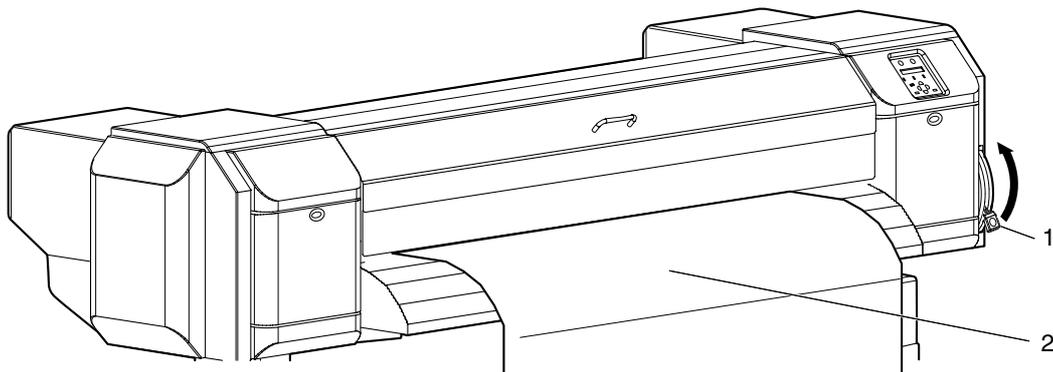
番号	名称
1	メンテナンスカバー

- 用紙がセットされている場合、操作パネルに「レバ`ー`ヲ`カイジ` ヨシ、メテ` ィア` ヲ` トリノゾ` イテクダ` サイ」と表示されます。



- 用紙がセットされていない場合は、「イニシャルチュウ」表示の後、「メテ` ィア` ナシ」と表示されます。手順を終了します。

9. 用紙セットレバーを解除し、用紙を取り除いてください。

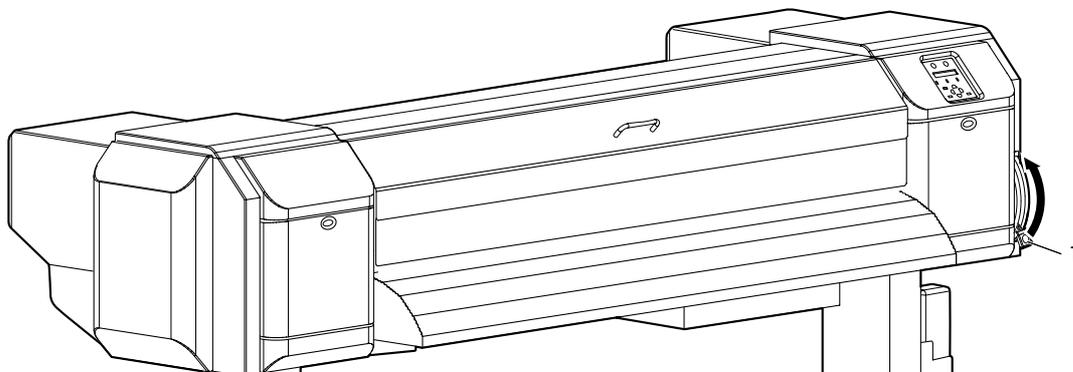


番号	名称
1	用紙セットレバー
2	用紙

- 操作パネルに「レバーヲモトメシテクダサイ」と表示されます。

レバーヲモトメシテクダサイ

10. 用紙セットレバーを戻します。



番号	名称
1	用紙セットレバー

- 操作パネルに「シバラクオマチクダサイ...」と表示されます。
- 操作パネルに「イニシャルチュウ」と表示され、製品は初期動作を開始します。
- 初期動作が終了すると、操作パネルに「メデアアナシ」と表示されます。

8 付録

この章では、本製品の各仕様、オプション・サプライ用品、ユーザサポートについて説明します。

8.1 製品仕様

8.1.1 本体仕様

項目		仕様
型式名称		VJ-1608HS
作画方式		オンデマンドピエゾ駆動方式
駆動方式		ファームウェアサーボ / DC モータ駆動
用紙搬送方式		多点加圧グリッドローラ方式
用紙固定方式		手動レバーによる加圧ローラダウン方式
用紙給排紙		ロール紙：後方給紙 / 前方排紙 厚物メディア：後方給紙 / 前方排紙
厚物メディア	重量	5kg 以下
	最大長	1200mm
	最大幅	1600mm
	最大厚さ	10mm (反り 1mm 以下)
	最大作画幅	1590mm
ロール紙	外径	150mm 以下
	紙管径	3 インチ
	重量	30kg 以下
	最大幅	1625mm
	最大厚さ	0.3mm
	最大作画幅	1615mm
作画マージン		<厚物メディア> 前：最大 15mm、後：最大 52mm、左：5mm ~ 25mm、右：5mm ~ 25mm <ロール紙> 前：最大 15mm (連続作画時 5mm)、後：5mm (用紙終端は最大 52mm)、左：5mm ~ 25mm、右：5mm ~ 25mm
用紙カット方式		横切りマニュアルカット方式
ヘッド高さ調整		自動高さ調整
CPU		64Bit RISC CPU
メモリ		128MB
コマンド		MH-RTL (RTL-PASS)
インターフェイス		ネットワーク・インターフェイス (Ethernet IEEE802.3)
インク	供給方式	4色独立インクバック (8個) からのチューブ供給方式
	インクバック	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー：各色 880ml + 5/-0ml

項目		仕様
環境条件	動作環境	温度：20°C～32°C 湿度：40%～60%、結露なきこと
	作画精度保証範囲	温度：22°C～30°C 湿度：40%～60%、結露なきこと
	変化率	温度：1時間あたり2°C以内 湿度：1時間あたり5%以内
	保存環境（インク 充填時）	温度：-10°C～35°C 湿度：20%～80%、結露なきこと 保存期限：1週間以内（1週間以上使用しない場合、1週間ごとにク リーニングおよびデイリーメンテナンスを行うこと） *32°C以上の場合は4日以内
電源	電圧	AC 90V～132V
	周波数	50Hz / 60Hz ± 1Hz
消費電力	作画時	MAIN 側：850W（ヒーター ON 時）※ヒーターウォームアップ時は 1100W HEATER1 側：最大 1200W（ヒーター ON 時） HEATER2 側：最大 1100W（ヒーター ON 時）
	待機時	MAIN 側：100W 以下（待機ヒート OFF 時） HEATER1 側：1W 以下（待機ヒート OFF 時） HEATER2 側：1W 以下（待機ヒート OFF 時）
外径寸法	高さ	1256mm（専用スタンド含む）
	幅	2698mm
	奥行き	2610mm（搬送台含む） 984mm（本体のみ）
質量		230kg（専用スタンド含む）

8.2 インターフェイス仕様

本製品でサポートしている各種インターフェイスの仕様について説明します。

8.2.1 ネットワーク・インターフェース仕様

項目	仕様
ネットワークタイプ	Ethernet IEEE802.3
ネットワーク I/F	10BASE-T / 100BASE-TX 自動切替え式 (RJ-45 コネクタ ツイストペアケーブル) MDI / MDI-X 自動切替え
対応プロトコル	TCP/IP

8.3 オプション・サプライ用品リスト

8.3.1 オプション

参 考

- 以下のオプションの詳細については、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
 - 搬送台
 - 巻取り装置
 - ソフトウェアサーバ RIP
☎8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

8.3.2 サプライ用品

(1) インクパック

注 記

- インクおよび洗浄液の詳細については、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
☎8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

(2) ロール紙

注 記

- 推奨用紙の詳細については、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
☎8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口
- 推奨用紙以外の用紙の使用が原因となって発生した諸問題については、保証対象外となります。

(3) その他サプライ用品

名称	型番	販売単位
廃液ボトル	RJ8000-HET	1 箱 (1 個入り)

注 記

- 以下のサプライ品の詳細については お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
 - クリーンスティック
 - プラスチックカップ
 - スポイト
 - フラッシングボックス用吸収材

☎8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

8.4 ユーザサポート

8.4.1 製品に関するお問い合わせ窓口

MUTOH 製品やオプション（別売品）、サプライ用品に関するお問い合わせは、以下の武藤工業（株）の各営業所が承ります。

- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：AM8:30～12:00、PM1:00～5:30

MUTOH 製品、オプション（別売品）、サプライ用品のご注文に関しましては、最寄りの MUTOH 製品販売店、もしくは以下の武藤工業（株）の各営業所までご用命ください。

拠点名	住所	電話番号	FAX 番号
北海道営業所	〒060-0033 北海道札幌市中央区北3条東7丁目346-1 インペリアル3・7 1F	(011)261-8810	(011)261-6207
東北営業所	〒983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田3丁目18-25	(022)283-6181	(022)283-6196
首都圏営業所	〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3	(03)6758-7002	(03)6758-7011
中部営業所	〒464-0055 愛知県名古屋市中区千種区姫池通2-8	(052)761-5171	(052)762-5190
関西営業所	〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町1-1-8 第一火災千里中央ビル1F	(06)6871-8601	(06)6871-8091
中・四国営業所	〒733-0001 広島県広島市西区大芝町3-15-9	(082)237-2541	(082)237-2387
九州営業所	〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂2-4-9	(092)441-0316	(092)441-3980

8.4.2 テクニカルサポート連絡窓口

プリンタの運用で技術的に困りのことがございましたら、取扱説明書巻末の「技術サポートお問い合わせシート」を用いて、以下の連絡先まで FAX にてご相談ください。

MUTOH カスタマサポート

- 住所：〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3
- TEL：☎0120-174911
- FAX：☎0120-184711
- E-mail：gsup@mutoh.co.jp
- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：AM9:00～12:00、PM1:00～5:00

8.4.3 保守・修理に関するお問い合わせ窓口

保守および修理についてのお問い合わせは、最寄りの武藤工業（株）の各営業所が承ります。

- 営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
- 受付時間：AM8:30～12:00、PM1:00～5:30

拠点名	住所	電話番号	FAX 番号
北海道営業所	〒060-0033 北海道札幌市中央区北3条東7丁目346-1 インペリアル3・7 1F	(011)261-8810	(011)261-6207
東北営業所	〒983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田3丁目18-25	(022)283-6190	(022)283-6196
首都圏営業所	〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3	(03)6758-7003	(03)6758-7011
中部営業所	〒464-0055 愛知県名古屋市中千種区姫池通2-8	(052)751-7321	(052)751-7345
関西営業所	〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町1-1-8 第一火災千里中央ビル1F	(06)6871-8611	(06)6871-8091
中・四国営業所	〒733-0001 広島県広島市西区大芝町3-15-9	(082)230-2116	(082)237-2387
九州営業所	〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂2-4-9	(092)451-6318	(092)441-3980

索引

<記号>

[<] キー	2-7
[>] キー	2-7
[+] キー	2-7
[-] キー	2-7

<数字>

3 芯 2 芯変換コネクタ	3-6
3 芯プラグ	3-5

< A >

AC インレット	2-5
----------------	-----

< B >

[Backward↑] キー	2-7
----------------------	-----

< C >

[Cancel] キー	2-7
[Cleaning] キー	2-7
CR 作画移動幅メニュー	5-23
CR メンテナンスメニュー	5-31, 6-12

< D >

Data ランプ	2-8
----------------	-----

< E >

[Enter] キー	2-7
------------------	-----

< F >

Fine & S.Fine ランプ	2-8
[Forward↓] キー	2-7

< H >

High ランプ	2-8
----------------	-----

< I >

IP アドレスメニュー	5-32
IP アドレスの設定	3-94

< L >

Low ランプ	2-8
---------------	-----

< M >

[Menu] キー	2-7
MUTOH カスタマサポート	8-7

< N >

Normal ランプ	2-8
[Nozzle Check] キー	2-7

< P >

[Power] キー	2-7
Power ランプ	2-8

< S >

S/C カード	2-5
S/C カードスロット	2-5
Strong ランプ	2-8

< W >

Wave ランプ	2-8
----------------	-----

< あ >

アース端子	3-4
アジャスタ	2-4
厚物メディア	3-25
厚物メディアのセット	3-25
厚物メディアを使用する場合	3-24
厚物メディアを取除く方法	7-19
アパーチャコーン	2-9
アフターヒーター温度の設定	4-16

アフターヒーターメニュー	5-12
安全遵守事項	1-9
安全に関する事項	1-7

<い>

移動の方法	6-39
インクステータスメニュー	5-28
インクパックスロット	2-5
インクパックの交換	6-2
インクパックの取付け	3-11
インターフェイス仕様	8-4

<え>

エアーヒーター	2-4
エアーヒーターの使用方法	4-33
エアーヒーターメニュー	5-13
エアーヒーター温度の設定	4-19
液晶表示部	2-8
エフェクトメニュー	5-14

<お>

オートクリーニングメニュー	5-25
オプション	8-5

<か>

加圧ローラ	2-4
各種ヒーターの設定	4-9
重ね描きウェイトメニュー	5-24
重ね描き回数メニュー	5-24
カラーベリファイ	3-70
簡易選択メニュー	5-39
画質微調整	3-84

<き>

給紙スロット	2-5
吸着ファンメニュー	5-13

<<>

クリーニングメニュー	5-38
クリーニングワイパユニットの清掃	6-29

クリーニングワイパユニット・プリントヘッド 外周の清掃	6-26
グリッドローラ	6-24

<け>

警告用語	1-8
警告ラベル	1-13
原点設定メニュー	5-21
ゲートウェイの設定	3-99
ゲートウェイメニュー	5-33

<こ>

後端処理メニュー	5-34
コネクター	2-10, 2-4
コマンドエラー表示	7-17
コンピュータとの接続	3-92

<さ>

再起動が必要なエラー	7-17
サイドマージンメニュー	4-30, 5-17
作画開始前オートクリーニング	5-27
作画後オートクリーニングメニュー	5-27
作画中オートクリーニング	5-26
作画中に変更・確認できる設定値	4-46
作画中の設定値変更・確認	4-45
作画中の設定値変更・確認手順	4-45
作画の一時停止	4-47
作画の中断	4-42
作画品質	4-3
作画までの流れ	4-2
作画モードメニュー	3-84, 5-7
作画領域	4-6
サブネットマスクメニュー	5-33
サブメニュー	4-39
サブライ用品	8-5
サブネットマスクの設定	3-96

<し>

システム条件	3-92
斜行チェックメニュー	5-25
使用前の準備	3-1
正面部	2-3
消耗品の交換	6-2

初期化メニュー	5-31
寿命確認メニュー	5-32

<す>

推奨用紙	4-4
水平固定ネジ	3-34
ステータス LED	2-9, 2-10
ステータス LED の状態表示	2-10
スリープモードスタートメニュー	5-44
スリープモードメニュー	5-42

<せ>

製品外装の清掃	6-22
製品仕様	8-2
製品内部の清掃	6-23
製品に関するお問い合わせ窓口	8-7
製品の概要	2-1
接続ケーブルの準備	3-92
設定内容作画	3-67
設定メニュー	5-1, 5-2
設定メニュー表示状態	2-11
先端処理メニュー	5-35
専用スタンド	2-3

<そ>

操作キー部	2-7
操作パネル	2-6
操作パネルのメニュー設定	4-38
操作方法	2-6

<た>

待機オートクリーニング	5-26
待機ヒートメニュー	5-12
タイマーセットメニュー	5-43

<ち>

致命的な障害	7-17
調整作画メニュー	3-88, 5-37

<つ>

通常状態	2-11
------------	------

<て>

テクニカルサポート連絡窓口	8-7
テスト作画	3-62
テスト作画メニュー	3-62, 5-36
電源ケーブル	2-5
電源ケーブルの接続	3-2
電源を OFF する方法	3-7
電源を ON/OFF する方法	3-7
電源を ON する方法	3-7
電磁弁ユニット	2-5
データエラー表示	7-16

<と>

特長	2-2
トラブルシューティング	7-1
取扱説明書	1-8
動作状態	2-7
動作状態の切替え方法	2-11
動作状態表示	7-10

<ね>

ネットワーク・インターフェイス ケーブル	2-5
ネットワーク・インターフェイスケーブルの 接続	3-93
ネットワーク・インターフェイス コネクタ	2-5

<の>

ノズルチェック	3-65
---------------	------

<は>

廃液コック	2-5, 6-38
廃液タンク	2-5
廃液の処理	6-37
背面部	2-5
貼付き防止メニュー	5-22
搬送台	3-24, 3-33, 3-36

搬送台 F	2-4
搬送台 R	2-5
搬送台の取外し	3-32
バージョンメニュー	5-41
パネル設定メニュー	5-1
パネル設定メニューの概要	4-38
パワーオフクリーニングメニュー	5-35
パワーオンクリーニングメニュー	5-34
パレット作画	3-69

<ふ>

フラッシングボックス高さエラー 復帰手順	7-22
フラッシングボックス用吸収材の交換	6-11
フラッシングメニュー	5-16
フラッシングリターン回数メニュー	5-16
フロントカバー	2-3
分光光度計	2-9
分光光度計の使い方	4-48
プラテン	2-4
プラテンヒーター温度の設定	4-13
プラテンヒーターメニュー	5-11
プリヒーター温度の設定	4-10
プリヒーターメニュー	5-10
プリントヘッド外周の清掃	6-33

<へ>

ヘッドクリーニング	6-25
ヘッド洗浄メニュー	5-30
ヘッド高さイニシャル動作	3-48
ヘッド高さ調整	4-6
ペン色	5-36

<ほ>

保守・修理に関するお問い合わせ窓口	8-8
-------------------------	-----

<ま>

巻取り装置メニュー	5-20
-----------------	------

<め>

メッセージ型エラー表示	7-13
メディア厚補正メニュー	4-7, 5-14

メディアアフターヒートメニュー	5-23
メディアが詰まった場合	7-19
メディア検出が、メディア厚さを検出しない 設定の場合	3-54
メディア検出が、メディア厚さを検出する 設定の場合	3-51
メディア幅・幅確認メニュー	5-19
メディアヒートメニュー	5-22
メディアプリヒートメニュー	5-23
メディア検出メニュー	5-17
メニュー設定手順	4-38
メンテナンスカバー	2-4
メンテナンス処理	6-14, 6-27

<も>

モードプリント	3-66
---------------	------

<ゆ>

ユーザ用紙メニュー	5-5
輸送の方法	6-41

<よ>

用紙イニシャル動作	3-50
用紙送り	4-41
用紙送り補正	4-23
用紙送り補正值の調整手順	4-25
用紙送り補正メニュー	4-25, 5-8
用紙押さえプレート	2-4
用紙押さえプレートの使用方法	4-30
用紙加圧力の調整手順	4-23
用紙ガイド	2-3, 2-5
用紙カット溝	2-4, 4-44
用紙種類	4-4
用紙種類設定メニュー	3-47
用紙種類の設定手順	3-47
用紙種類メニュー	5-4
用紙種類メニューからの用紙種類の 変更手順	3-51
用紙セットレバー	2-3
用紙のカット	4-43
用紙の取扱上の注意	4-5
用紙の取付け	3-24
用紙の保管時の注意	4-5

<り>

リリースボタン2-9

<ろ>

ロール紙8-5

ロール紙受け2-5

ロール紙長さ設定メニュー5-28

ロール紙長さメニュー5-29

ロール紙の交換6-8

ロール紙のセット方法3-41

ロール紙の取付け3-36

ロール紙を使用する場合3-24

ロール紙を取除く方法7-19

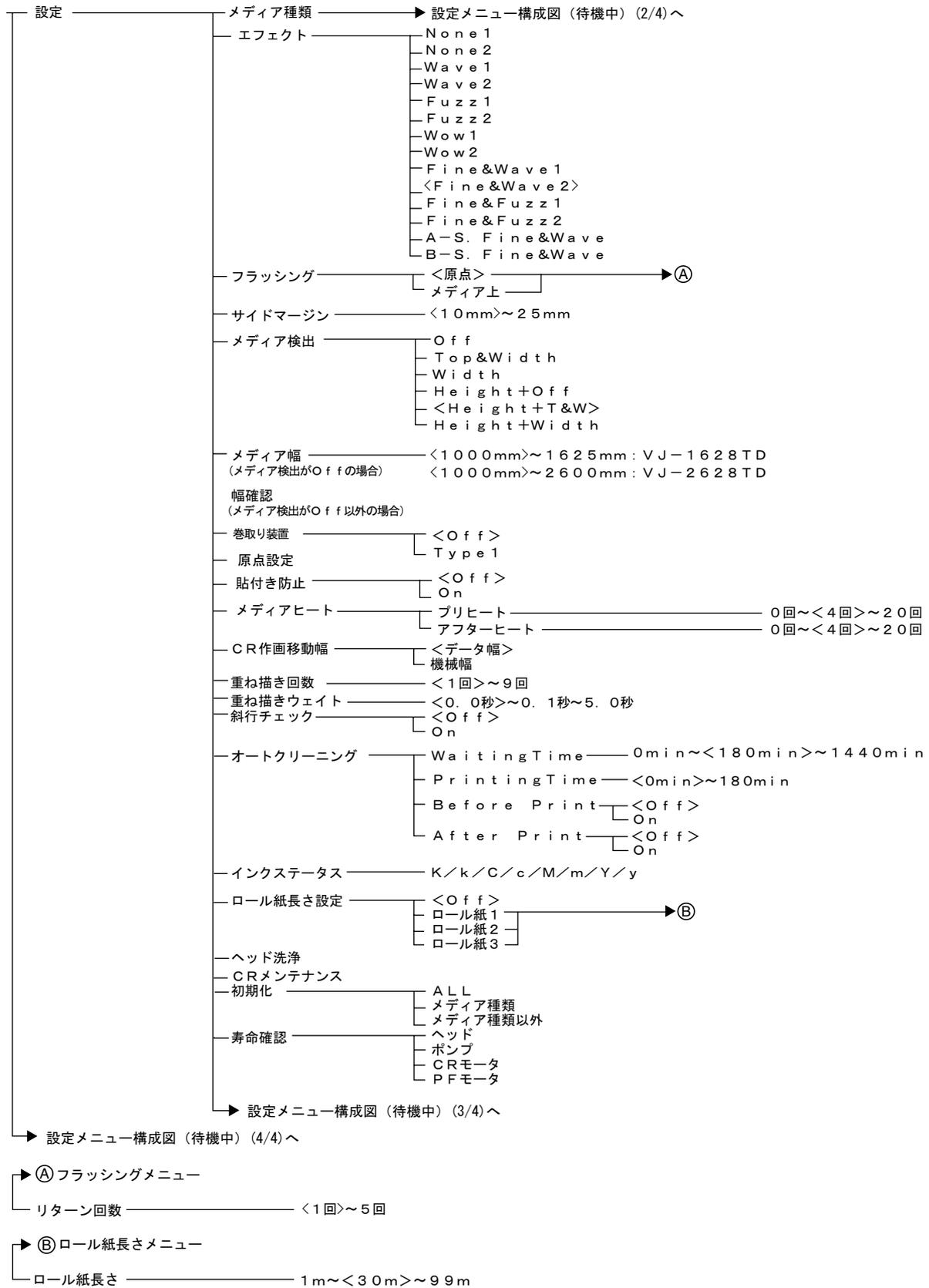
設定メニュー構成図

設定メニュー構成図については、以下を参照してください。

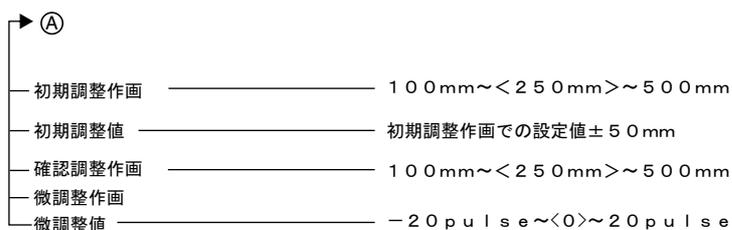
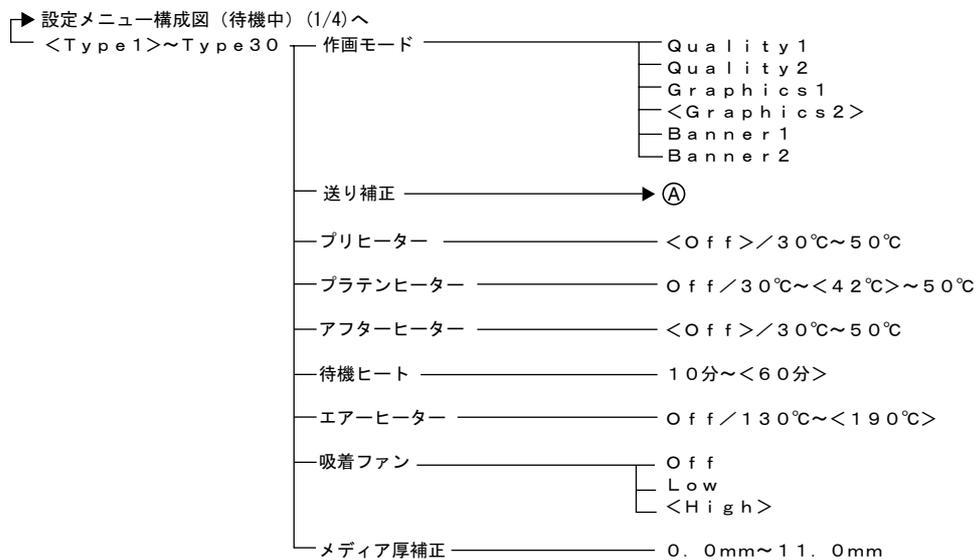
注 記

- 各設定項目の詳細については、以下を参照してください。
 - 設定メニュー（待機中）：
☞5 「パネル設定メニュー」
 - 設定メニュー（データ受信・データ解析中・作画中）：
☞4.4.4 作画中の設定値変更・確認
- < > 部は、工場出荷時の設定値（初期値）です。

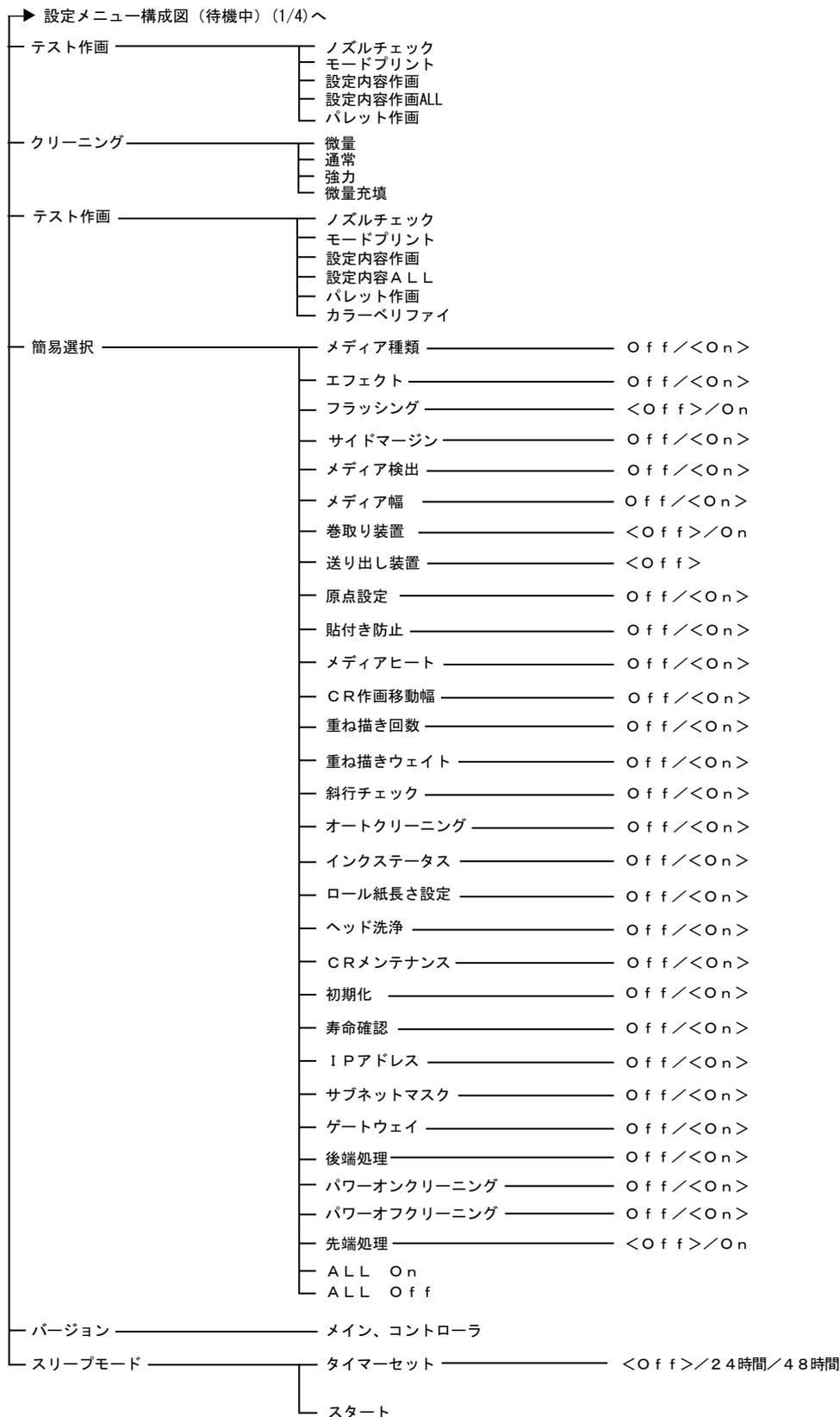
設定メニュー構成図 (待機中) (1/4)



設定メニュー構成図（待機中）（2/4）

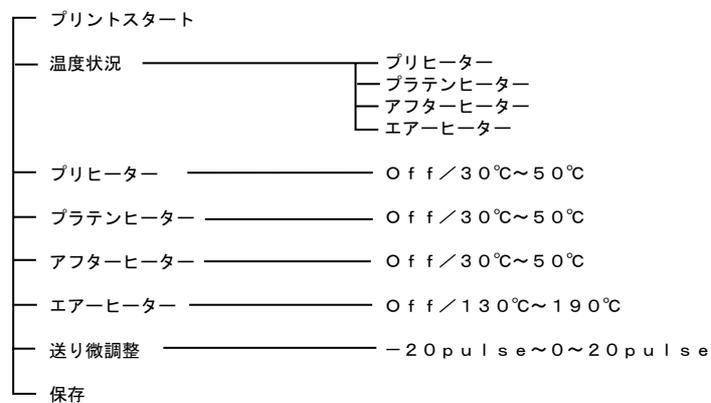


設定メニュー構成図（待機中）（4/4）



設定メニュー構成図

(データ受信中・データ解析中・作画中)





技術サポートお問い合わせシート

プリンタの運用で技術的に困ることがございましたら、この用紙をコピーして太枠内の必要事項をご記入の上、下記FAX番号にお送りください。担当者がFAXまたはお電話で回答いたします。

武藤工業株式会社 カスタマサポート FAX 0120-184711

問い合わせ 年 月 日 | 回答 年 月 日

貴社名	TEL	FAX
部署名		
御担当者	様	
お問い合わせ内容		お問い合わせ製品名：VJ-1608HS
(どの様な操作をしたら： どの様な現象が起きたか： プリンタのエラー表示は： 詳しく記入してください)		

回 答 欄 (カスタマサポート担当者氏名：)

(別紙回答： 有・無)

武藤工業株式会社 国内営業部 カスタマサポート
〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3
TEL : 0120-174911 FAX : 0120-184711

MUTOH

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000 (大代表)

- お問い合わせは
MUTOHホームページ (<http://www.mutoh.co.jp/>)
 - 製品案内 (http://www.mutoh.co.jp/pr/inter_plotter/~sign/index.html)
 - 製品サポート (<http://www.mutoh.co.jp/support/index.html>)